

中國第一歷史檔案館編

光緒朝上諭檔

第二三冊(光緒二十三年)

廣西師範大學出版社

中國革命博物館
分类号 4313 5081-06
登記号 140935

第二三冊

《光緒朝上諭檔》編輯委員會

主任：徐藝圃 副主任：秦國經

委員（按姓氏筆畫為序）：牛平漢 李國榮 徐藝圃

秦國經 陳鏘儀 葉志如 趙雄 盧經

總主編：葉志如 陳鏘儀 趙雄 牛平漢

本冊主編：趙雄

本冊編輯：吳兆清

凡 例

一、本書所輯為中國第一歷史檔案館所藏清代光緒朝上諭檔，一年一冊，按原檔影印編輯出版。

二、本書所輯上諭檔基本維持檔案形成的月日順序，以諭旨頒發先後為序，依次編排，一般調整祇在同日檔案文件之中進行。

三、本書對原檔諭旨時間的處理原則：（一）凡原檔標明頒發諭旨時間者，以頒發時間為序編排；（二）凡未標明時間或時間有誤之諭旨，均進行必要的考證查出；（三）個別無法查考時間之諭旨，採用此前一件之時間。第（二）（三）項均在『校勘表』中註明。

四、本書對各類非諭旨性文件，不作時間考證。

五、本書對此類文件作了考證調整：原檔同日內之文件（包括奏摺、奏片、交片、咨文、名單、清單及所錄本日以前諭旨等），凡內容上有內在關係，但按原排列順序卻被相互隔離開的，經考證調整到一起。調整後諭旨在前，所屬附件在後。同一諭旨有兩件以上附件者，按其原有先後順序排列。另，對原檔冊中存在的錯序、錯位、錯頁者，亦分別糾正和調整。凡調整件，均於『校勘表』註明。

六、本書對原檔考證調整的主要依據，是我館所藏清代當時形成的

『隨手登記檔』。

七、本書對同日内奏報的秋審朝審名單等附件，均視為單一件，依照原有順序歸併於同日相關論旨之後，編一個文件順序號。

八、本書對於原檔中天頭處出現的『硃』、『硃圈』及論旨左下方的『吏部摺』、『禮部片』、『摘鈔交總理衙門』、『×月×日』等字樣，以及論旨行文中間改動添加的各種字樣，均一律保留。

九、本書對原檔上後人打印的阿拉伯頁碼號、原檔夾縫處原標的漢字頁碼號、原檔天頭處所附的紙籤簽、地角處所圈劃的符號，在編輯過程中一律刪除。

十、本書對於原檔中存在的錯字、衍字、簡化字、異體字、古體字等，均不作改動和糾正。

十一、本書將編者經過調整、校勘、考證的結果，以『校勘表』形式說明之。『校勘表』自右往左豎寫，各著錄項自上而下依次登記：順序號、頁碼號、原檔頁碼號、校勘內容。校勘內容和使用符號：（一）無時間（或時間有誤）之論旨，標明據『隨手登記檔』查到的時間；（二）某件論旨時間暫未查出，標用此前一件之時間，以『*』標明；（三）凡經過調整順序的文件，一律註明『調整』字樣；（四）檔案原件殘破缺損者，均註『殘缺』；（五）墨迹霉變污染遮蓋一個字以上者，註明『污跡』字樣，並將所能辨識者的文字標出。

十二、本書所有文件統一編號，各冊序號獨立。

光緒朝上諭檔

第二三冊

校勘表

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一六	一四	六五	調整
一八	一四	六七	調整
三五	二〇	一〇三	調整
三六	二一	一〇五	調整
五六	二六	五	調整
五七	二六	七	調整
五八	二七	九	調整
六〇	二七	一九	調整
六一	二七	二一	調整
六六	二八	三一	調整
一〇〇	三六	一〇九	調整
一〇一	三七	一一一	調整
一〇八	三九	一一五	* 二月十八日
一一五	四〇	一四一	調整
一一八	四一	一三三	* 二月二十一日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一一九	四一	一三五	* 二月二十一日
一二〇	四一	一三七	* 二月二十一日
一二八	四二	一六三	調整
一三〇	四二	一五九	調整
一三一	四三	一六一	調整
一三九	四四	一八三	調整
一四〇	四四	一八五	調整
一四二	四五	一八七	調整
一五三	四七	九	調整
一六三	五一	二七	* 三月初四日
一六四	五一	二九	* 三月初四日
一七〇	五二	四七	調整
一七六	五三	五五	調整
一九七	六〇	一〇一	* 三月十一日
一九八	六〇	一〇三	* 三月十一日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一九九	六〇	一〇五	* 三月十一日
二〇六	六一	一一九	* 三月十三日
二一八	六四	一四七	調整
二一九	六四	一四三	三月十九日
二二三	六七	一七七	調整
二三四	六七	一七九	調整
二四六	六九	一九九	* 三月二十七日
二四九	七〇	二〇九	調整
二七八	七八	四九	* 四月十一日
二八四	七八	六五	調整
二九一	八〇	八三	調整
二九三	八〇	八五	調整
三二二	八六	一四一	調整
三七〇	九八	六九	調整
三七一	九九	七一	調整
三七二	九九	七三	調整
三八一	一〇一	八九	* 五月十八日
三八七	一〇三	一一三	調整
四二五	一一一	一九	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
四二七	一一二	九	* 六月初三日
四二八	一一二	一一	* 六月初三日
四二九	一一二	一三	* 六月初三日
四三〇	一一二	一五	* 六月初三日
四三四	一一三	三五	調整
四五八	一一八	七三	* 六月十一日
四五九	一一八	七五	* 六月十一日
四六〇	一一八	七七	* 六月十一日
四六八	一三四	一四一	調整
四七三	一三五	一五七	調整
四七四	一三五	一六一	調整
四七六	一三六	一五九	調整
四七七	一三六	一六三	調整
四八六	一三八	一七五	調整
四八九	一三八	一九七	調整
四九〇	一三八	一九九	調整
四九二	一三九	一九五	調整
四九三	一三九	二〇三	調整
五〇七	一四三	二二一	* 六月二十日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
五〇八	一四三	二二三	* 六月二十日
五〇九	一四三	二二五	* 六月二十二日
五一五	一四四	二三七	* 六月二十三日
五二六	一四七	一三	調整
五二七	一四七	一五	調整
五二八	一四八	一七	調整
五四〇	一五一	三一	調整
五四一	一五一	三三	調整
五四二	一五二	三五	調整
五四四	一五二	四九	調整
五四六	一五三	五一	調整
五四八	一五三	五三	調整
五六二	一六〇	七五	調整
五六三	一六一	七七	調整
五六九	一六三	一一一	調整
五七〇	一六三	一一三	調整
五七三	一六三	一一五	調整
五八六	一六七	一四一	* 七月十四日
五八七	一六七	一四三	* 七月十四日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
五九一	一六八	一六三	調整
六〇二	一七一	一八七	調整
六〇三	一七二	一九一	調整
六〇四	一七二	一九三	調整
六〇五	一七三	一九五	調整
六〇六	一七五	二〇三	調整
六〇九	一七七	一八一	* 七月十八日
六一〇	一七七	一八三	* 七月十八日
六二六	一八二	二四九	調整
六二七	一八二	二五一	調整
六二八	一八三	二五三	調整
六二九	一八三	二五五	調整
六三〇	一八四	二五九	調整
六三二	一八五	二六三	調整
六三四	一八五	二六五	調整
六三五	一八六	二六七	調整
六三六	一八六	二六九	調整
六三九	一八六	二七七	調整
六四〇	一八六	二七九	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
六五九	一九三	九	調整
六七二	一九八	三七	調整
六七四	一九八	三九	調整
六七五	一九八	四一	調整
六八一	一九九	五一	* 八月初四日
六八七	一九九	七一	調整
六八八	二〇〇	七三	調整
六九〇	二〇〇	七五	調整
六九一	二〇〇	七九	調整
六九二	二〇〇	八一	調整
六九五	二〇一	七七	調整
六九六	二〇一	八三	調整
七〇八	二〇五	一〇五	調整
七二七	二一〇	一四九	調整
七三〇	二一一	一五一	調整
七三一	二一一	一五三	調整
七四二	二一三	一七九	調整
七四七	二一五	一九五	調整
七四八	二一五	一九七	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
七六八	二二二	三三	調整
七七三	二二三	二七	調整
七七四	二二三	二九	調整
七七五	二二三	三一	調整
七七七	二二四	四五	* 九月初五日
七八〇	二二四	六三	調整
七八一	二二四	六五	調整
七八三	二二四	六七	調整
七八四	二二四	六九	調整
七九九	二二八	九一	九月初十日
八〇四	二二九	一〇九	調整
八〇五	二二九	一一一	調整
八一三	二三〇	一二三	調整
八一五	二三一	一二五	調整
八二四	二三二	一四七	調整
八三〇	二三四	一五九	調整
八三一	二三四	一六一	調整
八三二	二三五	一六五	調整
八三五	二三六	一八三	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
八五一	二四〇	二〇九	調整
八六四	二四八	二五九	調整
八六五	二四八	二五一	* 九月二十四日
八六七	二四九	二五五	* 九月二十四日
八八二	二五八	三二三	調整
九二六	二六七	三九	十月初三日
九三五	二六九	六一	調整
九三六	二六九	六三	調整
九四四	二七二	七五	調整
九四五	二七二	七七	調整
九五五	二七五	一一三	調整
九五七	二七六	一一五	調整
九五八	二七六	一〇一	十月十五日
九五九	二七六	一一九	調整
九六〇	二七六	一〇三	十月十五日
九六一	二七六	一二三	調整
九六二	二七七	一〇五	十月十五日
九六三	二七七	一二七	調整
九六四	二七七	一〇七	十月十五日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
九六五	二七七	一一七	調整
九六六	二七七	一〇九	十月十五日
九六七	二七七	一二五	調整
九六八	二七八	一一一	十月十五日
九六九	二七八	一一一	調整
九七五	二七九	一四五	調整
九七七	二七九	一四七	調整
九八二	二八〇	一六一	調整
九八三	二八〇	一六三	調整
九八四	二八〇	一五三	* 十月十八日
九八六	二八一	一五七	* 十月十八日
九九九	二八三	一八九	調整
一〇〇六	二八五	二〇三	* 十月二十三日
一〇四五	三〇二	六九	* 十一月初四日
一〇四六	三〇三	七一	* 十一月初四日
一〇五一	三〇三	六三	調整
一〇五三	三〇四	九一	調整
一〇五九	三〇四	九七	調整
一〇六五	三〇七	一一一	調整

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
一〇六六	三〇七	一一三	調整
一〇七九	三一—	一七五	調整
一〇八一	三一—	一七三	調整
一〇八三	三一—	一四三	* 十一月十四日
一一一二	三二六	二四三	調整
一一一四	三二六	二四一	調整
一一二六	三二九	二五九	* 十一月二十四日
一一四四	三三四	一一	調整
一一四九	三三五	一九	* 十二月初三日
一一五〇	三三五	二一	* 十二月初三日
一一五一	三三五	二三	* 十二月初三日
一一五六	三三五	三三	* 十二月初六日
一一九四	三六〇	一五九	* 十二月十四日
一一九六	三六〇	一六三	* 十二月十四日
一二〇〇	三六一	一七三	調整

光緒朝上諭檔 第二三冊 目錄

光緒二十三年(丁酉 公元一八九七年)

正月	
初二日	(一)
初三日	(五)
初四日	(八)
初九日	(一三)
十一日	(一四)
十四日	(一四)
十五日	(一四)
十八日	(一四)
十九日	(一六)
二十日	(一七)
二十一日	(一八)
二十三日	(一八)
二十五日	(二〇)
二十六日	(二一)
二十七日	(二二)

二月	
二十八日	(二三)
初二日	(二六)
初三日	(二六)
初五日	(二六)
初六日	(二八)
初七日	(二八)
初八日	(二九)
初九日	(三二)
初十日	(三二)
十一日	(三三)
十三日	(三三)
十四日	(三四)
十五日	(三五)
十六日	(三五)

三
月

初一日	(四七)
初二日	(四八)
初三日	(五一)
初四日	(五二)
初五日	(五三)
初六日	(五四)
初七日	(五五)
初八日	(五八)
初九日	(五八)
初十日	(五八)
十七日	(三六)
十八日	(三六)
十九日	(三九)
二十日	(三九)
二十一日	(四〇)
二十二日	(四一)
二十三日	(四一)
二十四日	(四二)
二十五日	(四三)
二十六日	(四三)
二十七日	(四五)
二十八日	(四五)
二十九日	(四六)

四
月

初一日	(七三)
初二日	(七三)
初三日	(七四)
三十日	(七一)
二十九日	(七一)
二十八日	(六九)
二十七日	(六九)
二十六日	(六九)
二十五日	(六八)
二十四日	(六七)
二十三日	(六六)
二十二日	(六六)
二十一日	(六五)
二十日	(六四)
十九日	(六二)
十八日	(六二)
十六日	(六二)
十五日	(六一)
十三日	(六一)
十二日	(六〇)
十一日	(五九)

五月

初四日	(九一)
初三日	(九一)
初二日	(九一)
初四日	(九〇)
初五日	(八九)
初六日	(八八)
初七日	(八七)
初八日	(八六)
初九日	(八六)
初十日	(八五)
十一日	(八三)
十二日	(八二)
十三日	(八一)
十四日	(八〇)
十五日	(七九)
十六日	(七八)
十七日	(七七)
十八日	(七七)
十九日	(七六)
二十日	(七六)
二十一日	(七四)

六月

初三日	(一一一)
初四日	(一一一)
初五日	(一一一)
初六日	(一一〇)
初七日	(一〇九)
初八日	(一〇九)
初九日	(一〇七)
初十日	(一〇七)
十一日	(一〇六)
十二日	(一〇六)
十三日	(一〇五)
十四日	(一〇二)
十五日	(一〇二)
十六日	(九九)
十七日	(九九)
十八日	(九八)
十九日	(九七)
二十日	(九七)
二十一日	(九六)
二十二日	(九六)
二十三日	(九五)
二十四日	(九五)
二十五日	(九四)
二十六日	(九四)
二十七日	(九三)
二十八日	(九三)
二十九日	(九二)

初四日	初五日	初六日	初七日	初八日	初九日	初十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	二十一日	二十二日	二十三日	二十四日	二十五日	二十六日	二十七日	二十八日	二十九日	三十日	
.....
(一四九)	(一四六)	(一四四)	(一一五)	(一一五)	(一一七)	(一一七)	(一三七)	(一三七)	(一三五)	(一三四)	(一三七)	(一三七)	(一三八)	(一四二)	(一四二)	(一四二)	(一四三)	(一四四)	(一四四)	(一四四)	(一四四)	(一四五)	(一四五)	(一四五)	(一四五)	(一四五)	(一四五)

初五日	初六日	初七日	初八日	初九日	初十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	二十一日	二十二日	二十三日	二十四日	二十五日	二十六日	二十七日	二十八日	二十九日	三十日	
.....	
(一五〇)	(一五五)	(一五八)	(一六一)	(一六一)	(一六三)	(一六四)	(一六五)	(一六六)	(一六六)	(一六七)	(一六七)	(一六八)	(一六八)	(一六九)	(一六九)	(一七七)	(一八一)	(一八一)	(一八一)	(一八二)	(一八二)	(一八二)	(一八六)	(一八六)	(一八八)	(一九二)

八月

初一日	(一九三)
初二日	(一九七)
初三日	(一九八)
初四日	(一九八)
初五日	(一九九)
初六日	(一九九)
初七日	(一九九)
初九日	(二〇三)
初十日	(二〇三)
十二日	(二〇四)
十三日	(二〇四)
十五日	(二〇五)
十六日	(二〇五)
十七日	(二〇六)
十八日	(二〇七)
十九日	(二〇八)
二十日	(二一〇)
二十一日	(二一一)
二十二日	(二一一)
二十三日	(二一二)
二十四日	(二一三)

九月

二十五日	(二二三)
二十六日	(二二三)
二十八日	(二二四)
二十九日	(二二七)
初一日	(二一九)
初二日	(二一九)
初三日	(二一九)
初四日	(二二二)
初五日	(二二二)
初六日	(二二四)
初七日	(二二五)
初九日	(二二七)
初十日	(二二七)
十一日	(二二八)
十二日	(二三〇)
十三日	(二三〇)
十四日	(二三〇)
十五日	(二三一)
十七日	(二三一)
十八日	(二三一)

十月

十九日	(二二三)
二十日	(二三六)
二十一日	(二三八)
二十二日	(二四〇)
二十三日	(二四〇)
二十四日	(二四八)
二十五日	(二五七)
二十六日	(二五八)
二十七日	(二五八)
二十八日	(二五九)
二十九日	(二六一)
三十日	(二六二)
初一日	(二六五)
初二日	(二六六)
初三日	(二六七)
初四日	(二六八)
初五日	(二六八)
初六日	(二六八)
初七日	(二七〇)
初十日	(二七二)
十一日	(二七三)

十一月

十五日	(二七四)
十六日	(二七八)
十七日	(二七九)
十八日	(二八〇)
十九日	(二八一)
二十一日	(二八二)
二十二日	(二八二)
二十三日	(二八三)
二十四日	(二八五)
二十五日	(二八六)
二十六日	(二八六)
二十七日	(二九〇)
二十九日	(二九一)
初一日	(二九三)
初三日	(二九四)
初四日	(三〇二)
初五日	(三〇三)
初六日	(三〇四)
初七日	(三〇五)
初九日	(三〇六)
初十日	(三〇七)

十二月

初一日	(三三三)
初二日	(三三三)
初三日	(三三三)
初四日	(三三三)
初五日	(三三三)
初六日	(三三三)
初七日	(三三三)
初八日	(三三三)
初九日	(三三三)
初十日	(三三三)
十一日	(三三三)
十二日	(三三三)
十三日	(三三三)
十四日	(三三三)
十五日	(三三三)
十六日	(三三三)
十七日	(三三三)
十八日	(三三三)
十九日	(三三三)
二十日	(三三三)
二十一日	(三三三)
二十二日	(三三三)
二十三日	(三三三)
二十四日	(三三三)
二十五日	(三三三)
二十六日	(三三三)
二十七日	(三三三)
二十八日	(三三三)
二十九日	(三三三)
三十日	(三三三)

初四日	(三三五)
初六日	(三三五)
初七日	(三三五)
初八日	(三三五)
初九日	(三三五)
初十日	(三三五)
十一日	(三三五)
十二日	(三三五)
十三日	(三三五)
十四日	(三三五)
十五日	(三三五)
十六日	(三三五)
十七日	(三三五)
十八日	(三三五)
十九日	(三三五)
二十日	(三三五)
二十一日	(三三五)
二十二日	(三三五)
二十三日	(三三五)
二十四日	(三三五)
二十五日	(三三五)
二十六日	(三三五)
二十七日	(三三五)
二十八日	(三三五)
二十九日	(三三五)

1 光緒二十三年正月初二日內閣奉

上諭上年順天直隸各屬被水地方田禾受傷業經
截措銀米並將被水較重之區分別蠲緩錢糧小
民諒可不致失所惟念今春青黃不接之時民力
未免拮据加恩著將通州武清寶坻甯河霸州保
定文安大城永清東安大興宛平清苑雄縣安州
高陽河間獻縣阜城東光天津青縣靜海滄州南
皮開州東明長垣玉田深州武強饒陽等三十二
州縣成災五六七八九十分各村莊應完光緒二
十三年春賦地丁錢糧並各項旗租著緩至本年
秋後啟徵其歉收三四分村莊應完光緒二十三
年春賦地丁錢糧並各項旗租著緩至本年末後
啟徵又勘不成災之香河安肅任邱交河景州吳
橋鹽山慶雲無極唐山內邱任縣大名豐潤武邑
安平等十六州縣歉收三四分各村莊應完光緒
二十三年春賦照常徵收外其原緩至本年末後
啟徵之歉收四分村莊應完光緒二十二年並節
年地丁錢糧各項旗租同數收三分村莊應完節
年地丁錢糧各項旗租均著緩至本年末後啟徵

凡有應徵屯米穀米草束寬課學租通津二幫屯
租旗產錢糧海防經費河道錢糧儲備年餉廣恩
庫租永濟庫租兵部馬館租鑾儀衛租代徵租暨
出借食穀籽種口糧牛具等項隨同正項糧租分
別緩徵津廳葦漁課納糧地畝內有坐落武清天
津二縣地方者歸入該二縣災歉村莊一併查辦
又文安縣堤內成熟村莊應完節年旗租清河縣
災歉村莊應完節年地丁錢糧均著緩至本年末
後啟徵以紓民力該督即刊刻謄黃徧行曉諭務
使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副朝廷履端布閭
嘉惠畿疆至意該部即遵諭行欽此

2 王大臣年歲生日單

- 恭親王 年六十六歲十一月二十一日生日
- 醇親王 年十五歲正月十五日生日
- 禮親王 年五十五歲七月初一日生日
- 睿親王 年三十四歲九月十二日生日
- 鄭親王 年二十七歲七月初八日生日
- 豫親王 年五十二歲三月十七日生日

肅親王隆慈 年五十八歲九月初三日生日

莊親王載勛 年四十五歲十二月二十六日生日

怡親王溥靜 年四十九歲二月十九日生日

慶親王奕劻 年六十歲二月二十九日生日

親王銜克勤郡王晉祺 年五十二歲二月十二日生日

順承郡王訥勒赫 年十七歲五月初八日生日

定郡王溥煦 年六十七歲正月初十日生日

端郡王載漪 年四十二歲七月二十六日生日

郡王銜貝勒載濂 年四十四歲八月十七日生日

載溎 年三十七歲二月初一日生日

貝勒載澂 年二十八歲十月十六日生日

載潤 年二十歲七月十六日生日

溥偉 年十八歲十一月二十二日生日

貝勒銜貝子奕謨 年四十八歲四月十一日生日

溥倫 年二十四歲十月初六日生日

鎮國公載澤 年三十歲二月二十四日生日

大學士李鴻章 年七十五歲正月初五日生日

麟書 年六十九歲三月十三日生日

崑岡 年六十二歲四月初九日生日

徐桐 年七十九歲四月初九日生日

協辦大學士蔡霖 年六十二歲二月二十一日生日

李鴻藻 年七十八歲正月初一日生日

尚書熙敬 年六十一歲八月初八日生日

敬信 年六十六歲十月二十日生日

翁同龢 年六十八歲四月二十七日生日

懷塔布 年六十四歲四月十五日生日

孫家鼐 年七十一歲三月十二日生日

徐鄰 年六十二歲九月二十日生日

松淮 年六十五歲八月初十日生日

薛允升 年七十五歲十月初一日生日

剛毅 年六十四歲八月二十五日生日

許應駘 年六十八歲三月二十二日生日

啟秀 年五十九歲二月初三日生日

都察院左都御史裕德 年五十九歲十月二十二日生日

錢應溥 年七十四歲五月廿八日生日

都統符珍 年四十四歲七月十一日生日

那彥圖 年三十一歲十一月十七日生日

桂祥 年五十四歲三月十八日生日

扎拉豐阿 年五十七歲十二月二十八日生日

恩佑 年二十一歲二月初五日生日

總督王文韶 年六十八歲十月二十七日生日

劉坤一 年六十八歲十一月二十二日生日

邊寶泉 年六十七歲二月初四日生日

張之洞 年六十歲八月初三日生日

譚鍾麟 年七十六歲三月十九日生日

鹿傳霖 年六十二歲生日未據查覆

陶模 年歲生日未據查覆

崧蕃 年六十一歲八月二十四日生日

將軍依克唐阿 年六十三歲十二月二十二日生日

恩澤 年歲生日未據查覆

國俊 年六十八歲十二月初四日生日

豐伸 年七十二歲五月十二日生日

濟祿 年六十九歲十月二十七日生日

祥亨 年歲生日未據查覆

保年 年四十九歲生日未據查覆

鍾泰 年歲生日未據查覆

裕祿 年五十八歲十月十一日生日

恭壽 年六十三歲二月十一日生日

承德 年五十八歲九月十一日生日

長庚 年五十四歲生日未據查覆

崇歡 年六十四歲生日未據查覆

熱河都統壽蔭 年六十二歲十二月十八日生日

察哈爾都統祥麟 年歲生日未據查覆

致任大學士額勒和布 年七十二歲正月十二日生日

張之萬 年八十七歲七月初八日生日

王大臣 年歲生日單

恭親王 年六十六歲十一月十一日生日

醇親王載灃 年五十五歲正月初九日生日

禮親王世鐸 年五十五歲七月初一日生日

睿親王魁斌 年三十四歲九月十二日生日

鄭親王凱泰 年二十七歲七月初八日生日

豫親王本格 年五十二歲三月十七日生日

肅親王隆勳 年五十八歲九月初三日生日

莊親王載勛 年四十五歲十二月二十六日生日

怡親王溥靜 年四十九歲二月十九日生日

慶親王奕劻 年六十歲二月二十九日生日

親王銜克勤郡王晉祺 年五十二歲二月十二日生日

順承郡王訥勒赫 年十七歲五月初八日生日

定郡王溥煦 年六十七歲正月初十日生日

端郡王載漪 年四十二歲七月二十六日生日

郡王銜貝勒載濂 年四十四歲八月十七日生日

載溎 年三十七歲二月初一日生日

貝勒載澍 年二十八歲十月十六日生日

載潤 年二十歲七月十六日生日

溥偉 年十八歲十一月二十二日生日

貝勒銜貝子奕謨 年四十八歲四月十一日生日

溥倫 年二十四歲十月初二日生日

鎮國公載澤 年三十歲二月二十四日生日

大學士李鴻章 年七十五歲正月初五日生日

麟書 年六十九歲三月十三日生日

崑岡 年六十二歲四月初九日生日

徐桐 年七十九歲四月初九日生日

協辦大學士榮祿 年六十二歲二月二十一日生日

李鴻藻 年七十八歲正月初一日生日

尚書熙敬 年六十一歲八月初八日生日

敬信 年六十六歲十月二十日生日

翁同龢 年六十八歲四月二十七日生日

懷塔布 年六十四歲四月十五日生日

孫家鼐 年七十一歲三月十二日生日

徐郟 年六十二歲九月二十日生日

松淮 年六十五歲八月初十日生日

薛允升 年七十五歲十月初一日生日

剛毅 年六十四歲八月二十五日生日

許應騷 年六十八歲三月二十二日生日

啟秀 年五十九歲二月初三日生日

都察院左都御史裕德 年五十歲十月二十二日生日

錢應溥 年七十四歲五月初八日生日

都統符珍 年四十四歲七月十日生日

那彥圖 年三十一歲十一月十七日生日

桂祥 年五十四歲三月十八日生日

扎拉豐阿 年五十七歲十二月二十八日生日

恩佑 年六十歲六月初五日生日

總督王文韶 年六十八歲十月二十一日生日

劉坤一 年六十八歲十二月二十二日生日

邊寶泉 年六十七歲二月初二日生

張之洞 年六十歲八月初三日生日

譚鍾麟 年七十六歲三月十九日生日

鹿傳霖 年六十二歲生日未據查覆

陶模 年歲生日未據查覆

崧蕃 年六十一歲八月二十四日生日

將軍依克唐阿 年六十三歲十二月二十二日生日

恩澤 年歲生日未據查覆

國俊 年六十八歲十二月初四日生日

豐仲 年七十二歲五月十二日生日

濟祿 年六十九歲十月二十七日生日

祥亨 年歲生日未據查覆

保年 年四十九歲生日未據查覆

鍾泰 年歲生日未據查覆

裕祿 年五十八歲十月十一日生日

恭壽 年六十三歲二月十一日生日

承德 年五十八歲九月十一日生日

長庚 年五十四歲生日未據查覆

崇歡 年六十四歲生日未據查覆

熱河都統壽蔭 年六十二歲十二月十八日生日

察哈爾都統祥麟 年歲生日未據查覆

致仕大學士額勒和布 年七十二歲正月十二日生日

張之萬 年八十七歲七月初八日生日

3 光緒二十三年正月初三日內閣奉

上諭德壽奏查明各屬被水被旱地畝請將新舊錢

漕分別緩徵遞緩開單呈覽一摺江西南昌等府

屬上年夏間大雨連朝河湖盛漲低田被淹高阜

之區又因缺雨收成均形歉薄若將新舊錢漕照

常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有新建

縣未完上年地丁銀五千一百三十九兩零漕米

五千九百四十七石零進賢縣未完上年地丁銀

六千八百六十九兩零漕米八千五百七十七石零

新淦縣未完上年地丁銀一萬二千三百九十六

兩零漕米八千八百七十二石零蓮花廳未完上

年地丁銀三千八十六兩零漕米一千五百二十

六石零漕運屯糧銀四百八十兩零餘租銀九百

二十一兩零廬陵縣未完上年地丁銀四千八百

七十二兩零漕米三千八百二十五石零存留屯
糧銀五十五兩零漕運屯糧銀三十二兩零餘租
銀一百七十四兩零永豐縣未完上年地丁銀七
千九百五十九兩零漕米三千二百八十八石零安
福縣未完上年地丁銀九千二百三十六兩零漕
米五千四百三石零漕運屯糧銀四百四十三兩
零餘租銀八百十二兩零永新縣未完上年地丁
銀一萬八百三十二兩零漕米三千一百二十二
石零屯丁銀十六兩零存留屯糧銀六十五兩零
漕運屯糧銀五百三十兩零餘租銀一千八百九
十九兩零建昌縣未完上年地丁銀一萬一千一
百七十二兩零漕米五千三百七十石零同安義
縣之寄莊建昌縣未完上年地丁銀三百二十八
兩零漕米一百四十四石零德化縣未完上年地
丁銀二千七百六十二兩零屯丁銀八十九兩零
存留屯糧銀六百五十二兩零漕運屯糧銀二千
六百二十七兩零餘租銀四千八百五十八兩零
光緒二十二年歷徵二十一年蘆課銀六百五十
五兩零德安縣未完上年地丁銀二千七百二十

六兩零屯丁銀一百二十二兩零存留屯糧銀一
百四十一兩零漕運屯糧銀九百三十三兩零餘
租銀一千七百二十五兩零九江府同知所轄南
九二衛蘆洲未完光緒二十二年歷徵二十一年
蘆課銀四百五十八兩零均著緩至光緒二十三
年秋後分作兩年帶徵豐城縣光緒二十一年原
緩地丁銀米著遞緩至光緒二十三年秋後帶徵
南昌新建永新德化等縣光緒十四年至二十一
年及清江縣十八二十一兩年新淦縣二十一年
峽江縣十五十八二十一等年廬陵縣十六年至
二十一年德安縣十五年至二十一年瑞昌縣十
四十六二十二十一等年泰和縣十九年萬安縣
十六年彭澤縣十五十六兩年餘干縣二十一年
各原緩地丁等款銀米併湖口縣十四十五兩年
原緩銀兩除完納外其餘未完同十六年原緩各
款均著遞緩至光緒二十三二十四兩年秋季後帶
徵又進賢蓮花永豐安福建昌併安義縣之寄莊
建昌等廳縣光緒二十一年及新淦縣十八年德
安縣十四年各原緩地丁等款銀米均著遞緩至

光緒二十四二十五兩年秋後帶徵又進賢蓮花
永豐安福建昌併安義縣之寄莊建昌等廳縣光
緒二十年及餘干縣十四年各原緩地丁等款銀
米均著遞緩至光緒二十五二十六兩年秋後帶
徵又進賢蓮花永豐安福建昌併安義縣之寄莊
建昌等廳縣光緒十九年各原緩地丁等款銀米
均著遞緩至光緒二十六二十七兩年秋後帶徵
又進賢蓮花永豐安福建昌併安義縣之寄莊建
昌等廳縣光緒十八年各原緩地丁等款銀米均
著遞緩至光緒二十七二十八兩年秋後帶徵又
進賢蓮花永豐安福建昌併安義縣之寄莊建昌
等廳縣光緒十七年各原緩地丁等款銀米均著
遞緩至光緒二十八二十九兩年秋後帶徵又進
賢蓮花安福建昌併安義縣之寄莊建昌等廳縣
光緒十六年及永豐縣十五年各原緩地丁等款
銀米均著遞緩至光緒二十九三十兩年秋後帶
徵又進賢蓮花安福建昌併安義縣之寄莊建昌
等廳縣光緒十五年各原緩地丁等款銀米均著
遞緩至光緒三十三三十一兩年秋後帶徵又進賢

蓮花安福建昌併安義縣之寄莊建昌等廳縣光
緒十四年各原緩地丁等款銀米均著遞緩至光
緒三十一三十二兩年秋後帶徵湖口縣蘆洲光
緒十四五六等年各原緩壓徵蘆課著分別遞緩
至光緒二十三二十四二十五等年秋後帶徵九
江府同知所轄南九二衛蘆洲光緒二十一年原
緩壓徵蘆課著遞緩至光緒二十四年二十年原
課著遞緩至光緒二十五年十九年原緩蘆
課著遞緩至光緒二十六年十八年原緩蘆課著
遞緩至光緒二十七年十七年原緩蘆課著遞緩至
光緒二十八年十六年原緩蘆課著遞緩至光緒
二十九年十五年原緩蘆課著遞緩至光緒三十
年十四年原緩蘆課著遞緩至光緒三十一年秋
後帶徵以紓民力餘著照所議辦理該撫即將單
內所開鄉都圖甲被定分數應緩至何年帶徵銀
米各數目詳晰刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均
需毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道
單併發欽此

4 光緒二十三年正月初四日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨
多羅貝勒溥偉著加恩在內廷行走欽此

5 光緒二十三年正月初四日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨
郡王銜多羅貝勒載瀅之子溥儒著加恩賞給頭品
頂戴欽此

6 光緒二十三年正月初四日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨
因倫額駙品級一等誠嘉毅勇公麟光著加恩賞用
紫韁欽此

7 光緒二十三年正月初四日內閣奉

上諭上年山東被災各州縣業經分別蠲緩錢漕小

民諒可不至失所惟念今春青黃不接之時民力
未免拮据加恩著將被災之濟甯州黑土店等地
方本店等四十二村莊下吳家灣等地方前十里
營等七十二村莊兩城地方新批河一村莊歷城
縣南會清一等里楊家莊等三十八村莊鄒平縣
伏十一等里白家橋等五十二村莊長山縣學古
等約王旺莊等二十二村莊新城縣姚郭莊等三
村莊並新清河批廢隄壓地畝齊東縣正四等里
化家莊等六十九村莊並埝占河占新遠莊隄壓
沙壓坍塌土塘湮鹹各地畝東平州智明等保范
家莊等三十九村莊東阿縣尹村等鷲山莊等二
十七村莊並隄占坍塌沙壓土塘占壓各地畝青
城縣大字號田家莊等十一村莊陽信縣政德等
鄉東牛莊等一百六十一村莊樂陵縣東路守字
等約馬家橋等四十八村莊蒲臺縣仁字等鄉韓
家莊等八十八村莊並隄埝占壓水冲沙壓取土
溝塘各地畝鄉縣石里社淵源等二村莊陽穀縣
四都等都門家坊等七十七村莊壽張縣章北等
里蔡家樓等二十五村莊並臨河坍塌隄占沙壓

各地畝及黑虎廟等堡黑虎廟等二十二村莊荷澤縣大郭等都丁拐等十八村莊曹縣南隅等里張莊等八十七村莊鄆城縣管小莊里閭柳溪等二村莊及甯陽郭莊等三十三村莊濮州西關等里史家莊等各村莊內之東崇興縣等里潘家莊等三十九村莊堂邑縣南忠二等里大屯莊等二十六村莊恩縣傅莊等七村莊博興縣東姑等鄉翟家莊等社胡家莊等六十九村莊並挑挖新清河占壓地畝高苑縣東三等約永阜莊等十一村莊並挑挖小清河占壓地畝壽光縣豐城等鄉蕭家莊子等七十三村莊昌邑縣南禮義等社鄧家莊等十一村莊濰縣北台底等社党家營等三十六村莊德州衛坐落恩縣境內左衛南中所北王旗胡家窪卜官屯等三屯莊臨清衛坐落濟甯州境內劉官屯等三屯莊王貴屯等三屯莊永阜場坐落博興縣境內統化鎮等三村莊坐落蒲臺縣境內劉善人莊等三村莊永利場坐落蒲臺縣境內潘王莊一村莊官臺場坐落壽光縣境內東北河等九村莊王家岡場坐落博興縣境內竈戶張

一村莊應徵本年上忙新賦錢糧及漕倉學租民佃河銀荒田馬場賃基籽粒地租竈課竈地鹽課等項並恩城縣併衛錢糧均著緩至本年麥後啟徵其濟甯鄆平齊東阿青城陽信樂陵蒲臺鄆縣壽張鄆城濮州堂邑恩縣博興高苑壽光昌邑濰縣等處坐落境內衛地寄莊民佃竈地地租屯田竈課錢糧及德州臨清等衛各屯莊並王家岡永阜永利官臺各場竈地均隨同坐落各州縣民田一律辦理又被災之恩城縣南會清一等里大來莊等五十七村莊同坍塌隄占沙壓及小清河挖占地畝之安平一等里大沙灘等二百七十一村莊暨併衛丁家屯等四屯莊內坍塌沙壓及小清河挖占各地畝章邱縣西陸等里大華莊等二十二村莊及正二等里馬家莊等十一村莊清三等里小辛莊等三十二村莊並沙壓坍塌隄占壓暨挑挖小清河占壓各地畝同坍塌沙壓遷民地畝及明二里賀套莊一村莊鄆平縣伏十一等里新遷莊等十二村莊並小清河杏花溝占壓地畝長山縣溝鎮等約束下寨等二十五村莊並勤

謹等約東唐口等七村莊內新開小清河隄占
壓地畝及牧伯等約辛集莊等十九村莊內挑挖
杏花溝占壓地畝齊東縣方四等里城關官等八
十五村莊齊河縣北關等地方小八里莊等九十
一村莊並沿河新舊坍塌隄占各地畝又併衛張
玘等地方宰莊等二十三屯莊並沿河坍塌隄占
占壓各地畝濟陽縣廉約等約趙家莊等二十六
村莊並坍塌隄占沙壓各地畝及沙壓併衛地禹
城縣九都五等里孫家莊等八十八村莊內徒駭
河隄占地畝徒駭河隄占坍塌地畝長清
縣王東等里龍王廟等十一村莊並趙保等里李
家濱等一百八十五村莊內沿河坍塌隄占
沙壓各地畝暨併衛坦屯等里耿積店等八村莊
同坦屯等里睦里莊等四十二村莊內沿河坍塌
隄占占占沙壓各地畝德州東北六堡許莊等三
村莊肥城縣濼社望山等二村莊並隄占坍塌沙
壓地畝之感化縣等社方家園等七十三村莊暨
併衛雷屯一屯莊東平之智明等保劉家樓等七
十八村莊並挑挖阻水引河淤灘沙壓各地畝平

陰縣陳洪鋪等里孔家集等九村莊並隄占坍塌
沙壓各地畝暨陳洪鋪等里劉小莊等十一村莊
惠民縣公字等約隄上宋家等十五村莊暨公字
等約陳吉彥家等四十四村莊並坍塌隄占占
沙壓各地畝青城縣馬札子家等暨豆腐陳家等
一百三十四村莊暨恩字等號張太浮家等一百
五十七村莊並隄壓使土遷民購占地畝陽信縣
政德等鄉筐李莊等十五村莊海豐縣傅鄆等堆
傅鄆莊等四十六村莊商河縣隄占沙壓地畝濱
州東南等路彭莊等六十七村莊暨東路等路馬
店街等五十九村莊又東路十保北鎮街等一百
四村莊內兩岸掘毀隄占坍塌地畝西路七保侯
玉壘莊等一百一村莊內沙壓冲刷坍塌地畝東
路四保王蘭莊等二百五十村莊內兩岸隄占
壓地畝東路三保鄭家莊等一百十五村莊內沿
河隄占並河干占壓地畝東路十一保時平莊等
七村莊內北岸掘毀地畝東南路祁莊等二村莊
內挑挖引河占壓地畝東南路八保打魚崔莊等
三村莊內搶險加築後餞掘毀占壓地畝利津縣

北鄉薛家堆等地方八里莊等四十五村莊並沙
壓地畝同十四戶等地方買河莊等八十村莊並
沙壓地畝暨窩頭等地方李家橋等一百十三村
莊並隄占沙壓地畝雷化縣北柳河里利國鎮等
四村莊同沙壓地畝之趙山莊等十七村莊及徒
駭河兩岸坍塌地畝之流鐘鎮等六十九村莊蒲
臺縣仁字等鄉馬家廟等八十七村莊並水冲沙壓
取土溝塘各地畝及信字等鄉張家莊等八村莊
陽穀縣東更名南六等里許家莊等十七村莊及
東更名南六等里前雷莊等四十六村莊辛五等
都張垆堆等十七村莊並挑河占壓地畝壽張縣
單北等里李家樓等五村莊荷澤縣大郭等都魏
樓等六十四村莊濮州西許村莊等里孫家莊等
一百四十三村莊及南舊城等里梅家莊等二百
二十九村莊范縣大渚潭等里香佃王莊等六十
村莊朝城縣在二等里羅家樓等四村莊聊城縣
北七下等里老柳頭等三十八村莊同沙壓地畝
之一鄉下等里陳家海等二十六村莊館陶縣河
西等地方河西街等四十一村莊內衛河隄埝占

壓地畝臨淄縣南一等社徐姚莊等十村莊內淄
河兩岸被水冲壓地畝博興縣向順鄉黃店等社
縣家莊等十四村莊樂安縣崇四等保東西現河
等二十一村莊並挑濬預備等河占沙壓地畝同
崇一等保來家等九十二村莊並挑濬預備等河
占壓地畝掖縣海滄劉家二莊平度州大苗家等
二十一村莊昌邑縣東禮義等社隄子莊十村莊
及辛河街一屯莊濰縣北臺底等社蕭家營等十
五村莊魚臺縣第方大城等地方龔家莊等一百
九十村莊東昌衛坐落濮州境內楊宣屯等十六
屯莊坐落范縣境內孟太屯等五屯莊坐落聊城
縣境內河西北十二屯莊東平所王屯等三屯王
官屯等十六村莊永阜場北雙河等境淹沒灘地
一百五十三畝同坐落利津等縣境內沂河莊等
七村莊及買河等等八村莊坐落利津縣境內馬
章廣等八村莊坐落雷化縣境內利國鎮等四村
莊坐落濱州境內賴劉莊一村莊永利場坐落濱
州境內毛素莊一村莊及盧莊等二村莊坐落利
津縣境內謝家窰等四村莊王家岡易坐落本場

東營等二村莊及辛鎮等十五村莊應徵本年上忙新賦錢及漕倉河銀學租河民佃地鹽課荒課粟價地租湖租荒田馬場等項並應城齊河濟陽長清肥城等處併衛應徵上忙錢糧均著緩至本年秋季後啟徵其章邱鄒平齊河濟東濟陽禹城德州肥城東平惠民青城陽信海豐商河濱州利津霑化蒲臺壽張濮州范縣聊城臨淄博興樂安掖縣平度昌邑濰縣魚臺等處坐落境內衛地屯莊寄莊屯田民佃地課地錢糧及示昌衛東平所屯莊永阜永利王家岡各場地均隨同坐落各州縣民田一律辦理以紓民力該撫卽刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副朝廷始和布澤惠愛元元至意該部卽遵諭行欽此

8 滿頭班

花翎三品銜應升之缺升用戶部郎中孚琦
補郎中後加三品銜卽選道四品銜理藩院卽補郎中多壽
道員用得道員後加三品銜花翎四品銜卽藩院卽補郎中志模
道員用得道員後加三品銜花翎三品銜兵部郎中惠兆

四品銜理藩院卽補員外郎題署主事豐陞額
四品銜戶部員外郎雲騎尉世職慶連
四品銜兵部候補員外郎麟緒
戶部卽補主事恆斌
內閣貼寫中書英凱

漢頭班

花翎三品銜署太常寺少卿內閣侍讀學士陳邦瑞
四品銜 記名御史吏部員外郎徐士佳
四品銜工部員外郎王彥成
四品銜內閣卽補侍讀胡祖謙
得道員後加三品銜花翎三品銜記名道府禮部郎中郭曾斯
四品銜卽補郎中刑部員外郎李舜賓
四品銜兵部員外郎濮子潼
刑部卽補員外郎盧震
工部候補主事甘大璋
四品銜兵部員外郎張嘉猷
內閣候補中書李象寅
滿二班
花翎四品頂戴國子監司業特圖慎

花翎三品應升之缺升用戶部郎中和爾賡額
道員用得道員後加高銜言銜記名道府禮部郎中魁麟

三品銜戶部郎中榮霖

即選知府補郎中後加三品銜四品銜理藩院員外郎承祐
升用郎中刑部員外郎玉貴

升郎中後即選知府升用郎中四品銜理藩院員外郎文年
內閣候補侍讀中書英秀

漢二班

三品銜即選道刑部員外郎李蔭鑾

三品銜吏部郎中記名繁缺知府王嘉禾

三品銜記名御史吏部郎補員外郎孫朝華

四品銜刑部郎補郎中郭之全

四品銜刑部郎補員外郎鄭炳麟

三品銜戶部員外郎馮汝駿

五品銜內閣郎補侍讀楊壽樞

戶部主事凌福彭

禮部候補主事王慶平

吏部候補主事孫笏經

四品銜刑部候補主事何葆麟

9 軍機大臣 字寄

兩廣總督譚 光緒二十三年正月初九日奉

上諭此次譚鍾麟奏到年終密考摺單於廣東廣西
學政應行出考之處並未陳明又司道府單內廣
東督糧道亦未列考著該督據實覆奏單內丁憂
人員僅止註寫丁字亦屬違式著傳旨中飭將此
諭令知之欽此遵

旨寄信前來

10 光緒二十三年正月初九日內閣奉

上諭譚鍾麟等奏特參庸劣各員分別降革一摺廣
東開平縣知縣劉咸堂聽斷糊塗幾釀冤獄該員
係科甲出身操守尚嚴著以教職歸部選用英德
縣知縣朱怡和性極優柔不自振作西甯縣知縣
清安性情迂緩辦事竭蹶均著聞缺另補候補按
察司經歷秦煥章委辦釐卡納賄縱私縣丞張煥
斗購買料木任意浮冒從九品成宗藩行同市儈
卑鄙無恥合浦縣珠場司巡檢張麟辦事粗率操
守平常均著即行革職以肅官方該部知道欽此

11 光緒二十三年正月十一日內閣奉

上諭本日道旁四圍之多後著交刑部嚴行審訊欽此

12 光緒二十三年正月十四日內閣奉

上諭雲南雲南府知府員缺緊要著該督撫於通省知府內揀員調補所遺員缺著松堦補授欽此

13 光緒二十三年正月十四日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏緝獲交拏人犯請交部審辦一摺所有拏獲之李二狗兒即賸李五兒楊鈕子甘升兒楊酉兒鍾文小謝即謝二大彭即彭如培馬成兒金四即金六四等九名著交刑部嚴行審訊按律懲辦未獲之小黃等犯仍著嚴緝務獲毋任漏網該衙門知道欽此

14 光緒二十三年正月十四日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲偽造語初人犯請交部審辦一摺所有拏獲之王三即王培芝楊英明蘇志傑張殿彬董景新等五名著交刑部嚴行審訊

按律懲辦未獲之張春等犯仍著嚴緝務獲究辦毋任漏網該衙門知道欽此

15 光緒二十三年正月十五日內閣奉

上諭河南南陽鎮總兵員缺著武朝聘補授欽此

16 查河南南陽鎮總兵係陸路缺謹
奏

17 光緒二十三年正月十五日內閣奉

上諭湖北黃州府知府員缺著魁麟補授欽此

18 查湖北黃州府知府係衝繁難要缺謹
奏

19 光緒二十三年正月十八日內閣奉

上諭陳寶箴奏查明被水田畝蘆洲請分別蠲緩遞緩錢漕等項一摺湖南安鄉等廳州縣衛上年夏間湖河泛漲低窪田畝蘆洲悉被淹沒收成均形

歉薄若將應徵錢漕等項照常徵收民力實有未
逮如恩著照所請所有成災十分之安鄉縣圍城
官坑一處茶窖至霖澗等民坑五處蔣家園等湖
田三處武陵縣陽城等十二村障內之下眉溪各
等處沅江縣大成等二十六坑各應完光緒二十
二年正耗錢糧著蠲緩十分之七成災九分之安
鄉縣屈家墻民坑一處采家門樓等湖田十一處
龍陽縣北益官清等障大圍堤寒號並惠列莊益
陽縣西林坑各應完光緒二十二年正耗錢糧著
蠲免十分之六成災六分之武陵縣承恩等十八
村障之之柘樹咀各等處龍陽縣大圍堤黃宇宙
三號及日月盈洪倉列六號澧州裴黃等各民坑
堤埂湖田二十八處各應完光緒二十二年正耗
錢糧著蠲免十分之四成災七分之龍陽縣大圍
堤地號內附人號並下及宿張為霜四號沅江縣
義和等六坑巴陵縣穆湖村秋地蘆洲及一都等
六處華容縣嚴蕭免湖等官民四坑澧州東來等
民坑湖田二十處南洲廳管轄華容劃撥傅家等
十五圻各應完光緒二十二年正耗錢糧著蠲免

十分之二成災六分之龍陽縣大圍堤晨昃來暑
往秋雲結八號巴陵縣二都等四處華容縣洪市
嶺等三十一圻各應完光緒二十二年正耗錢糧
著蠲免十分之一又華容縣廳州縣有應徵光緒
二十二年南驢漕折銀米蘆課等項並著緩至次
年秋後帶徵所有各廳州縣蠲贖銀兩成災十分
九分八分者分作三年帶徵七分六分者分作兩
年帶徵本年應行帶徵各項均著遮年以次展緩
又沅江縣免毀禁修之上下嘉興周家坪三坑官
田全被淹沒應完光緒二十二年田租銀兩著全
行蠲免又勘不成災收成歉薄情形較重之武陵
縣進陽等五村障內之流溪湖各等處龍陽縣大
圍堤調陽二號及小塘等總區沅江縣株木實竹
巴東北城蓼機等處坑內嶺田升地低田巴陵縣
三十二都等三處臨湘縣塘灣等二十四圍及望
城等十六圍又新生等四洲華容縣南鄉夏家等
圍山脚湖汊湖田並蘆洲地畝澧州下夕陽等管
坑堤埂湖田九處安鄉縣大溶湖蘆地一處湘陰
縣聚賢等二十三圍及北鄉湯家河十六都蕭家

漢戴家河十七都楓樹漢近湖低田各應完光緒二十二年正耗錢糧蘆課等項均著緩至本年秋後分年次第帶徵各該縣應完光緒二十二年漕糧南鹽等項銀米均著一律緩徵又各州縣有應行帶徵光緒十四十五十六十七十八十九二十二十一等年災緩錢糧各項及原借堤工銀兩均著遞緩至本年秋後各照原限分年次第帶徵其本年蠲贖緩徵銀米著俟各年災緩銀米徵完後再行按限啟徵又勘不成災情形較輕之武陵縣進溪等十二村障龍陽縣大圍堤地呂騰露四號沅江縣郎係之德興巴等六垸華容縣護城等官民四十九垸並東南二鄉山岡高阜各處澧州陽由等官民垸區二十七處各應完光緒二十二年正耗錢糧南漕蘆課等項銀米照常徵收外所有光緒二十二年應行帶徵光緒十四十五十六十七十八十九二十二十一等年災緩錢糧並南漕蘆課等項銀米均著緩至本年秋後查照原緩年限分年次第帶徵至岳州衛坐落巴陵臨湘華容湘陰等縣屯田應完光緒二十二年屯餉軍安正

耗錢糧及應徵運費並未完光緒十四十五十六十七十八十九二十二十一等年災緩銀兩均著查照屯坐各縣地方分別蠲緩以紓民力餘著照所議辦理該撫卽刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

20 軍機大臣 字寄

兩江總督劉 廣西提督蘇 光緒二十三年正月十九日奉

上諭蘇元春奏請飭撥無煙洋槍以備邊防等語著劉坤一酌量撥給二三千枝派員解交該提督防營俾資應用原片著鈔給劉坤一閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

21 軍機大臣 字寄

兩廣總督譚 光緒二十三年正月十九日奉上諭蘇元春奏廣西邊防修築礮臺工竣一摺據稱

廣西邊防各礮臺於十八年四月興工二十二年三月工竣請派員驗收等語此項礮臺辦理是否覈實著譚鍾麟揀派熟悉工程大員迅速馳往廣西龍州一帶地方詳細履勘據實覆奏以重要工而嚴邊備另摺奏邊防四營驟難裁減等語著譚鍾麟體察情形一併查奏原摺二件單三件均著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

²² 光緒二十三年正月十九日內閣奉

上諭陳寶箴奏特參不職各員請分別懲儆一摺湖南永定縣知縣秦爾坦心地糊塗舉動荒謬湘潭縣丞代理黃茅巡檢謝發榮不知檢束物議沸騰柳州良田巡檢戴樹滋任性輕率聲名平常均著即行革職通道縣知縣單家榮才質衰庸難期振作著勒令休致沅江縣知縣郭鵬榮才具庸懦不洽輿情惟係正途出身文理尚優著以教職歸部選用善化縣知縣顧玉成懈怠疏率不勝繫要著開缺另補以示懲儆餘著照所議辦理該部知道欽此

²³ 光緒二十三年正月十九日內閣奉

上諭陳寶箴奏故員交代虧短錢漕正雜銀兩延不完解請飭勒追一摺已故前任湘陰縣知縣韓受卿前因虧短湘陰縣任內應解司庫錢糧銀五千二百九十餘兩雜款銀一千一百二十餘兩又糧庫南漕項下尚欠光緒二十年正四二耗漕折漕費等銀五千三百一十餘兩並節年辦公銀五百一十餘兩屢催未解經前湖南巡撫吳大澂奏參革職勒限嚴追僅據解繳糧庫銀七百兩尚欠漕折漕費等銀四千六百一十餘兩及原欠各項銀兩仍未完解實屬延玩著順天府府尹轉飭該原籍通州查明該故員家屬如已回籍即日趕緊勒追完解儘再玩延即行查封備抵以重庫款該部知道欽此

²⁴ 光緒二十三年正月二十日內閣奉

上諭殺虎口監督松堦奏差滿回京齋交盈餘銀兩一摺所得盈餘等項銀八千七十四兩零均交廣儲司松堦著毋庸賞給該衙門知道欽此

25 光緒二十三年正月二十日奉

旨依議欽此

大部奏邊款知縣傳抄備處分閱

26 光緒二十三年正月二十日奉

旨知道了欽此

松場奏補修稅虎口關署片

27 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨張之洞等雷奏湖北上年被災甚廣請截留漕

米及運費以充工賑等語著戶部速議具奏欽此

相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交 計粘鈔電一併

正月二十一日

28 交兵部本日邊寶泉奏請以補用副將余宏亮

補授福州城守營副將一摺軍機大臣面奉

諭旨余宏亮已補授浙江海門鎮總兵福州城守營

副將一缺著兵部咨行閩浙總督另行揀員擬補

具奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

正月二十一日

29 軍機大臣 字寄

倉場侍郎長 工部右侍郎英 光緒二十三

年正月二十三日奉

上諭長萃等奏附近

陵寢儀行等樹株按捕完竣並接辦情形一摺覽奏均

悉所有儀行各樹株雖經次第按捕惟樹身皮內

根下及草腳石罅伏蟲甚多亟應逐層按拏以期

盡絕餘孽仍著長萃等體察情形認真設法辦理

毋稍鬆勁將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

30 光緒二十三年正月二十三日內閣奉

上諭前據御史彭述奏參貴州巡撫嵩崑需索供應

各節當經諭令崑嵩黃槐森確查具奏茲據查明

奏稱嵩崑雖無需索供應諱史不報等情惟二十

一年間貴州地方秋收歉薄前藩司唐樹森並不據稟委勘嵩崑亦未嚴行催司趕辦詳奏遵義被災最重不將直隸撥賑銀兩全數給發賑濟又縱令門丁和齡與縣丞梁秉鈞往來交結致滋物議殊屬疏於覺察嵩崑著交部議處前貴州藩司唐樹森年老昏憤不恤民艱雖經病故仍著革職遵義縣知縣劉保厚欺罔上司玩視民瘼兩縣縣丞梁秉鈞結交門丁不知自愛均著即行革職以肅吏治餘著照所議辦理該部知道欽此

31 光緒二年正月二十三日內閣奉

上諭朕奉

慈安端裕康慶皇太后

慈禧端佑康頤皇太后懿旨三載考績為國家激揚大典中外滿漢諸臣有能職守恪共勞動最著者允宜特加甄敘以示優眷茲當京察屆期吏部開單題請詳加披閱恭親王首贊樞廷殫心匡弼靖共夙夜歷久彌勤懋著勳勞深資夾輔著交宗人府從優議敘大學士文祥寶鑿協辦大學士兵部尚書沈桂芬工

部尚書李鴻藻同心贊畫勤慎益昭均著交部議敘大學士直隸總督李鴻章宣力畿疆勳猷卓著大學士陝甘總督左宗棠督師邊塞備極勤勞均著交部從優議敘餘著照舊供職欽此

32 光緒八年正月二十四日內閣奉

上諭朕奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠皇太后懿旨三載考績為國家激揚大典中外滿漢諸臣有能恪共職守勞動最著者允宜特加甄敘其有平庸衰老者亦難曲予優容茲當京察屆期吏部開單題請詳加披閱恭親王首贊樞廷殫心輔弼機宜悉協懋著勳勞著交宗人府從優議敘大學士寶鑿協辦大學士兵部尚書調任吏部尚書李鴻藻戶部尚書景廉署戶部尚書左侍郎王文韶同心贊畫克慎克勤均著交部議敘大學士直隸總督李鴻章任事實心才猷闊達大學士兩江總督左宗棠勳績夙著勞瘁不辭前兵部右侍郎彭玉麟巡閱長江水師宣力有年任勞任怨均著交部從優議敘吏部尚書萬青藜屢被參奏眾望未

乎戶部尚書董恂年力就衰均著開缺都察院左都御史童華在上書房行走有年精力未衰惟辦事無疏懈著開缺以侍郎候補仍在上書房行走兵部右侍郎恩麟理藩院右侍郎鐵祺才具平庸均著以原品休致餘著照舊供職欽此

33 光緒二十年正月二十四日內閣奉

上諭三載考績為國家激揚大典中外滿漢諸臣有能恪共職守勞動最著者允宜特加甄敘其平庸衰病者亦難曲予優容茲當京察屆期吏部開單題請朕詳加披閱禮親王世鐸大學士額勒和布大學士張之萬兵部尚書孫毓汶吏部左侍郎徐用儀胡贊樞廷盡心經畫和衷共濟悉協機宜均著交該衙門議敘大學士直隸總督李鴻章老成碩望重任克肩兩江總督劉坤一宣力有年勤勞懋著河東河道總督許振祿實心任事勞怨不辭均著交部議敘兵部尚書烏拉喜崇阿衰邁多病理藩院尚書松森禮部右侍郎景善理藩院左侍郎志願才具平庸均著原品休致理藩院右侍郎

慶福才具稍短年力尚強著開缺以三品京堂候補餘著照舊供職欽此

34 光緒二十三年正月二十五日內閣奉

上諭三載考績為國家激揚大典中外滿漢諸臣有能恪供職守勞動最著者允宜特加甄敘以示優眷茲當京察屆期吏部開單題請朕詳加披閱恭親王勛勞懋著夙矢公忠首贊樞廷竭誠匡弼靖共夙夜夾輔深資著交宗人府從優議敘禮親王世鐸協辦大學士吏部尚書李鴻藻戶部尚書翁同龢工部尚書剛毅都察院左都御史錢應溥夙夜從公和衷共濟盡心學畫倍著慎勤均著交該衙門議敘大學士李鴻章久資倚任勞瘁不辭著交部議敘直隸總督王文韶宣勤籌畫精詳著開復降三級留任處分兩江總督劉坤一老成練達重任克膺著交部議敘餘著照舊供職欽此

35 直隸總督王文韶

兩江總督劉坤一

四川總督鹿傳霖

閩浙總督邊寶泉

湖廣總督張之洞

兩廣總督譚鍾麟

雲貴總督岑春煊

陝甘總督陶模

河東河道總督任道鎔

漕運總督松椿

江蘇巡撫趙舒翹

安徽巡撫鄧華熙

山東巡撫李秉衡

山西巡撫胡聘之

河南巡撫劉樹堂

陝西巡撫魏光燾

甘肅新疆巡撫饒應祺

浙江巡撫廖壽豐

江西巡撫德壽

湖北巡撫譚繼洵

湖南巡撫陳寶箴

廣東巡撫許振祿

廣西巡撫史念祖

雲南巡撫黃槐森

貴州巡撫嵩崑

37 臣等查詢批本官內閣侍讀倭興額據稱

京察題本於昨日

發下奉

旨知道了單留覽欽此業經照籤繕批尚未發交內

閣茲將題本二件取回恭呈

御覽謹

奏

正月二十五日

38 光緒二十三年正月二十六日內閣奉

上諭此次京察引見三品以下京堂各官欽天監右

監副張掄奎太醫院右院判李德昌因何並未到

班著吏部查明具奏餘均著照舊供職欽此

39 光緒二十三年正月二十六日內閣奉

上諭巡視北城御史文博等奏請續發煖廠米石一摺京城梁家園百善堂煖廠收養貧婦前經發給粟米三百石本年來京就食者衆多不敷支放加恩著再賞給粟米二百石交該御史等督同紳士妥為散放餘依議該部知道欽此

40 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨所有此次各衙門京察一等人員著吏部於二月初三日起分日帶領引見欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

正月二十六日

41 本日巡視北城御史文博等奏請續

賞梁家園百善堂米石摺奉明發

諭旨一道御史華燁奏請免加賦以恤窮黎摺奉旨存謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

正月二十六日

42 軍機大臣 字寄

四川總督鹿 光緒二十三年正月二十七日奉
上諭鹿傳霖奏遵旨派員入藏瞻對暫緩設官及達賴不能生靈一摺覽奏均悉即著飭令裕鈿迅速會同前派委員李毓森商酌欽遵照疊次諭旨明白宣示開導達賴必須令其心悅誠服取有的實回信瞻事自易轉圜是在該督審度機宜妥慎辦理不在遽撤番官也另片奏印藏界務藏番已允會勘請即由訥欽知照印督會同劃界等語著照所請行將此由四百里諭令知之欽此遵旨寄信前來

43 光緒二十三年正月二十七日內閣奉

上諭王文韶奏武職大員在籍病故臚陳戰功事蹟請旨優卹一摺前廣東水師提督曹克忠早歲從戎轉戰湖北安徽等省旋隨多隆阿剿辦捻匪復經調赴甘肅助剿回逆忠勇性成戰功卓著曹克忠著照軍營立功後積勞病故例從優議卹生平戰功事蹟宣付國史館立傳並准其在天津原籍及立功省分建立專祠以彰忠蓋該衙門知道欽此

44 光緒二十三年正月二十七日內閣奉

上諭嵩崑奏道員在籍辦團積勞病故懇恩賜卹並宣付史館立傳一摺已故道員高以廉在籍聯團禦寇與軍營積勞病故不同所請著不准行欽此

45 光緒二十三年正月二十七日內閣奉

上諭倉場衙門順天府奏請續撥王恕園等處粥廠米石一摺本年通州王恕園等處粥廠貧民就食較多所有前次賞給賑米一千五百石不敷散放著再加恩賞給私米三百石以資接濟餘依議該衙門知道欽此

46 光緒二十三年正月二十八日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏王府送交搶擄商人勒贖人犯等請旨嚴辦一摺據稱上年十二月間廣豐木廠商人董崇仁即董崇謙由醇王府回寓中途被人搶走勒贖經該王府訪查有吏夫趙全信等同謀情事當經送交懲辦復經該衙門將拏獲送回董崇仁之覺羅多增等三名並提同該王府首領

太監任朗山即任德祿等分別審訊商人董崇仁因病未能到案該犯等供詞閃爍除將太監任朗山等六員名仍交該王府自行看管外其餘各犯請交刑部會同宗人府審訊等語案關搶擄勒贖大干例禁亟應從嚴懲辦著刑部會同宗人府將趙全信李順英祥李升王四覺羅多增多春車夫張寶等八名嚴行審訊按律懲辦所有案內之太監任朗山即任德祿護衛志旭亭即特依蘇勒劉五即嘎爾薩那三即愛圖禮蘇拉賈二太監羅春等六名著一併交部分別管押與商人董崇仁聽候傳質未獲之馮大箇薛臣楊啟才等犯仍著嚴拏務獲送部懲辦欽此

47 光緒二十三年正月二十八日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏遵保獲盜尤為出力員弁懇恩獎勵一摺著兵部議奏欽此

48 軍機大臣 字寄

兼管順天府府尹孫 府尹胡 直隸總督王

光緒二十三年正月二十八日奉

上諭有人奏順直義賑動用官款名實不符請飭中
禁一摺據稱京官辦理義賑始則羅致善捐近且
動支官款無從稽覈恐有重疊影射諸弊等語京
官辦理義賑自不應撥用官款方昭覈實嗣後官
賑義賑各專責成用款毋得稍有牽混至所稱分
認地段辦理之處著順天府直隸總督隨時斟酌
妥辦原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

49 軍機大臣 字寄

兼管順天府府尹孫 府尹胡 光緒二十三
年正月二十八日奉

上諭國子監司業黃思永奏翻壑沙壓地畝以免久
荒一摺據稱上年永定河決大興宛平永清三縣
當沖之地積沙甚厚欲將活潄之沙全數挑去無
地可容惟有翻壑之法尚可播種所需壑費現屆
春融可以工代賑其義紳所籌春撫款項亦可協
助等語著孫家鼐胡燏棻體察情形酌籌辦理原

摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

50 軍機大臣 字寄

四川總督鹿 光緒二十三年正月二十八日奉
上諭有人奏川省創行官錢票勒令各州縣代銷不
准申解官款繩以官法民難相信以致銀價愈低
錢價愈昂川省去秋荒歉百物騰貴官民交困請
飭撫恤補救等語川省官錢票究竟辦理若何有
無各項情弊著鹿傳霖查明妥辦毋得稍存成見
原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

51 本日國子監司業黃思永奏順屬沙壓地畝請
飭翻壑以免久荒摺奉寄信

諭旨令順天府酌籌辦理又奏各國領事官前後任
請在使署交接片又奏加稅值百抽十華商虧
折太甚請
飭總理各國事務衙門從長計議片均奉交片

諭旨令總理各國事務衙門議奏御史楊崇伊奏義

賑動用官款名實不符請

旨申禁以杜流弊摺奉寄信

諭旨令順天府直隸總督嗣後官賑義賑款項毋得

牽混又奏四川創設官錢票官民交困片奉寄信

諭旨令鹿傳霖查明辦理謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

正月二十八日

52

交總理各國事務衙門本日司業黃思永奏洋

稅加收值百抽十華商虧折太甚及出洋領事

官前後任須在署交接各等語軍機大臣面奉

諭旨著該衙門議奏欽此相應知照

貴衙門欽遵辦理可也此交

計粘鈔片二件

正月二十八日

53 光緒二十三年二月初二日內閣奉

上諭本年輪應查閱福建浙江廣東廣西四省營伍之期福建即派邊寶泉浙江即派廖壽豐廣東即派譚鍾麟廣西即派史念祖認真查閱各省營伍關繫緊要國家養兵歲糜鉅帑原以備禦侮折衝之用近來各督撫循例校閱往往視為具文以致武備日形廢弛殊屬有負委任茲特再行申諭各該督撫務當逐一簡校如有技藝生疏老弱充數及軍實不齊等弊即將該管將弁據實嚴參毋得稍涉瞻徇欽此

54 光緒二十三年二月初三日內閣奉

上諭吏部奏遵議處分一摺貴州巡撫嵩崑著照部議即行革職餘依議欽此

55 光緒二十三年二月初五日內閣奉

上諭貴州巡撫著王毓藻補授即赴新任毋庸來京請訓欽此

56 河東河道總督任道鎔

漕運總督松椿

江蘇巡撫趙舒翹

安徽巡撫鄧華熙

山東巡撫李秉衡

山西巡撫胡聘之

河南巡撫劉樹堂

陝西巡撫魏光燾

甘肅新疆巡撫饒應祺

浙江巡撫廖壽豐

江西巡撫德壽

湖北巡撫譚繼洵

湖南巡撫陳寶箴

廣東巡撫許振禔

廣西巡撫史念祖

雲南巡撫黃槐森

57

直隸布政使負鳳林 陝西人 光緒二十三年補

江甯布政使松壽 湖南人 光緒二十三年補

江蘇布政使聶緝榮 湖南人 光緒二十三年補

署安徽布政使于蔭霖 奉天人 光緒二十三年補

山東布政使張國正 漢口人 光緒二十三年補

山西布政使俞廉三 浙江人 光緒二十三年補

河南布政使額勒精額 滿洲人 光緒二十三年補

陝西布政使張汝梅 湖南人 光緒二十三年補

甘肅布政使曾鈺 正白旗滿洲人 光緒二十三年補

甘肅新疆布政使丁振鐸 湖南人 光緒二十三年補

浙江布政使憚祖翼 江蘇人 光緒二十三年補

福建布政使黃毓恩 湖北人 光緒二十三年補

江西布政使翁曾桂 江蘇人 光緒二十三年補

湖北布政使王之春 湖南人 光緒二十三年補

湖南布政使何樞 河南人 光緒二十三年補

廣東布政使張人駿 直隸人 光緒二十三年補

廣西布政使游智開 湖南人 光緒二十三年補

四川布政使王毓藻 湖北人 光緒二十三年補

雲南布政使裕祥 滿洲人 光緒二十三年補

貴州布政使邵積誠 福建人 光緒二十三年補

殊

○

59 光緒二十三年二月初五日内閣奉

上諭四川布政使著裕長補授欽此

60 候補布政使名單

殊。裕長 正白旗滿洲人

直隸按察使李邦楨 江蘇人 光緒二十三年補

江蘇按察使吳承潞 浙江人 光緒二十三年補

安徽按察使趙爾巽 漢口人 光緒二十三年補

山東按察使毓賢 滿洲人 光緒二十三年補

山西按察使劉霖 湖南人 光緒二十三年補

河南按察使長祿 滿洲人 光緒二十三年補

陝西按察使李有棻 江西人 光緒二十三年補

甘肅按察使丁體常 貴州人 光緒二十三年補

浙江按察使丁俊 江蘇人 光緒二十三年補

福建按察使張曾敷 直隸人 光緒二十三年補

江西按察使張紹華 安徽人 光緒二十三年補

湖北按察使馬恩培 直隸人 光緒二十三年補

湖南按察使桂中行 江西人 光緒二十三年補

61

廣東按察使魁元

滿洲正領監生
光緒二十三年二月補

廣西按察使蔡希邨

江西增貢生
光緒二十三年二月補

四川按察使文光

滿洲正領監生
光緒二十三年四月補

雲南按察使湯壽銘

湖南監生
光緒二十三年閏五月補

貴州按察使李希蓮

山西進士
光緒二十三年五月補

62 光緒二十三年二月初五日内閣奉

上諭張家口監督定成奏差滿回京齎交盈餘銀兩
並請減成賠繳虧短盈餘銀兩一摺所得盈餘銀
三千八百二兩零著交廣儲司其所請減成賠繳
之處著戶部覈議具奏欽此

63 交侍衛處本日內大臣莊親王載勛等奏擬定

值班章程暨恪遵向章站班各摺片軍機大臣
面奉

諭旨著領侍衛內大臣議奏欽此相應傳知

貴大臣欽遵辦理可也此交

對粘摺片各件

二月初五日

64 軍機大臣 字寄

西甯辦事大臣奎 光緒二十三年二月初六

日奉

上諭理藩院奏青海年班來京之王貝子等呈稱回
匪據掠復被旱災請賞給賑銀據情代奏一摺青
海地廣人稀究竟情形如何能否酌給賑款著奎
順派員查明速奏原摺著鈔給閱看將此諭令知
之欽此遵
旨寄信前來

65 光緒二十三年二月初七日内閣奉

上諭山西河東道員缺著楊宗濂補授欽此

66 查山西河東道條衝繁難要缺謹

奏

67 光緒二十三年二月初七日内閣奉

上諭此次京察一等圖出人員著各該堂官再行出
具切實考語交吏部帶領引見圖出之滿洲蒙古

中書筆帖式等官著歸入理事同知通判內遇有缺出與舊記名人員一體帶領引見漢軍漢人著交部以撫民同知通判等官分別選用起居注主事多齡大理寺右寺丞陳毓熊太常寺寺丞兼讀祝官志驥光祿寺署正志瑞胡尚德侍衛處主事多祥唐古忒學司業承慶宗人府委署主事宗室繼仁戶部寶泉局西廠大使英勅翰林院侍詔聯莊通政使司知事陳履貞太常寺贊禮郎覺羅德齡讀祝官崇恩國子監助教松廷龐瑞霖典簿麟瑞鴻臚寺鳴贊覺羅寬裕成惠侍衛處署主事閻福鑿儀衛鳴贊鞭官權震欽天監五官正桂蒂靈臺郎古啟圖俱著交部照例以應升之缺升用其內閣侍讀德元等二百八十六員俱著准其一等加一級欽此

⁶⁸ 光緒二十三年二月初七日內閣奉

上諭巡視北城御史文博等奏遵保罕獲鄰境戮刑盜犯出力之司坊紳董開單請獎一摺著吏部議奏單併發欽此

⁶⁹ 光緒二十三年二月初八日內閣奉

上諭御史彭述奏新班遇缺先知縣加足十成收捐等語著該部議奏欽此

70 軍機大臣 字寄

盛京將軍依 光緒二十三年二月初八日奉

上諭有人奏大凌河馬羣向歸副都統管轄錦州協領文楷署副都統特信任門丁營私舞弊餵養官馬草豆委主事英華等合謀包折該協領亦有勒索情事請飭查辦等語著依克唐阿按所奏各節確切查明據實具奏毋稍徇隱原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

71 軍機大臣 字寄

湖南巡撫陳 光緒二十三年二月初八日奉

上諭御史彭述奏湖南錢糧積弊請飭整頓一摺據稱湖南近來錢價昂貴而糧銀折錢收數相沿未改衡陽清泉等縣地丁一兩收銀一兩三錢零每

兩折錢三千二百文不等過期未完由包戶墊款將粟領出逐月計息零陵縣民糧一石收錢五十四百文上下忙逾限未完每千均加罰二百文胥吏從中舞弊貧民受累實深請飭查辦等語州縣徵收錢糧總以均平為主不得任意輕重著陳寶箴按照該御史所奏各節體察情形酌量辦理其加徵科罰等弊即著查明禁止另片奏湖南漕米折色請仍照江蘇成案酌定徵價等語著該撫一併酌量覈辦原摺片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

72

交戶部本日御史孫賦謙奏試辦熱河等處礦務酌量升科一摺軍機大臣面奉

諭旨著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計黏鈔摺一件

二月初八日

三〇

73 本日侍郎張蔭桓奏酌調隨使人員摺單一件奉旨依議又奏開用木質關防片奉

旨知道了御史孫賦謙奏熱河等處試辦礦務請及

時升科摺奉交片

諭旨令戶部議奏又奏錦州協領文楷營私舞弊請

查辦片奉寄信

諭旨令依克唐阿查奏又奏出使大臣請

派親郡王等充當片又奏請嚴禁異服片均奉

旨存彭述奏湖南衡陽清泉二縣糧銀折錢累民請

覈減摺湖南漕折請仿照江蘇成案辦理片奉寄信

諭旨令陳寶箴查明覈辦又奏捐納遇缺先知縣請

加成收捐片奉明發

諭旨令該部議奏謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

二月初八日

74 滿頭班

花翎三品銜應升之缺升用戶部郎中孚琦

補郎中後加三品銜即選道四品銜理藩院即補郎中多壽

道員用得道後加三品銜花翎四品銜理藩院即補郎中志樸

道員用得道後加二品銜花翎三品銜兵部郎中惠兆

四品銜理藩院即補員外郎題署主事豐陞額

四品銜戶部員外郎雲騎尉世職慶連

四品銜兵部候補員外郎麟緒

戶部即補主事恒斌

內閣貼寫中書英凱

漢頭班

花翎三品銜署太常寺少卿內閣侍讀學士陳邦瑞

四品銜 記名御史吏部員外郎徐士佳

四品銜工部員外郎王彥威

四品銜內閣即補侍讀胡祖謙

得道員後加二品銜花翎三品銜 記名海軍提督郭曾斯

四品銜即補郎中刑部員外郎李舜賓

四品銜兵部員外郎濮子潼

刑部即補員外郎盧震

工部候補主事甘大璋

四品銜兵部員外郎張嘉猷

內閣候補中書李象寅

滿二班

花翎四品頂戴國子監司業持圖慎

花翎三品銜應升之缺升用戶部郎中和爾慶額

三品銜戶部郎中榮沛

即選知府補郎中後加三品銜四品銜理藩院員外郎承祐

升用郎中刑部員外郎玉貴

升郎中後即選知府升用郎中四品銜理藩院員外郎文年

內閣候補侍讀中書英秀

刑部候補主事來秀

漢二班

三品銜即選道刑部員外郎李蔭鑾

三品銜吏部郎中 記名繁欽知府王嘉禾

三品銜 記名御史吏部即補員外郎孫朝華

四品銜刑部即補郎中郭之全

四品銜刑部即補員外郎鄭炳麟

三品銜戶部員外郎馮汝駉

五品銜內閣即補侍讀楊壽樞

戶部主事凌福彭

禮部候補主事王慶平

吏部候補主事孫司經

四品銜刑部候補主事何葆麟

75 光緒二十三年二月初九日內閣奉

上諭此次京察引見年至六十五歲以上之內閣中書景魁等均著照舊供職欽此

76 光緒二十三年二月初九日奉

旨依議欽此

吏部奏查明甘肅保案應故回吏部

77 光緒二十三年二月初九日奉

旨依議欽此

吏部奏革員張心泰等開復原官請再行查復

78 軍機大臣 字寄

駐藏辦事大臣文 光緒二十三年二月初十日奉

上諭文海奏病體漸愈擬仍前赴打箭爐一摺覽奏

均悉著俟抵打箭爐後斟酌情形即行入藏與訥

欽相機妥辦毋稍逗留將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

79 光緒二十三年二月初十日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏上年擊獲巨盜康小八兒一

案其次出力員弁請旨獎勵等語右營叅將吳魁

麟著交部從優議敘四品頂戴升用都司守備吳

翰章四品頂戴補用都司守備王文煥均著俟補

都司後賞加遊擊銜即補守備千總吳寶麟著俟

補守備後以都司升用候補千總回文魁候補千

總把總劉振剛均著俟補千總後以守備升用該

部知道欽此

80 光緒二十三年二月初十日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏擊獲結夥持械搶劫鄰境盜

犯請交部審辦一摺所有擊獲之王汶升即王洪

兒張二即張義中馬同薛即小馬劉四即劉保幅

高二即高保全李七等六名著交刑部嚴行審訊
按律懲辦未獲之老魏小王等犯仍著嚴拏務獲
毋任漏網原拏此案之員弁著俟刑部定案時聲
明請旨該衙門知道欽此

81 光緒二十三年二月十一日內閣奉

上諭李秉衡奏凌汛異漲歷城等處民埝沖塌成口
現籌堵合情形請將在事各員暫緩叅處並自請
議處一摺本年正月二十二日山東歷城章邱地
方因冰凌壅塞水勢陡漲以致民埝被決小沙灘
口門寬至二十餘丈胡家岸口門寬至四十餘丈
水由郭宗寨經齊東等縣入海此次民埝沖刷既
據該撫聲稱實因水厚水猛去路壅積人力難施
總辦道員蔣兆奎提調知府吳煜營官都司劉振
興均著照所請暫緩叅處即著該撫督飭各該員
限一月內迅速堵合完竣毋得遲誤干咎李秉衡
著交部議處該部知道欽此

82 軍機大臣 字寄

浙江巡撫廖 山東巡撫李 光緒二十三年

二月十三日奉

上諭李秉衡奏膠州建設船塢請調在籍道員會同
勘辦一摺浙江在籍前廣東雷瓊道朱采著來壽
豐飭令該員迅赴山東聽候差委將此諭令知之
欽此遵

旨寄信前來

83 軍機大臣 字寄

熱河都統壽 光緒二十三年二月十三日奉

上諭有人奏未經承襲之扎薩克擅放屬官勒取氏
財請旨飭查一摺據稱喀拉沁東旗有扎薩克一
缺理藩院擬以巴達瑪放斯爾承襲尚未奉旨該
員即擅作威福在家設立公堂補放各缺勒派佃
戶及鋪戶銀兩倚游民張七等為腹心交接匪徒
擾累屬下等語著壽蔭按照所奏各節確切查明
據實具奏原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

84 光緒二十三年二月十三日內閣奉

上諭長革等奏搭捕松蟲一律淨盡一摺所有各陵儀行海地及後山一帶各樹松蟲既據該侍郎等奏稱一律搭捕淨盡長革英年著即回京供職嗣後應如何隨時搭捕之處著責成溥齡等督率兵役認真辦理該衙門知道欽此

85 光緒二十三年二月十三日內閣奉

上諭此次內務府三院等處京察一等圍出人員著該堂官再行出具切實考語帶領引見圍出之御茶膳房委署主事全福堂筆帖式松蔭文起重英文珣文蔭吉堃繼森清桂廣霖增年奉雲廣儲司筆帖式泰泉榮桂會計司筆帖式德貴掌儀司筆帖式繼英漢章文緒營造司筆帖式廷輔掌關防管理內管領事務處筆帖式增祺御藥房筆帖式文順御茶膳房筆帖式松泉上駟院筆帖式恆有武備院委署主事德佑委署庫掌廣恩筆帖式廣惠奉宸苑八品苑丞繼綱明園六品苑丞富秀七品苑副恆勛頤和園六品苑丞裕斌靜明園六

品苑丞濟良靜宜園六品苑丞明誠頤和園七品苑丞榮來均著交吏部記名照例選用所有一等官員筆帖式達他等均著准其一等加一級至年已逾歲之副內管領德浩等均著照舊供職欽此

86 本日翰林院侍講學士濟激奏未經承襲之扎

薩克禮放屬官勒取民財請

旨飭查摺奉寄信

諭旨今壽蔭確查具奏謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

二月十三日

87 光緒二十三年二月十四日奉

旨依議欽此

兵部奏議廣中官署清官各員請發減摺

88 光緒二十三年二月十四日奉

旨依議欽此

兵部奏河州鎮總兵馬和等請開復職摺片

89 光緒二十三年二月十四日奉
旨依議欽此

兵部奏修葺人員被參原案先行咨部立案片

90 光緒二十三年二月十四日奉
旨魯勒木色楞著准其承襲欽此

理藩院奏請承襲案內呈日初請旨摺

91 光緒二十三年二月十四日奉
旨准其借支欽此

理藩院奏馬場邊疆部工家先那札布支借休銀摺

92 光緒二十三年二月十四日奉
旨准其移獎欽此

理藩院奏馬場邊疆部工稱騎銀兩如何恩賜摺

93 光緒二十三年二月十五日奉
旨依議欽此

吏部奏會同保舉聲明摺旨摺

94 本日南書房翰林院張百熙奏遵

旨保薦人才摺又奏奉天直隸州知州晉昌請
擢用片又奏請

派道員黃遵憲為高務大臣片均奉

旨交軍機處存記謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

95 光緒二十三年二月十六日內閣奉

上諭巡視北城御史文博等奏遵保拏獲疊次行劫

得贓盜犯之出力司坊紳董開單請獎一摺著吏

部議奏單併發欽此

96 本日御史文博等奏司坊紳董等獲盜請獎摺

單一件奏明發

諭旨令吏部議奏交環奏蒙番驕縱請

飭查禁摺奉

旨存又奏內務府一等

記名人員請照成案以關差道府用片查內務府一等

記名人員本係以關差道府兼用原片奉
旨存徐道堤奏團法弊極亟籌整頓摺奉
旨存又奏郵政句罰款報費太重請覈減片奉交片
諭旨令總理各國事務衙門議奏謹將原摺片恭呈
慈覽謹

奏

二月十六日

97 光緒二十三年二月十七日奉

旨此次京察一等覆帶領引見各員內除楊樹李佩
銘朱福說崔永安徐受廉陸鍾琦葉昌熾啟綏恩
浩樂平紹彝恩良崇恩延清緒良毋庸記名外宗
室英慈著仍以四五品京堂補用宗室崇壽著以
四五品京堂補用宗室麒德著以五品京堂補用
德元靈椿英華薛浚李昭燁陳秉和文煥高睿恩
潘炳年李桂林胡湘林葉大適黃紹箕陳景塗張
亨嘉周爰振許葉芬恩祥張呈吉豐紳布繼恩延
熙延譽戴錫鈞李沅范廣衡鄂芳和爾賡額毓秀
孚琦英琦如銓余九毅孫毓駿啟約增厚馮汝駿
那桐存善郭曾忻惠齡曹銜羅文彬恩聯恩澍劉

尚倫信勤濮子潼英瑞英啟文超熊起礪林星廣
潘江玉貴瑞徽松寬謝文魁瑞方松燁惠裕錫倫
志崇常英趙爾震福潤慶秀榮凱福敏志全恭頌
褚成博桂年繼恆齊蘭恩順達椿龐鴻書陳其璋
管廷獻裴維俊麟趾致澤寶芬成慶常清均著交
軍機處記名以道府用欽此

98 光緒二十三年二月十七日內閣奉

上諭孫家鼐等奏請以霸州知州沈宗蔘升補北路
同知一摺著吏部議奏欽此

99 光緒二十三年二月十八日內閣奉

上諭張蔭桓現在出差戶部左侍郎兼管三庫事務
著徐用儀兼署欽此

100 應兼署戶部左侍郎名單

硃。吏部左侍郎徐用儀

右侍郎吳廷芬

戶部右侍郎陳學棻

現兼署吏部右侍郎
現兼署禮部左侍郎

禮部右侍郎張英麟

兵部左侍郎徐樹銘

右侍郎楊頤

刑部左侍郎李端棻

現兼署工部左侍郎

101 應署戶部左侍郎名單

內閣學士唐景崇

梁仲衡

陸寶忠

現兼署都察院左副都御史

都察院左副都御史壽昌

詹事府詹事瞿鴻禨

102 光緒二十三年二月十八日奉

旨此次內務府三院等處京察一等覆帶領引見各員內除榮科繼德毋庸記名外莊山祥煜增崇廷曾效曾明勳誠全英瑞海豐恆啟恩銓祥福榮銓保柱金聲安存世序徵麟長泰景恩祥泰常恩福惠廷琦熙曾俱著交軍機處記名欽此

103 光緒二十三年二月十八日內閣奉

上諭陶模董福祥奎順奏青海一律肅清出力之蒙古王貝勒等及各番族千百戶暨文武員弁懇恩獎敘一摺前因關內外軍務肅清所有出力員弁均經降旨加恩茲據奏稱上年二月間逆首劉四伏等率大股悍賊由水峽口出竄青海格德格等處滋擾旋復竄至柴達木負隅抗拒勢極猖獗經該蒙古王貝勒等暨番族千百戶及派出文武各員聯絡聲勢戮力同心卒使逆首就擒藩部安堵自應一體施恩以彰勞勩青海左翼盟長固山貝子恭布車布坦多羅貝勒車琳端多布輔國公濟克什扎布均著賞用紫韁扎薩克頭等台吉丹巴台吉齊莫特林增索南木端多布均著賞戴花翎台吉諾爾布著賞加輔國公銜右翼正盟長多羅郡王棍布拉布坦著賞用黃韁副盟長多羅貝勒拉旺多布吉著賞加郡王銜多羅郡王翰克濟爾噶勒著賞用黃韁固山貝子吹木丕勒諾爾布著賞加貝勒銜貝子恭布車布坦旗圖薩拉克齊連什端多布察漢諾們罕旗圖薩拉克齊觀木卻克均

著賞戴花翎剛咱旅花翎三品頂戴總千戶拉麻
拉夫坦千布求旅總千戶索洛均著賞加二品頂
戴汪什代克族千戶周科阿里克族百戶格拉克
官布剛咱族千戶角巴均著賞給四品頂戴並賞
戴花翎阿里克族百戶恭慶重本他爾格拉克百
長集克默特默梅十布求族百戶索南巷秀郭密
族百戶陳勒達哈拉安族百長勒格均著賞給
五品頂戴並賞戴藍翎餘著照所議辦理所有單
開文武各員著該部分別覈議具奏另片奏請將
道員嚴金清獎勵等語補用道嚴金清著以道員
遇缺請旨簡放並賞加二品頂戴單二件片一件
併發陶模等所保頭等台吉索南木端多布一員
據理藩院查覆單內繕作索南木多爾濟殊屬疏
忽理藩院承辦司員著交部查取職名照例議處
理藩院堂官著交部察議該衙門知道欽此

104 光緒二十三年二月十八日內閣奉

上諭祥麟等奏軍臺廢員由配脫逃請旨飭緝究辦
一摺已革署海城縣典史蔣有棟已革牛莊巡檢

兆齡膽敢由配所脫逃該都統等已咨行鄰境緝
拏難保不潛回旗籍著安徽巡撫順天府五城一
體嚴拏務獲究辦欽此

105 光緒二十三年二月十八日內閣奉

上諭祥麟等奏職官被控訊明各情一摺請將察哈
爾總管達爾濟游牧員外郎國仁交部照例分別
議處等語摺內未將奏案隱匿等情切實聲敘殊
未明晰著祥麟等明白回奏再降諭旨欽此

106 光緒二十三年二月十八日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲結夥持械疊次搶劫盜
犯請交部審辦一摺所有拏獲之王三即王七小
胡即胡景沅小毛即毛四喜高八即高鳳汶小劉即
劉金子劉五即劉峻清等六名著交刑部嚴行審
訊按律懲辦原拏此案之出力員弁著俟刑部定
案時聲明請旨另片奏因案逃避擅離汛所之營
員請旨斥革等語南營効力世襲雲騎尉白松年
即白錫九著即行革職仍飭該營設法緝獲一併

送交刑部歸案審辦該衙門知道欽此

107

查陶模等保奏青海蒙古出力王貝子等內有頭等臺吉索南木端多布一員據理藩院查明應得

賞項摺內繕作索南木多爾濟當經臣等片查該院茲據覆稱係屬繕寫筆誤謹奏

108

雲南運銅委員補用知縣時鴻文硃。旨著該部照例給獎

109

交內閣本日軍機大臣面奏

諭旨本月二十四日進內奏事當差執事之王公文武大小官員均著穿蟒袍補褂欽此相應傳知貴衙門一體轉傳可也此交

二月十九日

110 軍機大臣 字寄

成都將軍恭 四川總督鹿 光緒二十三年二月二十日奉

上諭恭壽鹿傳霖奏甘肅拉布浪寺番僧滋擾川邊番寨查辦完結並將退還各寨及賠償銀兩開單呈覽一摺覽奏均悉甘省循化廳屬拉布浪寺番僧恃其人強地遠部落又與川境毗連川屬各番寨被其勾誘併吞為時已久現經夏毓秀前往查辦該寺番僧將所占番寨一律退還並賠償銀物辦理尚為妥協即著恭壽鹿傳霖督飭夏毓秀轉飭該土千百戶各安住牧不得再聽勾結並將札蓋二十一戶積案速為清理具棒周一犯仍飭嚴緝務獲懲辦以絕根株將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

光緒二十三年二月二十日內閣奉

上諭王文韶奏在籍臬司假期屆滿患病未痊懇請開缺據情代奏等語福建按察使張曾敬著准其開缺欽此

112 軍機大臣 字寄

陝甘總督陶 甘肅新疆巡撫饒 光緒二十

三年二月二十一日奉

上諭御史宋伯魯奏回匪逆焰難熄宜早設法籌辦
一摺據稱河湟回匪去歲肅清後仍有蠢動之勢
善後之法首在逸徙宜寬籌經費給以資斧徙諸
關外責以墾種其次則嚴查保甲等語所奏是否
可行著陶模饒應祺體察關內外地方情形妥籌
覆奏原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽遵
旨寄信前來

113 光緒二十三年二月二十一日內閣奉

上諭長萃英年奏

東陵風水圍牆坍塌甚多亟宜修整一摺著派溥善李

瑞榮前往

東陵敬謹勘估欽此

114 光緒二十三年二月二十一日內閣奉

上諭福建按察使著李興銳補授欽此

115 各省鹽運使名單

硃。長蘆鹽運使李興銳

兩淮鹽運使江人鏡

浙江鹽運使世杰

山東鹽運使豐紳泰

廣東鹽運使英啟

116 光緒二十三年二月二十一日內閣奉

上諭本日召見長萃英年據該侍郎等面奏刻下

東陵各樹株雖經竭力撥拏惟蟲災情形甚重去年夏

令已有萌芽迨至秋間蔓延愈廣該守護大臣不

將實在情形早為奏明以致撥拏諸多棘手等語

溥齡等駐守

東陵寢樹株風水攸關理應加意護視乃竟一味因循直

待簡派大臣前往始奏稱情形甚重撥拏匪易實

屬辦理顯煩溥齡麟嘉文瑞均著交該衙門嚴加

議處嗣後應如何隨時撥拏之處仍著溥齡等督

率兵役認真辦理毋得稍涉疏懈懍之欽此

117 光緒二十三年二月二十一日內閣奉

上諭御史宋伯魯奏奉旨交議事件請飭各部院毋得輕心駁斥等語向來臣下條陳事件奉旨交該管各部院議奏自應準情度理斟酌盡善固不得徧執成見概行議駁亦豈得不論可否率行議准嗣後遇有交議事件各該衙門務當權衡事理秉公定議至陳奏各員亦不應逞其臆見形諸奏牘是非所在自難逃朝廷洞鑒也欽此

118 附生方廷珍

硃。旨着以主事用

119 六品廕生馬廣熙

硃。旨着以通判用

120 已革騎都尉又一雲騎尉壽山

硃。旨着仍留世職

121 本日侍郎長萃等奏

東陵風水圍牆亟宜修整摺奉明發

諭旨着溥善李端棻前往勘估御史宋伯魯奏回匪

肅清宜籌安插摺奉寄信

諭旨令陶模饒應祺妥籌具奏又奏奉

旨交議事件各部院毋得輕心駁斥片奉明發

諭旨嗣後交議事件各部院秉公定議謹將

恭呈

慈覽謹

奏

二月二十一日

122 光緒二十三年二月二十二日奉

旨依議欽此

理藩院奏裕馬達並長柄驛洋槍請發給護照摺

123 光緒二十三年二月二十三日內閣奉

上諭世網著留京當差熱河正總管著延曾補授欽此

124 光緒二十三年二月二十三日內閣奉

上諭本日京察補行引見之太常寺卿慶福大理寺少卿三德太醫院右院判李德昌均著照舊供職

欽此

125 光緒二十三年二月二十三日內閣奉

上諭御史王廷相奏請飭整頓宗室覺羅官學一摺著宗人府會同管學大臣妥議具奏欽此

126 本日御史王廷相奏請整頓宗室覺羅官學摺

奉明發

諭旨令宗人府會同管學大臣妥議具奏又奏京察

關係激揚大典片奉

旨存謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

二月二十三日

127 光緒二十三年二月二十四日內閣奉

上諭雲南曲靖府知府員缺著謝雋杭補授欽此

128 查雲南曲靖府知府係衝繁疲難最要缺謹

奏

129 光緒二十三年二月二十四日內閣奉

上諭長蘆鹽運使員缺著景星補授欽此

130 俸深知府名單

山西大同府知府國鈞 正紅滿監生

安徽徽州府知府春岫 正白滿監生

浙江紹興府知府霍順武 鑲黃滿監生

熱河承德府知府福謙 鑲白滿監生

貴州思州府知府恩倫 正藍滿官學生

浙江嘉興府知府宗培 正白滿官學生

四川綏定府知府增賚 正藍滿監生

湖北宜昌府知府存厚 內務府正白滿監生

四川敘州府知府王麟祥 山西監生

湖北鄖陽府知府許有麟 浙江監生

131 俸深道員名單

貴州糧儲道黃元善 湖北進士

河南河陝汝道沈守廉 浙江餘杭人

浙江甯紹台道吳引孫 江蘇舉人祖籍安徽

江西廣饒九江道誠勳 正紅滿族生

直隸大順廣道萬培因 福建進士

廣東南韶連道阿克敦 鑲藍滿族生

雲南鹽法道普津 鑲白滿族生

江西鹽法道裕昆 鑲白滿族生員

湖北安襄鄖荆道朱其燾 浙江餘杭人

甘肅蘭州道黃雲 湖南進士

132 光緒二十三年二月二十四日內閣奉

上諭依克唐阿等奏勘估

福陵

隆恩殿工程請擇吉興修一摺著欽天監於本年三月

內選擇吉期先行知照即著依克唐阿鍾靈屆期

會同敬謹興修餘著照所議辦理欽此

133 光緒二十三年二月二十五日內閣奉

上諭孫家鼐等奏請以候補同知謝裕楷補西路同知

一摺著吏部議奏欽此

134 光緒二十三年二月二十五日內閣奉

上諭吳廷芬奏請賞假回籍修墓一摺吳廷芬著給

假兩箇月准其回籍修墓欽此

135 光緒二十三年二月二十五日奉

旨准其留京欽此

宗人府奏移唐宗室之屬某呈請留京摺

136 交順天府本日

貴衙門奏宗室常祥捐助賑米請給獎敘等語

軍機大臣面奉

諭旨著獎給八品筆帖式餘依議欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

二月二十五日

137 軍機大臣 字寄

河東河道總督任 山東巡撫李 光緒二十

三年二月二十六日奉

上諭劉坤一奏江北冬漕遵辦河運請飭疏濬河道

一摺據稱濟甯戴廟開河袁口靳口安山一帶節

節淺阻十字河年挑年淤十里鋪陶城埠口門內

外淤墊更甚均須大加挑濬等語南漕關繫緊要

去年運船來回均極阻滯此次漕船經行河道必

須豫籌疏濬方能迅速抵通著任道鎔李秉衡嚴

飭該管河道各員認真挑濬務期一律深通並將

各缺口分別堵築堅實以利漕行將此由四百里各

諭令知之欽此遵

旨寄信前來

138 光緒二十三年二月二十六日內閣奉

上諭吳廷芬現在請假修墓吏部右侍郎著張英麟

兼署其所署工部右侍郎兼管錢法堂事務著楊

頤暫行兼署欽此

139 應兼署工部右侍郎名單

吏部左侍郎徐用儀 現兼署戶部左侍郎

戶部右侍郎陳學棻 現兼署禮部左侍郎

硃 禮部右侍郎張英麟

兵部左侍郎徐樹銘 現兼署刑部右侍郎

○ 右侍郎楊頤

刑部左侍郎李端棻 現兼署工部左侍郎
現在山差

140 應署工部右侍郎名單

內閣學士唐景崇

梁仲衡

陸寶忠 現兼署都察院左副御史

都察院左副都御史壽昌

詹事府詹事瞿鴻禨

141 光緒二十三年二月二十六日內閣奉

上諭陝西陝安道員缺著恩壽補授欽此

142 查陝西陝安道係衝繁疲難要缺謹

奏

143 光緒二十三年二月二十六日內閣奉

上諭載信等奏工程情形重要請派大臣查勘一摺

慕陵

慕東陵

寶城

寶頂暨應修各工著派堃岫前往敬謹查勘奏明辦理

片併發欽此

144 光緒二十三年二月二十六日內閣奉

上諭胡聘之奏特參捕務廢弛諱匿盜案之知縣請

旨革職一摺山西天鎮縣知縣李金章署蒲縣知

縣王金鑰平日捕務廢弛事後又不認真查緝且

敢規避取巧諱匿不報亟應從嚴懲處以儆官邪

李金章王金鑰均著即行革職另片奏教職人員

隨時甄別等語霍州學正王恩紱擅離職守干預

公事左雲縣訓導孔廣華老邁昏庸不堪訓迪按

察司經恩倪德麟行止不端聲名甚劣前代理趙
城縣知縣科布爾巡檢陳長齡性情貪謬擅責生
員試用縣丞章金鏞素習刀筆不安本分均著一
併革職以示懲儆餘著照所議辦理該部知道欽此

145 光緒二十三年二月二十七日內閣奉

上諭四川成都府知府員缺緊要著該督於通省知
府內揀員調補所遺員缺著潘炳年補授欽此

146 軍機大臣 字寄

甘肅提督董 光緒二十三年二月二十八日奉

上諭董福祥奏請給假回籍省親一摺董福祥恩親

念切出於至誠現在軍務已平自應俯如所請以

遂孝思著賞假兩箇月回籍省視所統各營著選擇

部下得力之員暫行代統假滿後即著迅速回營

認真訓練嗣後仍遵前旨添募四營以足二十營之數

該提督毋庸來京覆命將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

147 軍機大臣 字寄

駐藏幫辦大臣訥 光緒二十三年二月二十八日奉

上諭訥欽奏遵查達賴情形籌擬辦法並番情狡詐派員勸導各摺片覽奏均悉界務與贖事分別辦理所籌甚是番人性多頑梗難保不藉詞挾制必須使之中心悅服方無後患現在鹿傳霖已派知府裕綱入藏開導該大臣務當與之悉心妥商因勢利導總期早日完結為要將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

148 光緒二十三年二月二十八日內閣奉

上諭廷茂奏副都統在途病故懇恩賜卹一摺輝春副都統沙克都林札布於咸豐年間隨同都興阿等轉戰陝甘新疆直隸奉天各省屢立戰功洵升領隊大臣參贊大臣副都統於旗務邊務均能認真整頓茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照副都例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察

例具奏欽此

149 光緒二十三年二月二十九日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨多羅貝勒溥偉著賞戴三眼花翎欽此

150 光緒二十三年二月二十九日奉

旨江南織造著增崇去欽此

151 光緒二十三年三月初一日內閣奉

上諭王文韶奏查明大窪地畝請分別蠲減緩徵糧賦一摺直隸文安天津二縣低窪地畝積水未消上年夏間又復大雨禾稼多被淹浸若將應徵糧賦照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有文安縣蘇橋等五十一村大窪民糧地一千一百八十八頃十二畝零應徵光緒二十二年無閏糧銀七成銀四千七百零內蘇橋等三十九村應徵七成正銀三千三百五十五兩零著全行蠲免魯代莊等十二村應徵七成正銀六百五十兩零著減一半銀三百二十五兩零其餘一半著緩至本年秋後徵天津縣趙沽里等十村民糧地三百項九畝零額徵光緒二十二年無閏糧銀七百四十二兩零內趙沽里等七村應徵六百四十二兩零著減免一半銀三百二十一兩零節年錢糧併著緩至本年秋後徵以示體恤該督即刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

152 光緒二十三年三月初一日內閣奉

上諭吳廷芬現在請假修墓管理戶部三庫事務著陳學棻署理欽此

153 應署管理戶部三庫事務名單

大學士李鴻章

徐桐

協辦大學士吏部尚書李鴻藻 現在請假

戶部尚書翁同龢

禮部尚書孫家鼐

兵部尚書徐郁

刑部尚書薛允升

都察院左都御史錢應溥

殊。戶部右侍郎陳學棻

禮部右侍郎張英麟

兵部左侍郎徐樹銘

右侍郎楊頤

刑部左侍郎李端棻 現在出差

157 軍機大臣 字寄

直隸總督王 光緒二十三年三月初四日奉

上諭戶部奏直隸養兵太多亟宜大加裁減並請將淮軍就餉裁併各摺片直隸綠營兵額久已甲於各省同治以來曾國藩始奏設練軍李鴻章復奏留淮軍現在淮練各軍俱不足恃又有袁世凱鼎士成新建挑練之軍合計兵勇之數不為少矣儻新營既經添練舊營仍不議裁不但餉項年絀一年難乎為繼當茲償款期迫待撥孔殷計將安出王文韶久歷中外洞澈盈虛諒已籌之至孰著按照戶部所奏督飭藩臬等司將直隸綠營練軍兩項應行裁減若干悉心規畫迅速具奏總以節省常年餉項能至百萬為準至淮軍各營惟鼎士成所統係特旨派練之師並著王文韶就歲撥實解准餉數目通盤合算先儘鼎士成一軍供支此外各淮軍嚴行裁汰剋期歸併騰出海防捐項以備償還洋款之用勿再因循贍顧徒託空言原摺一件片均著鈔給閱看將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

158 軍機大臣 字寄

南洋大臣兩江總督劉 光緒二十三年三月

初四日奉

上諭戶部奏南洋防營尚多亟宜汰併等語東事就款以來江南設立自強軍必應認真約束力求整頓此外如榆關之撤回各營長江之內河水師疊經諭令嚴加裁汰總未據劉坤一詳細具奏當茲償款期迫待撥孔殷中外諸臣自應合力圖維著劉坤一按照該部所奏將南洋各防營並該省水陸兵勇兩項認真裁汰迅速覆奏毋得約略減成仍蹈因循故轍原片著鈔給閱看將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來 鈔交戶部

159 軍機大臣 字寄

浙江巡撫廖 光緒二十三年三月初四日奉
上諭戶部奏浙江新舊各營請大加裁併等語近年
以來浙江籌辦海防陸續添募勇丁三十餘營副
僅裁去十八營數計需餉尚鉅自應儘數及早全
裁該部所稱少養無用之兵騰出至艱之餉以清
還萬不可緩之償款凡在疆臣諒無不力圖補救
著廖壽豐按照該部所奏務即迅速將海防添募
各營一律全裁並將舊有之營分別裁併操練原
片著鈔給閱看將此由四百里諭令知之欽此遵
旨寄信前來

鈔交戶部

160 軍機大臣 字寄

河南巡撫劉 光緒二十三年三月初四日奉
上諭戶部奏請將河南防營裁汰等語河南與山東
毘連同屬腹地現在山東兵勇業經李秉衡奏明
大加裁減豫省事同一律自應仿照辦理綜計該
省勇練多至二十餘營實屬虛糜鉅款所有豫正

豫捷等營著劉樹堂剋期裁汰切實履奏節出餉
項以備歸還洋款之用毋得遷延搪塞原片著鈔
給閱看將此由四百里諭令知之欽此遵
旨寄信前來

鈔交戶部

161 光緒二十三年三月初四日內閣奉

上諭嵩崑奏考覈屬員分別舉劾一摺貴州鎮遠府
知府全琳績潔已愛民器識遠大思州府知府恩
綸精明穩練措置裕如正安州知州李上珍善政
宜民在任有聲黃平州知州瞿鴻錫盡心民事裨
益地方天柱縣教諭王維恪品學兼優勤於訓士
鎮遠縣教諭王琪林年健學優課士得法以上各
員均著交部從優議敘候補知府李樹人心術不
正行止有虧凱里衛千總彭宗鴻不知檢束藉端
需索均著即行革職以示懲儆該部知道欽此

162 光緒二十三年三月初四日內閣奉

上諭戶部奏遵議解清甘鈞各員應給獎敘請旨辦

理一摺著吏部議奏單併發欽此

163 明保直隸試用道林志道

硃○旨著仍交軍機處存記

164 道員用前貴州興義府知府鄒元吉

硃○旨著以簡缺知府用

165 道員用前貴州興義府知府鄒元吉

旨著仍以知府用

166 道員用前貴州興義府知府鄒元吉

旨著以同知用

167 軍機大臣 字寄

兩廣總督譚 廣東巡撫許 光緒二十三年
三月初五日奉

上諭有人奏廣東盜賊充斥由於地方官縱盜殃民
請飭查辦一摺據稱廣東南海等縣搶劫重案層

見迭出著南海縣知縣黃恩三水縣知縣林兆鏞
花縣知縣祝掄望均有縱盜殃民確據長甯附近
地方土匪時復蠢動等語盜賊肆劫全在地方官
認真緝捕方能消弭隱患若如所奏情形該省捕
務廢弛已可概見著譚鍾麟許振禕按照所奏各
節確切查明據實奏參並通飭所屬地方文武認
真緝捕儻敢仍前廢弛立即從嚴參辦毋稍寬縱
另片奏督標親軍參將張鍾拘人治罪幾至激變
南海縣知縣李微庸於應著揭陽等縣任內縱令
其子李準出外招搖該令並有放出犯人得賄巨
萬情事已革知縣潘泰謙在省逗留鑽營並推薦
家丁於新任南海縣知縣署內通信圖利等語並
著該督撫查明奏參毋得徇袒回護至潘泰謙既
係革職人員自不應逗留在省著即驅逐回籍原
摺片均著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

168 軍機大臣 字寄

浙江巡撫廖 光緒二十三年三月初五日奉

上諭有人奏浙江歸安縣地丁前任知縣沈寶音所立飯食費名目前據該撫覆奏早經勒碑示禁乃上年復有舉人姚陞聞上控之案經藩司批令改章設櫃現任知縣朱鑑章惑於差役門丁之言欲嚴辦數人立威於鄉民入城納糧時誣以糾眾抗糧妄挈多人嚴刑逼供並有酷斃人命情事請飭查究等語該縣地丁陋規迭經勒碑申禁何以該地方官並不遵辦如所奏誣挈刑逼各節吏出情理之外著廖壽豐確切查明據實參辦並嚴定章程歸安地丁必應比照烏程設櫃徵收不准再有苛擾以蘇民困原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

169 光緒二十三年三月初五日内閣奉

上諭甘肅甯夏道員缺著胡景桂補授欽此

170

查甘肅甯夏道係衝繁難要缺謹

奏

171 光緒二十三年三月初五日内閣奉

上諭廖壽豐奏特參衰庸不職各員一摺浙江奉化縣知縣黑式源精力就衰難膺民社著原品休致黃巖縣知縣唐濟辦事粗率不洽與情著開缺另補仁和縣縣丞張澄擅受民詞居心巧詐蘭谿縣典史高煥喜事妄為不知檢束均著即行革職以肅官方餘著照所議辦理該部知道欽此

172 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨御史陳其璋奏錢價日昂亟宜設法變通一摺著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計部鈔摺二件
三月初五日

173 本日御史陳其璋奏請變通錢法摺奉交片

諭旨令戶部議奏又奏浙江歸安縣浮收錢糧片奉

寄信

諭旨令廖壽豐查辦李念茲奏廣東官吏縱盜殃民摺又奏參將張鍾等劣蹟據實糾參片奉寄信

諭旨令譚鍾麟許振禕查辦謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

174 光緒二十三年三月初六日內閣奉

上諭兵部會同宗人府吏部奏遵議處分一摺守護東陵鎮國公溥齡輔國公麟嘉著革去職任並罰本爵半俸四年毋庸查級議抵馬蘭鎮總兵兼總管內務府大臣文瑞著即行革職欽此

175 光緒二十三年三月初六日內閣奉

上諭甘肅甯夏府知府員缺著崇俊補授欽此

176 查甘肅甯夏府知府員缺係衝繁疲難要缺謹

奏

177 本日侍郎徐樹銘奏請

飭各省興辦醫藥摺奉

旨存謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

178 軍機大臣 字寄

宗人府 光緒二十三年三月初七日奉

上諭王文韶奏玉田縣民人賄託言官奏免差徭請旨辦理一摺上年二月間溥松奏參直隸玉田縣苛派差徭一案業經王文韶查明覆奏茲據奏稱訊據民人李振鐸等僉供溥松有受賄情事等語已革御史溥松著宗人府傳案訊明據實覆奏原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

179 軍機大臣 字寄

湖廣總督張 光緒二十三年三月初七日奉

上諭御史張仲忻奏湖北災區甚廣請寬撥銀米飭地方官切實辦理一摺據稱湖北鄖陽宜昌施南各屬上年因旱潦迭乘顆粒無收被災情形極為

三月初六日

慘苦地方官相率諱匿截漕之旨已下而辦賑尚無明文附近荆門所屬之當陽縣飢民已藉故滋事宜昌川東一帶亦均蠢動現在三府被災丁口約在百萬以外僅恃官籌紳助既難周偏亦患遲延等語湖北上年灾情極重迭經降旨截漕散放並據該督撫奏稱業已分別籌款賑恤若如所奏情形是該地方官於灾賑一事並未切實辦理著張之洞查明各屬灾區究竟應否寬撥銀米賑濟之處酌量情形嚴飭地方官認真辦理以拯灾黎原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

180 光緒二十三年三月初七日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲結夥偷鋸靜安莊樹株人犯請交刑部會同宗人府審辦一摺所有拏獲之蘇六即蘇得福王祿李六張文和段成連即段丁兒等五名著交刑部會同宗人府嚴行審訊按律懲辦未獲之宗室趙志惠暨閩七閩騷兒等犯仍飭嚴緝務獲究辦該衙門知道欽此

181 本日御史張仲炘奏湖北灾區甚廣請速籌賑濟摺奉寄信
諭旨令張之洞等查明辦理謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

182 軍機大臣 字寄

署理吉林將軍延 光緒二十三年三月初八

日奉

上諭延茂奏三姓金廠逸匪分竄東山一帶現經邊練兩軍接剿已就肅清一摺覽奏均悉此次該統領等分隊進剿先後四月中焚毀木城一座賊巢四處搶斬首夥各匪百餘名勦辦尚屬得手惟匪首唐殿榮及十四閩王尚未弋獲仍著延茂嚴飭該統領等督率營哨各員認真控緝務得實在下落毋任越界紛竄餘著照所議辦理將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

183

光緒二十三年三月初八日内閣奉
上諭馬蘭鎮總兵兼總管內務府大臣著松安補授
欽此

184

應放馬蘭鎮總兵兼總管內務府大臣名單

吏部左侍郎崇光 現在請假

右侍郎溥善

戶部左侍郎立山

右侍郎溥良

禮部左侍郎埜岫

右侍郎溥頤

兵部左侍郎榮惠

右侍郎文治

刑部左侍郎阿克丹

右侍郎文琳

工部左侍郎鳳鳴

右侍郎英年

理藩院左侍郎綿宜

右侍郎會章 現在請假

硃

○

倉場侍郎長萃

內閣學士壽耆

清銳

松安

綿文

闊普通武

準良 現在請假

都察院左副都御史奕林

良培

通政使司通政使薩廉

大理寺卿明桂 現在請假

詹事府詹事崇寬

太常寺卿慶福

光祿寺卿常明

太僕寺卿印啟

185

副都統名單

芬車 差

彭壽

官祥
 榮和差
 色楞額
 恩燾
 德魁
 永隆
 奕功
 果勒敏
 英信
 定昌
 載卓
 明秀
 祥普
 灃深
 敬昌
 明惠差
 舒存
 玉書
 信恪

186

滿頭班

花翎三品銜應升之缺升用 記名道府戶部郎中孚琦
 補郎中後加三品銜即選道四品銜理藩院即補郎中多壽

善耆
 恩普
 廣忠差
 色普徵額差
 志鈞
 秀吉
 希朗阿
 耆齡
 福森布
 福珠禮
 明安
 愛隆
 玉璋
 吉恆
 鈕楞額

道員用得道員後加三品銜花翎四品銜理藩院即補郎中志樸
道員用得道員後加三品銜花翎三品銜兵部郎中惠兆
四品銜理藩院即補員外郎題署主事豐陞額
四品銜戶部員外郎雲騎尉世職慶連
四品銜兵部員外郎麟緒
戶部即補主事恆斌
候補侍讀先換頂戴內閣貼寫中書桂蔭
漢頭班
花翎三品銜署太常寺少卿內閣侍讀學士陳邦瑞
四品銜 記名御史吏部員外郎徐士佳
四品銜工部員外郎王彥威
四品銜內閣即補侍讀胡祖謙
得道員後加三品銜花翎三品銜 記名道府禮部郎中郭寶炳
四品銜即補郎中刑部員外郎李燁賓
四品銜 記名道府兵部員外郎濮子潼
刑部即補員外郎盧震
工部候補主事甘大璋
四品銜兵部員外郎張嘉猷
內閣候補中書李象寅

滿二班
花翎四品頂戴國子監司業特圖慎
花翎三品銜應升之缺升用 記名道府戶部郎中和爾慶額
三品銜戶部郎中榮霖
即選知府補郎中後加三品銜四品銜理藩院員外郎承祐
刑部員外郎 記名道府玉貴
升郎中後即選知府升用郎中四品銜理藩院員外郎文年
內閣候補侍讀中書英秀
刑部候補主事來秀
漢二班
三品銜即選道刑部員外郎李蔭鑾
三品銜吏部郎中 記名繁缺知府王嘉禾
三品銜 記名御史吏部即補員外郎孫朝華
四品銜刑部即補郎中郭之全
四品銜刑部員外郎鄭炳麟
三品銜 記名道府戶部員外郎馮汝駮
五品銜內閣即補侍讀楊壽樞
戶部主事凌福彭
禮部候補主事王慶平

吏部候補主事孫筍經

四品銜刑部候補主事何葆麟

187 光緒二十三年三月初九日奉

旨鄧華熙著准其抵銷餘依議欽此

吏部奏鄧華熙等抵銷餘依議請旨

188 光緒二十三年三月初十日内閣奉

上諭李秉衡奏歷城小沙灘等處漫口堵築合龍請將出力各員弁分別獎敘一摺本年正月開山東歷城章邱交界之小沙灘胡家岸兩處民捨漫決成口經李秉衡督率在工員弁將胡家岸口門先行堵合三月初二日復將小沙灘口門一律合龍辦理尚為迅速所有總辦提調及本汛營官應得處分著准其寬免其尤為出力之記名總兵廣西候補副將楊昌魁著充補副將仍以總兵記名蘭放已革總兵銜山西撫標中軍參將方致祥著開復原官遊擊吳明楫張金榜均著以參將儘先補用參將吳志宏遊擊華國章均著加副將銜都司

張振基著以遊擊儘先補用都司李玉田孫明山姚松山徐正誠均著加遊擊銜山西補用千總章清凱儘先千總王玉春郭大成均著以守備儘先補用以示鼓勵餘著照所議辦理該部知道欽此

189 光緒二十三年三月初十日内閣奉

上諭山東道御史秀林等奏北城坊汛捕務廢弛據實嚴叅一摺據稱北城地面搶劫之案層見疊出該地面弁勇等並無一獲難保無養賊情事等語北城地面捕務廢弛已極該坊汛所司何事殊堪痛恨北城吏目孫起榮著即行革職西珠汛都司王連捷應得處分著步軍統領衙門查明嚴叅以示懲儆該部知道欽此

190 光緒二十三年三月初十日内閣奉

上諭巡視南城御史穆騰額等奏獲盜出力官紳遵駁改獎一摺著吏部議奏欽此

191 光緒二十三年三月初十日奉

旨著咨行戶部如數發給即由該衙門派員承修欽此

內務府奉旨修葺親王園寢全工州

192 交順天府御史戴麟奏京城錢店請照

舊章取具保結等語軍機大臣面奉

諭旨著步軍統領衙門順天府五城申明舊章妥為

辦理欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

計給鈔片一件
三月初十日

193 本日御史戴麟奏時事多難請

飭臣工力戒因循摺奉

旨存又奏京城錢店請

飭仍照舊章取具互保切結片奉交片

諭旨著步軍統領衙門順天府五城申明舊章妥為

辦理御史秀林等奏特參捕務廢弛之吏目孫起

榮等請懲處摺巡視南城御史穆騰額等奏獲

盜出力員紳遵駁改獎摺奉明發

諭旨各一道謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

194 光緒二十三年三月十一日奉

旨這所參疏防監犯越獄脫逃之福建崇安縣典史

周錫琮著即革職交違實泉提同刑禁人等嚴訊

有無鬆刑賄縱情弊按律懲辦有獄官署崇安縣

知縣郝秀椿著交部照例議處仍勒限嚴拏逸犯

祝謀林務獲究辦餘著照所議辦理該部知道欽此

195 光緒二十三年三月十一日奉

旨依議單圖併發欽此

溥善等奏摺
東陵園情形摺

196 本日給事中文郁奏纂修會典請慎選清漢兼

長之員摺又奏請查禁東安縣賭稅片均奉

旨存謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

三月十一日

197 六品廢生葉光心

硃。 旨著以通判用

198 六品廢生永祥

硃。 旨著以驍騎校用

199 六品廢生兼雲騎尉錫昌

硃。 旨著發回原處以防禦用

200 光緒二十三年三月十二日內閣奉

上諭御史宋伯魯奏請添扣各項減平以裕利源一摺著戶部議奏欽此

201 交工部本日御史宋伯魯奏凡遇應辦大工經欽派大臣勘估後仍交工部詳議數奏等語軍機大臣面奉

諭旨著工部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交 計黏鈔片一件

三月十二日

202 交 順天府五步軍統領衙門 本日御史宋伯魯奏近來京城搶劫之案層見迭出請

飭嚴拿等語軍機大臣面奉

諭旨著步軍統領衙門順天府五城認真拏辦欽此

相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交 計黏鈔片一件

三月十二日

203 本日御史宋伯魯奏請添扣各項減平以裕利源一摺奉明發

諭旨戶部議奏又奏凡遇應辦大工經

欽派大臣勘估後仍交工部詳議數奏片奉交片

諭旨工部議奏又奏京城劫案疊出請嚴行拏辦片

奉交片

諭旨著步軍統領衙門順天府五城認真拏辦謹將

原摺片恭呈

慈覽謹

奏

204 光緒二十三年三月十三日內閣奉

上諭巡視東城御史連陞等奏遵保孥獲鄰境影劫盜犯出力之司坊紳董各員請獎一摺著吏部議奏單併發欽此

205 交吏部本日

貴部帶領引

見之

盛京金州倉官一缺擬陪之筆帖式裕謙奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交

三月十三日

206 考取國子監蒙古司業理藩院郎中恭額

殊。旨著記名

207 考取國子監蒙古司業理藩院郎中恭額

旨著毋庸記名

208 光緒二十三年三月十五日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨據孚敬郡王福音奏稱伊子貝勒載澍情悽乖張不遵教訓平日多有觸忤情事本月初九日孚敬郡王福音壽辰該貝勒先期捏病請假懿旨賞賜壽物並未敬謹跪接本府家庭亦未叩祝實屬膽大藐法孝道有虧若不從嚴懲辦殊乖孝治之意載澍著革去貝勒交宗人府重責八十板於空室永遠圍禁著派宗令禮親王世鐸傳旨遵行其孚敬郡王應行承繼之人著該福音自行擇定請旨辦理欽此

209 光緒二十三年三月十五日內閣奉

上諭陶模奏辦事大臣丁憂懇請開缺據情代奏一摺奉順著賞假百日回旗穿孝西甯辦事大臣著聯魁署理該衙門知道片併發欽此

210 光緒二十三年三月十五日內閣奉

上諭依克唐阿奏哨官巡查遼河槍斃事主請革職嚴訊等語奉天後軍左營哨官補用都司唐玉清帶隊巡河輒疑被劫船隻為賊遽令兵丁開槍致將事主已革山西候補知府王兆槐轟斃所供疑賊情形亦有未確唐玉清著即行革職歸案嚴行審訊該部知道欽此

211 光緒二十三年三月十五日內閣奉

上諭崇善奏照案整頓馬政請飭部議奏並解送京馬上駟院指派署翼領文琳請飭部歸併前案查覈辦理各摺片著兵部查明該副都統先後奏咨各案按照例章悉心覈議具奏另片奏前參賠補馬匹之案查得降調翼領景美等向各羣攢湊攜銀赴京賄通上駟院左司員外郎繼德等朦蔽回堂奏准行令將已收之賠交馬匹馬價暨原參處分均無庸置議並查出副牧長保祿等致各羣牧長私函原信三紙呈覽等語案關司員納賄罔上營私虛實亟應澈究降調牧長景美副牧長保祿

奎齡牧副升祿均著斥革由該副都統派員解交刑部嚴行審訊上駟院左司幫辦郎中員外郎繼德筆帖式恆有即胡月波著一併聽候傳質該衙門知道欽此

212 光緒二十三年三月十六日內閣奉

上諭溥倫著管理樂部事務欽此

213 本日通政司參議楊宜治等奏川省灾情過重請

飭於鹽釐各局撥款接濟摺又奏請停本省賑捐派員分赴無災省分募捐協濟片謹將原摺片恭呈

慈覽俟

發下後再繕寄信

諭旨一道謹

奏

三月十八日

214 軍機大臣 字寄

戶部 四川總督鹿 光緒二十三年三月十

九日奉

上諭朕聞四川川東一帶去年秋霖為災飢民衆多時深廬念本日欽奉

皇太后懿旨特頒內帑十萬兩交鹿傳霖為川省賑撫之用

深宮軫恤災區無微不至該地方官尤應切實散放務使實惠及民茲據通政使司叅議楊宜治等滬陳川省慶綏忠三屬被災情形著戶部再行籌撥銀十萬兩由鹿傳霖於該省鹽釐各款內先行墊發以期迅速其採買糧米一節並著咨行湖南安徽各巡撫出示招商由輪船運往所過關卡准其免抽釐稅以廣招徠至該叅議等另片所奏川省灾後之後勸辦賑捐民力未逮請於鄰省勸募等語並著鹿傳霖酌量情形咨商辦理原摺片均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

215

軍機大臣 字寄

湖廣總督張 光緒二十三年三月十九日奉

上諭湖北各屬被災較重本日朕欽奉

皇太后懿旨特頒內帑銀五萬兩為賑撫之需

深宮軫恤災區該地方官尤當覈實散放務使實惠及

民前據張之洞等奏請截留漕米運費並推廣賑捐業經戶部分別議准即著張之洞督飭所屬認真辦理毋稍遲延將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

216 光緒二十三年三月十九日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨四川川東一帶湖北鄖宜施等屬均因上年秋雨為灾冬間又復亢旱民情均形困苦深堪憫惻著於宮中節省內帑項下賞給四川銀十萬兩湖北銀五萬兩交鹿傳霖張之洞妥速賑濟以全民命欽此該督等務當仰體

聖慈軫念黎元之至意妥為分撥認真散給務期實惠及民毋得稍有弊混欽此

217 光緒二十三年三月十九日內閣奉
上諭河南開歸陳許道員缺著穆奇先補授欽此

218 查河南開歸陳許道係繁難要缺謹

奏

219 軍機大臣面奉

諭旨前因上駟院應差馬匹羸瘦疊經降旨諭令加
意餵養近來該衙門應差馬匹仍多羸瘦不堪乘
騎實屬不成事體嗣後該堂官務須嚴飭司員等
認真餵養一律臆壯儻仍前疲玩定將該堂司各
官一併重懲決不寬貸懾之欽此

220 交上駟院本日軍機大臣面奉

諭旨前因上駟院應差馬匹羸瘦疊經降旨諭令加
意餵養近來該衙門應差馬匹仍多羸瘦不堪乘
騎實屬不成事體嗣後該堂官務須嚴飭司員等
認真餵養一律臆壯儻仍前疲玩定將該堂司各
官一併重懲決不寬貸懾之欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

三月十九日

221 光緒二十三年三月二十日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏等獲冒稱招集商股議修鐵
路人犯請交部審辦一摺已革武舉李福明本係
因案擬徒逃籍管束之犯今復潛行來京並刊刻
章程知單等件到處傳送藉端招搖實屬大干例
禁著交刑部嚴行審訊按律懲辦餘依議該衙門
知道欽此

222 光緒二十三年三月二十日奉
旨依議欽此

兵部奏各省保列副參等第摺

223 光緒二十三年三月二十日奉

旨依議欽此

步軍統領衙門奏等獲冒稱招集商股議修鐵
路人犯請交部審辦一摺已革武舉李福明本係
因案擬徒逃籍管束之犯今復潛行來京並刊刻
章程知單等件到處傳送藉端招搖實屬大干例
禁著交刑部嚴行審訊按律懲辦餘依議該衙門
知道欽此

224 軍機大臣 字寄

浙江巡撫廖 光緒二十三年三月二十一日奉
上諭前有人奏浙江歸安縣知縣朱鑑章惑於差役
門丁之言徵收地丁並不照章設櫃並有縱役覓
命情事當諭令廖壽豐查明參辦茲又有人在都
察院衙門聯名呈控據稱上年十二月間鄉民納
糧入城向莊差索看前藩司批飭該縣遵例設櫃
並禁科派告示莊差放槍轟傷一人並芋吳金高
等三人嚴行拷掠吳金高數日身斃該縣相驗時
使役強令屍母畫押致傷手指莊差四出滋擾六
安壩張姓致殞二命門丁陳寶受賄進言傾陷紳
士該縣受其欺罔等語案關地方官縱役殃民違
禁科斂若不從嚴參辦何以禁官邪而蘇民困著
廖壽豐歸入前次交查之案一併確切查明據實
參奏毋得稍有徇隱原摺呈均著鈔給閱看將此
諭令知之欽此遵

旨寄信前來

225 軍機大臣 字寄

駐藏辦事大臣文 駐藏幫辦大臣訥 光緒
二十三年三月二十一日奉
上諭文海奏臆事尚無端倪礙難即行入藏並敬抒
管見及顧懇開缺各摺片瞻對一業業經兵力收
復祇宜妥籌善後未便再有游移該大臣既稱礙
難入藏即著暫駐成都與鹿傳霖和衷商辦以期
早日了結前據訥欽奏稱達賴雖無輸服之意經
訥欽再三曉諭該噶布倫等頗有聳動之色允為
開警僧俗不敢復逞兵戈等語並無達賴喇嘛來
京控訴請派大員查辦之說與此次文海所奏詞
意不同究竟情形若何著訥欽詳細開導並將量
為加賞之意斟酌宣示據實覆奏文海所請派員
查辦著毋庸議此次朝廷特簡文海為駐藏大臣
原為藏事棘手起見該大臣正當力任其難方為
不負委任何得藉詞推諉率請開缺著不准行文
海摺一件著鈔給訥欽閱看將此由五百里各諭
令知之欽此遵

旨寄信前來

226 光緒二十三年三月二十一日內閣奉

上諭胡聘之奏查明已革署大同鎮總兵沈玉貴侵扣兵餉馬價修建營房等款該總兵業已身故任所寓所並無隱匿寄頓財產請飭查原籍家產備抵該總兵在任銀錢出入均係伊塔已革府經歷賈象謙一手經理該革員現已潛逃無蹤並咨明各省通緝等語著湖南巡撫將該革鎮原籍家產即行查追備抵並著各直省督撫嚴飭地方官通緝賈象謙到案徹底訊究嚴行追繳以重帑項欽此

227 交戶部本日順天府府尹胡燏棻奏由看丹至

京接造鐵路估需應用經費一摺軍機大臣面奉

諭旨著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計部抄摺仰

三月二十一日

228 光緒二十三年三月二十一日奉

旨知道了欽此

府尹胡燏棻奏赴津查看梅道工程摺

229 本日都察院奏浙江編修朱祖謀等控歸安縣

知縣縱役殃民據情代奏摺呈一件奉寄信

諭旨令廖壽豐查明奏順天府府尹胡燏棻奏由

看丹至京接造鐵路估經費摺奉交片

諭旨戶部議奏又奏前赴天津查看鐵路工程摺奉

旨知道了謹將原摺三件呈一件恭呈

慈覽謹

奏

三月二十一日

230 光緒二十三年三月二十二日內閣奉

上諭貴州鎮遠鎮總兵員缺著楊國寶補授欽此

231 查貴州鎮遠鎮總兵係陸路缺謹

奏

232 光緒二十三年三月二十三日內閣奉

上諭李鴻藻奏懇恩續假並請派員署缺一摺李鴻

藻著賞假一箇月安心調理吏部尚書著孫家鼐

兼署欽此

233

應兼署吏部尚書人員名單

戶部尚書翁同龢

禮部尚書孫家鼐

兵部尚書徐郁

刑部尚書薛允升

工部尚書許應駁

殊

○

234

應署吏部尚書人員名單

都察院左都御史錢應溥

吏部左侍郎徐用儀 現兼署戶部左侍郎

戶部右侍郎陳學棻 現兼署禮部左侍郎現任請假

禮部右侍郎張英麟 現兼署吏部右侍郎

兵部左侍郎徐樹銘 現兼署刑部右侍郎

右侍郎楊頤 現兼署工部右侍郎

刑部左侍郎李端棻 現兼署工部左侍郎

235

光緒二十三年三月二十三日內閣奉

上諭杭州副都統常恩奏二次任滿懇懇陛見一摺

向來各省將軍都統等員奏請陛見摺件例用清

字繕寫該副都統率用漢字陳奏殊屬不合常恩著交部照例議處欽此

236

光緒二十三年三月二十三日內閣奉

上諭李秉衡奏參開缺道員張上達請旨嚴懲等語開缺山東濟東泰武臨道張上達前充河工總辦憑權藉勢賄賂公行屬員求得差委拜認師生購買椿料等項任意剋扣若不予以嚴懲無以挽回積習張上達著即行革職以示懲儆該部知道欽此

237

軍機大臣 字寄

閩浙總督邊 光緒二十三年三月二十四日奉

上諭有人奏藩司驕貪不職據實糾參一摺據稱福建藩司黃毓恩驕恣貪詐婪索門包門丁高二高三最為信任稅釐局提調平元燧善後局支應唐時兩皆與之締結朋比為奸等語藩司為通省表率責任極重所奏如果屬實必應從嚴懲儆著邊寶泉按照所參各節確切查明據實具奏毋稍徇隱原摺着鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

238 軍機大臣 字寄

浙江巡撫廖 光緒二十三年三月二十四日奉

上諭有人奏浙江歸安縣知縣朱鑑章誣指鄉民糾眾抗糧有吳姓者受箠垂斃竟死烏程縣獄中該管知府委員長興縣知縣相驗受朱鑑章囑託許給屍親銀錢希圖了結屍親不允強捉其手畫押竟有折損手指之事請飭查究訊辦等語朱鑑章縱役斃命一案屢經有人陳奏疊諭廖壽豐認真查辦此奏所參長興縣知縣相驗不實等款著廖壽豐歸入上兩次交查之案一併確切查明據實參奏毋得稍涉徇縱原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

239

交理藩院本日理藩院奏輔國公銜三品頂戴

達奏請領康儀俸祿一摺軍機大臣面奉

諭旨著准其減半支給康儀至所請比照三等台吉

支給俸祿之處著該衙門查明有無成案辦理欽

此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

三月二十四日

240

本日御史華燁奏參福建藩司黃毓恩驕恣貪縱摺奉寄信

諭旨著邊寶泉確查具奏又奏參浙江歸安縣知縣

朱鑑章等縱役斃命各款片奉寄信

諭旨著廖壽豐查明參辦謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

三月二十四日

241 光緒二十三年三月二十五日奉

旨准其加五捐復欽此

吏部奏前降調知縣殷謙可否准其加五捐復摺

242 光緒二十三年三月二十六日內閣奉

上諭依克唐阿鍾靈奏勸估

永陵明堂前草倉蘇子兩河泊岸宜修工段請擇吉興
修一摺著欽天監迅速選擇吉期即行知照著該
將軍等屆期督飭敬謹興修餘著照所議辦理該
衙門知道欽此

243 光緒二十三年三月二十七日內閣奉

上諭御史李擢英奏交議事件請飭分案奏結並由
年終彙奏一摺著各直省督撫恪遵定章將交查
及飭議事件隨時覆奏並於年終彙案奏報不准
稍有延宕欽此

244 交督辦軍務處本日御史李擢英奏請酌裁長

江水師暨各省勇營等語軍機大臣面奉

諭旨該衙門知道欽此相應傳知

貴王大臣酌量辦理可也此交

三月二十七日

245 本日御史李擢英奏各省交議事件請

飭分案議結並由年終彙奏摺奉明發

諭旨著各督撫恪遵定章奏報又奏請酌裁長江水

師及各省營勇片奉交片

諭旨該衙門知道又奏出使隨員宜定限制片奉交片

諭旨該衙門知道謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

三月二十七日

246 明保分發省分儘先題奏道袁鴻祐

硃。旨著交軍機處存記

247 軍機大臣 字寄

直隸總督王 湖廣總督張 太常寺少卿盛

光緒二十三年三月二十八日奉

上諭前據盛宣懷條陳自強大計請開設銀行業經

諭令招商集股合力興辦茲據御史管廷獻奏銀

行官設流弊宜防一摺屢疎原定章程窒礙多端

有不可解者六條大致謂銀行不必冠以中國字樣官款撥存亦須指定抵還的款及殷商擔保匯兌官款須交實銀設立商會公所止議商務不得干預金礦等務銀行設有拖欠與國家無涉自係為慎始圖終豫防流弊起見平心而論銀行之設固屬富強要圖然茲事體大中國情形與泰西各國亦有不同現當創辦伊始自應通盤籌畫以策萬全該御史所指官設銀行各流弊固宜防範惟中國不自行舉辦一任外人在內地開設據我利權亦非長策著王文韶張之洞會同盛宣懷悉心籌議究竟官設銀行利弊若何徹始徹終詳細具奏並將該御史所奏逐條聲覆以憑覈辦另片奏盧漢鐵路息借洋款國家不宜代商作保等語昨據王文韶等會奏籌辦幹路請飭發准借官款現尚未據戶部議覆該御史所奏息借洋款不宜國家擔保並鐵路萬不可作為抵押之處並著王文韶等就現在籌辦情形權衡輕重的量緩急悉心妥議具奏原摺片均著鈔給閱看將此各諭令知

之欽此遵
旨寄信前來

248 光緒二十三年三月二十八日內閣奉
上諭步軍統領著麟書署理欽此

249 應署步軍統領名單

硃。

大學士麟書

大學士崑岡

吏部尚書熙敬

戶部尚書敬信

禮部尚書懷塔布

刑部尚書松淮

理藩院尚書啟秀

都察院左都御史裕德

250

本日御史管廷獻奏官設銀行宜防弊端摺又
奏盧漢鐵路息借洋款不宜代商作保片奉寄信

諭旨著王文韶張之洞盛宣懷悉心妥籌彙議具奏

謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

三月二十八日

251 光緒二十三年三月二十九日奉

旨著於四月十五日在保和殿考試差人員欽此

252 光緒二十三年三月三十日內閣奉

上諭前因侍講學士濟澂奏參未經承襲之札薩克
擅放屬官勒取民財各節當經諭令壽蔭確查茲
據查明覆奏喀拉沁東旗札薩克巴達瑪敖斯爾
雖無私設公堂勒派銀兩實據惟於承襲札薩克
未經引見之先輒放屬官並獎給奴丁頂戴實屬
不知檢束巴達瑪敖斯爾著即行革職至摺內所
指各項陋規名目著該都統飭令概行裁革嗣後
承襲之員如再有收受陋規情弊並著隨時嚴參
該衙門知道欽此

253 光緒二十三年三月三十日內閣奉

上諭王文韶奏考察屬員分別舉劾一摺直隸清苑
縣知縣徐銘勳天津海防同知史善詒景州知州
王兆騏平山縣知縣石崑山吳橋縣知縣勞乃宣
豐潤縣知縣盧靖長垣縣知縣程熙肥鄉縣知縣
張炳嘉成安縣知縣戚朝卿望都縣知縣李兆珍
前高邑縣知縣唐則瑀候補知縣李秉和以上各
員據王文韶聲稱均屬循良之選即著傳旨嘉獎
仍飭該員等益加奮勉毋得始終異轍楊村通判
牛昶照舉止輕率歷練未深東光縣知縣吳保芳
辦事因循難勝繁要均著開缺另補臨榆縣知縣
調署寶坻縣知縣賈國楨未諳政體措置失宜懷
安縣知縣李澄泉才識平庸治事竭蹶均著以教
職歸部銓選石景山同知張恩宥慢神傲物心性
乖謬遷安縣知縣隆昇聽斷糊塗押斃多命前著
難澤縣知縣候補知縣劉兆祥性質昏庸信任丁
役前代理萬全縣知縣宣化府經歷言思居心巧
猾罔恤民艱滿城縣教諭任家瑜粗暴貪婪不守

禮法大名縣漳河縣丞教鴻勳工防廢弛聲名干
常青縣主簿陸肇森不知檢束物議沸騰趙州吏
目張傳祿馭下不嚴操守難信青縣興濟鎮巡檢
張式斌遇事生風致釀命案肅甯縣典史李鎮藩
藉端索詐行同無賴無極縣典史趙以溶舉動躁
妄心術叵測昌黎縣典史陳廷賢精神疲弱公事
懈弛均著即行革職以肅官方餘著照所議辦理
該部知道欽此

254 軍機大臣 字寄

河東河道總督任 河南巡撫劉 光緒二十

三年四月初一日奉

上諭任道鎔劉樹堂奏蘭儀縣境內黃河坐灣生險
量為籌款設法保護以防大汎一摺據稱蘭儀縣
境內大河節節南圍勢成入袖現經詳細查勘擬
飭司籌撥銀二三萬兩於舊河身內估築攔黃壩
一道先於下游擇要施工等語此項河工關係東
南大局著照該河督等所擬飭令道員陳履成督
率諳練汛員並會同地方官妥為經理該處向係
無工處所尤應倍加慎重仍著隨時察看河勢有
無變遷另行妥籌奏明辦理將此各諭令知之欽
此道

旨寄信前來

255 據河東河道總督任道鎔等咨送到河圖一件

恭呈

御覽謹

奏

256 軍機大臣 字寄

直隸總督王 光緒二十三年四月初二日奉

上諭上年十二月初五日據御史王廷相奏開平煤

礦穴採日深有關

陵寢風岬當經諭令王文韶派員前往認真查勘並著
繪圖貼說應如何嚴定界限奏明請旨王文韶奉
到此旨自應趕緊派員前往詳細查勘以昭慎重
乃迄今將屆四月尚未據該督覆奏著謹遵前旨
迅速具奏毋得再涉遲延欽此遵
旨寄信前來

257 光緒二十三年四月初二日內閣奉

上諭宗人府奏貝勒銜貝子奕謨請將不入八分輔
國公載濤過繼為嗣一摺載濤著准其過繼奕謨
為嗣欽此

258 光緒二十三年四月初二日奉

旨戶部議奏欽此

理藩院奏塔子溝稅員虧短銀兩請旨辦理摺

259 軍機大臣 字寄

江西巡撫德 光緒二十三年四月初三日奉

上諭有人奏州縣門丁書差貪毒害民江西尤甚遇有訟案差役賄買差票需索鄉民設立種種名目請飭查禁等語丁役藉案需索久干例禁若如所奏各節實為地方之害著德壽通飭各屬隨時認真稽查如有前項情弊即行從嚴懲辦以警奸宄而安民主原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

260 光緒二十三年四月初三日內閣奉

上諭御史周承光奏各省刑名積弊太深亟宜整頓一摺各直省問刑衙門遇有命盜案件自宜詳慎審訊從速辨結乃近來地方官辦理刑名往往任意延宕輾轉株連甚至嚴刑逼供更改屍格如該御史所奏情形均所不免著各省督撫督同臬司通飭所屬認真清釐力除積習儻有前項情弊立即從嚴叅辦以肅紀綱而清庶獄欽此

261 本日御史周承光奏各省刑名積弊請整頓摺

奉明發

諭旨一道又奏江西各州縣丁役藉案需索請嚴禁

片奉寄信

諭旨令德壽嚴行查禁謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

四月初三日

262 光緒二十三年四月初三日奉

旨依議欽此

吏部奉奉天御史李壬官兩人請解託摺

263 軍機大臣 字寄

湖南巡撫陳 光緒二十三年四月初四日奉

上諭有人奏疆臣徇私殃民蒙奏釀亂署臬司等朋比為奸縣令浮整虐民各摺片廣西地居邊要全在疆臣實力圖維不任屬員蒙蔽方足以資整頓若如所奏該撫史念祖種種徇私於靈川縣知縣陳

國華浮收激變有心袒護並署臬司何昭然等劣蹟昭著毫無覺察各節是否屬實著陳寶箴陳派明幹大員飭赴廣西確切查訪據實覆奏原摺片三件均著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

264 軍機大臣 字寄

科布多參贊大臣寶 光緒二十三年四月初

四日奉

上諭崇歡等奏鄰封命案久懸屍親兩次呈訴據實直陳一摺據稱光緒二十年科布多所屬杜爾伯特王旗有民人張子全被害一案經屍兄張子異在科布多控告並未認真審訊上年張子異潛來烏里雅蘇臺呈訴當經該將軍等將原告解送科城辦理現又據屍叔張元茂來烏里雅蘇臺呈訴張子異在科城候案身故屍姪張邦鎮又在科城被押各情並風聞該處司員有受賄情事等語著寶昌於抵任後提集全案秉公研訊務得確情定議具奏毋稍徇縱延宕原摺著鈔給閱看將此諭令

知之欽此遵

旨寄信前來

265 本日給事中將式芬奏廣西巡撫史念祖徇私

殃民請查辦摺又奏署臬司何昭然等劣款片

又奏靈川縣知縣陳國華違例浮收片奉寄信

諭旨令陳寶箴派員前往查辦因原摺片均須鈔錄

擬於明日恭呈

慈覽謹

奏

四月初四日

266 謹將初四日給事中將式芬封奏摺片三件恭呈

慈覽謹

奏

267 查軍機章京戶部郎中陳熾上年九月間告假

省親現在回京銷假臣等公同商酌仍令該章

京在額外行走謹

奏

268 光緒二十三年四月初八日奉

旨停止升殿欽此

鴻臚寺奉謝 恩已滿百請 升殿

269 軍機大臣 字寄

直隸總督王 陝甘總督陶 山西巡撫胡

陝西巡撫魏 光緒二十三年四月初九日奉

上諭國子監司業黃思永奏內蒙古伊克昭西烏蘭

布通二盟牧地縱橫數十里土田沃衍河套東西

尤屬膏腴山西纏金牧地如今民多私墾不如官

為經營請飭籌辦等語著王龔陶模胡聘之魏光

燾體察情形詳晰籌畫妥議具奏原片均著鈔給

閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

270 軍機大臣 字寄

甘肅新疆巡撫饒 光緒二十三年四月初九

日奉

上諭國子監司業黃思永奏新疆自建行省以後已

十餘年屯政不能興皆吏治不能整之所致該省

南路若庫車烏什和闐出金玉銅錫礦務有可開

北路若塔爾巴哈台伊犁迪化出木材藥料牛羊

皮張商務有可興全疆水道流通引渠灌田農務

有可闢請飭查覆籌辦等語新疆屯政久經興辦

究竟近來曾否著有成效並礦務商務有無可以

振興之處著饒應祺體察情形妥籌具奏至該省

吏治營制均關緊要並著該撫認真整頓毋稍疏

懈原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

271 光緒二十三年四月初九日內閣奉

上諭蘇嚕岱奏請將失察重支養贍錢糧之防尉等

官分別議處一摺養贍錢糧一戶不得支食兩分

著有定章乃古北口閑散海印常金玉伶等重支

養贍錢糧該管各官均未能查出殊屬錯誤古北

口防守尉威璋布防禦託永額驍騎校博陞升任

驍騎校博慶並前出結之現任驍騎校都倫泰著

交部分別議處餘著照所議辦理該部知道密雲

一處如此各省駐防亦難保無重支之弊均著該

將軍都統副都統隨時查察毋稍徇隱欽此

272 交總理各國事務衙門本日司業黃思永奏創

辦鐵路銀行宜用羣策羣力一摺軍機大臣面奉

諭旨該衙門議奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此文計黏鈔摺一片

四月初九日

273 本日司業黃思永奏創興鐵路銀行宜資羣策

羣力摺奉交片

諭旨令總理各國事務衙門戶部議奏又奏請開辦

內蒙古一帶收地片奉寄信

諭旨令王文韶陶模魏光燾胡聘之妥籌具奏又奏

新疆地方請舉行屯政片奉寄信

諭旨令饒應祺妥籌具奏謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

四月初九日

274 光緒二十三年四月初十日内閣奉

上諭順天府奏拏獲結夥持械拒傷事主搶劫盜犯

請交部審辦一摺所有拏獲之大頭王即王元劉

俊金鐘等三名著交刑部審明懲辦原拏此案之
獻縣知縣胡良駒著俟刑部定案時聲明請旨該
衙門知道欽此

275 光緒二十三年四月初十日奉

旨依議欽此

慶親王奏留學奏並知

善化路萬年吉地應修工程摺

276 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨吏部奏遵議處分一摺竇延督著照部議降三

級調用無庸查級紀議抵該員尚有應得降一級

調用公罪處分著准其抵銷欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此文

四月十一日

277 交吏部本日引

見黑龍江倉官擬陪之無品級筆帖式榮春奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此文

四月十一日

278 張有埏

○旨著以主事分部行走

279 張有埏

旨著以光祿寺署正用

280 軍機大臣 字寄

陝甘總督陶 陝西巡撫魏 光緒二十三年

四月十二日奉

上諭陝西鳳翔府知府張衍熙著陶模魏光燾悉心
察看如竟不能勝任即行據實奏毋稍遷就將
此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

281 軍機大臣 字寄

陝甘總督陶 光緒二十三年四月十二日奉

上諭甘肅肅州鎮總兵田在田著陶模悉心察看如
竟不能勝任即行據實奏毋稍遷就將此諭令
知之欽此遵

旨寄信前來

282 軍機大臣 字寄

湖廣總督張 湖南巡撫陳 光緒二十三年

四月十二日奉

上諭湖南永順府知府吳澍霖著張之洞陳寶箴悉
心察看如竟不能勝任即行據實奏毋稍遷就
將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

283 交戶部本日御史張兆蘭奏各省土藥行銷日

盛請變通收稅章程一摺軍機大臣面奉

諭旨戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交 計黏鈔摺片一件

四月十二日

284 本日御史張兆蘭奏各省土藥行銷日盛請變

通收稅章程摺奉交片

諭旨戶部議奏謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

四月十二日

285 光緒二十三年四月十二日內閣奉

上諭山西蒲州府知府清樓甘肅平涼府知府龐璽
湖南衡州府知府文煥均著開缺送部引見欽此

286 光緒二十三年四月十二日內閣奉

上諭陝西延鎮總兵將雲龍新疆阿克蘇鎮總兵黃萬
鵬均著開缺送部引見欽此

287 交兵部本日

貴部帶領引

見之補放密雲前鋒章京一缺擬陪之佐領額圖澤奉
旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交

四月十二日

288 軍政叅劾協辦守備張珩

旨仍照部議革職

四月十二日

289 光緒十七年辛卯科考試試差

欽命題目

疆怨而行求仁莫近焉

雷雨作而百果草木皆甲坼

賦得水而初平雲脚低 得湖字五言八韻

光緒十九年癸巳

恩科考試試差

欽命題目

澤梁無禁

辭尚體要不惟好異

賦得密林生雨意 得林字五言八韻

光緒二十年甲午科考試試差

欽命題目

論篤是與君子者乎

南山有臺北山有萊

賦得槐陰清潤麥風涼 得清字五言八韻

290 光緒二十三年四月十四日內閣奉

上諭山西蒲州府知府員缺著曾樹椿補授湖南衡州府
知府員缺著顏鍾驥補授欽此

291 查山西蒲州府湖南衡州府均係衝繁難要缺

謹

奏

四月十三日

292 光緒二十三年四月十四日內閣奉

上諭陝西延綏鎮總兵員缺著羅平安補授新疆阿克蘇鎮總兵員缺著張宗本補授欽此

293 查陝西延綏鎮新疆阿克蘇鎮均係陸路缺謹

奏

四月十三日

294 光緒二十三年四月十四日奉

旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨
知道了其禮節單內所開冠摘纓著改為兩纓冠欽此

禮部奏除服禮節摺

295 光緒二十三年四月十四日奉

旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨
依議欽此

禮部奏 醇賢親王國毅奏奉 醇賢親王嫡福晉配摺

296 交內閣轉傳各部院本日軍機大臣面奉

諭旨此次考差試卷著於十七日閱看欽此相應傳知
貴衙門欽遵可也此交

四月十四日

297 光緒二十三年四月十五日奉

旨由進士出身之滿漢侍郎內閣學士三品京堂及
四五品京堂內未與考試試差者俱著於本月二
十八日在上書房考試其不願赴考者聽仍向禮
部聲明於開列考官本內扣除欽此

298 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨四月十五日考試試差人員著於二十三二十
四二十五二十七由吏部帶領引見欽此相應

傳知

貴部欽遵辦理可也此交

四月十五日

299 光緒二十三年四月十六日内閣奉

上諭李秉衡奏河工委員買料短少請分別懲處一
摺河工修防首重措料豈容任意虧短貽誤要工
此次承辦各員購買物料均屬短少應以所短多
寡分別懲處候補知縣慶瑞劉家善松秀車映斗
均著即行革職候補知縣楊先甲王惟賢均著以
府經歷縣丞降補以示懲儆該部知道欽此

300 光緒二十三年四月十六日内閣奉

上諭崇光奏假期屆滿病仍未痊懇請開缺一摺崇
光著賞假一箇月毋庸開缺欽此

301 查此次考試試差閱卷人員除迴避告假及另

有差使不行開列外謹將各衙門開送各員繕
具名單恭候

欽點於十七日清晨

發下傳集各員聽宣查上屆考試試差閱卷欽奉
派出十人謹

奏

302 李鴻章

硃麟書

○ 翁同龢

徐郟

○ 許應睽

○ 啟秀

○ 裕德

○ 陳學棻

○ 張英麟

○ 徐樹銘

○ 楊頤

○ 阿克丹

○ 李端棻

○ 鳳鳴

○ 綿宜

壽耆

闊普通武

綿文

○ 唐景崇

崇寬

薩廉

303

奏蒙

臣 麟黃翁同龢許應欽奏陳學其徐錕郭錕劉玉勳其鑒置學崇祀

發下考試試差卷三百十四本臣等分閱遵

旨各取八卷謹將擬取者各歸一束其擬不取者亦

各歸一束統行恭呈

御覽謹

奏

304 光緒二十三年四月十八日內閣奉

上諭御史周承光奏各省積穀請酌量變通一摺著

戶部議奏欽此

305 本日御史周承光奏各省積穀請酌量變通摺

奉明發

諭旨戶部議奏又奏請

飭總理各國事務衙門揀派明幹之員接待俄使片奉

旨存謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

四月十八日

306 謹查嘉慶二十年二月內閣奉

旨乾清宮尊藏

實錄

玉牒著閒歲抖晾一次每次著軍機大臣奏派滿漢文

職大臣各二員於四月內率批本處各員暨乾清宮

總管首領大監等敬謹抖晾即自今歲為始欽此上

次光緒二十一年查照成案奏請

派員抖晾本年又屆應行抖晾年分臣等謹將滿漢

文職大員除有差事各員不行開列外分繕名

單進

呈恭候

欽派滿漢大臣各二員並將上屆
派出各員繕單恭呈

御覽所有料賒日期由該員等選擇先期知照敬事
房批本處內務府照例豫備屆期敬謹遵辦謹
奏

光緒二十三年四月十八日奉

硃筆圈出尚書啟秀侍郎溥頤陳學棻太常寺卿徐承煜

硃。 307 尚書啟秀

左都御史裕德

總管內務府大臣世續

○ 侍郎溥頤

綿宜

會章

內閣學士壽耆

通政使薩廉

308 尚書孫家鼐

○ 侍郎陳學棻

內閣學士唐景崇

○ 左副都御史壽昌

太常寺卿徐承煜

太僕寺卿劉恩溥

309 光緒二十一年

派出各員名單

敬信

懷塔布

張蔭桓

錢應溥

310 軍機大臣 字寄

四川總督鹿 光緒二十三年四月十九日奉

上諭御史陳其璋奏火油之礦與火井鹽井相連川

省瀘州等處均有火鹽二井是有火油礦之明證

外洋垂涎甚切四川官紳亦欲開採議久未成宜

選擇專門精熟之礦師履勘集股開辦等語四川
敘州等處開辦煤油礦務前據鹿傳霖奏明紳士
喬樹柵等呈請自行開辦檢討宋育仁業經該督
留辦商務現在辦理有無就緒該御史所稱雇用
洋礦師履勘之處是否可行著該督斟酌情形妥
籌辦理原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

311 光緒二十三年四月十九日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲巨盜康八案內餘匪請
交部訊辦一摺所有拏獲之康大倉頭康俊勒得
康八三兒張八王老等五名著交刑部嚴行審訊
按律懲辦未獲之楊四等仍著嚴拏務獲毋任漏
網原拏此案之營員及協緝之奉天練軍出力各
員俟刑部定案時聲明請旨餘著照所議辦理該
衙門知道欽此

312 光緒二十三年四月十九日內閣奉

上諭給事中戴恩溥奏各省州縣虧欠款項請飭從

嚴究辦一摺州縣虧短正雜官款例應嚴行追繳
近來各省辦理此等案件往往有心徇隱含混了
結除非慎重庫款之道嗣後各該督撫務當按照
半年清查之例覈實嚴辦如有查鈔之案地方官
朦混結報並著一併嚴參欽此

313 交戶部本日御史陳其璋奏各省制錢缺乏請
飭部添鑄銅圓並妥議辦法預防銷燬各摺片軍機

大臣面奉

諭旨戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計製鈔摺片各一件

四月十九日

314 文呈統辦本日軍機大臣面奉

諭旨御史陳其璋奏京師內外城迷拐幼孩之案日
多謠言紛起請飭拏辦等語著步軍統領衙門順
天府五城查明有無呈報之案飭屬隨時嚴拏究
辦欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交計製鈔摺片一件

四月十九日

貴衙門欽遵可也此文計黏鈔片一件

四月十九日

315 交順天府本日給事中戴恩溥奏牙行私抽用

錢並藉供應場差濫行需索請

飭從嚴懲辦等語軍機大臣面奉

諭旨著順天府查明嚴禁欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此文計黏鈔原片一件

四月十九日

316 本日給事中戴恩溥奏各省州縣虧欠正雜銀

兩請

飭從嚴究辦摺奉明發

諭旨通飭各省認真辦理又奏牙行私抽用錢請查

禁片奉文片

諭旨令順天府查辦御史陳其璋奏各省制錢缺乏請

飭戶部添鑄銅圓摺又奏請妥議銅圓辦法以杜銷

燬片奉文片

諭旨令戶部議奏又奏請

飭四川開辦煤油礦務片奉寄信

諭旨令鹿傳霖妥籌辦理又奏京城迷拐幼孩之案

日多請

飭認真按緝片奉文片

諭旨令步軍統領衙門順天府五城隨時查拏謹將

原摺片恭呈

慈覽謹

奏

317 光緒二十三年四月二十日內閣奉

上諭胡聘之奏請將虧短銀兩延不完繳之員革職

查鈔等語山西降選教職前署壽陽縣知縣王廷

銳虧短雜稅等銀八百餘兩前經勒限追繳迄未

完解實屬玩延王廷銳著即革職監追並將歷過

任所寓所資財先行嚴密查鈔提集經手丁書人

等究明是侵是挪照例嚴辦該革員原籍家產著

陝西巡撫一併查鈔備抵以重庫款該部知道欽此

318 光緒二十三年四月二十一日奉

旨毋庸裁撤欽此

宋人府集已詳見勅諭原摺官印數應否裁撤由

319 據吏部知照本月二十三日考試漢廕生應請

欽命論題一道策題一道於二十三日清晨

發下交

派出之閱卷大臣祇領謹將上三屆考試漢廕生題

目錄單恭呈

御覽謹

奏

320 光緒二十二年四月初十日考試漢廕生

欽命題目

解愷阜財論

西戎即欽策

光緒二十二年六月十五日考試漢廕生

欽命題目

百穀仰膏雨論

東三省墾荒策

光緒二十二年十一月二十六日考試漢廕生

欽命題目

立賢無方論

制器尚象策

321 光緒二十三年四月二十四日內閣奉

上諭陝西潼商道著錫桐調補李希杰著調補山東

登萊青道安徽鳳穎六泗道著李光久補授欽此

322 查陝西潼商道係銜繁難要欽謹

奏

323 光緒二十三年四月二十四日內閣奉

上諭陶模奏提督捐款濟賑請旨嘉獎等語甘肅海

城平遠一帶兵燹後難民流離失所提督董福祥

捐銀一萬兩賑濟鄉閭洵屬好義急公深堪嘉尚

董福祥著交部從優議敘欽此

324 光緒二十三年四月二十四日內閣奉

上諭昨日道旁叩關之兵丁杜林著交刑部嚴行審訊欽此

325 軍機大臣 字寄

各直省督撫 長江水師提督 光緒二十三年四月二十五日奉

上諭督辦軍務王大臣等會奏議覆御史李權英奏請酌裁長江水師暨各省勇營一摺長江水師分隸五省兵數既重口糧亦較綠營為優當此裁兵節餉之際自應嚴加裁汰力杜虛糜著兩江總督湖廣總督會同長江水師提督察看情形按照該御史所奏裁去二分酌留一分之議斟酌辦理限一月後迅速覆奏至各省兵勇糜餉甚鉅前據戶部奏請業經諭令各直省督撫認真裁汰並著合力通籌趕緊辦理仍將所裁兵勇數目日期分晰具奏毋稍延緩原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

二十五日寄直隸兩江長江次日寄兩湖湖北兩廣廣東江蘇江西安徽山東山西河南陝西四川

326 軍機大臣 字寄

廣東巡撫許 光緒二十三年四月二十五日奉上諭有人奏督臣袁德不堪重任據實糾參一摺據稱兩廣總督譚鍾麟精神日衰智慮昏眊署中公事悉委任其子分發江西知府譚寶箴及都司張鍾幕友家丁倚勢招搖署中開設白鴿票館闖姓商人行賄承充並有營勇尋釁傷人及搜拏旗丁草菅人命情事劣紳劉學詢劉學詮因案革職納賄賣緣奏請開復署廣州協副將鳳鳴前安定縣知縣李家焯狼狽為奸請飭查辦等語著許振禕按照所參各節確切查明據實具奏毋稍徇隱原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

327 本日督辦軍務王大臣奏議覆御史李權英奏

請酌裁長江水師暨各省勇營摺奉寄信

諭旨著各直省督撫長江水師提督認真辦理御史鄭思賢奏兩廣總督譚鍾麟不堪重任列款糾參摺奉寄信

諭旨著許振禕確查具奏又奏庫款支絀請緩修各

工片奉

旨存以上各摺片應行鈔錄分寄之件較多擬於明

日再行恭呈

慈覽謹

奏

四月二十五日

328

謹將二十四日督辦軍務王大臣等封奏摺片
三件恭呈

慈覽謹

奏

329

光緒十七年京堂考試試差論題詩題
建中于民論

賦得積於不涸之倉 得倉字五言八韻

光緒十九年京堂考試試差論題詩題

敬以直內義以方外論

賦得沙留鳥篆斜 得留字五言八韻

光緒二十年京堂考試試差論題詩題

以古為鏡論

賦得殿閣生微涼 得涼字五言八韻

330 本日侍講丁仁長奏請增修

聖德摺又奏儒先講學之書分為二門呈

覽片又奏請刊布大學衍義片又奏使臣

覲見請盛陳兵衛片均奉

旨存謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

331 光緒二十三年四月二十七日奉

旨國仁著准其抵銷餘依議欽此

兵部奏遵議處分摺

332 交翰林院本月二十三日

貴衙門具奏

醇賢親王嫡福晉期年祭文摺本日軍機大臣面奉

諭旨知道了欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此支

四月二十七日

333 軍機大臣 字寄

河東河道總督任 河南巡撫劉 光緒二十

三年四月二十八日奉

上諭御史鄭思贊奏黃河溜勢南趨請速籌辦法一摺
前據任道鎔劉樹堂奏蘭儀縣境內黃河坐灣生
險籌撥銀兩於舊河身內估築攔黃壩一道以防
大汎業經諭令妥為經理茲據該御史奏稱伏汎
伊邇河流迅猛僅此一壩安能堵截必須就入袖
處所趕緊鑲掃節迫占或築挑水壩數道以逼
河勢使之北趨等語黃流極關緊要究應如何辦
理著任道鎔劉樹堂斟酌情形妥籌具奏原摺均
著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

334 本日御史鄭思贊奏黃河溜勢南趨請速籌辦

法摺奉寄信

諭旨令任道鎔等妥籌具奏謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

四月二十八日

335 丁酉科考試試差京堂

禮部右侍郎張英麟 山東進士

兵部左侍郎徐樹銘 湖南進士

右侍郎文治 鑲紅旗滿洲進士

理藩院右侍郎宗室會章 正藍旗進士

內閣學士閣普通武 正白旗滿洲進士

宗室綿文 鑲白旗進士

宗室崇寬 鑲藍旗進士

陸寶忠 江蘇進士

通政使司通政使薩廉 鑲藍旗滿洲進士

詹事府詹事瞿鴻機 湖南進士

太僕寺卿劉恩溥 直隸進士

通政使司副使葛寶華 浙江進士

大理寺少卿貴賢 內務府鑲黃旗漢軍人

同治十二年福建鄉試副考官此
總八年廣東鄉試正考官十二年奉天
鄉試九年四川鄉試副考官五年宋
學士八年福建鄉試正考官人福建
學士九年湖南鄉試正考官五年
同治十三年會試同考官光緒十二年
鄉試正考官十年福建鄉試正考官

光緒九年河南鄉試正考官二年河
南學政十年湖南學政五年福建鄉
試正考官又四川鄉試副考官二
十年四川鄉試正考官

光緒十五年順天鄉
試同考官

光緒二年江西鄉試副考官二
十年四川鄉試正考官

神臚寺卿張仁黼 河南進士原籍江蘇

國子監祭酒熙元 正白旗滿洲進士

張百熙 湖南進士
光緒五年山東鄉試副考官七年
山東學政四年四川鄉試正考官

丁酉科不與考試試差京堂

戶部右侍郎溥良 不願考

陳學棻 不願考

禮部左侍郎徐會澧 順天學差

兵部右侍郎楊頤 不願考

刑部左侍郎宗室阿克丹 不願考

左侍郎李端棻 不願考

右侍郎龍湛霖 江蘇學差

工部左侍郎鳳鳴 現派查庫不克與考

許景澄 現充出使大臣

右侍郎惲彥彬 廣東學差

理藩院左侍郎綿宜 不願考

內閣學士壽耆 不願考

唐景崇 不願考

梁仲衡 不願考

黃卓元 江西學差

通政使司通政使李端遇 安徽學差

大理寺卿徐致祥 浙江學差

337 光緒二十三年四月二十九日內閣奉

上諭崧蕃等奏防營缺額積弊太深請旨懲儆並自請嚴議一摺雲南補用副將雷家春等管帶臨平等營平日既少操練軍械復欠整齊缺額甚多擅離汛地實屬營私藐法副將雷家春都司李琨泰楊智清馬良騏參將劉秀和楊載春均著即行革職同己革游擊楊萬才一併發往軍臺効力贖罪以昭炯戒雲貴總督崧蕃據實劾奏頗屬認真著加恩寬免處分臨安開廣道鄒馨蘭開化府知府劉春霖臨元鎮總兵劉萬勝副將高德元疏於覺察既經先後稟揭均著一併免其議處餘著照所議辦理該部知道欽此

338 光緒二十三年五月初二日內閣奉

上諭張之洞奏考察屬員分別舉劾一摺湖北沔陽州知州丁國楨棗陽縣知縣李九江署江陵縣知縣本任麻城縣知縣張集慶宜都縣知縣陳長樞以上四員據張之洞陳政績皆足備循良之選即著傳旨嘉獎仍飭該員等益加奮勉毋得始勤終怠前任興山縣知縣王翼心地昏謬玩視民瘼前署沔陽州知州候補知縣何葆修恃才任性縱差擾民均著即行革職潛江縣知縣楊傑超識解鄙俗貽誤地方著以府經歷縣丞降補候補知縣朱有寬喜怒任情不知政體著以巡檢降補前署竹谿縣知縣大挑知縣徐躍鯉頗惰無能難膺民社前署東湖縣知縣本任公安縣知縣余彬心地庸陋公事玩忽該二員係正途出身文理尚優均著以教職歸部銓選餘著照所議辦理該部知道欽此

339 光緒二十三年五月初三日奉

旨著照尋常勞績給獎欽此

吏部等部奉奉天稅務出納人員履歷照尋常勞績給獎摺

340 交吏部本日引

見之明保江蘇上元縣知縣陳謨明保江蘇試用知縣張義澍均奉

旨交軍機處存記欽此相應傳知

貴部查照可也此交

五月初三日

341 本日御史富通阿奏京城水道淤塞請設法疏

通摺又奏兵丁餉銀請多搭放制錢片均奉

旨存謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

五月初三日

342 軍機大臣 字寄

守護

西陵鎮國公載 全 泰甯鎮總兵祥 光緒二十三

年五月初四日奉

上諭載信等奏松樹生蟲督飭檢捕一摺據稱

慕陵

慕東陵各地面松樹現生小蟲恐致滋蔓趕緊撥捕等語
陵寢樹株關繫要現當萌蘗初生撥捕自易為力著

戴信等嚴飭各員弁迅速捕拏務期一律淨盡是
為至要將此通諭知之欽此遵

旨寄信前來

343 光緒二十三年五月初四日内閣奉

上諭邊寶泉奏請飭催臬司迅速赴任等語福建按
察使李興銳前經請假回籍修墓著陳寶箴飭令
該臬司一俟假滿即行赴任毋稍延緩欽此

344 光緒二十三年五月初四日内閣奉

上諭御史楊崇伊奏制錢日少請飭各省開鑄鼓鑄
並雲南銅廠有名無實請另籌辦法各摺片著戶
部議奏欽此

345

交總理各國事務衙門本日御史楊崇伊奏請
豫儲使才等語軍機大臣面奉

諭旨該衙門議奏欽此相應知照

貴衙門欽遵辦理可也此交

計粘鈔片一件
五月初四日

346 本日御史楊崇伊奏制錢短少請

飭各省開鑄鼓鑄摺又奏雲南銅廠有名無實請另

籌辦法片奉明發

諭旨令戶部議奏又奏請豫儲使才片奏交片

諭旨令總理各國事務衙門議奏謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

五月初四日

347 光緒二十三年五月初五日内閣奉

上諭張之洞奏耆臣重遇鹿鳴筵宴懇懇恩施一摺
前雲南巡撫賈洪詔早列甲科出膺民社存涉封
圻旋經因事去官現在年逾九秩鄉舉重逢洵屬
藝林盛事賈洪詔著加恩賞給三品卿銜准其重
赴鹿鳴筵宴以惠耆年欽此

348 光緒二十三年五月初五日內閣奉

上諭張之洞奏故員交代案內短交銀兩請旨嚴追一摺湖北已故前任襄陽衛守備段必魁短交司道各庫銀兩屢經嚴催並未完繳實屬玩延著江蘇巡撫轉飭清河縣將該故員原籍家產嚴密查封備抵以重庫款餘著照所議辦理該部知道單併發欽此

349 光緒二十三年五月初五日內閣奉

上諭黃槐森奏嚴追各員虧欠錢糧一摺雲南已故祿勸縣知縣葉滋濬已故文山縣知縣馬錫綸前署安平同知王鳳池已革著魯甸通判蕭仁愷前在各任內均有虧欠米折公耗條公等項銀兩各該家屬或繳不足數或絲毫未繳均已回籍著福建浙江湖南各巡撫轉飭各該原籍地方官查傳該家屬到案勒限追完以重庫款該部知道欽此

350 光緒二十三年五月初八日內閣奉

上諭英麟著留京當差熱河副總管著恆啟補授欽此

351 光緒二十三年五月初八日內閣奉

上諭長庚等奏呼圖克圖功德久著懇准轉世一摺棍嘴扎拉參呼圖克圖嘉穆巴圖多善道根夙具勇略過人同治年間在塔爾巴哈台等處帶隊勦賊救護蒙衆實屬功績懋昭圖寂後舊吐爾扈特東部落暨塔城額魯特官兵等追念功德懷思不忘加恩著准其轉世為八音溝承化寺呼圖克圖並准其在塔爾巴哈台捐建祠宇以維黃教而順眾情該衙門知道欽此

352 交戶部

貴部奏遵議盧漢鐵路可否先撥銀四百萬兩摺本日軍機大臣面奉

諭旨依議欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

五月初八日

353 本日戶部奏盧漢鐵路可否先撥銀四百萬兩請

旨進行摺謹將原摺恭呈

慈覽擬俟
發下後傳

旨依議謹

奏

五月初八日

354
滿頭班

花翎三品銜應升之缺升用記名道府戶部郎中孚琦
補郎中後加三品銜即選道四品銜理藩院即補郎中多壽
道員用得道員後加二品銜花翎四品銜理藩院即補郎中志模
道員用得道員後加二品銜花翎三品銜兵部郎中惠兆
四品銜理藩院即補員外郎題署主事豐陞額
四品銜戶部員外郎雲騎尉世職慶連
四品銜兵部員外郎麟緒
戶部即補主事恆斌
候補侍讀先換頂戴內閣貼寫中書桂蔭
漢頭班
花翎三品銜署太常寺少卿內閣侍讀學士陳邦瑞
四品銜記名御史吏部員外郎徐士佳

道員用記名繁缺知府戶部郎補郎中陳熾

四品銜工部員外郎王彥成

四品銜內閣即補侍讀胡祖謙

得道員後加二品銜花翎三品銜記名道府禮部郎中郭寶圻

四品銜刑部郎中李舜賓

四品銜記名道府兵部郎中濮子潼

刑部即補員外郎盧震

工部候補主事甘大璋

四品銜兵部員外郎張嘉猷

內閣候補中書李象寅

滿二班

花翎四品頂戴園子監司業特圖真

花翎三品銜應升之缺升用記名道府戶部郎中和爾慶額

三品銜戶部郎中榮需

即選知府補郎中後加三品銜四品銜理藩院員外郎承祐

刑部員外郎記名道府王貴

升郎中後即選知府升用郎中四品銜理藩院員外郎文年

內閣候補侍讀中書英秀

刑部候補主事來秀

漢二班

三品銜即選道刑部員外郎李蔭鑾

三品銜吏部郎中 記名蔡缺知府王嘉禾

三品銜 記名御史吏部即補員外郎孫朝華

四品銜刑部即補郎中郭之全

四品銜刑部員外郎鄭炳麟

三品銜 記名道府戶部郎中馮汝駁

五品銜內閣即補侍讀楊壽樞

戶部主事凌福彭

禮部候補主事王慶平

吏部候補主事孫奇經

四品銜刑部候補主事何葆麟

355 光緒二十三年五月初九日奉

旨威璋布等均著准其抵銷餘依議欽此

兵部奏遵議奏重支養贖錢糧之防守耐等處分摺

356 光緒二十三年五月初九日奉

旨著仍留本身欽此

兵部奏遵議奏重支養贖錢糧之防守耐等處分摺

357 光緒二十三年五月初十日內閣奉

上諭雲南學政姚文倬奏考覈教職懇恩獎勵等語

雲南麗江府教授錢鴻遠東川府教授趙永昌江

川縣教諭王京詔南甯縣教諭趙詠周選用訓導

周汝源以上五員既據該學政聲稱學行俱優均

著照所請賞給內閣中書銜以示鼓勵學政保舉

教官原為激勵人才起見惟近來各省學政往往

於任滿時臚列多員奏請獎勵幾若視為成例難

免無意存見好之弊嗣後教職中如實有品學兼

優足為士林矜式者方准據實保奏斷不准濫竿

充數以重名器欽此

358 光緒二十三年五月初十日內閣奉

上諭刑部奏承審上駟院牧羣一案內外辦理未能

畫一請派大員詳覈例案一摺著派榮祿許應駁

會同刑部將例案詳細考覈以憑定擬另片奏上

駟院司員有關說賄求等情堅不承認請解任審

訊等語左司員外郎繼德筆帖式恆有著即解任

交榮祿等會同刑部提案審訊欽此

359 本日大學士徐桐奏請崇學術以端治本招人

奏聯絡邦交仍宜自修內政片奉

旨存謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

五月初十日

360 光緒二十三年五月十二日內閣奉

上諭前據御史楊崇伊奏參奉天鳳凰廳岫巖州兩處枉徵租賦及遼南州縣勒索規費各節當經諭令依克唐阿松林確查茲據查明復奏遼南州縣尚無需索規費情事惟應行減緩糧賦之處該委員防校等官既不照司議分別緩徵又不遵章減收三分實屬辦理不善鳳凰城鑲紅旗防禦寶筠著即行革職署鳳凰城鑲黃旗防禦騎校純玉岫巖城鑲紅旗防禦恩慶正白旗驍騎校得音均著交部議處鳳凰城守尉端岳署岫巖城守尉佐領慶祿失察屬員違章收租亦屬疏忽均著交部察議餘著照所議辦理該部知道欽此

361 軍機大臣 字寄

禮部尚書兼管順天府府尹孫 府尹胡 光緒

二十三年五月十三日奉

上諭有人奏知縣縱匪殃民隱匿命案請嚴行查辦一摺據稱房山縣知縣許元震平日專以納賄營私為事命案累累皆隱匿不報並得賄徇庇查張貴廷奸民劉開山等請逐款查辦等語著孫家鼐等按照所參各節確切查明據實具奏毋稍徇縱原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

362 光緒二十三年五月十三日奉

旨照例按班來京欽此

英國字本札薩克蒙古官員等年班可百來京摺

363 交工部本日御史和福奏

東陵祀典應用炭餅炭勛請飭部照冊覈准並咨行直隸總督轉飭該州縣照例供應等語軍機大臣面奉

諭旨著工部查照例案辦理欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交 計貼鈔片一併

五月十三日

364 本日御史和福奏參房山縣知縣許元震縱匪

殃民摺奉寄信

諭旨著孫家鼐等查明具奏又奏

東陵祀典應用炭餅炭初請

飭部照冊覈准片奉交片

諭旨著工部查明辦理謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

五月十三日

365 軍機大臣 字寄

雲貴總督岑 雲南巡撫黃 貴州巡撫王

廣西巡撫史 廣西提督蘇 光緒二十三年

五月十五日奉

上諭史念祖蘇元春奏遵旨探緝游匪現飭會合滇

軍上緊勦捕一摺覽奏均悉匪勢雖已窮蹙若不

勦洗淨盡終恐蔓延為患况游維翰一犯至今尚

未拏獲並前據岑等電奏餘匪尚在粵之烏冲

等處屯聚必須三省官軍合力兜勦方可一鼓殲

除著岑著黃槐森王毓藻史念祖蘇元春嚴飭派

出各軍不分畛域迅速勦辦務期剋日蕪事以弭

邊患將此由四百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

366 光緒二十三年五月十五日內閣奉

上諭通政使司奏請派員署缺一摺薩康葛寶華現

出試差通政使司通政使著載等兼署通政使司

副使著李紱藻兼署欽此

應署滿通政使司通政使名單

大理寺卿明桂 現在請假

硃。 詹事府詹事載等

太常寺卿慶福

光祿寺卿常明

太僕寺卿印啟

368

應署漢通政使司副使名單

大理寺少卿貴賢

硃。詹事府少詹事李紱藻

鴻臚寺卿張仁黼

順天府府丞李鴻遠

內閣侍讀學士王福祥

陳邦瑞 現署太常寺少卿

369 光緒二十三年五月十六日內閣奉

上諭致任大學士張之萬老成練達學問優長由道

光丁未科一甲一名進士授職修撰入直上書房

疊受

先朝知遇之隆洵擢卿貳敷恩封圻勛勞卓著朕御極

後宣召來京簡任正卿參預機務晉贊綸扉服官

五十餘年謹慎小心允稱厥職上年因病屢次奏

請開缺疊經寬予假期俾得從容調理嗣因陳懇

肫切准其致任並賞食全俸方冀長承恩眷克享

期頤茲聞溘逝悼惜良深加恩著賞給陀羅經被

派郡王銜貝勒載濂帶領侍衛十員即日前往奠

報晉贈太保照大學士例賜卹入祀賢良祠任內
一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏
靈柩回籍時並著沿途地方官妥為照料伊子刑
部員外郎張瑞蔭著俟服闋後以本部郎中補用
伊孫張元驥著賞給舉人准其一體會試用示篤
念耆臣至意欽此

370 咸豐四年四月二十一日內閣奉

上諭予告大學士潘世恩立品端方學問醇正由乾

隆癸丑科一甲一名進士授職修撰自翰林洊擢

正卿

皇考宣宗成皇帝深加倚畀超登揆席簡任給扉總理

部務入直上書房夙夜宣勤

特命肩輿入直晉加太傅

賞戴花翎並

賞用紫韁

賞穿黃馬褂

恩眷益隆服官五十餘年小心謹慎克稱厥職道光二十

九年因腰脇作痛懇請開缺疊蒙

恩諭慰留朕即位後因其年逾八袞寬予假期俾得從容調養嗣因陳懇朕切勉從所請准其致仕並賞食全俸又因重與鹿鳴恩榮筵宴疊加賞費用昭篤眷方冀長承恩澤永享遐齡茲聞溘逝悼惜實深著加恩賞給陀羅經被派怡親王載垣帶領侍衛十員即日前往奠醊並著入祀賢良祠任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊孫國子監學錄潘祖同著賞給進士准其一體殿試翰林院編修潘祖蔭著以翰林院侍讀候補監生潘祖保著賞給舉人准其一體會試用示朕軫念者臣之至意欽此

371 同治五年九月十四日內閣奉

上諭于杏大學士祁寓藻學粹品端忠清亮直由翰林入直南書房洵擢正卿贊畫樞務簡任綸扉總理部務疊受

先朝知遇之隆克慎克勤無忝厥職咸豐四年間以樞務積勞因病開缺朕御極之初蒙

皇太后簡用者臣重加倚畀以大學士銜補授禮部尚

書命在弘德殿授讀朝夕納誨啟沃深資旋復因病予告在家食俸老成碩望中外咸知方冀頤養安和遐齡久享遽聞溘逝悼惜良深著賞給陀羅經被派鍾郡王帶領侍衛十員即日前往奠醊加恩著贈太保照大學士例賜卹入祀賢良祠任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏靈柩回籍時並著沿途地方官妥為照料伊子翰林院編修祁世長著俟服闋後以翰林院侍讀候補伊孫祁友慎著賞給舉人准其一體會試用試朝廷篤念者臣至意欽此

372 光緒十七年八月初八日內閣奉

上諭致仕大學士寶鋆忠清亮直練達老成由部曹轉列詞垣洵涉卿貳渥荷

穆宗毅皇帝知遇之隆命為軍機大臣內務府大臣在總理各國事務衙門行走晉擢正卿超登揆席簡任綸扉綜理部旗事務補授閱兵大臣充翰林院掌院學士朕御極後深資倚畀賞加太子太傅銜欽奉

懿旨管理神機營事務服官三十餘年夙夜宣勤請共

匪懈嗣以大學士致仕賞食全俸方冀克享期頤

長承恩春茲聞溢逝悼惜殊深著賞給陀羅經被

派員勒載溘帶領侍衛十員即日前往奠醑晉贈

太保照大學士例賜卹加恩予諡入祀賢良祠任

內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具

奏伊子光祿寺少卿景灃著以四品京堂補用伊

孫蔭桓著賞給舉人准其一體會試用示篤念蓋

373 光緒二十三年五月十六日內閣奉

上諭崇光奏假期屆滿病仍未痊懇請開缺一摺崇

光著再賞假一箇月毋庸開缺欽此

374 據吏部知照本月十八日部屬考試御史應請

欽命論題一道策題一道於是日清晨

發下交監試王大臣祇領傳示並將上三屆題目繕

單恭呈

御覽謹

奏

375 光緒十九年部屬考試御史

欽命題目

慎選守令論

直隸山西口外救荒策

光緒二十一年翰林考試御史

欽命題目

學有經法通知時事論

積儲策

光緒二十一年部屬考試御史

欽命題目

治世莫若愛民論

疏通直隸五大水入海道路策

376 光緒二十三年五月十八日內閣奉

上諭御史張仲忻奏大員縱庇子姪授意司員消弭

巨案一摺據稱直隸玉田縣紳民賄買已革御史

溥松泰參該縣苛派差徭一案薛允升之胞姪薛

濟即薛汝舟為之包攬賄通薛允升又復設法消

弭等語著派徐桐啟秀秉公查辦據實覆奏欽此

377 本日御史張仲忻奏刑部尚書薛允升縱庇胞

姪授意司員消緝鉅案摺奉明發

諭旨令徐相啟秀秉公查辦又奏臣工挾私奏事請

隨時駁斥片奉

旨存又奏臺灣土產進口請照洋貨收稅片奉交片

諭旨令總理各國事務衙門查覈具奏又奏洋人置

買地基房產請照西例徵稅片奉交片

諭旨令總理各國事務衙門議奏謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

五月十八日

378 交總理各國事務衙門本日御史張仲忻奏洋

人購買地基房產請照西例納稅等語軍機大

臣面奉

諭旨該衙門議奏欽此相應知照

貴衙門欽遵辦理可也此交 計粘鈔片一件

五月十八日

379 交總理各國事務衙門本日御史張仲忻奏臺

灣土貨進口請照洋貨收稅等語軍機大臣面奉

諭旨該衙門查覈具奏欽此相應知照

貴衙門欽遵辦理可也此交 計粘鈔片一件

五月十八日

380 交吏部本日引

見之明保福建遇缺題奏道楊正儀奉

旨著交軍機處存記欽此相應傳知

貴部查照可也此交

五月十八日

381 貴州運鉛委員郎承謨

殊。旨著該部照例給獎

382 查此次考試漢御史請

簡派閱卷大臣除另有差使各員均不開列外臣等

謹將應行開列各員繕具名單恭候

欽派三四員於十九日清晨

發下傳集各員聽候宣

旨謹

奏

383

大學士李鴻章

麟書

崑岡

徐桐

硃

戶部尚書翁同龢

禮部尚書孫家鼐

工部尚書許應駟

理藩院尚書啟秀

戶部右侍郎溥良

禮部右侍郎張英麟

工部左侍郎鳳鳴

理藩院左侍郎綿宜

內閣學士壽耆

綿文

崇寬

陸寶忠

384 軍機大臣 字寄

兼管順天府府尹孫 府尹胡 直隸總督王

光緒二十三年五月十九日奉

上諭給事中褚成博奏近畿窪地宜改水田請飭實力舉行一摺據稱文安縣去年春間因積水不消民廢農業署該縣知縣韓景儒請款購買稻種借給農民將窪地改作水田頗獲豐收成效已著近畿所屬窪地甚多請飭仿照辦理等語著順天府直隸總督通飭所屬於低窪地方察度情形斟酌妥辦原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵旨寄信前來

385 軍機大臣 字寄

湖廣總督張 湖北巡撫譚 光緒二十三年

五月十九日奉

上諭有人奏湖北嘉魚縣港口鎮內漁戶因居民築隄相爭被殺多命案懸多年未結請飭訊辦等語著張之洞譚維洵親提人證秉公訊斷從速擬結以息爭端原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

386 光緒二十三年五月十九日內閣奉
上諭伊犁鎮總兵員缺著焦大聚補授欽此

387 查新疆伊犁鎮總兵係陸路缺謹
奏

388 光緒二十三年五月十九日內閣奉
上諭湖南按察使著李經羲補授欽此

389 光緒二十三年五月十九日內閣奉

上諭依克唐阿等奏請將疏防押犯被匪劫逃之經歷
革職審辦一摺本年四月間興京同知封押人犯
被匪劫逃多名並拒傷差役斃命實非尋常疏忽
可比興京同知經歷兼司獄事楊寶仁著即行革
職交依克唐阿松林提同看役人等嚴訊有無鬆
刑賄縱情弊按例究辦署興京同知林宗奇雖據
報先期公出仍著聽候部議並勒限緝拏逃犯于
得淋等務獲懲辦餘著照所議辦理該部知道欽此

390 光緒二十三年五月十九日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲搶劫庫兵匪犯請旨交
部等語所有拏獲之焦得海定興趙九即趙國祥
王老即王得海等四名著交刑部嚴行審訊按律
定擬具奏未獲之曹二大崔等犯仍著嚴飭緝拏
務獲究辦該衙門知道欽此

391 光緒二十三年五月十九日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲結夥持械搶劫鄰境盜
犯請交刑部審辦一摺所有拏獲之于老兒即老
順于賞兒即于二小陳即陳大蕭庫兒王龍兒即
王喜陳花仔于大張陳氏等八名著交刑部嚴行
審訊按律定擬具奏未獲之李拴張七等犯仍著
嚴緝務獲究辦至原拏此案出力員弁著俟刑部
定案時聲明請旨該衙門知道欽此

392 光緒二十三年五月十九日內閣奉

上諭御史宋伯魯奏襲職人員弊端百出請飭釐定
章程一摺著該部議奏欽此

393 本日給事中褚成博奏近畿窪地請開水田摺

奉寄信

諭旨令孫家鼎等斟酌辦理又奏澳門知新報語多

悖誕請嚴禁片奉寄信

諭旨令譚鍾麟等查明辦理御史宋伯魯奏襲職人

員弊端百出請釐定章程摺奉明發

諭旨令該部議奏又奏湖北嘉魚縣漁戶仇殺案久

懸不結請

飭提訊片奉寄信

諭旨令張之洞等秉公訊結因原摺片均須鈔錄擬

於明日恭呈

慈覽謹

奏

五月十九日

394

奏蒙

臣崑岡翁同龢許應發陸寶忠跪

發下考試御史試卷共二十一本臣等公同閱看擬

定名次恭呈

御覽伏候

欽定俟

發下後再行拆閱彌封另繕名單進

呈謹

奏

五月十九日

395

于式枚

劉奉璋

楊士燮

許祐身

劉家模

左盛均

陳秉崧

陳應禧

鄭炳麟

張荀鶴

吳保齡

朱顯廷

杜慶元

武玉潤

王彥威

劉光忻

伍兆鼈

楊樹

馮桂芳

譚寶琬

張懋澄

396

奏

臣等查對另頁論句人名均屬相符謹

397

軍機大臣 字寄

山西巡撫胡 光緒二十三年五月二十日奉

上諭有人奏癸巳年甘肅副考官謝佩賢貪暴著稱

沿驛肆虐在山西境內有鞭責鎖帶辦差家人情

事路經徐溝縣被竊行篋零星物件程稱失去多

銀勒令地方官賠償嗣經調停資贖始去該副考

官馳驛歸時紆道太原曾向胡聘之聲稱失銀等語著胡聘之按照所參各節確切查明據實具奏不准徇隱原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

398 光緒二十三年五月二十日內閣奉

上諭巡視東城御史連陞等奏宗室桂林闖入公堂打毀衙署請旨懲辦一摺本月十三日夜間宗室桂林闖入東城副指揮公堂肆鬧並有打倒堂後影壁情事業經該御史等將該宗室送交刑部著宗人府會同刑部確切審訊按律懲辦另片奏宗室覺羅不繫黃紅帶到官照常人審辦請申明舊例詳定章程等語著宗人府議奏欽此

399 本日巡視東城御史連陞等奏宗室桂林闖入

公堂打毀衙署請

旨懲辦摺又奏宗室覺羅不繫紅黃帶到官即照常

人審辦請申明舊例詳定章程片奉明發

諭旨一道御史王廷相奏北洋任重畿輔事繁請添

設巡撫摺奉

旨存又奏泰癸巳年甘肅副考官謝佩賢馳驛回京

路出山西沿途肆虐片奉寄信

諭旨著胡聘之查奏謹將原摺片同十九日給事中

褚成博等摺片四件一併恭呈

慈覽謹

奏

五月二十日

400 光緒二十三年五月二十一日內閣奉

上諭湖南鹽法長寶道員缺著黃遵憲補授欽此

401 光緒二十三年五月二十一日內閣奉

上諭昨據御史王廷相奏參編修謝佩賢前放甘肅

副考官路出山西沿途滋擾業經諭令胡聘之查

奏福建副考官著改派黃紹第去欽此

402 光緒二十三年五月二十二日奉

旨依議欽此

內務府奏稱 親王司對京可否暫住寶輝寺官房摺

403 文總理各國事務衙門本日軍機大臣面奉

諭旨常鎮通海道呂海寰著於二十三日預備召見

欽此相應傳知

貴衙門轉飭該員欽遵可也此文

五月二十二日

404 光緒二十三年五月二十三日內閣奉

上諭戶部奏稽察雲南貴州兩省銅鉛運務各員期

滿請旨更換一摺雲南辦解十六起二批京銅貴

州辦解京鉛已據咨報起程此後續辦銅鉛次第

運解前派沿途經理各員期滿該部查照例案將

經過之四川湖北江蘇直隸等省藩臬各員開列

名單請旨更換四川著派裕長湖北著派王之春

江蘇著派聶緝渠直隸著派李邦楨即責成各該

員嚴飭各道府及沿途地方文武員弁認真稽察

催趨護送前進如有無故逗留及盜責短少等弊

詳報該督撫嚴行參辦沿途應需水師照料之處

即由派出之員詳咨前途督撫及水師提督調遣

仍著自奉旨之日起以三年為限均責成此次所

派之員一體經理遇有升調事故即令接任之員
遵辦期滿再行更換欽此

405 光緒二十三年五月二十五日內閣奉
上諭江蘇常鎮通海道員缺著長恆補授欽此

406 查江蘇常鎮通海道係衝繁難要缺謹
奏

407 交吏部本日順天府奏辦賑出力試用縣丞朱
孝威請仍照原保給獎等語軍機大臣面奉
諭旨吏部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此文 計粘鈔片二件

五月二十五日

408 交吏部本日引

見吉林阿勒楚喀倉官一缺擬陪之吉林無品級筆

帖式桂明奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵可也此文

五月二十五日

409 交兵部本日軍政引
見年至六十五歲以上之正黃旗頭等侍衛倭哩賀
等奉

旨均著照舊供職欽此相應傳知
貴部欽遵可也此文

五月二十五日

410 交太僕寺本日引

見察哈爾右翼鑲藍旗驛馬羣協領一缺擬陪之右
翼驛馬羣委署協領薩炳阿奉
旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此文

五月二十五日

411 軍機大臣 字寄

四川總督鹿 光緒二十三年五月二十六日奉

上諭鹿傳霖奏籌辦章谷朱窩兩土司議定改流情形及關外德爾格忒土司獻地歸誠請改流設官各一摺章谷朱窩兩土司業經該督派員查明疆域議定賦稅擬在各該土司分設屯官即著飭令接管之知縣王曜南等迅速馳往將該土民賦訟等事盡心撫輯惟改設漢官事屬創始該督當悉心籌畫務臻周密至德爾格忒小土司昂翁降白仁青母子恣行不義業經委員張繼擒獲押解爐廳收禁該老土司及頭目人等獻地歸誠現擬改流設官即著照所請行該督務當督飭張繼等詳細查勘將建設事宜分晰妥籌奏明辦理所保各員已交該部議奏矣另片奏請飭納欽宣示撫恤之意等語已諭知納欽督同裕綱妥為辦理藏事緊要已有旨令文海趕緊赴任該督接奉此諭後並著催令迅速起程毋稍遲緩納欽奏藏營請購馬二百匹以備差操其馬價馬乾由川先行籌解並另片奏請由川領解前膛來復槍四百桿後膛毛瑟槍二百桿分撥操演並洋式銅礮六尊以備緩急等語已允所請行即著該督分別撥解將此

由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

412 軍機大臣 字寄

駐藏辦事大臣文 光緒二十三年五月二十

六日奉

上諭納欽奏瞻對事宜應如何了結宜由藏設法疏通文海在川似無可會籌之處請飭迅速入藏等語現在川藏大路並無梗阻該大臣著即迅速赴藏會同納欽商辦一切以期周妥毋再遲緩原片著鈔給閱看將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

413 軍機大臣 字寄

駐藏幫辦大臣納 光緒二十三年五月二十

六日奉

上諭鹿傳霖奏瞻對一案開導達賴請將酌給賞需各節明白宣示等語知府裕綱計早入藏開導情形究竟若何著納欽督飭該員相機妥辦鹿傳霖

片著鈔給閱看據訥欽另片所奏藏事緊要請飭
催文海入藏等語本日已有旨令該大臣迅速赴
藏矣另摺奏藏營請添馬匹又片奏由川領解槍
礮各等語已均照所請並諭知鹿傳霖矣將此由
四百里諭令知之欽此遵
旨寄信前來

414 光緒二十三年五月二十六日內閣奉

上諭李秉衡奏大汛已臨請暫停西韓家堵口工程
一摺據稱西韓家口工程前經奏明添建順水壩
至謀堵合乃因新淤未實大汛已臨致將已作未
成之金門占又復冲塌人力無可再施惟有暫飭
停工俟秋後接辦並自請交部嚴議在工人員摘
頂懲處等語李秉衡自請嚴議之處著加恩改為
交部議處督辦河工道員丁達意副將駱金玉都
司王恆德均著摘去頂戴以示懲儆此時伏汛已
至人力難施自應暫准停工俟秋後再行接辦惟
已成之壩座三百丈必須竭力保護勿稍疏虞一
俟秋汛溜勢漸微即著併力施工迅速堵合以重
河防欽此

415 光緒二十三年五月二十六日內閣奉

上諭夏辛酉現已服闋仍著補授廣西右江鎮總兵
留辦山東登州防務欽此

416 交吏部兵部本日四川總督鹿傳霖奏籌辦德爾格
忒土司事宜出力之直隸州知州張繼等懇

恩獎勵一摺軍機大臣面奉

諭旨該部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計帖鈔摺二件

五月二十六日

417 光緒二十三年五月二十七日內閣奉

上諭昨日道旁叩閭之直隸民婦張劉氏及伊子張
德成著一併交刑部嚴行審訊欽此

418 軍機大臣 字寄

兩廣總督譚 廣東巡撫許 光緒二十三年
五月二十八日奉

上諭譚鍾麟許振禕奏廣東石城等縣會匪滋事派

營拏辦情形一摺覽奏均悉石城遂溪兩縣三點會匪拏獲復仇為名竟敢嘯聚多人搶掠軍械張貼偽示殺傷臺局各勇至應嚴行勦辦業經該督等飭派地方文武分投嚴拏先後正法一百四十三名惟匪首劉芝草及著名各匪尚多在逃著譚鍾麟等嚴飭在事各員認真拏辦以期迅絕根株粵東寇盜充斥會匪名目繁多地方官防範稍疏即虞蠢動嗣後該督等務當嚴飭地方文武遇有匪徒竊發即行迅速捕拏總期消患未萌毋令潛滋暗長是為至要將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

419 軍機大臣 字寄

廣西巡撫史 廣西提督蘇 光緒二十三年

五月二十八日奉

上諭譚鍾麟奏查明廣西邊防礮臺工程並酌減餉數一摺廣西沿邊一千七百餘里蘇元春所轄二十營合則見多分則見少該提督前請免于裁減自係為慎重邊防起見惟廣西素稱瘠苦籌畫防

營月餉亦實有為難情形現在蘇元春有每營抽減兩棚之議擬於每年邊餉四十萬兩之中每年節省銀三萬八千餘兩等語著史念祖蘇元春體察情形能否再行裁減和衷商酌會同具奏至各營弁勇應如何勻紮之處著蘇元春酌度辦理原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

摘鈔交戶部

420 交內閣本日軍機大臣面奉

諭旨六月初二日進內奏事當差執事之王公文武大小官員均著穿蟒袍補褂一日欽此相應傳知貴衙門一體轉傳可也此交

五月二十八日

421 光緒二十三年五月二十九日奉

旨依議欽此

理藩院奏折帶丹巴圖克圖之兄請加子爵以收摺

422 光緒二十三年六月初一日內閣奉

上諭前據刑部奏承審大凌河牧羣一案崇善奏參與上駟院駁結辦理兩歧請派大員詳覈例案以憑定讞當派榮祿許應發會同刑部將例案詳細考覈茲據查明覆奏大凌河牧羣定章駙馬以一年倒斃之額定考成駙馬以三年孳生之數分功過極為明晰光緒二十一年六月間崇善查因駙馬倒斃逾額至六百餘匹之多勒令該牧長賠補並將結報不實之翼領景美等一併奏參係按照每年考覈之例辦理乃上駟院承辦司員因是年適值三年均羣之期遂藉口於相沿成案將駙馬十羣統按三年三次例倒之數積總覈算軌稱並無逾額疊次奏咨駁詰實屬有意牽混此案崇善原參倒斃逾額既經查明尚無不合即著仍照原案辦理牧羣關係要豈容稍有弊混經此次申明例章之後該牧羣總管著仍照向章將駙馬羣每年隨時查明如有倒斃逾額即行分別參賠上駟院於三年均羣時將駙馬羣分別辦理不得稍涉牽混以肅馬政而清積弊另片奏上駟院司員

等關說賄求各節現訊供詞狡展非取具確供不足以成信讞等語左司員外郎繼德筆帖式恆有牧長哈新泰均著暫行革職歸案研訊務得確情按律定擬具奏欽此

423 本日榮祿等奏遵查大凌河牧羣案覆陳辦理

情形摺又奏請將左司員外郎繼德等暫行革職審訊片奉明發

諭旨一道謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

六月初一日

424 光緒二十三年六月初三日奉

旨馬德元著賞給勤勇巴圖魯名號餘依議欽此

兵部奏遵議傳報奏准禮部咨各員保案摺

425 兵部議覆奏請

賞給都司馬德元勇號恭請

圖出

硃○

勤 威 敏

426 光緒二十三年六月初三日奉

旨端岳慶祿均著准其抵銷餘依議欽此

岳慶祿依先唐等奏擬特從地委等議定

427 六品廕生方廷珍

硃○旨著仍以主事分部行走

428 六品廕生黃承璋

○旨著以通判用

429 六品廕生萬鴻鈞

○旨著以通判用

430 京察補行引

見詹事府少詹事文海

○旨著照舊供職

431 交兵部本日引

見拔補千總擬陪之把總郭殿邦一員奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

六月初三日

432 軍機大臣 字寄

直隸兩江江蘇河南山東各督撫 傳諭淮安

關監督 光緒二十三年六月初四日奉

上諭依克唐阿等奏請飭催本年的餉並歷年欠餉

開單呈覽一摺據稱本年奉天的餉前經戶部議

撥山東地丁銀十一萬兩兩淮鹽釐銀八萬兩鹽

課銀三萬兩江蘇釐金銀二萬兩臨清關常稅銀

二萬兩迄今數月之久僅據兩淮報解起程銀二

萬兩臨清關報解起程銀二萬兩江蘇報解起程

銀六千兩其餘各省均未報解至歷年欠餉為數甚鉅請飭催解等語奉天支放各項待用孔殷自應迅速撥解以濟要需著各該督撫監督等即將應解奉天本年餉於六月內批解一半十月內掃數解清並將欠解歷年專餉分年搭解俾資應用原單均著鈔給閱看將此由五百里諭知直隸兩江江蘇河南山東各督撫並傳諭淮安關監督知之欽此遵

旨寄信前來

433 光緒二十三年六月初四日內閣奉

上諭江西九江府知府員缺著延熙補授欽此

434 查江西九江府知府係衝繁難要缺謹

奏

435 光緒二十三年六月初四日內閣奉

上諭陳寶箴奏已故藩司戰功卓著籲懇恩施一摺已故江西布政使陳浚隨同曾國荃左宗棠轉戰

江西廣西等省克復金陵肅清關隴勳績最多加恩著照所請准其於原籍及立功省分建立專祠以彰勞勩該部知道欽此

436 光緒二十三年六月初四日內閣奉

上諭御史鄭思賢奏六部司員保送倉差請飭酌量變通等語著該部議奏欽此

437 光緒二十三年六月初四日內閣奉

上諭前據御史張仲忻奏直隸玉田縣紳民賄買已革御史溥松奏參該縣苛派差徭一案薛濟即薛汝舟有包攬賄通情事當派徐桐啟秀秉公查辦茲據奏稱提訊案內要犯洪奎鼎饒玉振供稱均與薛汝舟相識玉田縣差徭一事係譚鶴亭託蘇月波薛汝舟辦理傳訊薛汝舟堅不吐實請暫行革職嚴訊並請飭擊逸犯等語州同銜指分四川補用府經歷薛濟即薛汝舟著暫行革職歸案訊辦未獲要犯譚鶴亭即譚志松蘇月波即蘇之灼著直隸總督順天府步軍統領衙門五城一體嚴拏務獲究辦該部知道欽此

438 光緒二十三年六月初四日奉

旨依議欽此

各場未應繳備儲備經費分內撥充儲備

439 本日大學士徐桐等奏遵查大員庇縱子姪業

先陳大概情形摺奉明發

諭旨一道御史鄭思賢奏出洋隨員宜定保獎限制

摺奉交片

諭旨該衙門知道又奏部員保送倉差請酌量變通

片奉明發

諭旨該部議奏又奏各省奉

旨開缺及降革人員請用電知欽遵無庸等候部文

片奉

旨存謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

440 軍機大臣 字寄

守護

東陵固山貝子毓 鎮國公載 馬蘭鎮總兵松

光緒二十三年六月初五日奉

上諭毓崐等奏控捕松姦請續撥經費一摺覽奏均

悉控捕松姦近日稍見輕減惟姦多結繭繭復化

姦自應趕緊收捕以清餘孽所請經費銀八千兩

已令戶部如數撥給惟此項控捕經費業經壹次

奏撥為數已屬不少毓崐等務須撙節動用覈實

辦理毋得稍有虛糜所稱暫向舖商借墊銀五千

六百餘兩並未奏明究係何時借用著據實具奏

另片奏百部草不能殺姦請飭毋庸購解等語即

著毓崐等咨行文文韶停止購解將此諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

441 光緒二十三年六月初五日內閣奉

上諭巡視西城御史恩順等奏旗員身家不清私佔

官井抗傳不到請旨革訊一摺前浙江於潛縣知

縣文玉即趙文玉私佔官井被人控告經該城傳

訊抗不到案文玉著即行革職交刑部嚴傳歸案

審訊並著步軍統領衙門會同該城將所佔官街
牆屋押拆勒還官井以杜侵佔至摺內所稱該員
係已革郎中慶寬民間胞弟曾充家丁冒入旗檔
朦捐官職各節著刑部一併訊究按律懲辦該衙
門知道欽此

442 光緒二十三年六月初五日內閣奉

上諭御史徐道焜奏捐納實官請永遠停止一摺著
戶部議奏欽此

443 本日巡視西城御史思順等奏知縣趙文玉私

佔官井身家不清請革訊摺御史徐道焜奏請
停捐納實官摺奉明發

諭旨各一道謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

444 查軍機章京工部郎中繼昌現在服闋戶部郎

中連文冲先因省親請假現在服闋先後起復

臣等公同商酌仍令該二員在額外行走謹
奏

光緒二十三年六月初五日奉

旨知道了欽此

445 光緒二十三年六月初七日內閣奉

上諭直隸通永鎮總兵著曹起勝調補熊鐵生著補
授湖南永州鎮總兵欽此

446 查直隸通永鎮總兵係陸路缺謹

奏

447 光緒二十三年六月初八日內閣奉

上諭陶模魏光燾奏勦辦會匪出力員紳懇恩獎勵
開單呈覽一摺陝西洋縣匪首高彥發積年巨惡
於上年冬間糾眾滋事勢甚猖獗經升任陝安道
景星等督飭團丁會同鎮標分投勦捕當將匪首
擒獲餘匪分別懲辦地方一律安謐辦理尚為迅
速在事出力員紳自應量予獎勵所有單開之升

任陝安道景星著交部從優議敘漢中府知府常裕著以道員在任候補署洋縣知縣張鵬翼著免補本班以直隸州知州仍留原省歸候補班補用附生李春勃著以縣丞不論雙單月歸部選用武生牟鴻烈著以把總歸標儘先拔補並賞戴藍翎石聯魁著以經制外委歸標拔補恩貢生李聯枝著以教諭不論雙單月歸部選用把總宋世鶴著以千總儘先拔補並賞加守備銜儘先千總熊世再著免補千總以守備歸標儘先拔補差升胡文光著以經制外委拔補以昭激勸仍著飭令該管鎮道府督飭各屬整頓保甲及各防營隨時嚴密巡緝毋稍疏懈餘著照所議辦理該部知道單併發欽此

448 光緒二十三年六月初八日內閣奉

上諭徐致祥奏舉勅教職一摺浙江黃巖縣教諭在任候選知縣王為翰著送部引見永康縣訓導王德玉著賞加國子監學正銜定海廳訓導王壽杞舉止輕浮心術狠鄙著即行革職另片奏在籍者

紳內閣中書韓欽等懇請獎勵等語著吏部議奏欽此

449 光緒二十三年六月初八日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲結夥持械搶劫鋪戶拒傷事主盜犯請交部審辦一摺所有拏獲之劉二即劉書紀夏六即夏輔亭叢七即叢永祥王二即王寬李良友即羅錫子等五名著交刑部嚴行審訊按律懲辦未獲之孫小忙等犯仍飭嚴緝務獲究辦該衙門知道欽此

450 光緒二十三年六月初八日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏遵保獲盜尤為出力員弁懇恩獎勵一摺著兵部議奏欽此

451 光緒二十三年六月初八日奉

旨依議欽此

452 光緒二十三年六月初九日奉
旨依議欽此

慶親王奕劻等奏呈送外據摺

453 光緒二十三年六月初九日奉
旨依議欽此

慶親王奕劻等奏呈送外據摺

454 光緒二十三年六月初九日奉
旨依議欽此

慶親王奕劻等奏呈送外據摺

455 光緒二十三年六月初九日奉
旨知道了欽此

慶親王奕劻等奏呈送外據摺

456 軍機大臣 字寄
庫倫辦事大臣連 光緒二十三年六月十一
日奉

上諭連順奏哲布尊丹巴呼圖克圖請將圖什業圖

汗那遜綽克圖革去蒙古辦事大臣之任據情代
奏並該汗與該呼圖克圖兩不相能應否照請各
摺片本日已明降清字諭旨將那遜綽克圖開去
蒙古辦事大臣之任矣庫倫滿洲蒙古辦事大臣
與哲布尊丹巴呼圖克圖共事一方遇有應奏事
件均由辦事大臣具奏即如該呼圖克圖請將伊
兄賞加貝子銜連順即據以入奏旋經理藩院詳
查舊例並無成案可見該呼圖克圖所請未必盡
屬可行此次已照所請開去那遜綽克圖辦事大
臣之任嗣後遇有此等事件該大臣務須妥為斟
酌慎重入奏毋得輕聽該呼圖克圖一面之詞率
行陳請用示朝廷撫馭邊疆之至意將此諭令知
之欽此遵

旨寄信前來

457 光緒二十三年六月十一日奉

旨這所參疏防監犯越獄脫逃之管獄官四川彭山
縣典史王綸選著即革職等因交鹿傳霖提同刑
禁人等嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按律懲辦有獄

官彭山縣知縣康壽相據報先期公出究屬疏於防範著交部議處仍勒限嚴緝逸犯吳老二務獲究辦該部知道欽此

458 六品廕生湯允灼

硃。旨著以通判用

459 六品廕生徐襄廷

旨著以通判用

460 六品廕生滕久順

旨著以通判用

461

臣奕 等跪

奏為方略刷印校勘一律完竣謹將陳設本進呈

恭摺仰祈

聖鑒事竊前於光緒十九年間請將平定陝甘新疆

回匪方略雲南回匪方略貴州苗匪紀略三編

援照同治年間刷印粵匪擒匪方略成案用總

理各國事務衙門集字板刷印成書以節經費復擬刷印粉連紙書各一百二十部毛太紙書各二百部先後具奏仰蒙

允准各在案嗣因直隸總督採買紙張運解未齊集字板殘缺亦須添補一時難以開辦至上年四月間經 臣等督飭該提調總校校對等官妥籌開辦伏思集字板印書每頁輪流更換必須隨印隨校方昭迅速當飭在館人員排定日期逐日輪赴總理各國事務衙門印書處所詳細校對不准稍有曠誤以免該匠人等停印待校虛耗薪工並飭該提調隨時稽察工匠查覈紙張以防草率偷減之弊茲全書三編刷印校勘均已完竣謹將粉連紙陳設本各二十部計平定陝甘回匪方略三百二十卷裝成三十二函平定雲南回匪方略五十卷裝成五函貴州苗匪紀略四十卷裝成四函均用黃綾套黃綾面頁

恭呈

御覽應請

發交懋勤殿擬定處陳設其餘

頒賞之書係用黃布套紙面頁業已陸續裝訂另行請

旨辦理前於光緒十五年間具奏開館事宜並聲明

應屆辦理方略於纂輯成書及校勘完竣分作

兩次請獎此次擬查照成案分次請獎以昭激

勸奉

旨依議欽此查此次刷印方略三編共有四百十卷

之多自上年四月間開辦起甫及一年即已告

厥一切尚無遺誤竣事既速省費尤多在館人

員不無微勞足錄除_臣等及提調纂修等官不

敢仰邀議敘外其總校校對各官及供事等擬

遵奉前

旨另行奏懇

恩施用示鼓勵所有恭進方略陳設本緣由謹繕摺

具陳伏乞

皇上聖鑒謹

奏

光緒二十三年六月十一日奉

旨知道了書留覽該提調仍著一併請獎欽此

462 再前蒙

發下方略卷首三本所有應行更正各職名均已更

正謹裝另匣一併恭繳謹

奏

光緒二十三年六月十一日奉

旨知道了欽此

463 再刷印方略係在總理各國事務衙門辦理_臣

等因添派該衙門總辦章京一員幫同該提調

稽察工匠查數紙張等事並派章京數員專司

督催以期迅速現在全書一律刷印完竣仰懇

天恩俯准將該章京等一併量給獎敘謹

奏

光緒二十三年六月十一日奉

旨依議欽此

464 內務府奏為恭摺具奏請將纂輯方略卷首三本更正各職名均已更正謹裝另匣一併恭繳等因欽此

上言欽惟我

皇上德峻同天

量閱括地

握三靈之寶契

鑽十葉之休符

黃屋凝神

聖表彰乎玉斗

璇宮養志

孝治協於餉鈴

文思宴而萬邦和

武義璜而七德舞天保治內采徽治外

攬大小雅以儲才甲夜

觀事乙夜

觀書

居左右介而聽政年和氣淑魏徵醴泉之銘

澤洽

威宣終軍奇木之對

考於靈曜間衡格四表之光

奉以中黃瀛海奠九州之大伊慮產里闡耳離身之

國陶詠乎休任執牛露犬乘黃極白之貢煇耀

乎旌羽固已邊亭臥鼓畿服清塵銷甲而事春

農真車而卻走馬惟是

五始受圖之載曾訂九開柔武之文洎乎偃伯歸尊

之年遂定分類居方之制則有筠冲行派景教

流行奉穆罕默德為宗習甫爾加尼之典隋開

皇之世思葛以綴術來華唐元和之初摩尼與

賈胡作蓋太原置寺而彼教遂布寰瀛洪武詳

經而其徒益樹徽幟於是爰劍之種近依賜支

槃紇之苗入居祿福允姓東徙及於渭汭輶轅

貨虜南牧置諸武威張掖當夫三垂槃晏九服

清怡邊障無鹿駭之憂郊輒有鷹游之瑞雖復

月氏遺孽散處西河日逐名王潛來北地而仁

單跋華乳虎亦復含牙食裕桑甚翮鷄自然革

響迺自長橈藝地枉矢流天微側盜桂管之兵

楊么踞湖湘之岨嶺南庫盜斗米書符淮北缺

徒神叢號象白皮黑山之黨莩蔓者八九州赤

眉青積之葛綿暖者十數裸於是很望之北龍

堆以西引弓萌射月之心挽酒竊彌天之號衛

辰本元海之族驅自狼生精絕為部善所并蠻

偕觸關加以武陵太守徭稅失平安夷小吏淫

略滋甚蘇定虛而麤冷叛辛湯酌而降羌離遂
使洛鄒故虛繞雅潛煽屈茨廢壘燈賊紛乘玉
素皮偵知漢謀傳軍臣而肆毒倭里罕實惟塞
種越縣度以窺邊福舍千尋修地窰宅逢留二
部天鳥相翔火州叛而風驛生灾依耐亡而沙
梁失險休屠祭天之處鬱為榛蕪渠叟八百之
涂高於禮毘渠犂之田官已沒光祿之亭障皆
暮虛卿無功侯騎達於雅時涿靛入寇廷議欲

閉陽關

文宗顯皇帝聖策風行

英謀雷發不煩二十八將無假五十二征

命魏絳以和戎甲兵不煩

詔唐蒙使諭蜀阪落知歸劉尚殃民

盟書遠問勝之按事繡斧巡行翦翎候之主謀莫南襄

耗懲迷吾之反覆海西艾安然而烏氏義渠錯

時雍梁之野狄獯却冀潛居涇漆之濱先零種

豪依阻湟水當煎殘醜徒置扶風性情則狗熊

驚腸族類則豕噬狼顧伊川被髮知戎禮之先

亡冒頓生心值漢家之多事牛象之闖蒙起圭

殊狸鼠之爭禍饜鋒鏑養士蓄械潛証者數年
揭本負柴發難於一旦借郭解報仇之語行隄
萬稱亂之私勾驪山亡命之徒據咸陽形勝之
地繆鯢不翦襁輸斯張楊駒反於仇池盧芳起
於安定秀嚴叛將附思明以拒唐衛律亡奴教
單于之擊漢昆陽被困衛鞞案止十重吐渾寇
邊烽火竟連三月

穆宗毅皇帝遐衝是折

廟勝先標

秉鉞而濟艱難

騰書而示禍福

紹庭奉

豐宮之命

斧辰銘勳

誓師秉

如幄之規

禮車肆伐南人不反喜江漢之波平

西顧生憂值河湟之事棘夫信賞必罰經武之要圖批

亢擣虛行軍之次第縱胡馬邑逮治王恢失律

陳陶平錫房瑄段頤邊垂夙將責之以靖氏羌
李晟社稷良臣任之以收泝隴移荆襄之勳卒
下雍塞之舊疆潼關為全陝矜喉防韓馬之先
據同州乃長安屏衝本周齊所必爭韓信擊魏
先扼臨晉之渡魏允拒趙因屯曲梁之宮郭子
儀大捷黃堆黨項之勢遂綢李克用進軍零口
渭橋之路復通八道俱攻三伏是設振烈風而
掃穽傾救海以澆營甲不去身終宵馳三百里
虜皆在目一月收十二城拔沙苑若轉丸舉秦
川如沃雪轉故倉之粟即關興屯船渭陽之舟
蒙衝夾擊禽賊獸壓沮漆為之塢流雷驚寔輕
商雒於焉漸定

軒圖默運堂尤之毒霧難狂隴事方殷諸葛之大星遽

實長城竟壞軍士拊膺大樹中摧

朝廷旰食遂乃狼兔復熾鷓義更張齊萬年擁眾涇
陽彭奚念稱兵抱罕境何內徒竊據參繼時征
尋警旁陷積石昆邪王之分地烽燧燭天赫連
氏之遺區獨隳塞路沮渠肆虛時換瓜涼元昊
尋兵恣睢環慶情同首鼠朝暉而夕懷勢似連

難此擊刺彼窺見胡一百五種沸如爛塘隴右

三十三州淪於豺虎又况墨克祖國叛服不常

和通種人駭除難盡焉者攻沒都護康居叛迎

郵支安息遮揭大秦青霜春併濮連大宛殘狡

潛盜腹疆布塞遺黎甘傳毒蔓石槐乃投鹿侯

子仍世號雄寶魯居多邏斯川專制瀚漢撐竿

孤塗之背緩呼衍頰卜之芽燒燉煙三百帳沒

我田苗難浦五萬戶恣其鞭笞自建武暨延光

西遐屢絕由沙州至鹽澤南道不通長史困於

柳中何從倚漢邊地棄夫斗辟因以予胡絕暮

未能諸將畫玉關而守暴師已久舉朝議珠崖

之損

帝怒赫張

神謀夙定

命來款取天水

使馬琇鎮涇州使以漆弓控制萬里假之黃綬統御六

師會九節度之兵共圍關右率六將軍而出直

指回中齊伐淮南徐陵薦表忘厭惟良副唐征

遠左馬周舉韓挺堪任嚴才趙充國馳至金城

圖上方略王忠嗣進規磧口訥知敵情以為欲
定天山先清涅陁欲安反側先解脅從酋非既
誅罕拜自能孽服子與不滅銅馬難免輶張爾
乃運荀子之五權授越王之七術雷縉雲橋壓
滿岸而騰波驪駕輦車並隴山而輸粟奇兵七
百王賧合臨洮之軍彊弩二十虞胡纘赤亭之
寇計取孟獲七縱七擒窮追賀真九日九夜劉
沔之破葉護一轡不歸唐璿之援涼州六戰皆
克西戡北拒鋒蝟斧塘左翦右屠簡頭微頸然
且申嚴一之號令布寬大之

詔書射用三驅誠禽聞而感泣網開一面涸鱗因以昭
蘇宋藝祖之戒曹彬慎毋妄殺劉仁軌之降沙
叱示以赤心懷州二將歸誠於光弼沙陀千落
助順於希朝執渾瑊之旗先驅維謹係軛道之
組後至斯誅抱馬投戈望和門而羅拜憤牆填
塹釋袍服以歸農為屋三萬間使之相保相任
畫地三千里予以可牧可耕當是時瓦亭設關
涇原大定沃野置鎮靈夏未歸迷唐徙而二榆
空燒當震而五縣獻繫鞫頌之蓋雅獨負固於

討來檻獸繼禽殘魂僅屬鬼狐沙域射影猶工
懷光矯虔倚朱泚之勢薛舉亡破結阿史為援
獅子狙獮子隸胡行如鬼順刃生蘇刃死漢將
皆飛六郡良家沒石翹關之勇四面招討蕩海
拔山之威施檻上之轅樞樵汲已斷鳴地中之
鼓角飛走俱窮鉤衝進而犀兕爭先樓堞毀而
蹙駭失據李愬之平淮蔡指麾若神狄青之奪
崑崙森迅無比置酒泉之郡保勝安邊登唐述
之山勒崇銘石封狼居而未遠待挂蔥嶺之弓望

龍鬣以難攀遠鑄

荆山之鼎

皇上丕膺鴻業

光紹燕謀車書而南北皆同候尉而西東未一

堯勳待放

特陳丹浦之師

軒轅初膺

誓戰青邱之暴於是方叔伐鼓南仲出車

廟算既多軍心致一票姚勇略從仲卿而冠軍常侍

良圖受裝相之節制五原美稷苗彭分屯通漢

金河邱柴並出芟藁鹽穀之數受藉於司農鎗
仗戈艾之屬簡材於武庫木牛流馬民忘徂運
之勞夜火畫旗士習孤虛之術六日轉戰誓抵
闐顏八部並進計殲五達博望著導軍之績合
騎無失道之兵遂裹纒雪山投鞭滿類摩伊吾
之舊壘躒全滿之故城前後車師之庭清夷荒憬
東西且離之國芟蕩榛荆割斷肩扼亢拊背
通嶮得先居之利輔車相依之形厲蒲昌而
轉龜茲戡尉頭而藉姑墨奮於越習流之士威
火之瓠不然發瀘河埋坑之糧載土之車盡棄
柔然虜其半部回鶻廝而七分郭恪拔處月之
城高侃俘車鼻之衆三姓貴種扶服迎降諸道
行營銜枚疾走當渠且戶條縲者八十三人兜
勒蒙奇內屬者三十六國景聲旣徙地遠偏留
軀降戶以南邊斷道橋而西竄焚齡石之室數
日不燔灌晉陽之城三板不沒濡帷葦屋決流
漉沈進偏於寘規收疏勒渠莎地廣取之若撻
體磐藁城堅舉之如刺毳時則黑白兩漠已無
風塵南北二庭咸表誠款張寶相之追頌利計

日成禽王君真之攻諾邏歸路先斷巢幕之鳥
學羨居而避風沸鼎之魚覲騰地之游霧旣窮
鷓逐自盡鳩媒臨海合圍孫恩想而鼠竄相梁
奴隊伏允因之雄經犀革檻車雖免南宮之醜
鴟夷獨鹿竟湛子胥之尸寒泥之亡過戈并滅
阿葦旣斃慶緒潛逃與七負於開題遁九嬰於
凶水田榮敗走見雖平原之民豎牛奔齊授首
塞關之外狼羆盡殪豨駝聚殲刑無胥靡誅不
填服捷書飛報

喜寰海之銷兵琛賫來同開

明堂而受賀

衣冠原廟舉

列宗烝祭之文

弓劍橋陵竟

先帝殪戎之業

堯門進膳

舜綵承

歡漢殿論功剖符

行賞

策中頗牧影綰紆組之文間外岑馮礪山帶河之

誓誕敷

丈德鏖伐昆吾大告武成

塔柴秦壹圖戰功於

麟閣鼙鼓思邊將之勞

閔勤事於龍沙羽林補孤兒之職

雲施靈港天清地澄象

上聖納隍之仁洗舊日毆叢之酷廣施粟續重任田

廬見漢官之儀耆童兩泣入新豐之市難犬知

歸威懾同蒙惠周遺愛惟是陳穉華滅盧館遂

遁匈奴建德伏誅黑閭竟奔突厥終帶叛亡之

虜置零吾以田居袁尚敗竄之餘依躡頓而自

固又况岑陔舊部伊麗名川四十八橋微諸長

春真人之記九十六種見於湛然居士之編蕃

蔽伊涼是惟右臂庸回兼檢遂啟戎心州羈縻

而既淪使捉捉而亦廢粵來秦亂桂林之盜據

經年魯與齊鄰鄆墮之未歸無日雖鐵勒諸部

亦既奉王歸誠而昆彌舊治猶復閉關固拒三

軍搃擊元老陳護願因百戰之兵驟動九天之

上故關而責故地壓境而累罪人

皇上宏柔懷之遠回

閔將士之積瘁按兵不動發使陳詞撫五體之碑文

徵八科之信誓正烏孫之舊界皆籠今之游魂

歸漢里君共喻止戈之武蠻夷大長幸免問罪

之師由是唐

高宗經野之誤楊

聖世同仁之化錫漢時甌脫之議執周代戎索之經

迪化一州鎮西二縣久已編之赤緊隸我黃圖

學官立弟子之員野老音名田之冊仍舊不作

誦閔子之法言補短以長更陰晉之舊目若乃

輪臺東迪劍末西岨玉英金根之所孕火山風

穴之所亭自昔格狂許為夷禮今茲陶染願為

夏聲為之別壤疏泉辦方正位銀李翁之橋道

曠鄭國之河渠會五土之物宜建百雉之城關

尹以州長縣正涖以都守郡丞合彼北垂莞以

觀察置度支營田之使放持節刺史之官是為

附庸統於麗道新安行者兼經略於江南昆舍

與國受控制於閩越合之則華離壤錯分之則

建置星羅雖復秦取陸梁之地置南海象郡漢
誅印祚之長開粵嵩沈黎鬱督軍山唐設都護
之府額齊納路元立總管之司未足以抗我頽
行方茲規復用是督察烏墨動靜皆知鎮撫伊
循威重可倚置候千三百所以苟北荒列屯三
十四部以郭西海同羅白雷分別部居警備防
步滿除偽號五小王之舊地廬帳雲屯三葛邏
之故庭亭燧星列波池交屬禮回鷹婆之川郵
表相望竭木龍勒之縣芳草甘木僕郭杜之上
腴觚布書刀方巴蜀之文雅設閭師以經九野
置卅人而采五金酒號末陀奚官辦位銘名巨
耳織室輸珍和滇撈玉之河琅玕溢肆溫宿鑄
錢之冶貨貝充衢祿神之祠阿暉之經改襟而
受史婆羅之叅巴旦之杏納蓮而來賓罷兵息
民減黃中之義從邵農訓武省關內之轉輸西
鐔凌山東苞鮮水南控身毒北雙丁令革漣酪
而肆耕桑弛鹽表而垂冠帶此蓋幸逢

秦運印奉

乾圖

本仁育義正之規
建小狂大匡之烈
用李靖為總管
信任不疑

詔劉晏督軍儲餉餉不絕
拔終賈於英妙不限年資

善韓范之知兵不為險制舉告緡之令而口錢更賦
不倍算以供軍築受降之城而分田受屋不剝
誅而殄類戰勝則龜符金組不恡剗印之封賞
軍則槃水菴纓不援議貴之律用能上下同德
將校一心運籌帷幄之中過師枕席之上移兵
西嚮收秦地之山河籌南征轅高昌之霜雪未
驚饒吹樂奏兜離金鸞表文誠輸弄措渾城充
會盟之使李佺立分界之碑金帶犀毗分貽館
伴蒲桃天馬遠致商胡利用厚生徹黃帝師兵
之衛尚文偃革絕朱邪狼狽之虞解服五千豎
亥難得而步通譯四萬甘英之所未窮銀甕白
環杜陵洗兵之詠文閣萊帶顏監王會之圖臣
等未與荷戈樂聞秦凱三股俘玉奉典寶之道

文兩階舞千誦韓非之吉語龔承

寵命纂周書武紀之篇勉耀

末光放漢世春秋之作

長楊給札領局分曹

天祿讎書削錄授簡錄

中興之禦侮閱時二十四年續通鑑之長編成書三

百廿卷竭做誠於姦管探故事於

麟臺印秉

聖謨分朱書墨書黃書而屬草丕揚

祖烈繼前編正編續編而告成

聲教被於流沙

典謨著於定本螺丸麻紙置寫書之官縹帶牙籤儲

延閣之副畢昇活字編梓生新荀勗中經編萃至

再輝騰

寶笈比吳統政要而加詳

治鞏金甌非峯岑紀功所能罄拓坤輿至二萬餘里

都在

免楛

舜抱之中

遊醲化於六十四民如游鳥紀龍官之世臣等無任

瞻

天仰

聖踴躍歡忭之至謹拜

表恭

進以

聞

465

內侍省書寫字樣書寫字樣書寫字樣書寫字樣書寫字樣書寫字樣書寫字樣書寫字樣書寫字樣書寫字樣

上言欽惟我

皇上秉運中黃

揆元太紫

攬乾心以繹化

圓輝涵規

挈坤絡以斟獻

方儀協矩

慈庭鳴玉

承鷲開寶鼎之祥

廣殿聲金

履位闡璇璣之秘

大丈縛宙奎壁耿其圖書

神武錄邦招搖槩其旌旄

植聖賢之杖百度貞明

張仁讓之闡羣萌樂愷東南一尉西北一候廓漢中

葉之幅員五才因地五緯因天徵晉盛時之食

貨譯通四萬星霜不蝕於銀符燧息九邊風雨

無驚於鐵柱火鼠燭龍之阻競騰躍而歸忱銅

烏石燕之愚尚識知而順則而况連山漏臥本

中夏之黃圖街子缺徒亦

熙朝之黎庶孰不希懷職植遵履清夷晒刀耕火

種之舊風式襲竅重熱之洪化即有狼狽鍾性

蜂蟄嬰心睚眦尋警跳跟樂禍亦且迴翔於

皇路震撼於

王鉄虺毒潛摧鱷牙隱落維昔長棹掃地大弗流

宵戈鋌偏樹於中原鈴既遽搖乎邊圍原夫井

鬼之野雍梁之交楚莊躡所都唐蒙舍所窟山

谿塊北族類荒荒莊嶽齊區乃置荆蠻之種伊

川周壤實居陸渾之戎則有受戒阿丹傳新勞

海道其所道二罕養德之言歧之又歧別語拔

爾之疏討刺特引支勒誦爛漫之經文查密爾

阿補德紀荒唐之姓氏响禮十拜宵禮九拜儀

節異於齊民男子純素女子純緇弁服殊於士

婦鄉鄰門限五比矢相受之歡訟獄滋多三判

寡持平之法弱肉強食民以非種而必鋤是白

非丹官以右漢而偏袒由是偉刀張殺人之膽

探丸萌所吏之心斬木揭竿彎弧舞羽弄棟之

遺墟無恙百雉摧頽陽爪之咫尺壞依然羣狼奔

突其間有杜汶秀者以係縲之餘生附阿渾而

濟惡毆幸小醜號召精夫角牙密屬於蒼山鱗

甲怒軒於洱海銀銜不固紫城之輪宵開金鐸

禁聲白挺之軍朝入岫虎勢猛井蛙氣驕觀柳

貌之國哀牢思亡波之王鉤町九衢借啟籠鄒

趙之往圖百僚私設踵揚段之逆軌完巢埋穴

作鑪於中都附幹分支侵陵夫旁郡憂魁塞路

游氛蓋乎維摩魁梗逐宮氣纏乎彌勒羅伽

旬縱橫馬足千里駭然囉哀籠飛走狼烽重闌

楮若銅頭鐵額繡額者數十州猿鶴沙蟲慘沮

者億萬眾戰孤軍敵鼓有死聲守關張巡郭無
完堞大臣難辱光弼因之抽刀師徒不繼屈瑕
於馬盤谷時則紅羊一劫綿厯乎江東青犢千
羣恣睢乎隴上難當馬賊弄兵齊豫之郊善喫
狼臘飛舶津沽之水樁乾營豆六師同缺夫蜀
艾雲蓋星旄三輔未清夫妖孽南海荒忽漢臣
言珠崖之捐大河淼茫宋廷議玉斧之割

文宗顯皇帝睿養默運

天策遊馳不欲淪寸土於黥波不忍棄一民於豺窟

命文齊膺棟蠶之壁

使姚崇鎮堂狼之川烏草翩翻朱旗爛乎原野蛟螭盤

互元甲被乎郊壇長殺短刀一揮而白首伍符
尺籍特起乎蒼頭魯人殫三郊三遠之謀孫子
運九地九天之智固已惛繫翫之餘魄誠姑納
之圓顧嬰城而拒毛說列陳而當雍閭橫鋪渠
答埽貼地之嬰喻捷出筋竿鐵射沙之鬼域縈
帶折著防輪盤之攻藉車井屏議墨翟之守丸
拋鞬續傳讓見而魂裴礮擊磴布雙聞而氣
奪祇以陽九之數未甦元二之灾尚留熒惑妖

星黯慘而鵝照豈尤大霧蒙冒而不收遂致釜
底之魚自遊釜中之豚仍竄又况右山左谷前
隘後迂五尺通而未多一夫扼而執抗般鎗嚴
東不騰晷凍之容迪戛橫衝莫振鷹揚之色夙
狼雲鹿忽覆壓於十門金馬碧雞盡沈艱於六
詔鮮于冒險一旅難迴李宓忘危雙輪不返抑
且黎樹售欺於歸命吐蕃肆詐於舟盟陽為李
日越之輸誠陰作中行說之教敵噉細民之膏
血持大吏之短長李監軍乃放棄笙歌班都護
竟思歸骸骨

皇威有赫

天討重申以為嚴武守川久孚大信韋皋鎮蜀素樹高

勳爰分其鵝鶴之軍用翦此輿綸之衆風檣怒

發漢將之馬爭馳雪窟奇寒

堯年之鶴驚語

穆宗毅皇帝軒圖席慶

湯鉞除殘篡

先業於青陽憫九黎之遭塗炭

授神符於元室誓衆士而整師干

太姪徽音啟

周王之聖武

宣仁慈範安宋室之疊隅當

璇闈視

膳之年皆玉篋儲賢之日求將文昌之下論兵河鼓之

間李信覆軍即家而起王翦來歎中刺馳驛而

召蓋延收孟獲軍人孚以心肺釋蔡州降將任

作爪牙浴鐵三千衝颯疾進藏銳丈八瀉血無

聲十盪十決而益前四正四奇而間用刺羊扶

跋芮之險秦記慧畫塗之能爨瓚違天史萬建

平蠻之績李嶼不道王遜揚破虜之威張審素

合昆明重圍唐九微珍姚州劇寇封離襲緣值

楊疎而喪師板楯來歸佐龐芝而殺賊韓洽壓

境而同樂乃定高駢戒徒而嚴道以安然而或

勝或負者兵家之常旋仆旋起者敵氣之惡李

略見傷於越嵩楊術受劬於羅恆儂智高襲陷

州郡裴元裕慘亡疆場

穆宗毅皇帝迺奮武王之一怒增虞詡之三科知取公

孫之軍必藉岑彭之勇知靖王尋之變亦需馬

武之材遂疑去乎鉤鬚俾權操夫越柄一則嚴

疆式寄播雙旌六森之威聲一則專閫攸司振

大戟長槍之銳氣復恐甘凌修怨破魏難期渾

濬爭功平吳莫卜弭兩家之私鬥而寇賈交歡

釋二憾於平時而蘭廉合志於是戰益用命師

克在和奉漏沃燠齊獨急於救趙下倚上角晉

亦易於懲秦鄭駟燕駘馳驅並效吳鉤越棘擊

刺同長諸道分趨列城皆下克曲靖而東隅固

平臨安而南徽綏復澄境而肘腋無憂解首圓

而腹心消患迺移全勝之勁旅退規大理之偽

都亞夫當西北之衝道古遏東南之隘劉軍穴

壘鼓角鳴於地中袁衆臨城梯衝舞於樓上費

灰箭火無止於輶輻連挺長椎莫嬰夫蒙櫓考

叔則操蜚直上天生則躍穿橫飛林禽知裁罹

燒撥焚杆之酷泚獸欲鬥卒反首羞舍而從療鯢

豹之饑汎舟久絕乞蜉蝣之助丸蠟俱窮膽落

渠魁遁跡於仰鵠肉袒羣醜變計而牽羊夫攻

城不若攻心受降本如受敵亦既轉張為幻無

脫帽抱足之誠自宜奮迅摧堅竟掃穴犂庭之

舉毀巨堞者以百數長繩者萬夫懸郵支之首
於藁街縛兇題之黨於圍獄延興與延虹並獲
繼方偕繼祚成禽褚蟻圍之冠裳燔蠻邦之約
削擗名都而麾下邑校免失依俎外穴而前內
姦大偷是誣高張露布報蒙氏之就平

坐治明堂慶淮西之漸定榮虜圭瓚方銘召虎之壯猷
痛迫

珠邱俄返

重華之仙取

皇上迪光神寶

炳曜天璣輝

懿訓於堯門布

仁言於魏闕元戎賁而彤弓錫驕將懲而鞶帶褫

頌勾鑠之圖屢紆

宸算

咨階籤之報時揚

宵衣萬里不隔於

九重層山待成於一簣雖或犬羊道孽騷四郊鋒

蝟紛攢斧塘齊怒旋即鞭笞大定腥穢全獨舉

凡爾撒頌徒摩尼雜種靡不盪除益惑泯棄狼
心習闊爾罕之真詮却毆若堂之潛煽於斯時
也韋伐而顧並克競滅而慮隨亡郭昌正略地
滇中唐蒙迺綏軍黔境畏威回紇已悼惶單騎
之前逆命苗民亦錢定七旬之內夫其隔離聲
教生長巖巖羊馬牛以為裳醜蚺蝮而作食蔓
藤藏體薏苡蒙頭蓄一寸之髮居然被髮折雙
街之齒不惜摧牙笙笛噉婚姻之禮無別族
旄雜運鬼神之祀不經或丑戍而開場或寅午
而列市風俗之荒陋已甚性情則桀鷲殊恆喋
血製木老之刀益毒激仲家之箭祥橫最工挾
督陽洞祇解操戈久已漸我

仁風猶復燃其兇燄小則晝伏夜動潛作鼠偷大則

安忍阻兵肆為梟逆當有明一代迭警烽煙速

憲廟季年始清鋒鏑屬以黃輿厥治元緯中函蛟僞忽

起乎昆池蠻觸遂興於鬼國銅山傾而鐘應崑

岡火而玉焚蓋黔盜之多如毛而苗疆之亂尤

熾逆酋高禾張吳迷等狼羆比迹蛩駘聯銜各

擁號以自雄並稱兵而罔忌勃盧承級虐甚於

笮陀谿子發機密逾於蘭石和門史聞鵬題之
旅雲也危壘超夷椎髻之渠霧合温禺及而虐
磨樵盡更直過則介拜焚如六城蕩而為墟兩
游震而胥沸其傲擾也亦越十有八載其削平
也奚啻五十二征驚夫乘於先趨材角於後精
卒力其適信臣策其遯爭險於天竈龍頭索伏
於蔣潢藉奮斬馘於蕪巖大壑焚巢於雪窖冰
天恐艱涉危竭三楚兩川之力

發縱指示本

文謨

武烈之隆蓋

文宗顯皇帝命將出師早握激清之局

穆宗毅皇帝知人善任聿收底定之勳

皇上恢張遠邁滌餘沱震激電掃雲卷霧消弋玉

弩之垂芒挽銀河而洗甲是則桑弓不振南詔

莫敢稱王竹卜無靈夜郎亦難自大也已夫以

長和天興僭亂不一且蘭西蠻叛服無常圍奪

風行射闕之夜龍易起推剝日肆逆天之長叔

萌生故隋大業之時橫戈徧地唐天寶之際蕃

大頻年何以一振

天戈全摧巨敵此蓋由

神機獨斷

廟略宏敷

賞不逾時士絕賫留之歎

罰不遷列吏嚴逃罪之條

閔缺食於三軍

救農官而轉饑

恫無衣於七萃

詔太府而班婚英跼擅巖園子拔於少歲遺孤問室

夷吾徵其內言梯髮耨苗

付李恢以戎柄風教露養

予張翕以治權

澤下則北燮南諧

威行則陸讐水慄山叢箐密縱四伏夫築茅鍤迹銷

塵究一墻於

大冶攝麾就卷戰柯不揚偃革鎔金埋輪罷鞅策勳

告祭安

穆考涉降之靈飲至臚歡慰

文母永清之願視彼漢開滇國未設多官秦關黔疆猶

留荒服

德威超邁

功烈登聞矣茲者龔膺

寵命紀述兵符

賜太乙之葵青編共勘

給銀光之紙標管同脩詳所當詳括龍韜於五十卷

簡所當簡羅豹略於四十篇凡夫築壇授鉞之

規輓粟飛芻之策白波黑山之暴虎桓鷹戩之

良水深火熱之憂春賞秋刑之典繫以年繫以

月繫以日

三朝之掌故無遺書其地書其爵書其人兩省之膚

公不朽臣等粗知握槩未與運籌愧謝肇淛之

才墮滇略而紀事遜郭子章之筆續黔志而成

編蒐輯叢殘聊擬官箴之補

考鏡得失益欽

聖學之精於是璀璨珠鈿頌贊銀牒經

蘭臺之寫定幸

玉案之留觀雖歸義歌存未載乎隄官隄構而懷

德思永如傳乎臣僕陵陽從此隘宇餐和龍區祝福

懾八荒而城伏不費

唐弓虞弒之勞踐三古之鴻龐長承

堯日舜風之治臣等無任瞻

天仰

聖蹟躍歡忭之至謹拜表恭

進以

聞

466 查光緒二年

頒賞平定粵匪擒匪方略成案

親王

郡王

內廷行走王貝勒貝子公

御前大臣

大學士

協辦大學士

各部院尚書

左都御史

侍郎

倉場侍郎

南書房翰林

上書房翰林

各省總督

河道總督

漕運總督

各省巡撫

行聖公

467 光緒二十三年六月十二日內閣奉

上諭巡視南城御史穆騰額等奏刑部推諉重案請旨飭交訊辦一摺據稱民人趙崑喊控劉士堂等搶人一案經該城移送刑部該部因訊無確供遂以犯事在京西宛平縣地面人證難傳為辭牌行該縣查訊辦結咨部存案實屬有意推諉等語此案既經該城送交刑部何以轉行發縣審辦仍著刑部傳齊人證秉公研訊務得確情按律定擬以成信讞欽此

468 巡視南城御史穆騰額等奏刑部推諉重案請飭提犯訊辦摺奉明發

諭旨一道謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

469 光緒二十三年六月十二日內閣奉

上諭延茂等奏監犯出獄行劫請將疏防之管獄官革職審辦一摺據春副都統衙門管獄官恩特尉烏翎額於監禁擬徒人犯並不依法管禁致令該犯李有私行出獄結夥行劫協領春陞家銀兩實非尋常疏忽可比烏翎額著即行革職歸案審辦餘著照所議辦理該部知道欽此

470 光緒二十三年六月十二日奉

旨戶部議奏欽此

倉場衙門奏嚴員案卷並詳提摺

471 軍機大臣 字寄

守護

東陵固山貝子毓 鎮國公載 馬蘭鎮總兵松

光緒二十三年六月十三日奉

上諭毓焜等奏松嶽搭捕未盡所需款項前領八千兩約計仍恐不敷現在直隸藩庫撥給運米腳費等項銀三萬兩業已解到擬即於此項內暫行挪用將來再行統覈數目請領歸還等語搭捕松嶽疊次所撥銀兩實已不少現屆大雨時行松嶽情形當較輕減搭捕自亦易於淨盡所需經費著於運米腳費項下撥用銀三千兩此款將來不得由部請領歸還嗣後亦不准再行續請撥款以昭覈實將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

472 光緒二十三年六月十三日內閣奉

上諭徐樹銘現出試差兵部左侍郎著唐景崇署理其所署之刑部右侍郎著壽昌暫行署理欽此

473 應兼署漢侍郎名單

吏部左侍郎徐用儀 現兼署戶部左侍郎

戶部右侍郎陳學棻 現兼署禮部左侍郎

禮部右侍郎張英麟 現兼署吏部右侍郎

兵部右侍郎楊頤 現兼署工部右侍郎

刑部左侍郎李瑞榮 現兼署工部左侍郎

474 應署漢侍郎名單

硃 ○內閣學士唐景崇

梁仲衡

陸寶忠 現兼署都察院左副都御史

○都察院左副都御史壽昌

詹事府詹事瞿鴻禨

475 光緒二十三年六月十三日內閣奉

上諭張百熙現出試差國子監祭酒著吳樹梅署理欽此

476

應署國子監祭酒人員名單
翰林院侍讀學士陳兆文

李殿林

侍講學士戴鴻慈

秦絳章

477

應署國子監祭酒人員名單
詹事府左春坊左庶子李昭輝

○

右春坊右庶子吳樹梅

翰林院侍讀陳秉和

姚丙然

侍講丁仁長

王榮商

478

光緒二十三年六月十三日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏遵保獲盜出力員弁懇恩獎

勵一摺著兵部議奏欽此

479 光緒二十三年六月十三日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲糾夥行竊賊犯請交刑部會同宗人府審辦一摺所有拏獲之小劉即劉祥恩小剛即剛榮煥小連即連城小榮即榮奎覺羅恩三即恩祥韓二即韓吉昌小雙子即雙志等七名著交刑部會同宗人府嚴行審訊按律懲辦未獲之存子即俊順兒等犯仍飭嚴緝務獲究辦該衙門知道欽此

480 光緒二十三年六月十三日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲結夥搶劫盜犯請交部審辦等語所有拏獲之李順兒王十即小張二名著交刑部嚴行審訊按律懲辦未獲之小盧等犯仍著嚴緝務獲究辦該衙門知道欽此

481 光緒二十三年六月十三日奉

旨仍留本身欽此

482 交兵部本日引

見補放前鋒校擬陪之熱河前鋒監翎長祿和員奉旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

六月十三日

483 光緒二十三年六月十四日內閣奉

上諭祥麟等奏廢員報効軍臺經費可否賞收並請獎敘一摺已革御史鍾德祥係因言官收受贓私獲咎發遣情節較重所捐銀兩著不准收祥麟依崇阿並未聲明該革員犯事原委率行具奏殊屬非是著傳旨申飭欽此

484 軍機大臣 字寄

陝甘總督陶 陝西巡撫魏 山西巡撫胡

光緒二十三年六月十五日奉

上諭胡聘之奏議開晉邊蒙地以興屯利而固邊防一摺晉邊伊克昭烏蘭察布二盟旗地川原饒沃水陸交通據該撫臚陳興屯之利約有四端現擬

辦法如設局籌費定租駐兵各節均著照所請辦理惟興辦屯田固所以裕稅課而重邊防亦須無礙蒙民生計著胡聘之飭令派出查勘各員曉譬伊克昭烏蘭察布二盟長諭以朝廷興辦此舉實為蒙民策安全既議租以贍其身復置兵以衛其地該地方蒙民等自無不樂於從事之理至西二盟壤地毘連數省其與陝甘鄰界者可墾之地尚多誠能一律開辦亦屬有裨大局著陶模魏光燾各就地方情形詳細查勘應如何陸續興辦之處分別妥籌奏明辦理將此各諭令知之欽此遵旨寄信前來

485 軍機大臣 字寄

山西巡撫胡 光緒二十三年六月十五日奉

上諭胡聘之奏籌辦礦務擬先修鐵路一摺晉省煤鐵各礦運道阻滯必須興辦鐵路方能暢銷覽奏設立公司所貸之款商借商還餘利酌提歸公各條大致尚屬周妥惟創辦伊始必須豫防流弊並借款有無實在把握著胡聘之悉心妥籌酌定詳

細章程奏明辦理將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

486 光緒二十三年六月十五日內閣奉

上諭松林奏病勢增劇懇請開缺一摺奉天府府尹
松林著准其開缺回旗另片奏奉天驛巡道志彭
熟悉地方情形可否施恩遵轉一階等語所奏殊
屬冒昧著交部議處欽此

487 軍機大臣 字寄

直隸總督王 光緒二十三年六月十六日奉
上諭李秉衡奏山東河工需人前調直隸候補知府
勞乃寬請飭迅速到工等語著王文韶飭令該員
迅速前往毋稍延緩將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

488 光緒二十三年六月十六日內閣奉

上諭奉天府府尹著廷杰補授欽此

489 江甯布政使松壽

河南布政使額勒精額

甘肅布政使佐曾鈺

四川布政使裕長

雲南布政使裕祥

山東按察使毓賢

河南按察使長祿

廣東按察使魁元

四川按察使文光

490 直隸鹽運使景星

山東鹽運使豐伸泰

浙江鹽運使世杰

廣東鹽運使英啟

奉天驛巡道志彭

奉天奉錦山海道廷雍

奉天東邊道榮森

吉林道聯陔

直隸口北道鍾培

直隸霸昌道恆壽
 直隸熱河道端多布
 山東督糧道桂春
 山東兗沂曹濟道錫良
 山西雁平道恩霖
 山西歸綏道文保
 河南開歸陳許道穆奇克
 陝西陝安道恩壽
 陝西潼商道錫桐
 甘肅甘涼道明保
 甘肅西甯道聯魁
 新疆伊塔道英林
 福建汀漳龍道榮堃
 江西廣饒九南道誠勳
 江西鹽法道春順
 湖南辰永沅靖道廷杰
 湖南衡永郴桂道隆文
 廣東督糧道廷祉
 廣東惠潮嘉道聯元

硃
○

廣東南韶連道阿克敦
 廣西左江道瑞霖
 四川成錦龍茂道長春
 雲南糧儲道英奎
 雲南鹽法道普津
 雲南迤東道興祿
 貴州貴西道玉恆

491 光緒二十三年六月十六日內閣奉

上諭何建威著調補甘肅肅州鎮總兵陝西河州鎮
 總兵員缺著劉璞補授欽此

492 查甘肅肅州鎮總兵係陸路缺謹
 奏

六月十六日

493 各省陸路總兵名單

直隸大名鎮總兵吳殿元
 天津鎮總兵羅榮光

正定鎮總兵吳育仁

宣化鎮總兵王可陞

通永鎮總兵賈起勝

山東登州鎮總兵章高元

兗州鎮總兵田恩來

曹州鎮總兵萬本華

山西太原鎮總兵馬玉崑

大同鎮總兵劉光才

河南南陽鎮總兵武朝聘

河北鎮總兵孫顯寅

陝西延安鎮總兵羅平安

陝安鎮總兵姚文廣

河州鎮總兵何建成

漢中鎮總兵孫金彪

甘肅西甯鎮總兵何美玉

甯夏鎮總兵王弼安

肅州鎮總兵田在田

涼州鎮總兵張永清

現請開此條

巴里坤鎮總兵牛允誠

伊犁鎮總兵焦大聚

江南徐州鎮總兵劉青煦

淮揚鎮總兵潘萬才

安徽壽春鎮總兵郭寶昌

皖南鎮總兵李占椿

江西南贛鎮總兵何明亮

九江鎮總兵宋朝儒

浙江處州鎮總兵林耀光

衢州鎮總兵喻俊明

福建汀州鎮總兵宋得勝

福甯鎮總兵曹志忠

漳州鎮總兵侯名貴

建甯鎮總兵鍾紫雲

廣東南韶連鎮總兵黃順德

潮州鎮總兵劉世俊

廣西左江鎮總兵莫善喜

右江鎮總兵夏辛酉

柳慶鎮總兵馬威治

現改為著作

湖北宜昌鎮總兵傅廷臣

鄖陽鎮總兵陳基相

湖南鎮單鎮總兵周瑞龍

永州鎮總兵熊鐵生

綏靖鎮總兵陳海騰

四川重慶鎮總兵呂本元

建昌鎮總兵閃殿魁

松潘鎮總兵夏毓秀

川北鎮總兵何乘鯨

雲南開化鎮總兵蔡標

鶴慶鎮總兵岑有富

臨元鎮總兵劉萬勝

騰越鎮總兵張松林

昭通鎮總兵何雄輝

普洱鎮總兵屈洪泰

貴州安義鎮總兵蔣宗漢

古州鎮總兵丁槐

鎮遠鎮總兵楊國寶

威甯鎮總兵陳金鰲

494 光緒二十三年六月十六日內閣奉

上諭陶模奏總兵呈請開缺修葺據情代奏一摺甘肅肅州鎮總兵田在田著准其開缺欽此

495 光緒二十三年六月十六日內閣奉

上諭前據御史華輝奏參福建藩司黃毓恩驕貪不職各款當經諭令邊寶泉確查具奏茲據查明履奏福建布政使黃毓恩在任數年尚無貽誤惟取
下太寬於門丁倚勢招搖恣意婪索毫無鈐束實難辭咎黃毓恩著交部議處候補同知平元燧工於牟利聲名甚劣著以府經歷縣丞降補前署福防同知唐雨時尚無出入藩署招搖之事惟業經另案降補著即勒令回籍不准逗遛該部知道欽此

496 光緒二十三年六月十六日奉

旨准其加五捐復欽此

吏部奏准補加五捐復欽此

497 光緒二十三年六月十六日奉
旨著迴避欽此

奉旨著迴避欽此

498 光緒二十三年六月十六日奉
旨依議欽此

奉旨依議欽此

499 光緒二十三年六月十六日奉
旨依議欽此

奉旨依議欽此

500 光緒二十三年六月十六日奉
旨依議欽此

奉旨依議欽此

501 本日御史李念茲奏津榆鐵路請仍歸官辦摺
奉文片
諭旨該衙門議奏謹將原摺恭呈

慈鑒謹

奏

六月十七日

502 交總理各國事務衙門本日御史李念茲奏津
榆鐵路請仍歸官辦摺軍機大臣面奉
諭旨該衙門議奏欽此相應知照
貴衙門欽遵辦理可也此交

六月十七日

503 光緒二十三年六月十七日奉
旨依議欽此

奉旨依議欽此

504 光緒二十三年六月二十日內閣奉
上諭給事中龐鴻書奏江浙等省徵收地丁條銀折
價與市價懸殊請飭酌減一摺著戶部議奏欽此

505 本日給事中龐鴻書奏江浙等省徵收地丁條

銀折價過鉅請

飭部覈減摺奉明發

諭旨戶部議奏謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

506 交內閣本日軍機大臣面奉

諭旨本月二十四日

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后還宮

所有是日進內奏事當差執事之王公文武大小

官員均著穿蟒袍補褂二十五二十六二十八日

均著推班欽此相應傳知

貴衙門一體轉傳可也此交

六月十日

507 明保浙江候補道潘學祖

硃。旨著交軍機處存記

508 明保分發省分試用知府伍元芝

硃。旨著交軍機處存記

509

御筆大殿毋庸彩畫改為本色單龍罩漆一切做法著承

修王大臣奕劻等開單請旨

510 光緒二十三年六月二十二日奉

旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨

大殿毋庸彩畫改為本色單龍罩漆一切做法著承

修王大臣奕劻等開單請旨欽此

511 交工程處本日奉

旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨

大殿毋庸彩畫改為本色單龍罩漆一切做法著承

修王大臣奕劻等開單請旨欽此相應傳知

貴王大臣欽遵辦理可也此交

六月十日

512 光緒二十三年六月二十二日奉
旨依議欽此

慶親王等奏擬建撥補兵房片

513 光緒二十三年六月二十二日奉

旨依議欽此

慶親王等奏 善懲貪賊擬用柏木等語

514 光緒二十三年六月二十三日內閣奉

上諭依楞額奏持參貪劣不職各員請旨懲辦等語
涼州左翼協領得敦管理糧餉十有餘年不實不
盡經依楞額查出歷年平餘公費擬作為練兵津
貼該員竟敢串同驍騎校裕楨等捏詞誣控以圖
挾制實屬貪狡性成肆行無忌花翎記名副都統
涼州左翼協領得敦著拔去花翎革職永不敘用
發往軍台効力贖罪驍騎校裕楨百連榮秀朋比
誤公著一併革職文舉人思光行為傾險遇事生
風著革去舉人以示懲儆該衙門知道欽此

515 光緒二十三年六月十三日內閣奉

上諭御史徐道焜奏江西水災賑濟宜速一摺本年
春夏之交江西地方雨水過多江湖並漲以致各
州縣田廬被淹災區甚廣飢民衆多覽奏殊深憫
惻著德壽迅速查明妥籌賑濟毋任失所欽此

516 本日御史徐道焜奏江西水災賑濟宜速摺奉

明發

諭旨著德壽妥籌賑濟謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

六月二十三日

517 軍機大臣 字寄

督辦軍務王大臣 北洋大臣直隸總督王

光緒二十三年六月二十五日奉

上諭袁世凱本日已補授直隸按察使著仍歸督辦
軍務王大臣節制並著王文韶督飭該臬司將練
兵事宜認真講求隨時指示務臻妥協該臬司一

時未能到任即著揀員署理將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

518 光緒二十三年六月二十五日內閣奉

上諭福建布政使著李邦楨補授袁世凱著補授直隸按察使欽此

519 光緒二十三年六月二十五日內閣奉

上諭前據御史鄭思贊奏兩廣總督譚鍾麟信用私人列款糾叅當諭令許振禕確查具奏茲據查明覆奏所有辦理閩姓之候補知府方功惠收受賭規之廣州協副將鳳鳴管帶楚勇不安本分之都司張鍾早經譚鍾麟分別叅辦撤退是該督並無受人欺朦尚屬可信惟方功惠等三員聲名甚劣各有應得之咎均著即行革職從九品譚炬得受陋規雖經繳出仍著一併革職該督之子江西候補知府譚寶箴既經查明並未干預公事即著毋庸置議餘著照所議辦理該部知道欽此

520 光緒二十三年六月二十六日內閣奉

上諭浙江溫處道員缺著陳允頤補授欽此

521 查浙江溫處道係繁難中缺謹

奏

522 本日御史華燁奏駐藏大臣文海託故逗留請

飭查辦摺查文海業經疊次電

旨催令前進據該大臣雷奏七月十三日起程華燁

摺奉

旨存謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

六月二十日

523 軍機大臣 字寄

直隸總督王 順天府府尹胡 光緒二十三

年七月初三日奉

上諭前據御史李念茲奏津榆鐵路請仍歸官辦當諭令總理各國事務衙門議奏茲據議具奏津榆鐵路本係官辦嗣因盧漢鐵路設立總公司王文韶奏請改歸盛宣懷經理曾經降旨允准茲據奏稱盛宣懷所辦盧漢鐵路尚未開辦誠如該御史所奏力難兼顧津蘆鐵路係順天府府尹胡燏棻承辦現將告竣若將此路責成該府尹接續辦理一切委員工匠人等均係熟手所需經費既由津蘆及津榆已成鐵路餘利項下動用並可隨時勸集商股以輔官款等語即著照所請行胡燏棻務當悉心籌畫實經理逐漸展拓以竟全功餘著照所議辦理將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

524 軍機大臣 字寄

大學士徐 理藩院尚書啟 光緒二十三年

七月初三日奉

上諭有人奏刑部尚書薛允升設法銷弭巨案臚陳貪贓枉法各情請飭一併查辦一摺著徐桐啟秀將所奏各節併入前案逐一確查原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此

525 光緒二十三年七月初三日內閣奉

上諭協辦大學士吏部尚書李鴻藻守正不阿忠清

亮直由翰林荷

先朝特達之知入直尚書房同治初元欽奉

懿旨任弘德殿授讀

穆宗毅皇帝恩禮優加洊擢卿貳簡授軍機大臣朕御極後晉協給扉先後三十餘年辦理一切事宜學畫精詳殫心竭力前因患病疊次賞假諭令安心調理方冀醫治就痊長資倚畀遽聞溘逝悼惜良深著賞給陀羅經被派貝勒載濂帶領侍衛十員即日前往奠醊加恩予諡文正晉贈太子太傅照大學士例賜卹入祀賢良祠任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏靈柩回籍時並

著沿途地方官妥為照料伊子刑部員外郎李焜瀛一品廕生李煜瀛均著賞給郎中伊孫李宗伺著賞給舉人准其一體會試用示篤念蓋臣至意欽此

526 同治元年十一月初八日內閣奉

上諭大學士銜管理工部事務翁心存品學純粹守正不阿自翰林洊擢正卿入直上書房疊受

先朝知遇之隆簡任綸扉總理部務嗣於咸豐九年間因病開缺朕御極之初蒙我兩宮

皇太后簡用者臣重加倚畀以大學士銜管理部務並命在弘德殿授讀朝夕納誨啟沃深資方冀克享遐齡長承恩眷茲聞溘逝悼惜良深著賞給陀羅經被派醇郡王帶領侍衛十員即日前往奠醊加恩晉贈太保照大學士例賜卹入祀賢良祠任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊子翁同書昨經有旨令刑部暫行釋放並著俟穿孝百日後再行監禁伊孫舉人翁曾源著員給進士准其一體殿試候選同知翁曾純著以同知

即選監生翁曾榮著賞給舉人准其一體會試刑部學習郎中翁曾桂著作為候補郎中舉人翁曾翰著賞給內閣中書用示篤念蓋臣至意欽此

527 同治五年九月十四日內閣奉

上諭予吉大學士祁寯藻學粹品端忠清亮直由翰林入直南書房洊擢正卿贊畫樞務簡任綸扉總理部務迭受

先朝知遇之隆克慎克勤無忝厥職咸豐四年間以樞務積勞因病開缺朕御極之初蒙我兩宮

皇太后簡用者臣重加倚畀以大學士銜補授禮部尚書命在弘德殿授讀朝夕納誨啟沃深資旋復因疾予告在家食俸老成碩望中外咸知方冀頤養安和遐齡久享遽聞溘逝悼惜良深著賞給陀羅經被派鍾郡王帶領侍衛十員即日前往奠醊加恩晉贈太保照大學士例賜卹入祀賢良祠任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏靈柩回籍時並著沿途地方官妥為照料伊子翰林院編修祁世長著俟服闋後以翰林院侍讀候

補伊孫祁友慎著賞給舉人准其一體會試用示
朝廷篤念耆臣至意欽此

528 同治十年四月二十二日內閣奉

上諭大學士倭仁學術純正志慮忠誠受

先朝知遇之隆由翰林洊躋卿貳

特恩命直上書房旋授盛京侍郎均能恪恭盡職朕御
極之初蒙兩宮

皇太后簡用者碩擢任正卿旋晉給廡並命在弘德殿

授讀朝夕納誨於茲十年深資啟沃前因患病屢

請開缺疊經賞假並賞給人漫以資調攝遽聞溘

逝悼惜良深披覽遺章於修齊治平之道敷陳剴

切語不及私聞之尤深悽愴著賞給陀羅經被派

貝勒奕劻帶領侍衛十員即日前往奠醊加恩晉

贈太保照大學士例賜卹入祀賢良祠任內一切

處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊子

廣東候補同知福綸著俟服闋後以同知留於該

省即補理藩院員外郎福裕著俟服闋後以該衙

門郎中補用伊孫戶部候補員外郎銜峻著以本

部員外郎即補銜瑞著賞給舉人准其一體會試
銜齡著賞給主事銜銜珊銜琪均著賞給內閣中書
用示篤念耆臣至意欽此

529 光緒二十三年七月初三日內閣奉

上諭巡視西城御史恩順等奏奸商盧吏勾結把持

請飭明定章程以息糾訟一摺據稱六吉官牙行

經紀張銀塘呈控星記各商勾串糧廳書吏馮丙

莖一案提集研訊抗不遵斷等語著順天府切實

查訊明定章程辦理欽此

530 光緒二十三年七月初三日奉

旨照例致祭欽此

禮部奏員子溥倫之嫡夫人病故應否致祭摺

531 本日巡視西城御史恩順等奏奸商盧吏勾結

把持請

飭查禁摺奉明發

諭旨一道給事中蔣式芬奏理刑大員消弭巨案請

飭嚴究摺奉寄信

諭旨一道謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

532 軍機大臣 字寄

兩江總督劉 江蘇巡撫趙 浙江巡撫廖

光緒二十三年七月初四日奉

上諭趙舒翹奏蘇省鹽捕積弊實力整頓一摺覽奏均悉江蘇松江沿海數縣梟匪屢次滋事全在統帶鹽捕營員得力方足以資彈壓現經該撫疊將梟首懲治匪蹤稍息其未經拏獲之黑面施老窩子等即著劉坤一趙舒翹會同廖壽豐嚴飭派出員弁合力搜捕毋任漏網至摺內所稱鹽捕積弊多由統帶營弁私通梟匪必應慎選營官實力整頓孔德陞吳家正二員究竟能否改過自新該撫務當隨時察看毋得寬縱致滋貽誤原摺著鈔給劉坤一廖壽豐閱看將此各諭令知之欽此遵旨寄信前來

533 軍機大臣 字寄

兩江總督劉 江蘇巡撫趙 浙江巡撫廖

光緒二十三年七月初四日奉

上諭給事中龐鴻書等奏太湖梟匪充斥亟宜妥籌辦法一摺太湖梟匪充斥實為地方之害所奏黃渡防營被搶前據趙舒翹電覆該處並無防營至所稱松江鹽捕營為匪所敗營官姚魁伍身受重傷並聞分售私鹽江南各州縣以太湖為窟穴眾至二三萬人之語著劉坤一等查明先行具奏太湖界連江浙遇有梟匪出沒該督撫等務當各派得力員弁迅速會勦毋得互相推諉以致滋蔓難圖現在庫款支絀諭令各省裁汰防線各營遣撤兵勇流而為盜誠所不免全在該督撫等嚴飭地方文武認真稽查嚴拏究辦儻該地方文武任意懈弛即著從嚴叅辦另片奏太湖水師趙舒翹到任後自行統帶既難兼顧所派營員均係都守以下尤不足以資整頓等語著劉坤一趙舒翹會商妥辦至摺內所稱長江水師不宜輕裁一節並著劉坤一等酌量辦理原摺片均著鈔給閱看將

此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

534 光緒二十三年七月初四日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨
協辦大學士吏部尚書李鴻藻秉性忠誠自贊襄樞
務以來深資倚畀去年患病後尚復力疾從公本年
春間因散疾增劇疊次賞假調理深宮時殷履系特
派御醫診視賞給藥餌並派員前往看視方冀調理
就痊長承恩眷遽聞溘逝軫惜殊深著派都王銜員
勒載澄帶領侍衛十員即日前往賜奠用示篤念者
臣至意欽此

535 光緒二十三年七月初四日內閣奉

上諭前任廣州漢軍副都統伊克坦於咸豐年間由
護軍從征直隸河南山東等省曾著勞績薦升副
都統均能稱職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照副
都統例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典
該衙門察例具奏欽此

536 光緒二十三年七月初四日內閣奉

上諭榮頤奏病難速痊請開去差使停俸一摺榮頤
著准其開去委散秩大臣差使加恩賞給半俸欽此

537 本日給事中龐鴻書等奏江蘇太湖梟匪充斥請

飭籌辦摺又奏太湖水師趙舒翹自行統帶恐未能

兼顧片奉寄信

諭旨令劉坤一趙舒翹廖壽豐妥籌辦理又國子監

司業貽穀奏使臣跋扈請

飭查辦摺奉

旨存謹將原摺片恭呈

慈禧謹

奏

七月初四日

538 軍機大臣 字寄

廣西巡撫史 光緒二十三年七月初五日奉
上諭史念祖奏哥老會匪潛撲灌陽縣城當經督團
擊退並飭拏餘匪一摺廣西興安縣地方前有哥

老會匪首唐燕亭等開堂放飄業經拏獲正法本年五月間匪黨聲言報復乘夜潛撲灌陽縣城該縣知縣吳良榮督團迎勦擒斬多名該匪敗退逃竄辦理尚無貽誤仍著該督撫飭各員弁將此股匪徒實力搜勦並勒限嚴拏逸匪唐王合務獲究辦興安縣知縣卜永春辦理不善畏葸無能著即行革職出力員弁准其擇尤酌保毋許冒濫陣亡練丁著交部議卹餘著照所議辦理將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來
補鈔交吏部

539 光緒二十三年七月初五日內閣奉

上諭吏部尚書著孫家鼐調補禮部尚書著許應駘調補工部尚書著錢應溥補授都察院左都御史著廖壽恆補授欽此

540 應調漢尚書名單

戶部尚書翁同龢
禮部尚書孫家鼐 現兼署吏部尚書

541

兵部尚書徐鄰

刑部尚書薛允升 現在告假

工部尚書許應駘

應升漢尚書名單

都察院左都御史錢應溥

吏部左侍郎徐用儀

右侍郎吳廷芬 現在請假回籍

戶部左侍郎張蔭桓 現在出差

右侍郎陳學棻

禮部左侍郎徐會灃 現出學差

右侍郎張英麟

兵部左侍郎徐樹銘 現出試差

右侍郎楊頤

刑部左侍郎李端棻

右侍郎龍湛霖 現出學差

工部左侍郎許景澄 現充出使大臣

右侍郎譚彥彬 現出學差

倉場侍郎廖壽恆

542

應升漢侍郎名單

內閣學士唐景崇 現署兵部侍郎
現在請假

梁仲衡

黃卓元 現出學差

陸寶忠

都察院左副都御史楊儒 現充出使大臣

壽昌 現署刑部右侍郎

通政使李端遇 現出學差

大理寺卿徐致祥 現出學差

詹事府詹事瞿鴻禨

543 光緒二十三年七月初五日內閣奉

上諭李鴻章著充武英殿總裁欽此

544 應

派武英殿漢總裁名單

硃 ○ 大學士李鴻章

徐桐

戶部尚書翁同龢

禮部尚書孫家鼐 現兼署吏部尚書

兵部尚書徐鄰

刑部尚書薛允升 現在請假

工部尚書許應駁

吏部右侍郎吳廷芬 現在告假回籍

戶部右侍郎陳學棻

禮部左侍郎徐會澧 現出學差

右侍郎張英麟

兵部左侍郎徐樹銘 現出試差

右侍郎楊頤

刑部左侍郎李端棻

右侍郎龍湛霖 現出學差

工部左侍郎許景澄 現充出使大臣

右侍郎惲彥彬 現出學差

545 光緒二十三年七月初五日內閣奉

上諭翁同龢著教習庶吉士欽此

546 應

派漢教習庶吉士名單

大學士李鴻章

徐桐

戶部尚書翁同龢

禮部尚書孫家鼐 現兼署吏部尚書

兵部尚書徐郙

工部尚書許應駟

戶部右侍郎陳學棻

○ 禮部左侍郎徐會灃 現出學差

右侍郎張英麟

兵部左侍郎徐樹銘 現出試差

右侍郎楊頤

刑部左侍郎李端棻

右侍郎龍湛霖 現出學差

工部左侍郎許景澄 現在出差

右侍郎惲彥彬 現出學差

547 光緒二十三年七月初五日內閣奉

上諭徐郙著充會典館副總裁欽此

548 請

派會典館副總裁名單

協辦大學士兵部尚書榮祿

戶部尚書敬信

禮部尚書懷塔布

○ 兵部尚書徐郙

刑部尚書松淮

薛允升

工部尚書許應駟

都察院左都御史錢應溥

吏部左侍郎崇光

徐用儀

右侍郎溥善

吳廷芬 請假回籍

戶部左侍郎立山

張蔭桓 現在出差

右侍郎溥良

陳學棻

禮部左侍郎整岫

徐會灃 現出學差

右侍郎溥頤

張英麟

兵部左侍郎榮惠

徐樹銘 現出試差

右侍郎文治

楊頤

刑部左侍郎阿克丹

李端茶

右侍郎文琳

龍湛霖 現出學差

工部左侍郎鳳鳴

許景澄

右侍郎英年

惲彥彬 現出學差

理藩院左侍郎綿宜

右侍郎會章

內閣學士閣普通武

清銳

壽耆

綿文

陸寶忠

黃卓元

現出學差

唐景崇

現署兵部左侍郎現在請假

梁仲衡

都察院左都御史奕杖

良培

壽昌

549

本日翰林院侍讀丁仁長奏請力崇節儉摺又

奏請固結民心片並鈔單一件呈

覽均奉

旨存謹將原摺片單三件恭呈

慈覽謹

奏

550 軍機大臣 字寄

直隸總督王 光緒二十三年七月初六日奉

上諭有人奏直隸西淀水患甚鉅請詳議疏洩並導
衛兩運減河以維全局一摺據稱上次王文韶覆
奏統籌河道全局辦法如疏通海河及展濬清河
下口皆係最要關鍵王文韶原奏既置西淀於不
議又不籌治白溝之法似非統籌全局之道此時
欲治西淀以開濬新河為上策次則不外蓄沖兼
施白溝一河近人有分道之說情形尤順中亭河
亦宜再加疏濬又南運河近年新開減水引河歸
水利局招佃啟關閉開亦宜嚴定限制道員吳廷
斌係曾經獲咎之員辦理海河要工使非其人等
語近畿河道紛歧總未能一律通暢價值雨水過
多即虞潰決自應亟籌辦法以衛民生該御史所
奏於直隸河道情形是否熟悉所籌辦法有無可
採著王文韶逐條細覈悉心妥議奏明辦理務須
統籌全局毋得顧此失彼是為至要原摺著鈔給
閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

551 光緒二十三年七月初六日內閣奉

上諭本日頤和園帶領引見人員清字排單繕寫多
有錯誤頤和園承辦司員著查取職名交部議處
該管堂官著交部察議欽此

552 光緒二十三年七月初六日內閣奉

上諭崇光奏做滿病仍未痊懇請開缺一摺崇光著
再賞假一箇月毋庸開缺欽此

553 本日御史王廷相奏直隸西淀水患甚鉅請詳

議疏洩摺奉寄信

諭旨著王文韶妥籌辦理又奏為政在重農理財貴
得人片奉

旨存查原摺篇幅較長應鈔給閱看擬於明日再行

恭呈

慈覽謹

奏

七月初六日

554 道擬

頒賞方略名單

恭親王

禮親王世鐸

睿親王魁斌

鄭親王凱泰

豫親王本格

肅親王隆懃

莊親王載勛

怡親王溥靜

慶親王奕劻

醇親王載灃

親王街克勤郡王晉祺

順承郡王訥勒赫

定郡王溥煦

端郡王載漪

內廷行走貝勒載澄

貝勒溥偉

貝子奕謨

鎮國公載澤

御前大臣那彥圖

大學士李鴻章

麟書

崑岡

徐桐

協辦大學士尚書榮祿

尚書熙敬

孫家鼐

敬信

翁同龢

懷塔布

許應駁

徐郟

松淮

薛允升

剛毅

錢應溥

啟秀

左都御史裕德

康壽恆

侍郎崇光

徐用儀

溥善

吳廷棻

立山

張蔭桓

溥良

陳學棻

莖岫

徐會澧

溥頤

張英麟

榮惠

徐樹銘

文治

楊頤

阿克丹

李端棻

文琳

龍湛霖

鳳鳴

許景澄

英年

惲彥彬

理藩院侍郎綿宜

會章

倉場侍郎長萃

南書房陸寶忠

張百熙

吳樹梅

上書房李培元

張仁黼

高賡思

總督王文韶

劉坤一

陶模

鹿傳霖

邊寶泉

張之洞

譚鍾麟

崧蕃

河道總督任道鎔

漕運總督松椿

巡撫趙舒翹

鄧華熙

李秉衡

胡聘之

劉樹堂

魏光燾

饒應祺

廖壽豐

德壽

譚繼洵

陳寶箴

許振禕

史念祖

黃魏森

王毓藻

衍聖公孔令貽

555 軍機大臣 字寄

直隸兩江閩浙兩廣各總督 江西浙江各巡

撫 傳諭粵海關淮安關各監督 光緒二十

三年七月初七日奉

上諭補鈔起戶部奏各省關欠解京餉等款查明開單分別

奏參等語各省關自光緒十一年起至二十二年

止欠解部庫各年京餉近畿防餉籌邊軍餉籌備

餉需各款共銀五百三十六萬一千餘兩現在部

庫艱窘情形各省關均當深悉何得任意拖欠置

部庫要款於不顧所有應行議處之閩浙浙江各

督撫藩司兩淮鹽政運司著交吏部查取職名照

例議處補鈔止仍著直隸兩江閩浙兩廣江西浙江各督

撫督飭各省關迅將欠解展緩分年帶解各款限

於年內按照所欠應行補解之數報解清楚俾濟

急需儘再行遲延即著戶部隨時嚴參原單均著鈔給閱看將此由四百里諭知各督撫並傳諭粵海關淮安關各監督知之欽此遵旨寄信前來

稿鈔交吏部

556 軍機大臣 字寄

福州將軍 直隸兩江湖廣閩浙四川兩廣各總督 江蘇安徽江西浙江湖北湖南河南山東山西廣東各巡撫 傳諭粵海關淮安關各監督 光緒二十三年七月初七日奉

上諭戶部奏請旨催解京餉一摺本年京餉原撥續撥共銀八百萬兩截至五月底止除劃撥解到及報解起程外尚欠解銀四百八十七萬五千餘兩現在部庫支絀應放各款均關緊要所有各省關欠解京餉亟應全數報解以應要需著該將軍直撫監督等各將欠解銀兩趕緊陸續提前解部統於年內掃數解齊儻敢諉卸拖欠即由戶部照章奏奏其解不及半絲毫未解等處經此次嚴催後

儻仍不完解即著戶部隨時指名嚴參原單均著鈔給閱看將此由四百里諭知福州將軍直隸兩江湖廣閩浙四川兩廣各總督江蘇安徽江西浙江湖北湖南河南山東山西廣東各巡撫並傳諭粵海關淮安關各監督知之欽此遵旨寄信前來

557 軍機大臣 字寄

福州將軍 兩江湖廣閩浙兩廣各總督 江蘇安徽江西浙江湖北廣東各巡撫 傳諭粵海關監督 光緒二十三年七月初七日奉

上諭戶部奏各省關奉撥二十三年分籌備餉需銀兩除安徽廣東及兩浙運庫應解銀兩閩海關應解四成稅銀報解均已及半外江蘇浙江兩省應解銀兩粵海江漢三關應解四成六成稅銀均解不及半江西福建兩省應解銀兩粵海關應解六成稅銀均未報解請旨飭催等語各省關應解籌備餉需銀兩關係緊要現在庫款支絀著各該省將軍督撫監督等各將欠解銀兩迅速籌解

統於本年十月底掃數解清償仍延不完解即著戶部指名嚴參原單均著鈔給閱看將此由四百里諭知福州將軍兩江湖廣閩浙兩廣各總督江蘇安徽浙江江西湖北廣東各巡撫並傳諭粵海關監督知之欽此遵

旨寄信前來

558 軍機大臣 字寄

福州將軍 兩江兩廣湖廣閩浙四川各總督
廣東山東湖南湖北浙江江西安徽江蘇山西
各巡撫 傳諭粵海關監督 光緒二十三年
七月初七日奉

上諭總理各國事務衙門戶部奏各省關欠解東北邊防經費請旨嚴催一摺據稱本年各省關應解東北邊防經費除解到及報解起程外尚欠解銀一百二十三萬兩請飭速解並補解歷年積欠銀兩等語此項經費關係邊防要需何得任意延欠著該將軍督撫監督按照單開本年未解及歷年欠解銀數趕緊籌解償再遲延即著戶部照貽誤

京餉例指名嚴參原單均著鈔給閱看將此由四百里諭知福州將軍及各該省督撫並傳諭粵海關監督知之欽此遵

旨寄信前來

559 光緒二十三年七月初七日內閣奉

上諭剛毅著調補刑部尚書工部尚書著松淮調補
欽此

560 光緒二十三年七月初七日內閣奉

上諭江蘇巡撫著奎俊署理欽此

561 光緒二十三年七月初七日內閣奉

上諭李瑞榮著調補倉場侍郎刑部左侍郎著趙舒
魏補授欽此

562 應調漢侍郎名單

吏部左侍郎徐用儀

右侍郎吳廷棻 請以四補

戶部左侍郎張蔭桓 現出學差

右侍郎陳學棻

禮部左侍郎徐會澧 現出學差

右侍郎張英麟

兵部左侍郎徐樹銘 現出試差

右侍郎楊頤

硃。刑部左侍郎李端棻

右侍郎龍湛霖 現出學差

工部左侍郎許景澄 現充出使大臣

右侍郎惲彥彬 現出學差

563 應升漢侍郎名單

內閣學士唐景崇 現署兵部侍郎
現在請假

梁仲衡

黃卓元 現出學差

陸寶忠

都察院左副都御史楊儒 現充出使大臣

壽昌 現署刑部右侍郎

通政使李端遇 現出學差

大理寺卿徐致祥 現出學差

詹事府詹事瞿鴻禨

564 謹將昨日御史王廷相封奏摺片各一件恭呈

慈賢謹

奏

565 光緒二十三年七月初八日奉

旨戶部議奏欽此

宗人府奏職承郡王訥勒蘇借俸摺

566 本日內閣學士陸寶忠奏長江水師不宜輕裁

摺查此事本月初四日據給事中龐鴻書等奏

業經寄

諭劉坤一等酌量辦理陸寶忠摺奉

旨存謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

滿頭班

花翎三品銜應升之却升用 記名道府戶部郎中李琦
 補郎中後加三品銜即選道四品銜理藩院即補郎中多壽
 道員用得道員後加二品銜花翎四品銜理藩院郎中志樸
 道員用得道員後加二品銜花翎三品銜兵部郎中惠兆
 四品銜理藩院即補員外郎題署主事豐升額
 四品銜戶部員外郎雲騎尉世職慶連
 四品銜兵部員外郎麟緒
 戶部即補主事恆斌
 候補侍讀先換頂戴內閣貼寫中書桂陰
 漢頭班
 花翎三品銜奉常寺少卿內閣侍讀學士陳邦瑞
 四品銜 記名御史吏部員外郎徐士佳
 道員用 記名繁缺知府戶部即補郎中陳熾
 三品銜道員用工部即補郎中繼昌
 四品銜 記名御史工部員外郎王彥威
 四品銜內閣即補侍讀胡祖謙
 得道員後加二品銜花翎三品銜 記名道府禮部郎中郭曾忻
 四品銜刑部郎中李燁賓

四品銜 記名道府兵部郎中濮子潼

刑部即補員外郎盧震

工部候補主事甘大璋

四品銜兵部員外郎張嘉猷

內閣候補中書李象寅

滿二班

花翎四品頂戴國子監司業特慎圖

花翎三品銜應升之缺升用 記名道府戶部郎中和爾賡額

三品銜戶部郎中榮需

即選知府補郎中後加三品銜四品銜理藩院員外郎承祐

刑部員外郎 記名道府王貴

升郎中後即選知府升用郎中四品銜理藩院員外郎文年

內閣候補侍讀中書英秀

刑部候補主事來秀

漢二班

三品銜即選道刑部員外郎李陰鑾

三品銜吏部郎中 記名繁缺知府王嘉禾

三品銜 記名御史吏部即補員外郎孫朝華

三品銜戶部即補郎中連文沖

四品銜刑部郎中郭之全

四品銜 記名御史刑部員外郎郭炳麟

三品銜 記名道府戶部郎中馮汝駿

五品銜內閣即補侍讀楊壽樞

戶部主事凌福彭

禮部候補主事王慶平

吏部候補主事孫司經

四品銜刑部候補主事何葆麟

568 光緒二十三年七月初九日內閣奉

上諭刑部左侍郎著瞿鴻禨署理工部左侍郎著梁仲衡署理欽此

569 應兼署漢侍郎名單

吏部左侍郎徐用儀 現兼署戶部左侍郎

戶部右侍郎陳學棻 現兼署禮部左侍郎

禮部右侍郎張英麟 現兼署吏部右侍郎

兵部右侍郎楊頤 現兼署工部右侍郎

570 應署漢侍郎名單

內閣學士唐景崇 現署兵部左侍郎
現在請假

梁仲衡

陸寶忠

現署都察院左副都御史

都察院左副都御史壽昌 現署刑部右侍郎

詹事府詹事瞿鴻禨

571 光緒二十三年七月初九日內閣奉

上諭都察院左都御史廖壽恆著在總理各國事務衙門行走欽此

572 光緒二十三年七月初九日內閣奉

上諭陸寶忠現出試差其所署之都察院左副都御史著胡燏棻暫行署理欽此

573 應署漢左副都御史人員名單

內閣學士唐景崇 現署兵部左侍郎

梁仲衡

都察院左副都御史壽昌 現署刑部右侍郎

詹事府詹事瞿鴻禨

太常寺卿徐承煜 現署大理寺卿

順天府府尹胡燏棻

光祿寺卿曾廣漢 現署宗人府府丞

內閣侍讀學士陳邦瑞 現署太常寺少卿

王福祥

574 光緒二十三年七月初九日內閣奉

上諭前據御史李念茲奏恭廣東地方官縱盜殃民等情當經諭令譚鍾麟許振祿確查茲據查明覆奏原恭各節或事出有因或並無其事即著毋庸置議惟南海縣知縣李徵庸於前年冬間城外白晝搶奪之案該員延閣不辦亦不覆稟且有意存扶制情事實屬居心險詐膽大妄為該員已捐道員在任候選著開去南海縣缺降為通判歸部銓選餘著照所議辦理該部知道欽此

575 軍機大臣 字寄

兩江總督劉 調補刑部左侍郎 江蘇巡撫趙

光緒二十三年七月初十日奉

上諭都察院奏編修支恆榮等以地方凋敝徵收丁

漕公費太重請分別裁革據情代奏一摺據稱江

蘇丹徒縣徵收地丁每兩折收向不得過十五百

文嗣因銀價昂貴每漕一石加增五百文今則銀

價落至千二百餘文加徵公費之例仍未革除丹

徒漕米既不起運加收運費一十文之例究屬名

實不符請分別革除裁減等語著劉坤一趙舒翹

確切查明應否酌量裁減之處奏明辦理原呈著

鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

576 光緒二十三年七月初十日內閣奉

上諭崇歡志銳奏札薩克不候結案擅離職守請旨

懲儆一摺札薩克鎮國公阿育爾色德丹占札木

楚前經因案被叅追繳銀兩延不遵交復聲稱進

京引見不候盟長給咨徑行由牧起程實屬糊塗

任性阿育爾色德丹占札木楚著革去札薩克之

任令該公之子蘇克蘇倫承襲餘著照所議辦理

該衙門知道欽此

577 光緒二十三年七月初十日奉

旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨
醇賢親王廟工程著派啟秀承修欽此

578 交理藩院尚書啟 本日軍機大臣面奉

諭旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨
醇賢親王廟工程著派啟秀承修欽此相應傳知

貴尚書欽遵辦理可也此交

七月初十日

579 本日都察院奏編修支恆榮等請將江蘇丹徒

縣丁漕酌量裁減據情代奏摺奉寄信

諭旨著劉坤一趙舒翹查明辦理謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

580 光緒二十三年七月十二日內閣奉

上諭榮祿許應駿會同刑部奏審明大凌河牧羣案
內上駟院司員因事受財按律分別定擬一摺此
案暫革上駟院幫辦郎中左司員外郎繼德因議
覆開墾牧廠收受贓銀暫革革帖式恆有於調馬
案內及議覆牧廠均有得受贓銀情事雖俱於法
無枉究屬有玷官常繼德恆有均著革職發往軍
臺効力贖罪已革副牧長奎齡於免裁牧廠以財
行求已革降調牧長景美暫革牧長哈新泰隨同
行求過錢已革副牧長保祿以銀給與恆有行求
緩調馬匹其所寄各牧長信中並有違礙字句實
屬謬妄已革收副升祿隨同行求與寶祿同遞信
函景美著發往軍臺効力贖罪哈新泰著革去牧
長一併發往軍臺効力贖罪奎齡保祿升祿著照
律分別枷號鞭責發落失察之上駟院堂官著交
部查取職名照例議處副都統崇善於奎齡等賄
求賠馬各節自行察出恭革尚無不合惟該管各
員動輒斂錢行賄其平日亦屬疏於防範崇善著
一併交部議處另片奏收羣成案辦理牽混相沿

已久歷任上駟院堂司各官歷任總管請免其置議等語著依議行又片奏副牧長奎齡等供內有存銀二十兩在該城內興盛增稌貨布店交候補防禦薩爾杭阿致送副都統崇善等語是否薩爾杭阿指官撞騙抑係奎齡等挾嫌反噬著依克唐阿確查具奏奎齡保祿著該部解往備質餘著照所議辦理該衙門知道欽此

581 光緒二十三年七月十二日奉

旨准其借給嗣後不得援以為例欽此

戶部奏喇木印王借俸請旨摺

582

本日榮祿等奏審明上駟院司員因事受財按律定擬摺又奏副牧長奎齡等供牧羣斂錢致送崇善請飭查究片又奏牧羣積弊相沿已久歷任上駟院堂司各官請免置議片奉明發

諭旨一道謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

七月十二日

583 光緒二十三年七月十三日奉

旨安闡真著賞給勤勇巴圖魯名號餘依議欽此

理藩院奏嚴議西甯清業內出力僧目獎敘摺

584

本日督辦軍務王大臣奏請酌裁武毅軍工程隊加給津貼以免向隅摺奉

旨依議謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

七月十三日

585 光緒二十三年七月十四日奉

旨依議欽此

督辦處奏裁兵加費以資津貼摺

586 六品廢生張朝貴

旨著以通判用

587 六品廢生孫道毅

旨著以通判用

588 軍機大臣 字寄

雲貴總督崧 雲南巡撫黃 光緒二十三年

七月十五日奉

上諭崧藩等奏游目率眾求撫業經分別布置一摺
覽奏均悉游目阮朝忠黃鎮輝麥貴安業經該督
等將其所部編為三營分別安置麥貴安一軍調
赴蒙自縣城即著總兵高德元等認真訓練並飭
令總兵馮紹珠等統帶阮朝忠黃鎮輝兩軍前赴
廣南邊界會同黃呈祥等悉心商辦會勦邊匪所
請賞給阮朝忠等四品頂翎著照所請行至所需
餉項即由該省裁併防營項下妥籌撥給該游目
等業經受撫雖不至復萌反側該督等仍當飭令
高德元等嚴加約束以觀後效將此各諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

589 軍機大臣 字寄

福州將軍 兩江湖廣四川陝甘江蘇安徽江

西湖北湖南河南陝西新疆各督撫 光緒二

十三年七月十五日奉

上諭戶部奏籌撥甘肅新餉並分攤關內外各軍餉數
一摺甘肅關內外各軍餉需關係緊要經該部將
光緒二十四年新餉查照上屆所撥銀數於各省
關指撥請飭依限提前報解等語著該將軍督撫
等嚴飭各該司道按照單開數目於本年十二
月底趕解三成至來年四月底止再解三成其餘四
成統限九月底止掃數解清各該省如能依限完
解即由陝甘總督奏請獎叙僕有延欠即由戶部
照例奏參原單均著鈔給閱看至甘肅關內外各
軍餉數業經該部彙實分攤即著陶模饒應祺按
單開數目知照辦理其光緒二十五年應需餉
項並著陝甘督撫於明年春間先行詳估奏報以

憑覈辦另單一件鈔給閱看將此由四百里各諭
令知之欽此遵

旨寄信前來

590 光緒二十三年七月十六日內閣奉

上諭管廷鵬現出欵差國子監司業著黃恩永兼署
欽此

591 應署國子監漢司業名單

詹事府左中允高慶恩

右中允黃恩永

左贊善李士鈐

右贊善王埏

592 光緒二十三年七月十六日內閣奉

上諭本日召見發往山東差委之提督林秀全謝恩
後起立不跪殊屬荒謬著即行革職發往直隸差
委之提督蘭福喜奏對失儀著交部議處欽此

593 光緒二十三年七月十六日內閣奉

上諭御史宋伯魯奏八旗教習補缺遲滯請酌量變
通一摺著吏部議奏欽此

594 光緒二十三年七月十六日內閣奉

上諭御史宋伯魯奏上年八月間中城地面商人王
遠來賈鈺楨被毒身死一案該城正指揮沈庸與
屍親商同諱匿總甲王瑞均串科房捏供詳報該
城御史張仲忻聽受門丁郭蘭州及素狎之僕伶
賄託並不虛心研鞠草率勒結迫賈鈺楨之母賈
郭氏追悔迭控均皆駁斥不為審理請飭查辦等
語人命重案必應審訊明確著刑部提集此案人
証卷宗悉心研究務期水落石出俾成信讞欽此

595 光緒二十三年七月十六日內閣奉

上諭御史宋伯魯奏土司沿途需索請飭查禁等語
土司過境供應向有定章該土司不應任意需索
地方官於例所應備亦不容稍有缺乏嗣後土司
所經過地方各州縣務當照例供給妥為護送該

土司頭目如有縱容隨從人等滋擾情事即著該州縣稟明督撫辦理欽此

596 交內閣本日軍機大臣面奉

諭旨本月二十一日所有進內奏事當差執事之王公文武大小官員均著穿蟒袍補褂一日欽此相

應傳知

貴衙門轉傳各衙門一體欽遵可也此交

七月十六日

597 本日御史宋伯魯奏八旗教習補缺遲滯請變

通摺又奏特叅中城御史張中炘審理命案草

率請

飭刑部覆訊片又奏四川土司沿途滋擾請

飭查禁片奉明發

諭旨各一道謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

七月十六日

598 光緒二十三年七月十七日奉

旨何雄輝著准其入籍貴州欽此

兵部奏雲南昭通鎮總兵何雄輝請入籍貴州摺

599 軍機大臣 字寄

兩江總督劉 調補刑部左侍郎江蘇巡撫趙

光緒二十三年七月十八日奉

上諭詹事府奏洗馬憚毓鼎以蘇省盜賊橫行請飭

嚴密查拏據情代奏一摺據稱江南北盜賊蜂起

太湖匪首施老窩子尤為猖獗在蘇州常熟等處

投帖借錢各處散勇皆為該匪首募去捕役莫敢

過問六月二十七日常州府城外白家橋等處突

有鹽梟船十餘隻停泊並帶軍裝號褂明賣私鹽

府城中肆行搶劫巨案疊見等語著劉坤一趙舒

翹迅飭地方文武嚴密查拏認真究辦憚毓鼎摺

著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

600 光緒二十三年七月十八日內閣奉

上諭都察院奏已革總兵林宜華遣抱以案懸不結等詞赴該衙門呈訴一摺著譚鍾麟許振禕訊明辦理欽此

601 光緒二十三年七月十八日內閣奉

上諭恭親王等奏方略校勘完竣出力各員遵旨保獎開單呈覽一摺平定陝甘新疆回匪方略暨雲南回匪方略貴州苗匪紀略三編經恭親王等督飭在館各員逐日詳細校勘並添派總理各國事務衙門章京催督刷印現在全書一律完竣該員等尚屬著有微勞自應量予獎叙戶部郎中和爾慶額著賞給本生三代二品封典四品銜理藩院即補郎中多壽著賞換三品銜並加隨帶二級道員用理藩院郎中志樸兵部郎中惠兆均著以道員儘先即選並加隨帶二級理藩院即補員外郎題署主事豐陞額著作為本院員外郎仍遵前保無論滿蒙題選咨留遇缺即補戶部員外郎慶連著在任以知府不論雙單月歸議叙班選用三品

銜戶部郎中榮霈著賞給三代三品封典並加隨帶二級即選知府理藩院員外郎承祐著俟得知府後在任以道員候補記名道府刑部員外郎王貴著以道員用兵部員外郎麟緒著以本部郎中無論題選咨留遇缺即補記名國子監蒙古司業理藩院員外郎文年著俟補司業後以四品京堂補用內閣候補侍讀英秀著作為郎中戴分戶刑二部遇缺即補戶部郎中即補主事恆斌著作為本部員外郎即選缺即補內閣貼寫中書英凱著作為侍讀遇缺即補四品銜記名御史吏部員外郎徐士佳著賞換三品銜俟補御史截取知府得缺後以道員在任候補截取知府吏部郎中王嘉木道員用截取知府戶部候補郎中陳熾均著俟得知府後以道員在任候補得道員後加二品銜記名御史吏部候補員外郎孫朝華刑部員外郎鄭炳麟均著俟補御史截取知府得缺後以道員在任候補刑部即補郎中郭之全著以本部郎中無論題選咨留遇缺即補記名御史工部員外郎王彥威著俟得御史後作為歷俸期滿並加隨帶二級記名

道府戶部郎中馮汝駁兵部郎中濮子潼均著以
道員用內閣即補侍讀胡祖謙楊壽樞均著作為
候補郎中籤分戶刑二部遺缺即補禮部郎中郭
曾圻著選保送應升之缺引見開列在前四品銜
刑部郎中李舜賓著賞換三品銜並加隨帶二級
刑部即補員外郎盧震戶部主事凌福彭均著以
本部員外郎無論題選咨留遺缺即補工部候補
主事甘大璋著俟補主事後以本部員外郎無論
題選咨留遺缺即補禮部候補主事王慶平吏部
候補主事孫哥經均著免補主事以本部員外郎
遺缺即補兵部員外郎張嘉猷著俟補郎中後作
為歷俸期滿並加隨帶二級刑部候補主事何傑
麟著免補主事以本部員外郎即補內閣候補中
書李象寅著俟補中書後作為候補主事籤分戶
刑二部無論題選咨留遺缺即補道員用工部候
補郎中繼昌戶部候補郎中連文冲均著交部議
敘記名海關道禮部郎中吳景祺著俟得道員後
賞給三代二品封典戶部郎中劉宇泰禮部郎中
何兆熊刑部郎中顧肇新戶部郎中瑞良刑部郎

中沈曾植闕以鑄工部即補員外郎傅嘉年內閣
侍讀紹昌禮部即補郎中文瑞均著交部從優議
叙其離館之湖北黃州府知府魁麟御史張兆蘭
通政使司副使葛寶華前戶部員外郎陳名侃均
著交部議敘另片奏提調各員遵旨一併請獎等
語國子監司業特圖慎著俟得四品後以三品京
堂候補內閣侍讀學士陳邦瑞著以三品京堂候
補記名道府戶部郎中孚琦即選道刑部員外郎
李蔭鑾均著以五品京堂候補單開之供事蘇玉
海等均著照所請獎勵餘依議該部知道片一件
單二件併發欽此

臣奕 等跪

602 奏為遵保校勘方略出力人員懇

恩獎勵恭摺仰祈

聖鑒事竊臣於本年六月十一日具奏進呈方略陳
設本摺內聲明除臣等及提調纂修等官不敢
仰邀議敘外所有總校校對各官及供事等擬
遵奉前

旨奏懇

恩施並另片奏請將添派督催刷印之總理各國事務衙門章京一併量給獎敘等因查此次校勘平定陝甘回匪方略及雲南回匪方略貴州苗匪紀略三編計四百一十卷之多該員等逐日輪赴總理各國事務衙門詳細校對總理各國事務衙門章京就近督催刷印均無貽誤尚屬著有微勞且等公同商酌將總校校對及督催刷印各官並尤為出力之供事等分別擬獎謹繕清單恭呈

御覽合無仰懇

天恩俯准照請獎敘以示鼓勵其次出力供事由臣等覈其平日差使分別等第造冊註明咨部給獎再此次所保無論題選咨留補用各員係查照軍機處每屆循例保奏及刷印方略成案辦理合併聲明謹

奏

光緒二十三年七月十日

臣奕

臣世

臣翁

臣剛

臣錢

603 再且等面奉

諭旨該提調仍著一併請獎欽此查滿漢提調四員國子監司業特圖慎內閣侍讀學士陳邦瑞業經蒙

恩內用京堂臣等公同商酌特圖慎擬請俟得四品後以三品京堂候補陳邦瑞擬請以三品京堂候補記名道府戶部郎中孚琦即選道刑部員外郎李蔭鑾該二員在軍機處行走有年辦事甚為得力應如何獎勵之處伏候

聖裁謹

奏

604 再方略陳設本業經呈進

頒賞各書現亦裝訂齊全所有館中未完事宜且等

督飭該提調等趕緊經理計八月杪當可成事
屆期即行收館理合附片陳明謹
奏

605 謹將校勘方略在館及離館人員擬請獎敘繕
單恭呈

御覽

在館人員

三品銜戶部郎中和爾賡額擬請

賞給本生三代二品封典

四品銜理藩院郎中多壽擬請

賞換三品銜並加隨帶二級

道員用理藩院郎中志樸兵部郎中惠兆擬請

仍以道員儘先即選並加隨帶二級

理藩院郎中補員外郎題署主事豐性額擬請作

為本院員外郎仍遵前保無論滿蒙題選咨

留選缺即補

戶部員外郎慶連擬請在任以知府不論雙單

月歸議敘班選用

三品銜戶部郎中榮需擬請

賞給三代三品封典並加隨帶二級

即選知府理藩院員外郎承祐擬請俟得知府

後在任以道員候補

記名道府刑部員外郎王貴擬請以道員用

兵部員外郎麟緒擬請以本部郎中無論題選

咨留選缺即補

記名國子監蒙古司業理藩院員外郎文年擬

請俟補司業後以四品京堂補用

內閣候補侍讀英秀擬請作為郎中籤分戶刑

二部選缺即補

戶部郎中補主事恆斌擬請作為本部員外郎選

缺即補

內閣貼寫中書英凱擬請作為侍讀選缺即補

四品銜 記名御史吏部員外郎徐士佳擬請

賞換三品銜俟補御史截取知府得缺後以道員在

任候補

吏部郎中 記名繁缺知府王嘉禾道員用

記名繁缺知府戶部候補郎中陳熾均擬請俟

得知府後以道員在任候補得道員後

賞加二品銜

記名御史吏部候補員外郎孫朝華刑部員外

郎鄭炳麟均擬請俟補御史截取知府得缺後以道員在任候補

刑部即補郎中郭之全擬請以本部郎中無論

題選咨留選缺即補

記名御史工部員外郎王彥威擬請俟得御史

後作為歷俸期滿並加隨帶二級

記名道府戶部郎中馮汝駿兵部郎中濮子澄

均擬請以道員用

內閣即補侍讀胡祖謙楊壽樞均擬請作為候

補郎中籤分戶刑二部選缺即補

禮部郎中郭曾炳擬請選保送應升之缺引

見開列在前

四品銜刑部郎中李齊賓擬請

賞換三品銜並加隨帶二級

刑部即補員外郎盧震戶部主事凌福彭均擬

請以本部員外郎無論題選咨留選缺即補

工部候補主事甘大璋擬請俟補主事後以本

部員外郎無論題選咨留選缺即補

禮部候補主事王慶平吏部候補主事孫詩經

均擬請免補主事以本部員外郎選缺即補

兵部員外郎張嘉猷擬請俟補郎中後作為歷

俸期滿並加隨帶二級

刑部候補主事何葆麟擬請免補主事以本部

員外郎即補

內閣候補中書李象寅擬請俟補中書後作為

候補主事籤分戶刑二部無論題選咨留選

缺即補

道員用工部候補郎中繼昌戶部候補郎中連

文冲均擬請交部議敘

記名海關道禮部郎中吳景祺擬請得道員後

賞給三代二品封典

戶部郎中劉宇泰禮部郎中何兆熊刑部郎中

顧肇新戶部郎中瑞良刑部郎中沈曾植刑

部郎中關以鏞工部即補員外郎傅嘉年內

閣侍讀覺羅紹昌禮部郎中補郎中文瑞均擬

請交部從優議敘

離館人員

湖北黃州府知府魁麟陝西道御史張兆蘭通

政使司副使葛寶華前戶部員外郎陳名俱

均擬請交部議敘

606

同知銜分省補用鹽大使蘇王海擬請以知縣

仍分省歸候補班補用並隨帶加二級

運同銜直隸州知州用分省候補知縣劉以良

擬請

賞給四品封典並隨帶加二級

直隸州知州用分省補用知縣汪本源擬請加

運同銜並隨帶加二級

六品銜分省巡檢姚春麟擬請以鹽大使仍分

發省分歸候補班補用並換同知銜

六品銜知縣用分省補用縣丞陳冠第擬請以

知縣仍分省歸候補班補用並換同知銜

同知銜分省補用鹽大使陸嘉穀擬請以知縣

仍分省歸候補班補用並隨帶加二級

分省補用縣丞任濬之擬請以知縣分省歸議

敘班補用並隨帶加一級

巡檢劉式玉擬請以鹽大使分省補用並隨帶

加一級

分省補用巡檢陸慶敷擬請以布庫大使分省

補用並隨帶加一級

分省補用巡檢陳永惠擬請以布庫大使仍分

省歸候補班補用並隨帶加一級

議敘班不論雙單月即選巡檢戴文煥擬請

以鹽大使分省補用

議敘班儘先選用巡檢常冠羣擬請以鹽大使

歸議敘班儘先選用

候選布庫大使成占元擬請以知縣分省歸候

補班補用

分省補用巡檢張崇勳擬請以縣丞仍分省歸

候補班補用

分省補用巡檢李錫恩擬請以府經歷仍分省

歸候補班補用

分省補用巡檢徐文彬周鼎亨候選縣丞傅繼

烈均擬請以鹽大使分省補用

候選巡檢孟廣堯擬請以縣丞分省歸議敘班
補用

候選縣丞王宗澐分省補用府經歷薄奎文候

選縣丞方良鈺朱永齡候選府經歷何蕃瀛

汪文炳朱祖緒候選按察司經歷李殿林候

選縣丞王孔鑄知縣用分省補用縣丞郝銘

訓均擬請以知縣分省歸候補班補用

即選從九品路之珠擬請以典史分省補用

知縣用分省補用縣丞莫銘敬擬請以知縣分

省仍歸候補班補用並加同知銜

候選從九品史支蕃曹述詒鄭爾純張禮謙宋

鏡清葉瑞年郭宗錫李玉華供事高廷翰周

翰張嘉楨余鵬陳長卿張文煜趙傳真李方

紳于兆奎謝鴻恩蕭攸裕房慶五未入流鮑

忠楣供事宋謹李壽松張調元苗滋田魯李

崧孫敬先分省補用未入流徐淦候選未入

流李家祥均擬請以縣丞分省歸候補班補用

候選從九品馮恩佑供事石肇熾擬請以府經

歷分省歸候補班補用

候選未入流蔣持敬供事劉殿閣均擬請以巡

檢分省歸候補班補用

候選縣丞甘元縉擬請以知縣分省歸議敘班

先補用

供事金鴻耆張繩祺均擬請以縣丞分省歸候

補班前補用

指分山東補用縣丞李寶宸擬請以鹽大使仍

分原省補用

議敘縣丞劉以桐擬請俟題覆後以知縣分省

歸候補班補用

候選未入流宋長榮擬請以典史分省補用

議敘縣丞解士希擬請俟題覆後仍以縣丞分

省補用俟得缺後在任以知縣補用

指分江蘇補用縣丞李寶田擬請以知縣仍分

原省補用

候選州吏目馮德元擬請以鹽大使歸議敘班

選用

理問銜候選縣丞曹逢年擬請以知縣不論雙

單月遇缺即選

選用未入流周重福擬請以典史仍歸議敘本班儘先選用

分省補用巡檢于珂擬請仍以巡檢分省歸議

敘班儘先前補用俟補缺後在任以縣丞補用

候選從九品張炳蔚擬請以縣丞不論雙單月

選用

從九品銜韓葆文擬請以巡檢分省歸候補班

前先知補並加理問銜

607

交禮部本日御史潘慶瀾奏請將已故總兵鄧

世昌之母鄧郭氏旌獎以維風化一摺軍機大

臣面奉

諭旨禮部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計粘鈔摺一件

七月十八日

608

交吏部本日引

見吉林倉官一缺擬陪之吉林八品筆帖式魁福奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

七月十八日

609 已革花翎二品銜候選道袁大化

硃○旨著開復原官交王文韶差委

610 前陝西延安府知府馬紹訓

硃○旨著以同知降補

611 本日都察院奏已革總兵林宜華遺報以案懸

不結等詞赴該衙門呈訴摺呈一件奉明發

諭旨著譚鍾麟許振禎訊明辦理詹事府代遞洗馬

惲毓鼎奏蘇省盜賊橫行請嚴密查拏摺奉寄信

諭旨著劉坤一趙舒翹認真拏辦御史潘慶瀾奏請

旌獎鄧世昌之母以勵風化摺奉交片

諭旨禮部議奏謹將原摺三件呈一件恭呈

慈覽謹

奏

612 軍機大臣 字寄

廣東巡撫許 光緒二十三年七月十九日奉

上諭有人奏革紳恬惡不悛結匪充差請飭嚴懲一

摺據稱廣東已革在籍候選道劉學詢聲名甚劣前充闡商時欠餉吞賑虧匿國帑甚鉅奏革後復賄通知縣許國榮等將現承闡商之押櫃銀兩扣留率其弟劉學詮引匪拆毀闡廠多家釀斃人命等語劉學詢屢經被人奏奏茲所陳各節如果屬實實屬怙惡不悛著許振禕查明究辦另片奏廣東盜風日熾新會豐順尤甚地方官有心諱縱列案糾參等語並著許振禕即將所指各案確切查明如該地方官實有諱縱情事即著從嚴參辦並通飭所屬整頓捕務以靖地方原摺片均著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

613 光緒二十三年七月十九日內閣奉

上諭依克唐阿鍾靈奏請選擇合龍吉期一摺盛京
福陵

隆恩殿工程將次完竣著欽天監選擇合龍吉期先行
知照即著該軍等敬謹遵照辦理該衙門知道欽此

614 光緒二十三年七月十九日內閣奉

上諭依克唐阿鍾靈奏勦估

福陵二柱門應修工程請擇吉興修一摺著欽天監於
本年八月內選擇吉期先行知照即著該將軍等
屆期敬謹興修餘著照所議辦理該衙門知道欽此

615 光緒二十三年七月十九日內閣奉

上諭給事中文郁奏鑾儀衛衙門體制兩歧請變通
辦理一摺據稱鑾儀衛漢軍鑾儀使隨滿洲一體
應差而升途迥異請將漢軍鑾儀使一員遇有副
都統缺出一體簡放滿洲章京向戴翎支漢軍章
京請一體戴用各等語鑾儀衛升途翎支均有舊
制滿洲漢軍各有專司該給事中所奏有違定章
非意存見好即受人囑託實屬不勝言官之任文
郁著回原衙門行走以示薄懲欽此

616 本日大學士李鴻章奏籌辦借款情形摺單一

件奉

旨該衙門知道出使大臣張蔭桓奏抵英呈遞

國書日期摺奉

旨知道了又奏抵英呈遞

國禮日期摺奉

旨知道了又奏英國慶禮完畢先赴俄德法各國一

行片奉

旨該衙門知道出使大臣呂海寰奏隨帶出洋各員

摺單一件奉

旨知道了給事中文郁奏參革紳劉學恂怙惡不悛

摺又奏粵省新會豐順兩縣盜風甚熾地方官

有心諱縱片奉寄信

諭旨一道又奏鑾儀衛體制兩歧升途雍滯請變通

辦理摺奉明發

諭旨一道謹將原摺片單恭呈

慈覽謹

奏

617

臣奕訢等謹

奏為據情代奏恭謝

天恩仰祈

聖鑒事本月十八日奉

上諭平定陝甘新疆回匪方略暨雲南回匪方略貴

州苗匪紀略三編經恭親王等督飭在館各員逐

日詳細校勘現在全書一律完竣該員等尚屬著

有微勞自應量予獎敘欽此據該章京孚琦等具

呈請將感激下忱代

奏叩謝

天恩前來臣等謹據情恭摺代奏叩謝

天恩並將原呈一件恭呈

御覽伏乞

皇上聖鑒謹

奏

光緒二十三年七月十九日

臣奕訢

臣世鐸

臣翁同龢

臣剛毅

臣錢應溥

軍機章京方略館提調官三品銜候補五品京

堂戶部郎中孚琦等謹呈為懇請據情代

奏恭謝

天恩事本月十八日奉

上諭平定陝甘新疆回匪方略暨雲南回匪方略貴

州苗匪紀略三編經恭親王等督飭在館各員逐

日詳細校勘現在全書一律完竣該員等尚屬著

有微勞應量予獎敘欽此竊章京等猥以庸愚分

司校勘本乏片長之足錄深慚報稱之未能適

因方略全書一律完竣仰蒙

皇上甄錄微勞優加獎敘聞

命之下實切悚惶嗣後惟有益矢慎勤勉圖策勵以

期仰答

高厚鴻慈於萬一所有章京等感激下忱理合具呈

恭謝

天恩伏乞據情代

奏謹呈

光緒二十三年七月十九日

候補五品京堂戶部郎中孚琦

得四品後以三品京堂候補國子監司業特圖慎

候補三品京堂內閣侍讀學士陳邦瑞

候補五品京堂刑部員外郎李蔭鑾

二品封典戶部郎中和爾魯額

三品銜隨帶加二級理藩院郎中多壽

儘先即選道隨帶加二級理藩院郎中志模

儘先即選道隨帶加二級兵部郎中忠兆

理藩院郎中員外郎豐陞額

選用知府戶部員外郎慶連

三品封典隨帶加二級戶部郎中榮霖

得和府後在任以道員候補理藩院員外郎承佑

道員用記名道府刑部員外郎王貴

兵部郎中麟緒

補司業後以四品京堂補用理藩院員外郎文年

籤分戶刑二部遺缺即補郎中英秀

戶部郎中補員外郎恆斌

內閣郎中補侍讀英凱

三品銜得和府後候補道記名御史部員外郎許奎

得和府後候補道得道員後三品銜吏部郎中王嘉禾

得知府後候補道員後三品銜戶部候補郎中陳熾

得知府後候補道吏部候補員外郎孫朝華

得知府後候補道刑部員外郎鄭炳麟

刑部即補郎中郭之全

得御史後作為履歷期滿帶加級記名道府戶部郎中馮汝駿

道員用 記名道府戶部郎中馮汝駿

道員用 記名道府兵部郎中濮子潼

籤分戶刑二部遺缺即補郎中胡祖謙

籤分戶刑二部遺缺即補郎中楊壽樞

保送應升之缺開列在前禮部郎中郭曾忻

三品銜隨帶加二級刑部郎中李燁賓

刑部即補員外郎盧震

戶部即補員外郎凌福彭

補主事後即補員外郎工部候補主事甘大璋

禮部即補員外郎王慶平

吏部即補員外郎孫司經

補郎中後作為履歷期滿帶加級兵部員外郎張嘉猷

刑部即補員外郎何葆麟

補中書後籤分戶刑二部遺缺即補主事內閣候補書李燮

交部議敘工部候補郎中繼昌

交部議敘戶部候補郎中連文冲

619 光緒二十三年七月二十日內閣奉

上諭巡視東城御史茹泰等奏遵保拏獲鄰境創劫

盜犯出力之司坊紳董懇恩獎勵一摺著吏部議

奏單併發欽此

620 本日巡視東城御史茹泰等奏遵保拏獲鄰境

盜犯出力之司坊紳董請獎摺奉明發

諭旨一道謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

七月二十日

621 光緒二十三年七月二十二日內閣奉

上諭孫家鼐等奏請仍以霸州知州沈宗卷升補北

路同知一摺著吏部議奏欽此

622 光緒二十三年七月二十二日奉

旨依議欽此

吏部奏解清甘肅各員請獎摺

623 光緒二十三年七月二十三日內閣奉

上諭山西學政錢駿祥奏考覈教職懇恩獎勵一摺
山西升任蒲州府教授前屯留縣教諭任來樸永
甯州學正陰步霞甯武縣教諭劉子秀清原鄉訓
導張光垣既據該學政詳加考察俱係品學兼優
足為士林矜式任來樸陰步霞劉子秀均著賞給
內閣中書銜張光垣著賞給國子監學正銜又片
奏保薦生員等語太原府廩生胡瀛神池縣廩生
谷如剛均著以訓導選用該部知道欽此

624 光緒二十三年七月二十四日奉

旨毋庸派欽此

聖諭奉 奉隨等處工程可否派派承修大臣摺

625 光緒二十三年七月二十五日奉

旨崇文門正監督著隆勳去副監督著佳祥去欽此

626 大學士崑岡

協辦大學士兵部尚書榮祿

戶部尚書敬信

禮部尚書懷塔布

工部尚書松澗

都察院左都御史裕德

627 吏部左侍郎崇光 現在請假

右侍郎溥善

戶部左侍郎立山

右侍郎溥良

禮部左侍郎璽岫

右侍郎溥頤

兵部左侍郎榮惠

右侍郎文治

刑部左侍郎阿克丹

右侍郎文琳

工部左侍郎鳳鳴

右侍郎英年

理蕃院左侍郎綿宜

右侍郎會章

內閣學士閣普通武

清銳

壽耆

準良

綿文

崇寬

628

都統

慶親王奕劻

禮親王世

睿親王魁斌

克勤郡王晉祺

肅親王隆懃

符珍

硃。

。

桂祥

載濂

奕謨

札拉豐阿

端郡王載漪

恩祐

鄭親王凱泰

前鋒統領

載瀾

護軍統領

色楞額

果勒敏

奕功

鈕楞額

恩燾

善耆

彭壽

恩普

副都統

629

官祥
 載瀛 現任右翼監督
 溥倫 現任左翼監督
 載澤
 德魁
 永隆
 英信
 定昌
 載卓
 明秀
 祥普
 禮深
 敬昌
 明惠
 舒存
 玉書
 信恪
 廣忠
 色普徵額

630
 志鈞
 秀吉
 希朗阿
 耆齡
 福森布
 明安
 愛隆
 玉璋
 吉恆
 散秩大臣
 椿壽
 鏡照
 委散秩大臣
 光裕
 海平
 恩慶
 成端
 鍾秀
 恩輝

銘勛 慶麟 克文 德壽 珠爾杭阿 裕興 德蔭 啟泰 立瑞 錫光 英俊 承蔭 延秀 黃永安 良沐 興恩 文熙 阿克東阿 錫露

普齡
富康

631 光緒二十三年七月二十五日內閣奉
上諭甘肅甘州府員缺著誠瑞補授欽此

632 查甘肅甘州府係衝繁疲要缺謹
奏

633 光緒二十三年七月二十五日內閣奉
上諭昨日道旁叩關之河南民人翟中建湖北民人
王德富李化廷均著交刑部嚴行審訊欽此

634 翟中建河南鞏縣民人因監生白士敏誣賴伊
父欠錢七百餘串勒寫契據捆吊毆打重傷為
此情急來京在道旁叩

關

635 抱古民人王德富係湖北民人遷居江南宣城

縣王文煥之子因鹽卡哨官毛金山私造偽契
強拆伊屋疊控未理為此情急來京在道旁叩

聞

636 抱古民人李化廷係湖北荊門州民人李佐廷

文童李耀廷之兄因有不知姓名游勇竊伊錢
文當被追獲不料會匪羅應林乘機將該勇毆
斃報州驗明至今尚未一訊復有地惡許合興
強毀伊屋將伊弟驢頭錢文搶去為此情急來
京在道旁叩

聞

637 光緒二十三年七月二十五日奉

旨依議欽此

吏部奏已屆十年應否舉行大挑摺

638 光緒二十三年七月二十六日內閣奉

上諭胡聘之奏副都統病請開缺等語西安右翼副
都統德溥著准其開缺回籍欽此

639 軍機大臣面奉

諭旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨
東西配殿照大殿用黃花梨木色罩籠罩漆餘依議

欽此

640 交工程處本日軍機大臣面奉

諭旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨
東西配殿照大殿用黃花梨木色罩籠罩漆餘依議

欽此相應傳知

貴王大臣欽遵辦理可也此交

七月二十六日

641 光緒二十三年七月二十七日內閣奉

上諭興京副都統輔國將軍奕霽歷任城守尉擢升
副都統均能稱職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照
副都統例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹
典該衙門察例具奏欽此

642 光緒二十三年七月二十七日奉

旨這所奏疏防斬犯越獄之管獄官山西岢嵐州吏目沈紹均著即革職拏問交胡聘之提集刑禁人等嚴行審訊有無鬆刑賄縱情弊按例懲辦有獄官岢嵐州知州徐樹璟據報先期公出有無捏飾規避著查明核辦餘著照所議辦理該部知道欽此

643

本年屆更換學政之期臣等查各省學政並無未滿三年人員謹將現任各學政員名及考過試差應行扣除人員分別繕單呈

覽謹

奏

644

現任各省學政名單

順天學政徐會澧

江蘇學政龍湛霖

安徽學政李瑞遇

江西學政黃卓元

浙江學政徐致祥

645

福建學政王錫蕃
湖北學政龐鴻文
湖南學政江標
河南學政徐繼孫
山東學政華金壽
山西學政錢駿祥
陝西學政趙惟熙
甘肅學政劉世安
四川學政吳樹棻
廣東學政惲彥彬
廣西學政馮金鑑
雲南學政姚文倬
貴州學政嚴修
奉天府府丞兼學政李培元

考過試差應行扣除人員名單

貴賢

程棫林

啟綏

周承光

646

查奉天府府丞一缺例應以對品京堂對調謹
將進士出身之正四品京堂人員開列名單進
呈恭候

欽定謹

奏

647

正四品京堂進士出身人員名單

通政使司副使葛爾華 現充福建正考官

詹事府少詹事李紱藻

鴻臚寺卿張仁黼 現充四川正考官

順天府府丞李鴻遠

648 軍機大臣 字寄

雲貴總督崧 雲南巡撫黃 貴州巡撫王

廣西巡撫史 光緒二十三年七月二十八日奉

上諭王毓藻奏游匪行蹤無定宜妥籌辦法一摺據

稱游匪巢窟多在廣西境內凌雲西隆西林各州

縣素為兇徒卵育之區粵匪一日不靖滇黔邊界

一日不安請飭史念祖派員統帶重兵駐紮凌雲

等處並飭各該州縣編查保甲嚴懲內匪滇黔各

清各界以防為勦等語游匪詭譎異常迭經官軍

搜剿現雖伏而不動難保不復圖衝突所奏凌雲

等處向為匪徒淵藪應如何派兵駐紮著史念祖

酌籌辦理毋任養癰為患貽害鄰封至保甲本為

弭盜良法並著該撫督飭該地方官詳查戶口認

真稽察其滇黔境內著崧審黃槐森王毓藻飭令

沿邊各州縣舉辦團練以防為勦儻該匪復有屯

聚抗拒情事仍著該督撫等分飭將弁合力會勦

毋得稍分畛域以靖邊陲王毓藻摺著鈔給崧著

黃槐森史念祖閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

649 康熙三十年十一月二十四日奉

上諭自昔帝王敬天勤政凡遇垂象示儆必實修人

事以答天戒頃欽天監奏推算日食當在康熙三

十一年正月朔日夫日食為天象之變且又見於

歲首朕兢惕靡盬力圖修省惟大小諸臣務精白

乃心各盡職業以稱朕欽承昭格至意其元旦行禮筵宴俱著停止欽此

650 康熙五十八年正月初六日奉

上諭日食雖係一定交限可以推算且今歲元旦日食被陰雲微雪未曾得見但別省無雲之處必有見者況日值三始人事不可不謹政事或有缺失之處諸臣確議以聞欽此

651 乾隆五十年十一月二十九日內閣奉

上諭五十一年正月初一日日食業經頒諭停止朝賀其救護典禮禮部遵例奉行朕仍於內殿恭設香案虔申祈禳以答

上天垂象儆惕修省之意至於下詔求言史冊所稱朕以為轉涉虛文蓋事

天以實為人君者敬

天勤民躬理庶務日慎一日乃職分所當然即大臣言官應行陳奏事件原當隨時入告豈待日食然後求言況今每日御便殿聽政批答章奏大學士軍

機大臣及九卿科道等不時召見諮詢政務即外省自督撫至道府無不隨到宣召未致民隱雍於

上聞詎因日食方始下詔求言耶至薄蝕天變日時度數有定昔宋仁宗康定元年正月丙辰朔應日食先是日官楊惟德等請移閏於庚辰年則日食在前月之晦帝曰閏所以正天時而授民事其可曲避乎不許所見甚為合理蓋凡日食必以合朔移於晦日尤為非是又考漢唐以來如光武帝建武二年北魏孝文帝延興四年太和十四年唐太宗貞觀六年均以正月朔日食昔我

皇祖時以康熙三十一年及五十八年正月朔日食且三十一年有錫伯瓜爾察達呼爾等未歸喀爾喀格楚爾喀亦以屬裔來歸之事可見日食為定數而吾人者則當因此益加戒懼至於以改移為消弭之說則尤斷斷不可朕踐阼之始即叩

天默禱以若蒙

天佑享國至六十年即當傳位歸政不敢如皇祖之數逾花甲今幸五十年來壽逾古稀康強如昔惟宵旰勤求不遑暇逸以仰副

上天眷頤之殷

祖宗付託之重設以天變為可消弭即於今歲歸政則

是欲移咎後人圖缺己責如宋高宗年末六十傳

位孝宗置軍國大事於不問不獨無以對

天并無以對子朕豈肯出此乎從前推算天行度數乾

隆六十年乙卯亦當正旦日食與今歲同若於是

年歸政則值嗣子首歲元正尤屬非宜朕心亦有

不忍何若以是歲為朕臨御六十年頤和錫福之

餘即以次年為嗣子迎

麻改元之始國祥家慶

天日重光以符朕首祚之祈以紹我大清億萬年之寶

命不其懿歟然此願亦不敢期必總以猶日孜孜

以靜俟

上天垂佑耳將此通諭中外臣民咸知朕意特諭

⁶⁵² 乾隆五十九年八月十五日內閣奉

上諭朕臨御天下五十九年仰蒙

吳蒼蒼佑

列聖貽麻薄海昇平梯航向化重熙累洽惟日孜孜無

時不以敬

天勤民為念行慶施惠錫祐延禧普免漕糧二次地丁

錢糧四次而偶遇水旱偏裻隨時蠲租賜復賑貸

兼施不下帑金數千兩所以涵養生息子愛黎元

至周且渥茲紹膺統緒明歲正屆六十年粵稽史

冊前代帝王享國長久者未可多得即有一二或

係沖齡踐祚用能多歷年所朕則春秋二十有五

始即位誕膺大寶迄今八旬開四康強逢吉五代

同堂景運增隆寔遠邁享國之年幸周甲子壽祚

延洪實為古今罕觀之盛事此皆上蒙

吳貺駢蕃克膺福朕於感荷之餘彌深兢業早經欽

天監推算六十年元旦日食上元月食古來史傳

所載有日食修德月食修刑之說固因

上天垂象理宜修省其實君人之道於德刑二事平日

本宜刻深兢勵亦何待日月薄蝕始懷寅戒之心應

天以實不以文與其託諸空言宜若見諸行事之實修

德莫大於愛民若覃敷恩澤加惠閭閻俾海宇子

民共臻樂利則所謂修德孰大於是所有六十年

各省應徵漕糧著再加恩普免一次其應如何分

年輪免之處仍著該部核議具奏至以修刑而論則停免勾到即所以恤刑但赦非善政利於宵小而不利於善良昔人即有此論明年係六十年國慶後歲丙辰為嗣皇帝即位元年俱應錫慶施仁於恤刑獄若今年停勾則三年連緩養民恃有寬政作奸犯科者無所畏轉非辟以止辟之意是以本年仍照舊勾到明年元旦著照五十一年之例不御殿不受朝賀是日午後向有諸王暨皇子皇孫內庭家宴之例五十一年元旦日食復圓後曾經舉行明歲究係六十年週甲年分所有內庭家宴亦著一併停止舉行朕於是日亦不御禮服照每年例恭詣

奉先殿
堂子及

先師各等處行禮時御龍袍貂褂將屆日食時即換常服以示寅恭而寓修省日月薄蝕躔度本屬有定數千百年後皆可推算而得所謂千歲之日至可坐而致但元旦上元適值日月虧蝕究為

日天宮示儆之象幸

天恩垂佑適在明歲為朕即位週甲告成之年自應低承無數設在丙辰正月則為嗣皇帝即位之元年於吉祥盛事轉為未嫌是即日薄蝕一事而上天之篤祐朕躬以貽我子孫萬年無疆之庥者至優至厚朕惟有益感

天恩倍深乾惕又明年乙卯為朕臨御六十年本欲於萬壽節前由熱河回京受賀今春因中外臣工懇請舉行慶典適以上冬雪澤未獲復霽春間又復缺雨業經降旨宣諭令將明年慶典停止舉行若仍照庚戌年八旬之例於萬壽前回京則王公外藩以及大小臣工等必求再四懇請舉行慶典則似朕今春所降諭旨轉為不誠是以明年仍定於熱河駐蹕過萬壽後再行回鑾俟至丙辰正月歸政嗣皇帝以符正月上日受終文祖之義彼時備儀授受盛典光昭嗣皇帝率領臣民以天下養介禧祝嘏慶洽數天尤為千古罕觀盛事實我大清億萬載無疆之福也將此通諭知之欽此

653 慈寧宮慶賀禮照例舉行

御乾清宮受禮不御太和殿

停止宗親宴

將屆日食時換常服 照乾隆六十年例

內殿恭設香案虔申祈禳

654 光緒二十三年七月三十日內閣奉

上諭莊健奏患病懇請開缺一摺蘇州織造內務府
郎中莊健著准其開缺回旗欽此

655 光緒二十三年七月三十日奉

旨朱榮璣著交軍機處存記餘依議欽此

朱榮璣浙江候補守備榮璣可西開缺留浙補用並交軍機處存記摺

656 本日順天府府尹胡燏棻奏接辦津榆鐵路先

陳大概情形並請頒發關防摺又奏鐵路添設
鋼橋等項暫時挪款應用陸續彌補片又奏鐵
路單軌大致告竣鋪設雙軌約須秋冬竣事片
均奉

旨該衙門知道謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

657 軍機大臣 字寄

山西巡撫胡 光緒二十三年八月初一日奉
上諭有人奏山西歸化廳包頭鎮等處買空賣空之
風甚熾銀利與錢利畸重畸輕且又攬使小錢又
有劣幕沈潛兼充道廳七署刑幕把持漁利二十
餘年與道署門丁欺竄如歸化廳署門丁孫蓋臣
等狼狽為奸軍民控告均行批斥反言買空賣空
裨益軍民等語著胡聘之查明究辦將此諭令知
之欽此遵

旨寄信前來

658 光緒二十三年八月初一日內閣奉

上諭本年值更換學政之期奉天府府丞兼學政著
李鴻遠調補所遺順天府府丞著李培元調補順
天學政著張英麟去江蘇學政著瞿鴻禨去安徽
學政著徐致祥去山東學政著姚丙然去山西學
政著劉廷琛去河南學政著朱福詵去陝西學政
著葉爾愷去甘肅學政著夏啟瑜去福建學政著
戴鴻慈去浙江學政著徐樹銘去江西學政著李紱

藻去湖北學政著王同愈去湖南學政著徐仁鏞
去四川學政著吳慶坻去廣東學政著張百熙去
廣西學政著劉元亮去雲南學政著張建勳去貴
州學政著傅增湘去徐致祥徐樹銘張百熙均經
出差著即行赴任毋庸來京請訓欽此

硃 659 奉天 李鴻遠

順天 張英麟

江蘇 瞿鴻禨

安徽 徐致祥

山東 姚丙然

山西 劉廷琛

河南 朱福詵

陝西 葉爾愷

甘肅 夏啟瑜

福建 戴鴻慈

浙江 徐樹銘

江西 李紱
吳樹梅

湖北 王同愈

硃筆改

湖南 徐仁鑄

四川 吳慶坻

廣東 張百熙

廣西 劉元亮

雲南 張建勳

貴州 傅增清

660 光緒二十三年八月初一日奉

旨蘇州織造著海豐去欽此

661 光緒二十三年八月初一日內閣奉

上諭鹿傳霖奏監犯結夥反獄戕傷官弁登時格斃捕獲多名分別擬辦一摺本年五月十三日四川酉陽州監犯溫培元即溫萌模等二十四名膽敢結夥反獄拒斃禁卒更夫該州文武前往堵拏均受多傷該署州陳德薰受傷尤重伊子陳鴻停當倉猝格捕之際奮身救父遽遭殺害該署州會督營汛登時格斃逃犯田興得即田老照等九名並拏獲溫培元等七名又續獲倪思得等三名經該

督飭令一併正法梟示足昭炯戒監獄重囚夫於

防範致被結夥反獄傷斃官弁非尋常疏忽可比

管獄官署酉陽州吏目楊國嘉著即行革職該署

州陳德薰到任未久又值地方辦賑勢難兼顧且

身受重傷尚能督飭兵役將反獄各犯立時捕獲

格斃多名著從寬免其議處伊子湖北舉人陳鴻

俾至性激烈孝行可嘉著准其旌表餘依議該部

知道欽此

662 交內閣本日軍機大臣面奉

諭旨此次簡放學政各員著自本月初三日起每日

二員分日遞指謝恩預備召見如遇出宮行禮拈

香及詣頤和園請

安各日期應行召見之員即改於次日預備其餘各員

以次遞推如在頤和園駐蹕辦事仍照常預備筵

相應開單傳知

貴衙門迅即轉傳各員一體欽遵可也此交

八月初一日

663 交總理各國事務衙門本日通政使司來議楊
宜治奏鑄價日增請變通成式鑄金銀錢以彌
鉅虧一摺奉

旨該衙門議奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此文計粘鈔摺一件

八月初一日

664 本日通政使司參議楊宜治奏外洋鑄價日增
請變通成式造金銀錢以彌鉅虧摺奉

旨該衙門議奏御史閻錫齡奏請整頓吏治摺又奏

請編查保甲片均奉

旨存又奏山西歸化廳等處買空賣空請

飭嚴行禁止片奉寄信

諭旨著胡聘之查明究辦謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

欽命頭場四書題三道詩題一道宗室鄉試恭請

665 本屆丁酉科順天文鄉試恭請

欽命頭場四書題三道詩題一道宗室鄉試恭請

欽命四書題一道詩題一道均於初八日一併封固
發下文順天府祇領謹
奏

666 鄉試題目

大學

論語

孟子

667 鄉試題目

論語

中庸

孟子

668 光緒十七年順天鄉試

欽命四書題詩題

言忠信行篤敬

君子之道淡而不厭簡而文溫而理

詩曰天生蒸民有物有則民之秉夷好是懿德

賦得遠樹望多圓得淮字五言八韻

光緒十九年順天鄉試

欽命四書題詩題

故君子必慎其獨也曾子曰十日所視十手所指其嚴乎

子曰為政以德譬如北辰居其所而眾星共之

子曰詩三百一言以蔽之曰思無邪

伯一位子男同一位

賦得秋鷹整翮當雲霄得才字五言八韻

光緒二十年順天鄉試

欽命四書題詩題

子夏曰百工居肆以成其事君子學以致其道

子夏曰小人之過也必文

詩曰衣錦尚絀

征者上伐下也

賦得五色詔初成得成字五言八韻

光緒十八年會試

欽命四書題詩題

子曰君子矜而不爭羣而不黨子曰君子不以

言舉人不以人廢言

斯禮也達乎諸侯大夫及士庶人

井九百畝其中為公田八家皆私百畝同養公田

賦得柳拂旌旗露未乾得春字五言八韻

光緒二十年會試

欽命四書詩題

達巷黨人曰大哉孔子

子曰道不遠人人之為道而遠人不可以為道

詩云伐柯伐柯其則不遠執柯以代柯脫而

視之猶以為遠故君子以人治人改而止忠

恕遠道不遠

慶以地

賦得雨洗亭臯千畝綠得臯字五言八韻

光緒二十一年會試

欽命四書題詩題

主忠信

優優大哉禮儀三百

居天下之廣居立天下之正位行天下之大道

得志與民由之

賦得裴德錄賢得康字五言八韻

669 光緒十七年宗室鄉試

欽命四書題詩題

古之賢王好善而忘勢

賦得樹杪百重泉 得重字五言八韻

光緒十九年宗室鄉試

欽命四書題詩題

俎豆之事

賦得數紙尚可博白鷺 得經字五言八韻

光緒二十年宗室鄉試

欽命四書題詩題

勇者不懼

賦得三軍合肅馬頻嘶 得軍字五言八韻

光緒十八年宗室會試

欽命四書題詩題

以能問於不能以多問於寡有若無實若虛

賦得名山為輔佐 得名字五言八韻

光緒二十年宗室會試

欽命四書題詩題

享禮

賦得雲近蓬萊常五色 得雲字五言八韻

光緒二十一年宗室會試

欽命四書題詩題

居敬而行簡以臨其民

賦得君臣一氣中 得親字五言八韻

670 光緒二十三年八月初二日內閣奉

上諭春秋之義日食必書况值歲首履端歷代引為

天戒我朝康熙乾隆年間正旦日食曾經再見茲

據欽天監題奏二十四年正月初一日日食朕寅

畏之餘允宜參稽

成憲明年元旦於乾清宮受禮不御太和殿受賀停止

宗親宴將屆日食時即換常服仍於內殿恭設香

案度中祈禳用答

昊穹垂象之意至

慈寧宮慶賀係

尊養隆儀普天

錫福自應照例舉行著各該衙門敬謹預備欽此

671 光緒二十三年八月初三日內閣奉

上諭張英麟現出學差禮部右侍郎著陳學棻兼署其所署吏部右侍郎著徐會澧兼署欽此

672 應兼署_{刑吏}部_左侍郎名單

吏部左侍郎徐用儀 現署戶部左侍郎

硃
○ 戶部右侍郎陳學棻

○ 禮部左侍郎徐會澧

兵部右侍郎楊頤 現署工部右侍郎

673 光緒二十三年八月初三日內閣奉

上諭崔鴻禧現出學差其所署刑部左侍郎著曾廣漢署理曾廣漢所署宗人府府丞著貴賢署理欽此

674 應署_禮部_左侍郎名單

內閣學士唐景崇 現署兵部左侍郎

梁仲衡 現署工部左侍郎

都察院左副都御史壽昌 現署刑部右侍郎

硃
○ 太常寺卿徐承煜 兼署大理寺卿

光祿寺卿曾廣漢 現署宗人府府丞

硃
675 大理寺少卿貴賢

內閣侍讀學士陳邦瑞 現署太常寺少卿

王福祥

676 光緒二十三年八月初三日內閣奉

上諭昨日道旁叩關之順天民人王裕著交刑部嚴行審訊欽此

677 王裕係順天宛平縣人因妻恃常歸甯母家偷

盜衣服首飾等件索討不肯給還為此道旁叩

關

678 光緒二十三年八月初四日內閣奉

上諭禮部左侍郎徐會澧著仍在上書房行走欽此

679 光緒二十三年八月初四日內閣奉

上諭奉天府府丞兼學政李鴻逵著俟此次順天鄉試事務辦理完竣再行赴任欽此

680 光緒二十三年八月初四日奉

旨著添派楊顯承修欽此

傳郵海長奏添派 東陵風水園橋承修大臣指

681 明保江蘇截取進士知縣沈祖燕

殊。旨著交軍機處存記

682 光緒二十三年八月初五日內閣奉

上諭依克唐阿鍾靈奏

陵寢應修要工請擇吉興修一摺

永陵省牲廳

昭陵貴妃園寢均有應修工程著欽天監於本年八月

內選擇吉期先行知照即著該將軍等敬謹興修餘著照所議辦理該衙門知道欽此

683 光緒二十三年八月初五日奉

旨那彥圖等奏崇文門徵收稅課盈餘未能足額一摺著戶部議奏餘依議單三件併發欽此

崇文門奏徵收稅課盈餘未能足額摺

684 光緒二十三年八月初六日奉

旨准其隨帶欽此

長春奏請帶伊子世襲隨從任所摺

685 光緒二十三年八月初七日內閣奉

上諭孫家鼐現在入闈吏部尚書著翁同龢兼署欽此

686 光緒二十三年八月初七日內閣奉

上諭徐郁現在入闈兵部尚書著廖壽恆署理欽此

687 應兼署吏部漢尚書名單

殊。戶部尚書翁同龢

禮部尚書許應發 現在請假

刑部尚書薛允升

工部尚書錢應溥

688 應著 兵部漢尚書名單

硃。都察院左都御史廖壽恆

吏部左侍郎徐用儀 現兼著戶部左侍郎

戶部右侍郎陳學棻 現兼著禮部右侍郎

禮部左侍郎徐會澄 現兼著吏部右侍郎

兵部右侍郎楊顛 現兼著工部右侍郎

689 光緒二十三年八月初七日内閣奉

上諭裕德現在八閩都察院左都御史著崇禮署理

欽此

690 前刑部尚書貴恆

硃。前熱河都統崇禮

691 應兼署都察院滿左都御史名單

協辦大學士兵部尚書榮祿 現在請假

吏部尚書熙敬 現在請假

戶部尚書敬信

禮部尚書懷塔布

刑部尚書剛毅

工部尚書松莊

理藩院尚書啟秀

692 應著都察院滿左都御史名單

吏部左侍郎崇光

右侍郎溥善

戶部左侍郎立山

禮部左侍郎楚岫

右侍郎溥頤

兵部左侍郎榮惠

刑部左侍郎阿克丹

右侍郎文琳

工部左侍郎鳳鳴

右侍郎英年

理藩院左侍郎錦宜

右侍郎會章

693 光緒二十三年八月初七日內閣奉

上諭溥良現在入闈戶部右侍郎兼管錢法堂事務
著崇光兼署欽此

694 光緒二十三年八月初七日內閣奉

上諭文治現在入闈兵部右侍郎著溥善兼署欽此

695 應兼署戶部滿右侍郎名單

○ 吏部左侍郎崇光

○ 右侍郎溥善

戶部左侍郎立山

禮部左侍郎堃岫

右侍郎溥頤

兵部左侍郎榮惠

刑部左侍郎阿克丹

右侍郎文琳

工部左侍郎鳳鳴

右侍郎英年

理藩院左侍郎綿宜

右侍郎會章

696 應署戶部滿右侍郎名單

內閣學士閻普通武

清銳

壽耆

崇寬

綿文

準良

都察院左副都御史奕杖

良培

大理寺卿明桂

詹事府詹事載粵

697 交至公堂本日軍機大臣面奉

諭旨順天鄉試監臨府尹胡燏棻著於初八日寅刻

赴乾清門祇領題目嗣後遇兼尹府尹一同入闈

照此辦理欽此相應傳知

貴監臨欽遵可也此交

八月初七日

滿頭班

花翎三品銜候補五品京堂戶部郎中孚琦

三品銜即選道理藩院即補郎中員外郎多壽

儘先即選道得道員後加三品銜花翎四品銜理藩院即補郎中志樸

儘先即選道得道員後加二品銜花翎三品銜兵部郎中惠兆

花翎四品銜理藩院即補員外郎豐陞額

四品銜選用知府戶部員外郎雲騎尉世職慶連

四品銜兵部即補郎中員外郎麟緒

戶部即補員外郎恆斌

內閣即補侍讀英凱

漢頭班

花翎候補三品京堂署太常寺少卿內閣侍讀學士陳邦瑞

三品銜得知府後在任候補道 記名御史吏部員外郎徐士佳

三品銜道員用工部候補郎中繼昌

記名繁缺知府得知府後在任候補道戶部即補郎中陳熾

四品銜 記名御史工部員外郎王彥威

四品銜戶部候補郎中胡祖謙

花翎三品銜 記名道府選係送應升之缺開列在前禮部郎中郭曾忻

三品銜刑部郎中李舜賓

三品銜道員用 記名道府兵部郎中濮子潼

刑部即補員外郎盧震

工部候補主事得缺後以員外郎即補甘大璋 現在志敏

四品銜兵部員外郎張嘉猷

內閣候補中書得缺後以主事即補李象寅

滿二班

花翎四品頂戴得四品後以三品京堂候補國子監司業特爾慎

花翎三品銜應升之缺升用 記名道府戶部郎中和爾唐額

三品銜戶部郎中榮需

即選知府補郎中後加三品銜理藩院員外郎承祐

道員用 記名道府刑部員外郎玉貴

記名司業得缺後以四品京堂補用四品銜理藩院員外郎支年

刑部即補郎中英秀

刑部候補主事來秀

內閣候補侍讀先換頂戴貼寫中書桂蔭

漢二班

三品銜候補五品京堂刑部員外郎李蔭燾

三品銜得知府後在任候補道 記名繁缺知府吏部郎中王嘉木

三品銜得知府後在任候補道 記名御史吏部郎中孫朝華

三品銜戶部郎中連文冲

四品銜刑部候補郎中郭之全

四品銜得知府後在任候補道 記名御史刑部員外郎郭炳麟

三品銜道員用 記名道府戶部郎中馮汝駿

刑部候補郎中楊壽樞

戶部郎補員外郎主事凌福彭

禮部郎補員外郎王慶平

吏部郎補員外郎孫奇經

四品銜刑部郎補員外郎何葆麟

699 光緒二十三年八月初九日內閣奉

上諭前任順天學政徐會澧奏酌保教職一摺雄縣

教諭于福澤延慶州學正周兆麒保升知縣懷來

縣教諭王煜既據徐會澧臚列該員等品行學問

覈實保獎自應俯如所請以示鼓勵于福澤周兆

麒均著以知縣在任候升王煜著送部引見另片

奏保舉品學兼優各員大批知縣王錫三布政司

經歷銜張碩均著賞加五品銜至四品封典卿銜

舉人史夢蘭請賞換國子監祭酒銜著毋庸議該

部知道欽此

700 本日侍郎徐會澧奏酌保教官摺入奏保舉紳

者片奉明發

諭旨一道謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

701 光緒二十三年八月初十日內閣奉

上諭譚鍾麟等奏擊獲會匪首要出力員弁懇恩獎

勵一摺本年三月間廣東石城等處會匪嘯聚滋

事經該督等派總兵武萬才等帶營馳往拏辦先

後獲匪一百七十餘名審明正法匪首劉芝草竄

往廣西博白縣屬復經武萬才分派員弁帶勇追

捕該匪首被拏回竄合浦縣境內經總兵劉邦威

派出之守備梁義忠等於五月十七日將劉芝草
即劉吉六擒獲立正典刑現在地方一律安謐辦
理尚為迅速所有在事出力員弁不無微勞足錄
自應量予鼓勵署瓊州鎮總兵武萬才北海鎮總
兵劉邦盛均著記名以提督簡用廣西梧州協副
將江志著以總兵儘先補用游擊用廣東南韶連
鎮右營都司莫善積儘先游擊邱青魁均著免補
游擊以參將補用都司用署北海鎮左營守備梁
義忠著免補都司以游擊補用署海口營守備儘
先千總王肇元著免補守備以都司補用廩生李
定楨著以教諭儘先選用廣東候補知縣周經樞
著免補本班以直隸州知州仍留原省補用該督
等務當飭令留紮石城勇營會同各文武控捕餘
匪鎮撫地方毋稍疏懈餘著照所議辦理該部知
道欽此

702 光緒二十三年八月十二日內閣奉

上諭前據御史王廷相奏參前甘肅副考官謝佩賢
沿驛肆虐等情當經諭令胡聘之查奏茲據查明

奏稱謝佩賢前出甘肅試差回京時經過山西並
無鞭責鎖帶辦差家人及因案勒賠調停資贖情
事惟失察家丁致招物議又以失竊細故紆道至
省亦有不合翰林院編修謝佩賢著交部照例議
處欽此

703 光緒二十三年八月十二日奉

旨本年勾到事宜著照現行章程辦理欽此

刑部奏辦理秋審請 旨遵行

704 軍機大臣 字寄

熱河都統壽 光緒二十三年八月十三日奉
上諭壽蔭奏查明雙山子金礦情形並酌擬章程一
摺覽奏均悉雙山子等處金礦現據熱河道端多
布查明金苗可期豐旺並擬定章程條款經該都
統考覈諸臻妥善即著揀委委員認真採辦定期
升科務當確切查覈以裕餉項至溝梁土槽子編
山線寬溝等處金廠據奏辦有端倪各屬煤礦亦
著成效即著趕緊查明具奏辦理將此諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

鈔文
戶部
總著

705 光緒二十三年八月十三日內閣奉

上諭奎英奏假期屆滿病仍未痊請開缺調理一摺
歸化城副都統奎英著准其開缺欽此

706 光緒二十三年八月十三日內閣奉

上諭趙舒翹奏耆紳重遇鹿鳴懇恩與宴一摺按察
使銜前山東補用道張雲望早登科第曾列清班
現在年逾八秩鄉舉重逢洵屬藝林盛事張雲望
著加恩賞給二品頂戴准其重赴鹿鳴筵宴以惠
耆年欽此

707 光緒二十三年八月十五日內閣奉

上諭翁同龢著以戶部尚書協辦大學士欽此

708 應

簡放漢協辦大學士名單

硃

吏部尚書孫家鼎

。戶部尚書翁同龢

禮部尚書許應駟

兵部尚書徐郟

刑部尚書薛允升

工部尚書錢應溥

都察院左都御史廖壽恆

709 光緒二十三年八月十五日內閣奉

上諭崧蕃等奏已故革職藩司戰功卓著懇請開復
原官一摺前雲南布政使崧蕃寶於護理總督任
內因用人不當降旨革職該藩司從前隨同崧蕃
英辦理軍務願著戰功加恩著照所請開復原官
該部知道欽此

710 軍機大臣 字寄

兩廣總督譚 浙江巡撫廖 山東巡撫李

漕運總督松 光緒二十三年八月十六日奉

上諭松椿奏南河工需應行協濟之餉僅據安徽一

省全行解到廣東浙江山東欠解甚鉅請飭悉數
匯解等語南河工程關係緊要本年險工疊出需
餉尤亟著譚鍾麟廖壽豐李秉衡分飭藩運各司
將欠解河餉銀兩趕緊匯解毋任再行延宕致該
要需原片均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

鈔交戶部

711 軍機大臣 字寄

漕運總督松 光緒二十三年八月十六日奉
上諭松椿奏湖河秋汛續漲照章啟壩一摺前據劉
坤一電奏本年水勢盛漲早逾啟壩定制八月初
四初五等日先後啟放車邏南關兩壩業經諭令
嚴守東西兩隄毋致潰溢茲據該漕督奏稱兩壩
啟放以後東南風緊宣洩不暢僅再增長不消新
壩亦應照章啟放等語現在節逾白露水勢當可
漸消仍應加意防維以期有備無患著即飭令淮
揚海道謝元福等親督在工員弁晝夜梭巡遇有
壅塌之工趕緊分投搶辦或應速啟各壩藉減成

漲之處並著體察情形相機妥辦將此諭令知之
欽此遵
旨寄信前來

712 光緒二十三年八月十七日內閣奉

上諭鄧華熙奏回籍侍郎修墓未竣懇請開缺據情
代奏一摺吏部右侍郎吳廷芬著准其開缺欽此

713 光緒二十三年八月十七日內閣奉

上諭鹿傳霖奏提督病故懇恩賜卹一摺記名提督
張祖雲由行伍從征各省歷著戰功借補四川永
甯營參將各缺歷著重慶等鎮總兵恤兵愛民衆
情感戴茲因傷發病故著加恩照提督軍營立功
後病故例從優議卹該部知道欽此

714 光緒二十三年八月十七日內閣奉

上諭鹿傳霖奏參不職各員請旨懲儆等語四川灌
縣知縣方連鼎年近八旬精力衰邁瀘州學正蕭
世楷志氣衰頹難資訓迪均著原品休致管理懲
功屯務委員試用知縣張肇基固利殃民被控有

案試用巡檢劉榮桂經營土稅分卡舞弊營私均著即行革職餘著照所議辦理該部知道欽此

715 光緒二十三年八月十七日內閣奉

上諭安徽學政李端遇奏降調之員勒指試卷自行檢舉一指安徽生童經古覆試原卷該學政函寄降調御史魏迺勳屬其選刻試牘以致原卷被扣李端遇著交部議處魏迺勳以降調之員主講涿州書院乃竟藉端要挾殊屬謬妄著順天府飭令該州知州驅逐回籍並將試卷勒令交出該部知道欽此

716 軍機大臣 字寄

廣西巡撫史 廣西提督蘇 光緒二十三年八月十八日奉

上諭史念祖蘇元春奏勦辦游匪情形一指廣西游匪經該省官軍擒捕並拏獲匪首游維翰正法並次電奏均悉本日奏到格老寨地方七月間復有匪黨嘯聚經該撫等派兵擊散擒獲匪首李大成

等多名現在境內漸次安靜惟漏網餘匪尚多潛匿仍著飭令留防各軍認真按勦毋留餘孽僅再有大股匪徒嘯聚著仍遵前旨會同雲貴各督撫合力兜緝務絕根株所有疊次出力員弁准其擇尤保獎毋許冒濫傷亡瘴故員弁等即著查明分別請卹將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

717 光緒二十三年八月十八日內閣奉

上諭給事中丁之斌等奏刑部承審叅案濫刑株累請另派大臣審訊一指宋伯魯奏叅中城地面商人王遠來等身死一案刑部尚未審明奏結著派都察院堂官會同刑部秉公研訊務得確情據實具奏欽此

718 本日給事中丁之斌等奏刑部承審叅案濫刑

株累請另

派大員審訊摺又片奏宋伯魯叅王遠來等身死一案罅漏甚多片奉明發

諭旨令都察院堂官會同刑部審訊謹將原摺片恭呈
慈覽謹

奏

719 軍機大臣 字寄

四川總督鹿 光緒二十三年八月十九日奉

上諭鹿傳霖奏^抄三巖野番搶劫指匪派員查辦相機

勦撫一摺據稱巴塘所屬喜竹橋地方三巖雞打

窪野番搶去訥欽指匪經巴塘文武派兵將原摺

追獲該野番先有劫殺教士之案近始辦結業經

飭令署提督夏毓秀察看情形並派已革知府嵇

志文記名提督韓國秀馳往籌辦等語三巖野番

向不歸化近復肆行搶劫此次業經該督派員查

辦果能擒獻匪首自足以昭炯戒如其負隅抗拒

即應審度地勢勦撫兼施另片奏^抄桑披寺喇嘛不

服查辦伏兵戕殺守備李朝福父子^抄密飭嵇志文

等迅將三巖番案辦竣即行移師籌辦等語桑披

蓄謀設伏戕官反側情形必應設法令其縛獻渠

魁解散黨類方為上策該兩處均係川藏要路尤

應認真辦理毋稍疏忽^抄守備李朝福暨其子兵丁
李光宗李光培死事甚烈均著交部照例議卹將
此由四百里諭令知之欽此遵
旨寄信前來

摘鈔交禮部

720 軍機大臣 字寄

成都將軍恭 四川總督鹿 光緒二十三年

八月十九日奉

上諭恭壽奏土司改土歸流督臣事前並未商辦徑

行列銜具奏據實奏聞一摺四川邊務事宜向由

總督會同將軍互商妥善合詞具奏德爾格忒土

司獻地改土歸流一案鹿傳霖並未知照恭壽竟

將該將軍銜名列入與歷來辦法不符並據該將

軍奏稱該督不察虛實即飭委員張繼率師往取

其地張繼急於邀功遂將該土司全家誘獲解省

監禁疊次提審所供情節與張繼所稟懸殊現聞

張繼在德爾格忒被圍邊民之未必心服亦可想

見等語此案實在情形究竟若何朝廷無由懸度若如該將軍所奏辦理實未妥善國家深仁厚澤二百餘年各土司食毛踐土與內地軍民無異從前用兵查辦之案甚少此次鹿傳霖在川瞻對既已用兵三巖桑披又復紛紛滋事雖時勢所值不同該督等亦應酌度情形倍加詳慎乃鹿傳霖咨覆恭壽有如果辦理不善該督當獨任其咎之語事關邊務豈可掉以輕心獨斷獨行設有貽誤該督能當此重咎耶恭壽所請嗣後邊務事件無庸會列銜名徑由督臣具奏以一事權亦屬非是總之恭壽鹿傳霖共事一方同受朝廷重寄均應屏除成見和衷商辦俾邊圉又安番情悅服方為不負委任正不獨德爾格忒一事為然也將此由四百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

721 光緒二十三年八月十九日內閣奉

上諭依克唐阿等奏恭請

神牌還

御請擇吉期一摺

福陵

隆恩殿工程現在業經告竣即著欽天監於九月內選

擇吉期行知依克唐阿等屆期由

東配殿恭請

神牌還

御以昭敬慎該衙門知道欽此

722 光緒二十三年八月十九日內閣奉

上諭前據御史張仲忻給事中蔣式榮先後奏參刑部尚書薛允升縱庇子姪消弭巨案並貪贓枉法各情當經諭令徐桐啟秀確查茲據查明覆奏薛允升於點派差使辦理案件均無徇情貪贓枉法情事收受節壽亦無實據惟於玉田縣買參差徭一案牽涉其胞姪薛濟在內不知引嫌迴避著文部議處刑部郎中党蒙承審此案並不詳慎斟酌猶復飾詞強辯亦難辭咎著照例議處刑部堂官及派審此案各員於奏交之案率行咨交該省著一併查取職名交部分別議處內閣侍讀薛浚雖無商通獄詞情事惟於伊父薛允升被參之摺竟

不發鈔究屬不合著交部議處另片奏玉田縣買
參差徭一案先將訊明各犯分別擬結等語州同
銜指分四川補用府經歷薛濟即薛汝舟著即行
革職仍令在押候質洪奎鼎著暫行監候待質已
革御史溥松著交宗人府管束統俟拏獲蘇月波
等訊明辦理譚志松蘇月波仍著直隸總督順天
府步軍統領衙門五城御史一體嚴拏務獲究辦
餘著照所議辦理該部知道欽此

723 光緒二十三年八月十九日奉

旨照例覈議欽此

吏部奏嚴出使大臣楊儒保各單高聖捐

724 光緒二十三年八月十九日奉

旨照例覈議欽此

吏部奏嚴出使大臣楊儒保出洋公冊捐

725 本日大學士徐桐等奏遵查刑部尚書薛允升
兩次被參各款摺又奏查明玉田縣買參差徭
案分別擬辦片奉明發

諭旨一道謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

八月十九日

726 光緒二十三年八月二十日內閣奉

上諭福建漳州鎮總兵員缺著洪永安補授欽此

727 查福建漳州鎮總兵係陸路缺謹

奏

728 光緒二十三年八月二十日內閣奉

上諭毓峴等奏神靈顯應護佑樹株請加封號並頒

發匾額一摺前因

東陵風水地面松虫甚多經毓峴等虔禱馬蘭峪

五神祠仰賴

神靈呵護樹株均未成災實深寅感著發去御書

匾額一方交毓峴等祇領敬謹懸挂以答

神庥至所請議加封號之處著禮部議奏欽此

729 光緒二十三年八月二十一日內閣奉

上諭徐樹銘著調補吏部右侍郎未到任以前仍著

徐會澧兼署楊頤著轉補兵部左侍郎仍兼署工

部右侍郎並管理錢法堂事務壽昌著補授兵部

右侍郎仍兼署刑部右侍郎欽此

730 應調吏部漢右侍郎名單

吏部左侍郎徐用儀 現署戶部左侍郎

戶部左侍郎張蔭桓 現在出差

右侍郎陳學棻 現署禮部右侍郎

禮部左侍郎徐會澧 現署吏部右侍郎

右侍郎張英麟 現出學差

○ 兵部左侍郎徐樹銘 現出試差

○ 右侍郎楊頤 現署工部右侍郎

刑部左侍郎趙舒翹 尚未到任

右侍郎龍湛霖 學差尚未回京

工部左侍郎許景澄 現充出使大臣

右侍郎惲彥彬 學差尚未回京

倉場侍郎李端棻

731 應升吏部漢右侍郎名單

內閣學士唐景崇 現署兵部左侍郎

梁仲衡 現署工部左侍郎

黃卓元 學差尚未回京

陸寶忠 現出試差

○ 都察院左副都御史壽昌 現署刑部右侍郎

楊儒 現充出使大臣

通政使司通政使李端遇 學差尚未回京

大理寺卿徐致祥 現出學差

詹事府詹事瞿鴻禨 現出學差

732 光緒二十三年八月二十二日內閣奉

上諭毓崐等奏旗員朦混舞弊希圖浮領銀兩據實

糾參一摺本年八月

婉貴妃

璪妃金棺奉安園寢總管恆通於請領款項擅填

虛數朦混具稿實屬有心浮冒著交部嚴加議處

翼長文山恩齡印務章京吉瑞景哲隨同畫稿畫

押著一併交部分別議處餘著照所議辦理該衙門知道欽此

733 光緒二十三年八月二十二日內閣奉

上諭毓崐等奏

東陵應修各工重要請派大臣查勘一摺著派英年迅速前往敬謹勘估奏明辦理欽此

734 查軍機章京戶部候補郎中陳熾據報丁憂現

在額外行走章京尚有數員無庸添傳謹

奏

光緒二十三年八月二十二日奉

旨知道了欽此

735 軍機大臣 字寄

直隸總督王 熱河都統壽 光緒二十三年

八月二十三日奉

上諭理藩院奏昭烏達盟長呈報賊匪肆擾請飭熱河都統查明辦理一摺據稱昭烏達盟長教漢郎

王達木林達爾達克呈報自今春以來賊匪持械成羣搶擄該盟所屬各旗地方大夥馬賊聚至二百餘人各持礮械縱橫肆擾擄掠傷人之案層見疊出台吉箭丁等眾寡不敵業經該盟長挑選訓練巡兵親身督帶前往勦擊請派兵援救等語熱河幅順遠聞馬賊出沒靡常朝陽之變殷鑒不遠亟應認真勦擊迅速殲除著王文韶即行知照直隸提督聶士成派撥精兵兩三營飛速前往迅將此股賊匪合力兜拏毋令蔓延為患該盟兵力不足並著壽濬體察情形就近飭派熱河練兵會同協勦原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此

旨寄信前來

736 本日翰林院侍讀丁仁長奏纂輯經史以資法

戒摺書五冊又奏請講學片謹將原摺片並書

恭呈

慈覽謹

奏

737 光緒二十三年八月二十四日內閣奉

上諭吏部奏遵議處分一摺前甘肅副考官翰林院編修謝佩賢著照部議降二級調用不准抵銷該員尚有應得降一級調用處分係屬公罪著准其抵銷欽此

738 光緒二十三年八月二十四日內閣奉

上諭禮部奏遵議御史潘慶瀾奏請將已故總兵之母旌獎一摺已故總兵鄧世昌恪遵母訓移孝作忠力戰捐軀死事最烈伊母郭氏訓子有方深明大義著賞給御書匾額一方交譚鍾麟等轉給祇領以示旌獎欽此

739 光緒二十三年八月二十四日奉

旨照例覈議單片併發欽此

吏部奏士使大臣懇懇環奏刻刻以應吉數該部

740 光緒二十三年八月二十四日奉

旨著於二十八日在保和殿覆試欽此

禮部奏請欽定宗室數人覆試日期州

741 光緒二十三年八月二十四日奉

旨不准捐贖欽此

兵部奏廢員蠲德應否准其捐贖州

742 據禮部知照宗室中式舉人於本月二十八日在

保和殿覆試應請

欽命四書題一道詩題一道於二十八日清晨

發下交監試王大臣傳示謹

奏

八月二十五日

743 軍機大臣 字寄

甘肅新疆巡撫饒 光緒二十三年八月二十

六日奉

上諭饒應祺等奏會勘科布多屬寶爾吉銀礦暢旺請地禁試辦一摺科城扎哈沁所屬寶爾吉地方另獲新礦苗甚暢旺試鍊礦坯每鉛百斤可提銀十六七兩十四五兩不等惟路遠運艱慶費較多經該撫復飭委員齊從賢酌帶匠工於該廠較近處所設法鎔鍊果能著有成效洵足以裕餉源即

著照所請他禁無論蒙民漢民准其一體開採並著饒應祺揀派妥實可靠之員駐廠設局經理其事酌定稅課章程奏咨立案並知照寶昌派員稽查彈壓以杜弊端將此由四百里諭令知之欽此遵旨寄信前來

鈔文 總署
戶部

744 軍機大臣 字寄

四川總督鹿

光緒二十三年八月二十八日奉

上諭文海奏詢明德爾格忒土司改土歸流大有後患各摺片本年五月間據鹿傳霖奏稱德爾格忒小土司昂翁降白仁青母子恣行不義業經委員張繼擒獲押解爐廳收禁該老土司及頭目人等獻地歸誠現擬改設流官當經諭令妥籌辦理此次文海行抵打箭爐詢問情形始知張繼以帶勇前往察木多查辦為名突入德爾格忒境內誘令該土司及其長子先赴爐城旋將土婦及其少子一併拏獲稟稱勸令獻地投誠鹿傳霖飭令將該土司父子夫婦解省審辦道路傳聞莫不賦異以

致各土司皆有不安之象等情此事鹿傳霖輕聽委員一面之詞輒稱德爾格忒小土司恣行不義老土司情願獻地歸誠即使所奏屬實亦祇應將小土司昂翁降白仁青解至打箭爐城派委委員查訊明確即可辦結何以又將該老土司一併解省到省之後供情若何亦未據鹿傳霖續行奏報情節種種支離自相矛盾以二百餘年恭順之土司輒因其家庭細故勒令改土歸流並非出於情願又將其父子解省監禁各土司豈肯心悅誠服辦理若此轉涉滋生事端鹿傳霖奉到此旨著即速將該土司父子夫婦釋放並宣布朝廷德意諭令該老土司速回德爾格忒經理該土司事務仍令其長子幫辦一二年後果能稱職即奏請承襲或可收效桑榆慎毋譁過護前仍蹈故轍其改土歸流一節著毋庸議此外如三岩之搶案桑披之命案均應辦理得宜迅速了結毋使朝廷久厯西顧之憂將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

745 軍機大臣 字寄

直隸總督王 光緒二十三年八月二十八日奉
上諭都察院奏已革直隸候補知縣劉兆祥遣抱以

本管知府扶嫌傾陷被參冤屈等詞赴該衙門呈
控一摺據稱該革員前署羅澤縣任內署廣平府
知府繆彝因到任索取禮物未遂藉端誣稟致被
參革等語案關勒索規禮扶嫌傾陷虛實均應澈
究著王文韶確切查明據實具奏原呈著鈔給閱
看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

746 光緒二十三年八月二十八日內閣奉

上諭英年現在出差左翼總兵著阿克丹署理欽此

747 應署左翼總兵侍郎名單

吏部左侍郎崇光

右侍郎溥善

戶部左侍郎立山

禮部左侍郎堃岫

硃

○ 刑部左侍郎阿克丹

右侍郎溥頤

兵部左侍郎榮惠

右侍郎文琳

工部左侍郎鳳鳴

理藩院左侍郎綿宜 現在請假

右侍郎會章

748 應署左翼總兵人員名單

彭壽

官祥

載瀛

溥倫

色楞額

恩燾

載澤

德魁

奕功

果勒敏

英信 定昌 戴卓 明秀 祥普 載瀾 澄深 敬昌 舒存 玉書 信恪 善耆 恩普 廣忠 色普徵額 希朗阿 耆齡 福森布 愛隆

玉璋
吉恆
鈕楞額

749 本日都察院奏已革直隸候補知縣劉兆祥遺
抱呈訴被參冤抑據情代奏摺奉寄信
諭旨著王文韶查奏謹將原摺恭呈

慈覽謹
奏

750 查宗室鄉試舉人覆試應請
簡派閱卷大臣謹繕名單進
呈恭請

硃筆圈出於二十九日清晨
發下再查上屆宗室鄉試覆試閱卷大臣欽奉
派出三人謹
奏

殊

751

麟書

崑岡

徐桐

翁同龢

啟秀

廖壽恆

阿克丹

會章

壽耆

閻普通武

綿文

崇寬

梁仲衡

752 軍機大臣 字寄

直隸總督王 熱河都統壽 直隸提督聶

光緒二十三年八月二十九日奉

上諭前據理藩院奏昭烏達盟長呈報蒙古地方賊

匪肆擾當諭令王文韶知照聶士成派撥精兵兩

三營前往兜剿並著壽蔭飭派熱河練兵會同協

勦茲據該盟長復在該衙門呈報統帶練兵勦捕

該匪等竟敢聚眾抗拒並有戕害弁兵情事實非

尋常馬賊可比等語蒙古地方遼闊若不將此股

賊匪迅速撲滅勢必蔓延為患復蹈朝陽故轍重

煩兵力朝廷軫念藩部虛系實深著即派聶士成

酌帶精兵數營剋日起程親往督勦乘此賊勢未

張勦除尚易為力該提督務當督飭隊伍視賊所

向一鼓殲除迅速肅事勦辦情形准聶士成專摺

奏報並著壽蔭督飭練兵認真防範原摺均著鈔

給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

753 光緒二十三年八月二十九日奉

旨仍著晉祺等查勘修理欽此

晉祺等奏請修理刑部牆外溝渠等三摺

754

奏蒙

臣崑岡翁同龢廖壽恆跪

發下宗室中式舉人覆試卷五本臣等公同詳閱分

別等第名次擬一等一名二等二名三等二名

於卷面黏籤恭呈

御覽伏候

欽定俟

發下後再行拆閱彌封另繕名單進

呈

755

臣等查對另頁詩句人名均屬相符並將中式

各原卷磨對筆跡亦屬相符謹

奏

756 光緒二十三年九月初一日內閣奉

上諭內務府奏燕郊等處行宮請派員勘修一摺著派啟秀世續前往詳細查勘覈實擇要修理欽此

757 軍機大臣 字寄

理藩院 光緒二十三年九月初二日奉

上諭上月二十三日據理藩院奏昭烏達盟長所屬地方賊匪肆擾當經諭令王文韶知照聶士成派撥精兵兩三營前往兜拏並著壽蔭飭派熱河練兵會同協勦二十八日復據理藩院奏稱該盟長呈報賊匪聚眾抗拒戕害弁兵復諭令聶士成酌帶精兵剋日起程前往督勦並准其專摺奏報所有歷次辦理情形著理藩院傳知昭烏達盟長敖漢郡王達木林達爾達克轉飭該盟所屬蒙古人等一體知悉將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

758 光緒二十三年九月初二日內閣奉

上諭鹿傳霖著開缺來京另候簡用四川總督著李秉衡補授未到任以前著恭壽兼署欽此

759 光緒二十三年九月初二日內閣奉

上諭山東巡撫著張汝梅補授欽此

760 軍機大臣 字寄

成都將軍兼署四川總督恭 光緒二十三年

九月初三日奉

上諭昨因川省邊務土司各事宜鹿傳霖辦理失當業經降旨將其開缺來京命恭壽兼署四川總督矣德爾格忒土司改土歸流一節鹿傳霖輕聽委員張繼一面之詞輒稱該土司情願獻地又將其父子解省監禁前據恭壽將實在情形奏明亦稱其大有後患是德爾格忒一事應如何措置得宜恭壽自確有見聞上月十九二十八等日疊諭恭壽鹿傳霖宣布朝廷德意將該土司父子釋放改土歸流著毋庸議並電諭文海查明張繼有無被圍情事以憑覈辦惟是駕馭土司雖貴結以恩信權術亦在所不廢鹿傳霖一味操切能發而不能收自屬失之太激此刻徑行釋放仍令回寨管事若該土司冥不知感貿然而歸不特無以動其畏

服之誠即其餘各土司亦將聞而生玩恭壽務當
剴切宣示告以前督臣勒令獻地本非出自朝廷
之意現在大皇帝俯念該土司隸屬中朝二百年
來恭順無過不忍因其家庭細故遽爾臨以兵威
勒令改土歸流特命將其釋放張繼如果尚在彼
圍亦應飭其一面諭令該屬下頭目人等趕緊撤
兵毋得妄動然後飭該土司速回德爾格忒管理
事務將來如何承襲照例辦理此事全在恭壽善
於操縱因應得宜有以激其天良而生其畏服亦
不僅在慰諭之詞古人恩孚異域至有勞而指心
涕泣歸誠者該署督辦理此事須得此意張繼邀
功生事鹿傳霖為其所誤其在事始末情形並著
查奏至鹿傳霖輕聽人言辦理失當不獨德爾格
忒一事為然如三巖之搶案桑披之命案皆不免
涉於鋪張亦應酌度機宜從速了結其尤關緊要
者尚有瞻對改設漢官一事日久尚未辦結此事
鹿傳霖始終堅執力主將該處收回內屬刻下番
官雖經退出尚在察木多觀望達賴因三瞻用兵
亦未能心悅誠服年來印藏畫界又須達賴轉飭

遵行瞻對之事辦理一有不慎必致牽掣全局俱
形窒礙所有前後一切情形悉見於鹿傳霖暨文
海訥欽摺奏電奏並疊次寄諭電諭恭壽當向鹿
傳霖索觀全案細心細繹然後將此事徹始徹終
通盤籌畫應如何保藏保川兩無窒礙並著會同
文海訥欽和衷商辦恭壽現在以將軍兼署總督
責無旁貸李秉衡到任需時此等事機皆不容稍
涉遲誤儻或措置乖方仍蹈鹿傳霖故轍以致沿
邊各土司反側不安竟成不了之局仍無以善其
後朕惟該署督是問勉之慎之將此由四百里諭
令知之欽此遵

旨寄信前來

761 光緒二十三年九月初三日內閣奉

上諭陝西布政使著李希蓮補授玉恆著補授貴州
按察使欽此

762 光緒二十三年九月初三日內閣奉

上諭吏部奏遵議處分一摺刑部尚書薛允升著照

部議降三級調用刑部郎中党蒙著降一級留任
其分別議處之堂司各官刑部郎中英瑞定成熊
起礪均著罰俸一年前刑部尚書調補工部尚書
松澗刑部左侍郎阿克丹前刑部左侍郎調補倉
場侍郎李端棻刑部右侍郎文琳前署刑部右侍
郎調補吏部右侍郎徐樹銘均著罰俸六箇月內
閣侍讀薛浚著罰俸九箇月以上各員均著不准抵
銷欽此

763 光緒二十三年九月初三日奉
旨准其加倍捐復欽此

吏部奏革廣苑縣知縣魏振邦可否加倍捐復摺

764 光緒二十三年九月初三日奉
旨准其寬免欽此

吏部奏遵議安徽學政李鴻逵處分摺

765 據吏部知照本月初五日考試漢廕生應請
欽命論題一道策題一道於初五日清晨

發下交

派出之閱卷大臣祇領謹將上三屆考試漢廕生題

目繕單恭呈

御覽謹

奏

766 光緒二十二年六月十五日考試漢廕生

欽命題目

百穀仰膏雨論

東三省墾荒策

光緒二十二年十一月二十六日考試漢廕生

欽命題目

立賢無方論

制器尚象策

光緒二十三年四月二十三日考試漢廕生

欽命題目

柔遠人論

常平義倉策

767 光緒二十三年九月初四日內閣奉
上諭貴州貴西道員缺著桂霖補授欽此

768 查貴州貴西道係衝繁難要缺謹
奏

769 軍機大臣 字寄

駐藏辦事大臣訥 光緒二十三年九月初五
日奉

上諭訥欽奏瞻對撤歸川屬無可疑慮一摺覽奏具
悉本日已諭令恭壽妥籌辦理矣惟摺內所稱印
藏界務一節籌辦仍無把握著再斟酌情刑妥慎
辦理將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

770 軍機大臣 字寄

成都將軍兼著四川總督恭 光緒二十三年
九月初五日奉

上諭訥欽奏瞻對撤歸川屬無可疑慮一摺瞻對歸

川一事朝廷審察周詳疊經諭令鹿傳霖妥慎辦
理嗣因訥欽奏違賴不遵勸導並將分界之事藉
以挾制復電諭訥欽將瞻對可撤不可撤下一斷
語以憑覈辦茲據奏稱藏番不敢生釁約有四端
通籌熟計保無意外之虞等語從未辦理邊疆重
務總以持平穩慎為主鹿傳霖偏執已見以致難
以結末恭壽務當詳慎籌度應否即照訥欽所奏
辦理抑或別有善策可以速了之處著會商妥辦
固不可操切圖功亦未便遷就了事以紆朝廷西
顧之憂原摺著鈔給閱看將此由四百里諭令知
之欽此遵

旨寄信前來

771 光緒二十三年九月初五日內閣奉

上諭刑部尚書著廖壽恆補授徐樹銘著補授都察
院左都御史欽此

772 光緒二十三年九月初五日內閣奉

上諭吏部右侍郎著徐會澧調補張英麟著轉補禮
部左侍郎禮部右侍郎著唐景崇補授欽此

應調漢尚書名單

吏部尚書孫家鼐

戶部尚書翁同龢 現著吏部尚書

禮部尚書許應駟

兵部尚書徐郁

工部尚書錢應溥

殊

應升漢尚書名單

都察院左都御史廖壽恆 現著兵部尚書

吏部左侍郎徐用儀 現著戶部左侍郎

右侍郎徐樹銘 現出學差

戶部左侍郎張蔭桓 現在出差

右侍郎陳學棻 現著禮部右侍郎

禮部左侍郎徐會澧 現著吏部右侍郎

右侍郎張英麟 現出學差

兵部左侍郎楊頤 現著工部右侍郎

右侍郎壽昌 現著刑部右侍郎

刑部左侍郎趙舒翹 尚未到任

右侍郎龍湛霖

殊

工部左侍郎許景澄 現充出使大臣

右侍郎譚彥彬

倉場侍郎李端棻

應升漢侍郎名單

內閣學士唐景崇

梁仲衡 現著工部左侍郎

黃卓元

陸寶忠 現出試差

都察院左副都御史楊儒 現充出使大臣

宗人府府丞徐承煜 現著大理寺卿

通政使司通政使李端遇

大理寺卿徐致祥 現出學差

詹事府詹事瞿鴻禨 現出學差

光緒二十三年九月初五日奉

旨著於九月二十三日在保和殿覆試欽此

禮部奏請順天鄉試覆試日期摺

777 六品廕生劉惟賢
○旨著以通判用

778 光緒二十三年九月初六日内閣奉
上諭兵部尚書仍著廖壽恆兼署欽此

779 光緒二十三年九月初六日内閣奉
上諭徐樹銘現已補授都察院左都御史未到任以
前著許應騤兼署欽此

780 應兼署都察院漢左都御史名單

戶部尚書翁同龢 現兼署吏部尚書

硃○ 禮部尚書許應騤

○ 刑部尚書廖壽恆

工部尚書錢應溥

781 應署都察院漢左都御史名單

吏部左侍郎徐用儀 現兼署戶部左侍郎

右侍郎徐會澧

戶部右侍郎陳學棻

禮部右侍郎唐景崇

兵部左侍郎楊頤 現兼署工部右侍郎

右侍郎壽昌 現兼署刑部右侍郎

782 光緒二十三年九月初六日内閣奉
上諭禮部左侍郎著徐會澧兼署欽此

783 應兼署禮部漢左侍郎名單

吏部左侍郎徐用儀 現兼署戶部左侍郎

硃○ 右侍郎徐會澧

戶部右侍郎陳學棻

禮部右侍郎唐景崇

兵部左侍郎楊頤 現兼署工部右侍郎

右侍郎壽昌 現兼署刑部右侍郎

784 應署禮部漢左侍郎名單

內閣學士梁仲衡 現署工部左侍郎

宗人府府丞徐承煜 現署大理寺卿

785 光緒二十三年九月初六日內閣奉

上諭徐樹銘著來京供職浙江學政著陸寶忠去俟
出闈後即赴新任毋庸來京請訓欽此

786 光緒二十三年九月初六日內閣奉

上諭王文韶奏永定河伏秋大汛搶護平穩獲慶安
瀾一摺永定河本年伏秋汛內迭次盛漲經該河
道督同工員設法搶辦全工一律平穩現在節逾
秋分仰賴

神靈默佑獲慶安瀾實深寅感發去大藏香十枝
著王文韶祇領交永定河道陳慶滋虔詣
大王廟敬謹祀謝以答

神庥餘著照所議辦理該部知道欽此

787 光緒二十三年九月初六日內閣奉

上諭本月初五日三座門內公所不戒於火燒燬大
小房十數間當經步軍統領及值班王大臣等督
率官兵水會人等即時救護撲滅尚為出力著步
軍統領衙門查明該官兵等人數開單獎賞該公
所看守人役著內務府記辦欽此

788 本日溥靜等果勒敏榮祿等奏三座門內公所

不戒於火各一摺奉明發

諭旨一道令步軍統領衙門查明救火之官兵水會
人等名數開單獎賞謹將原摺三件恭呈

慈覽謹

奏

789 光緒二十三年九月初六日奉

旨恆通著即行革職文山等應得降二級留任吉瑞
等應得罰俸一年各處分均著准其抵銷欽此

兵部奏遵議處分摺

790 光緒二十三年九月初七日內閣奉

上諭順天府奏請賞給普濟堂等處暨廣仁堂米石
各一摺現在節交寒令近畿一帶貧民生計維艱
所有普濟堂功德林兩處恩賞小米三百石加賞
小米五百石及廣仁堂恩賞小米三百石均著照
例賞給另片奏請賞給盧溝橋樹廠暨資善堂煖
廠米石各等語加恩著照所請賞給盧溝橋樹廠

粟米四百石資善堂煖廠粟米百石以惠窮黎餘依
議欽此

791 光緒二十三年九月初七日奉

旨所有朝陽等門外三廠著准其賞給每廠粟米四
百石由該衙門咨領散放餘依議欽此

順天府奏請 賞朝陽等門外三廠米石片

792 光緒二十三年九月初七日奉

旨准其出關欽此

文治等奏監獄御史應與可否准其出關請 旨附

793 光緒二十三年九月初七日奉

旨著賞假兩箇月欽此

侍讀于仁長奏請假兩箇月摺摺

794 滿頭班

花翎三品銜候補五品京堂戶部郎中孚琦
三品銜即選道理藩院即補郎中員外郎多壽

儘先即選道員後加三品銜花翎四品銜理藩院即補郎中志模

儘先即選道員後加三品銜花翎三品銜兵部郎中惠兆

花翎四品銜理藩院即補員外郎豐陞額

四品銜選用知府戶部員外郎雲騎尉世職慶連

四品銜兵部即補郎中員外郎麟緒

戶部即補員外郎恆斌

內閣即補侍讀英凱

漢頭班

花翎候補三品京堂署太常寺少卿內閣侍讀學士陳邦瑞

三品銜得知府後在任候補道 記名御史吏部員外郎徐士佳

三品銜道員用工部候補郎中繼昌

四品銜 記名御史工部員外郎王彥威

四品銜戶部候補郎中胡祖謙

花翎三品銜記名道府遇保送應升之缺開列在前禮部郎中郭曾圻

三品銜刑部郎中李舜賓

四品銜道員用 記名道府兵部郎中濮子澄

刑部即補員外郎盧震

工部候補主事得缺後以員外郎即補甘大璋

四品銜兵部員外郎張嘉猷

內閣候補中書得缺後王事即補李象寅

滿二班

花翎四品頂戴得四品後以三品京堂候補國子監司業特圖慎

花翎三品銜應升之缺升用 記名道府戶部郎中和爾賚額

三品銜戶部郎中榮需

即選知府補郎中後加三品銜四品銜理藩院員外郎承祐

道員用 記名道府刑部員外郎玉貴

記名司業得缺後以四品京堂補用四品銜理藩院員外郎文年

刑部即補郎中英秀

刑部候補主事來秀

內閣候補侍讀先換頂戴貼寫中書桂蔭

漢二班

三品銜候補五品京堂刑部員外郎李蔭崇

三品銜得知府後在任候補道 記名繁缺知府吏部郎中王嘉禾

三品銜得知府後在任候補道 記名御史吏部即補員外郎孫朝華

三品銜戶部即補郎中連文沖

四品銜刑部候補郎中郭之全

四品得知府後在任候補道 記名御史刑部員外郎鄭炳麟

三品銜道員用 記名道府戶部郎中馮汝駉

刑部候補郎中楊壽樞

戶部即補員外郎主事凌福彭

禮部即補員外郎王慶平

吏部即補員外郎孫筍經

四品銜刑部即補員外郎何葆麟

795 光緒二十三年九月初九日內閣奉

上諭浙江紹興府知府員缺著繼恩補授欽此

796 查浙江紹興府知府係銜繁難要缺謹

奏

797 軍機大臣 字寄

直隸總督王 光緒二十三九月初十日奉

上諭理藩院奏昭烏達盟購買槍械請飭派兵護送

一摺本日已依議行矣該盟現正勦辦馬賊需用

槍械甚殷委員烏呼托克托呼前往天津領運著

王文韶酌派弁兵沿途妥為護送毋稍延緩原摺

著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

798 光緒二十三年九月初十日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨

本年十月初十日萬壽慶辰在頤和園排雲殿受賀

欽此是日宣表行禮朕親進表文初八日朕率領

王公百官詣

仁壽殿筵宴初九日皇后率領內廷公主福晉命婦詣

仁壽殿筵宴所有應行典禮著各該衙門敬謹預備

欽此

黃面紅裏

799 軍機大臣面奉

諭旨本年十月初十日恭逢

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽

慶辰欽奉

懿旨頤和園慶賀筵宴所有應行典禮著派恭親王

慶親王奕劻會同禮部內務府敬謹辦理欽此

黃面紅裏

800 交禮內閣本日軍機大臣面奉

諭旨本年十月初十日恭逢

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽

慶辰欽奉

懿旨頤和園慶賀筵宴所有應行典禮著派恭親王

慶親王奕劻會同禮部內務府敬謹辦理欽此相

應傳知

貴衙門欽遵可也此交

九月初十日

801 光緒二十三年九月初十日奉

旨依議欽此

理藩院奏為呈請其詳謹遵行欽此

802 光緒二十三年九月十一日內閣奉

上諭本日鹿傳霖具奏請補靖西同知摺內將文海

繕作文煥實屬疏忽鹿傳霖著交部察議欽此

803 光緒二十三年九月十一日內閣奉

上諭前任兵部左侍郎巴克坦布由奉宸苑卿補授總管內務府大臣洵升侍郎克勤厥職前因患病准其開缺茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照侍郎例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊子內務府員外郎繼銘著俟服闋後以內務府郎中即補欽此

804 咸豐十年正月二十日內閣奉

上諭總管內務府大臣存佑由武備院庫掌洵授今職年逾八秩供職克勤昨因病給假方冀速痊述聞溘逝軫惜良深伊子候補郎中六桂著加恩俟服闋後以內務府郎中即補用示優眷欽此

805 光緒二十一年十一月十三日內閣奉

上諭前兵部左侍郎師曾由內務府司員洵升卿貳補授總管內務府大臣辦事諳練克勤厥職前因患病准其開缺並賞食全俸茲聞溘逝軫惜殊深加恩賞給陀羅經被旨贈太子太保銜照尚書例

賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

806 光緒二十三年九月十一日奉

旨兵丁著每名賞銀一兩各水會著每處賞銀一百兩內務府兵丁匠役人等著每名賞銀一兩款由步軍統領衙門向戶部支領由該衙門分別給發片併發欽此

步軍統領衙門奏欽此出力請獎各摺片

807 光緒二十三年九月十一日奉

旨慶連著在任以知府不論雙單月選用餘著仍照原保給獎欽此

吏部奏請獎案存存摺

808 慶連著在任以知府不論雙單月選用餘著仍

照原保給獎

809 光緒二十年七月初九日奉

旨翁斌孫等二十五員著仍照原保給獎餘依議欽此

810 光緒二十三年九月十二日內閣奉

上諭巡視中城給事中慶綿等奏援案請賞外城粥廠粟米開單呈覽一摺現在節屆寒令五城地面貧民生計維艱所有中城之朝陽閣東城之卧佛寺育嬰堂南城之打磨廠西城之長椿寺甄塔胡同北城之圓通觀梁家園各粥廠每月共需粟米三百三十石加恩照數賞給自十月初一日起由各該城咨明戶部劄倉給發該給事中等務當督同紳士妥為散放毋任侵漁單併發餘依議另片奏請賞給崇善堂等處米石等語崇善堂等處各廠收養貧民人數衆多米石不敷支放加恩著照所請所有清化寺街之崇善堂梁家園之百善堂太清觀之公善堂三處煖廠各賞給粟米三百石教子胡同禮拜寺賞給粟米三百石朝陽門外南海會寺崇文門外玉清觀各粥廠並崗子上興善煖廠各賞給粟米一百五十石東便門外三忠祠

粥廠賞給粟米一百五十石宣武門外皮庫營西悅生堂賞給粟米三百石朝陽門外清真寺粥廠賞給粟米一百五十石小市口煖廠賞給粟米三百石以惠窮黎該部知道欽此

811 光緒二十三年九月十三日奉

旨著宗人府奏派王大臣閱看馬步箭欽此

宗人府奏 欽定閱看馬步箭日期摺

812 光緒二十三年九月十四日內閣奉

上諭江蘇蘇松太道員缺著蔡鈞補授欽此

813 查江蘇蘇松太道係衝繁難要缺謹

奏

814 光緒二十三年九月十四日內閣奉

上諭李鴻逵奏因病請假並請改派繙譯鄉試提調一摺李鴻逵著賞假十日繙譯鄉試提調著改派徐承煜接辦欽此

硃。 815 宗人府府丞徐承煜

大理寺少卿貴賢

內閣侍讀學士陳邦瑞

王福祥

816 交禮部本日文治等奏鄉試年老諸生三場完

竣開單額懇

恩施一摺軍機大臣面奉

諭旨著禮部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交 計粘鈔摺單查可

九月十四日

817 交步軍統領衙門本日軍機大臣面奉

諭旨本月初五日三座門內公所不戒於火出力之

兵丁水會人等業經分別給賞所有前鋒護軍兵

丁二百九十四名著每名賞銀一兩由步軍統領

衙門向戶部支領由該衙門分別給發欽此相應

傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

九月十五日

818 光緒二十三年九月十七日內閣奉

上諭浙江學政著陳學棻去欽此

819 光緒二十三年九月十七日奉

旨杭州織造著誠全去欽此

820 交翰林院本日軍機大臣面奉

諭旨著翰林院掌院學士酌保南書房翰林數員聽

候考試欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

九月十七日

821 光緒二十三年九月十七日奉

旨依議欽此

國子監奏請 頒賞方器摺

822 軍機大臣 字寄

成都將軍兼署四川總督恭 駐藏辦事大臣文

幫辦大臣訥 光緒二十三年九月十八日奉

上諭理藩院奏達賴喇嘛懇請賞還贍對地方據呈
代奏一摺據稱光緒十五年明正土司勾串贍對
百姓投降領其進界搶殺該土司並將太林寺廟
宇拆毀復賄通軍糧廳轉稟總督派帶隊官周萬
順會同明正土司土兵進贍該處堪布無奈退出
屢次轉咨駐藏大臣懇其代表未允等語與鹿傳
霖疊次所奏情形迥不相同此事籌辦將及一年
至今尚無歸宿以致達賴遣人來京呈訴無論所
訴各節是否屬實其心之不肯輸服已可概見究
竟三贍用兵因何啟釁是否鹿傳霖過於撻切查
辦不公抑或達賴飾詞強辯著將確實情形查明
詳細具奏前據訥欽奏稱贍對撤歸川屬無可疑
慮復經諭令恭壽等籌善法現在該署督等籌辦
情形若何未可堅執收回之說致滋波折如果查
明該喇嘛所陳各節並無虛妄自當設法轉圜速
了為是恭壽等務即會商一萬全之策一併迅速
具奏呈內所稱軍糧廳自係指打箭鑪同知而言
至所請藏中緊急要事可否准達賴遣人來京遞
呈由理藩院代表一節願與舊章不符著不准行

原摺均著鈔給閱看將此由四百里各諭令知之
欽此遵

旨寄信前來

823 光緒二十三年九月十八日內閣奉

上諭昨日道旁叩關之民人李景春著交刑部嚴行
審訊欽此

824

李景春係順天武清縣人因胞伯李國興堂兄
李紹棠被已革之靈役李永升謀害身死縣主
受賄偏斷情急為此道旁叩

關

825 光緒二十三年九月十八日奉

旨取中十三名欽此

禮部奏繕譯鄉試請定取中名數摺

826

六品廕生劉秉鈞

旨著以通判用

829 光緒二十三年九月十九日內閣奉

上諭右翼總兵著德雲補授欽此

830

應放右翼總兵侍郎名單

吏部左侍郎崇光

右侍郎溥善

戶部左侍郎立山

右侍郎溥良

禮部左侍郎堃岫

右侍郎溥頤

兵部左侍郎榮惠

右侍郎文治

刑部左侍郎阿克丹

右侍郎文琳

工部左侍郎鳳鳴

右侍郎英年 現任左翼總兵

理藩院左侍郎綿宜

右侍郎會章

831 應放右翼總兵之副都統名單

芬車 差

彭壽

官祥 做

載瀛 做

溥倫

恩燾 做

載澤 做

德魁

永隆

奕功

果勒敏

英信 做

定昌

載卓

明秀

祥普

載瀾

禮深

敬昌
 明惠差
 舒存
 玉書
 信恪假
 善者
 恩普
 廣忠
 色普徵額
 志鈞假
 秀吉左
 希朗阿
 耆齡
 福森布
 福珠禮穿本
 明安
 愛隆
 玉璋
 吉恆
 鈕楞額

832 應放右翼總兵之翼尉名單

左翼翼尉

德瑞

右翼翼尉

德雲

硃。

833 光緒二十三年九月十九日內閣奉

上諭前據給事中蔣式芬奏廣西巡撫史念祖徇私殃民署臬司何昭然等朋比為奸各摺片當經諭令陳寶箴確查茲據查明覆奏史念祖被叅徇私殃民各節或查無實據或事出有因惟信任非人事權旁落以致物議繁興著交部議處前署廣西按察使太平恩順道何昭然於靈川縣催徵濫押一案辦理不善激成變故永安州禁米出境一案武斷草率前署桂林府知府鹽法道向萬鋒於提審重案意存瞻顧均著即行革職署平樂府知府候補知府趙淶彥押犯來省犯供翻異又具稟請辦殊屬不合著交部議處前靈川縣知縣陳國華於門丁賄保需索等情毫無覺察撫署巡捕把

總毛敬銘招搖需索聲名甚劣著一併革職餘著照所議辦理該部知道欽此

834 軍機大臣 字寄

浙江巡撫廖 光緒二十三年九月二十日奉
上諭御史陳其璋奏浙江杭州鐵路有害無利羣情洶懼請飭撫臣迅即停止以安眾心一摺所奏各節頗屬詳細如開辦並無大利自以停止為是著廖壽豐體察情形揀實具奏另片奏杭州如必需鐵路當就艮山門向東南興築事半功倍等語著廖壽豐一併查覈具奏原摺片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

835 本日御史陳其璋奏杭州鐵路有害無利請

飭停止摺又奏杭州如必需鐵路請由艮山門向東南興築片奉寄信

諭旨著廖壽豐查明具奏應鈔摺片篇幅較長擬於明日再行恭呈

慈覽謹

奏

836 光緒二十三年九月二十日內閣奉

上諭依克唐阿奏請飭權府尹到任等語新授奉天府府尹廷杰著迅速來京陛見後即行赴任欽此

837 光緒二十三年九月二十日內閣奉

上諭李秉衡奏西韓家漫口現已堵築合龍並上年趙家菜園呂家窪兩處堵口彙案請獎一摺山東利津縣西韓家堵口工程前因大汛屆臨暫行停辦入秋後汎水漸落經李秉衡督飭道員丁達意等分投搶堵於九月初三日將東西金門占盤壓穩固初四日挂纜合龍至初八日始得斷流壩外之水漸次潤復在事員弁尚屬著有微勞自應與上年趙家菜園呂家窪堵口出力各員一併量予獎勵所有前案摘頂之二品頂戴存記道丁達意著賞還頂戴仍交部從優議敘副將駱金玉都司王恆德著一併賞還頂戴其尤為出力之道員用

直隸候補知府開缺大名府同知勞乃寬著免補同知以知府仍歸原省儘先即補四品銜補用直隸州知州盧昌詒著免補本班以知府補用並加三品銜分省試用同知查爾崇著免補本班以知府仍分省補用同知銜直隸州用分省補用知縣王崇閻著免補本班以直隸州知州仍分省補用並加四品銜同知銜直隸州用候補知縣杜秉寅著俟歸直隸州知州後加四品銜並賞加隨帶三級分缺間用知縣朱猛東河候補知縣鄧際昌均著俟補缺後以直隸州知州補用並賞加隨帶三級揀選知縣吳璋舉人鄒道沂均著以知縣不論雙單月遇缺選用並加五品銜候補知縣房學禮江蘇候補知縣祝嗣隆均著俟補缺後以直隸州知州補用候補縣丞吳震澤著免補本班以知縣補用並加同知銜試用府經歷李文中著免補本班以知縣補用分省試用縣丞郭恩敷著免補本班以知縣仍分省補用儘先副將直隸紫荊關參將沙明亮著以總兵在任候升開復遊擊銜留東儘先都司葉雲升補用都司李玉同郭成均著免

補都司以遊擊補用餘著照所議辦理該部知道欽此

838 交戶部本日順天府府尹胡燏棻奏各省捐助順屬賑款請

飭部立案等語軍機大臣面奉諭旨戶部知道欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計粘鈔摺件
九月二十日

839 交順天府府尹胡本日

貴府尹奏鄉試監臨事竣由京馳赴關外查看鐵路摺奉

旨知道了欽此相應傳知

貴府尹可也此交

九月二十日

840 交順天府本日軍機大臣面奉

諭旨順天府奏請撥同仁粥廠米石等語廣渠門外

同仁粥廠既據奏稱灾民衆多所費較鉅加恩著照所請賞給倉米三百石以惠窮黎該衙門知道欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

九月二十日

841 交翰林院所有

貴衙門保送南書房人員本日軍機大臣面奉諭旨著於九月二十八日在上書房考試欽此相應

傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

九月二十日

842 光緒二十三年九月二十一日奉

旨著於九月二十六日在保和殿覆試欽此

禮部奏請欽定繕評應試日期摺

843 謹將二十日御史陳其璋摺片各一件恭呈

慈覽謹
奏

844 據禮部知照本月二十三日順天鄉試覆試應請

欽命四書題一道詩題一道於二十三日清晨

發下交監試王大臣傳示謹

奏

845 光緒十七年順天鄉試中式舉人覆試

欽命四書題詩題

秋省敘而助不給夏誘曰

賦得三年過一經得言字五言八韻

光緒十九年順天鄉試中式舉人覆試

欽命四書題詩題

歲十一月徒杠成十二月與梁成

賦得南極一星朝北斗得朝字五言八韻

光緒二十年順天鄉試中式舉人覆試

欽命四書題詩題

或問禘之說

賦得疏籬帶晚花 得秋字五言八韻

光緒十八年順天等省舉人補行覆試

欽命四書題詩題

仁者如射

賦得學校如林 得都字五言八韻

光緒二十年順天等省舉人補行履試

欽命四書題詩題

德輔如毛毛猶有倫

賦得壯哉崑崙方壺圖 得山字五言八韻

光緒二十一年順天等省舉人補行履試

欽命四書題詩題

仁者其言也訥曰其言也訥

賦得實事求是 得米字五言八韻

⁸⁴⁶ 光緒十七年順天鄉試

欽命四書題詩題

言忠信行篤敬

君子之道淡而不厭簡而文溫而理

詩曰天生蒸民有物有則民之秉彜好是懿德

賦得遠樹望多圓 得維字五言八韻

光緒十九年順天鄉試

欽命四書題詩題

故君子必慎其獨也曾子曰十目所視十手所

指其嚴乎

子曰為政以德譬如北辰居其所而眾星拱之

子曰詩三百一言以蔽之曰思無邪

伯一位子男同一位

賦得秋鷹整翮當雲霄 得才字五言八韻

光緒二十年順天鄉試

欽命四書題詩題

子夏曰百工居肆以成其事君子學以致其道

子夏曰小人之過也必文

詩曰衣錦尚絅

征者上伐下也

賦得五色詔初成 得成字五言八韻

光緒二十三年順天鄉試

欽命四書題詩題

卞莊子之勇冉求之藝文之以禮樂

思知人不可以不知天

夫物之不齊物之情也或相倍蓰或相什伯或

相千萬

賦得妙句鏘金和八鑾 得金字五言八韻

847 光緒二十三年九月二十二日奉
旨知道了欽此

禮部奏 萬壽慶辰筵宴事宜摺

848 光緒二十三年九月二十二日奉
旨知道了欽此

禮部奏 萬壽慶辰禮節事宜摺

849 光緒二十三年九月二十二日奉
旨知道了欽此

禮部奏 鋪設災區所任相度地勢再由內務府具奏片

850 軍機大臣 字寄

安徽巡撫鄧 光緒二十三年九月二十三日奉

上諭本年入夏以來據鄧華熙先後奏稱安徽各屬
晴少雨多疊經諭令查明被水處所隨時撫恤茲
據御史潘慶瀾奏安徽鳳潁泗各屬水災過重亟
宜速賑一摺本年春初鳳潁泗地方亢旱之後繼
以霖雨二麥被灾六月中大雨十餘晝夜六安一

帶山水下注沙渦淮河同時泛溢隴畝廬舍一片
汪洋小民蕩析離居深堪憫惻著鄧華熙飭屬迅
速查明被灾分数分別妥籌賑撫毋任灾黎失所
原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

851 本日御史潘慶瀾奏安徽鳳潁泗各屬水災過
重亟宜速賑一摺奉寄信

諭旨著鄧華熙飭屬迅速查勘妥籌撫恤謹將原摺

恭呈

慈臨覽謹
奏

852 交 順天統領衙門 本日內務府奏

南苑遺失陳設賊犯無獲請

飭拏辦一摺軍機大臣面奉

諭旨著步軍統領衙門順天府五城嚴密查拏務獲
究辦欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交 計和分摺

九月二十三日

853 光緒二十三年九月二十三日奉

旨依議廣西司司員著免其議處欽此

刑部奏據廣西司司員著免其議處摺

854 查覆試順天鄉試舉人應請

簡派閱卷大臣謹繕名單進

呈伏候

欽點於二十四日清晨

發下傳集各員聽候宣

旨再查上屆順天鄉試覆試閱卷大臣欽奉

派出八人謹

奏

855 李鴻章

硃 麟書

崑岡

翁同龢

廖壽恆

啟秀

徐會灃

○ 唐景崇

○ 楊頤

○ 阿克丹

會章

856 奉

旨除楊鉢業經病故外劉亞三聽從謀命下手加功

該部查辦減等時因原題敘及該犯與死者有嫌

擬以不准援免惟該犯與首犯黃多儒訴說時止

稱被死者逞兇毆奪並無心懷忿恨等語與實在

扶嫌因而加功者究有不同不無可原著免勾餘

均照所擬欽此

九月十九日見西曆上二
十三日
發下 陸交內閣

857 奉

旨除楊鉢業經病故外劉亞三聽從謀命下手加功

該部查辦減等時因原題敘及該犯與死者有嫌

擬以不准援免著予勾餘均照所擬欽此

九月十三日見西曆上末
發下

858 奉

旨劉亞三聽從謀命下手加功遇赦查辦減等時因原題敘及該犯與死者有嫌擬以不准援免秋審自應入實惟該犯與首犯黃多儒訴說時只稱被死者逞兇毆辱並無心懷忿恨等語與實在扶嫌因而加功者究有不同不無可原著免勾餘均照所擬欽此

九月初七日奉雲南省督署
丹見由帶上本
發下

859 奉

旨劉亞三聽從謀命下手加功遇赦查辦減等時因原題敘及該犯與死者有嫌擬以不准援免秋審自應入實著予勾餘均照所擬欽此

九月初七日奉雲南省督署
見由帶上本
發下

860

光緒二十三年雲南省秋審服制情實畢老頭即畢浣樺一起人犯一名謹將勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯畢浣頭即畢浣樺

與胞兄畢浣方無嫌畢浣方素不安分連年迭竊族人畢萬信等家衣物牲畜均經投知畢浣方大功兄畢狗頭清還代賠畢浣方怙惡不悛嗣後行竊羅十保等贏頭等物羅十保查明向索畢浣方勒索烟米取贖羅十保備就烟米託畢小章往贖畢浣方指為誣竊將畢小章捆縛搥錢釋放羅十保等向畢狗頭投知畢狗頭欲將畢浣方捆獲送官邀令該犯同往適遇畢浣方走至畢狗頭斥罵扭挐畢浣方回署並拔刀向戳畢狗頭奪刀過手念及畢浣方積慣為匪玷辱祖宗忿激起意致死用刀狠戳傷其左孔心坎倒地該犯情急喊救畢狗頭赫聲張並稱若不幫同下手定行一併殺害將刀遞給該犯逼令戳傷畢浣方右肋旋即殞命該犯由被逼勉從尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

光緒二十三年雲南省秋審常犯情實袁六三等三起人犯三名口內除舊事常犯情實楊氏

一起一口業於上年

免勾時開列榜示外所有新事常犯情實袁六三等

二起人犯二名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯袁六三

竊匪逞忿故殺捕人法無可寬是以勾決

一起斬犯楊釘檔二娃

逞忿故殺法無可寬是以勾決

光緒二十三年貴州省秋審常犯情實楊二沅

等三起人犯四名口謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯楊二沅

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯李仁雙
絞犯吳鏡謀

致斃彼造四命李亡雙故殺一命吳鏡謀下手致

斃一命均法無可寬是以俱勾決

一起絞婦戴氏

致斃逾七老婦要害傷重法無可寬是以勾決

光緒二十三年廣東省秋審常犯情實許汰首

等五起人犯六名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯許汰首

火器殺人法無可寬是以勾決

一起絞犯張溫梓

張營謀殺總麻弟訛詐圖賴溫梓楷貪賄聽從下

手加功均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯林亞茂

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯楊帽落

聽從搶奪謀斃十二歲族孫下手加功法無可寬

是以勾決

一起絞犯呂荃瀧

誘拐人妻復聽從謀斃其命下手加功法無可寬

是以勾決

光緒二十三年廣西省秋審常犯情實蔣蔦澹

等六起人犯六名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯蔣瑞澐

姦匪拒捕刀斃本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯劉亞三

聽從謀命下手加功查辦減等時因原題敘及該

犯與死者有嫌擬以不准援免惟該犯與首犯黃

多儒訴說時止稱被死者逞兇毆辱並無心懷忿

恨等語與實在扶嫌因而加功者究有不同不無

可原是以未勾

一起斬犯張三

竊匪造意謀斃竊匪法無可寬是以勾決

一起斬犯王重陽

姦匪逞忿故殺姦婦淫兇難寬是以勾決

一起斬犯梁鉅沅

逞忿故殺營兵復另傷一人法無可寬是以勾決

一起絞犯黎觀德

連斃小功弟一家二命法無可寬是以勾決

光緒二十三年四川省秋審服制情實羅沅樑

等十起人犯十名內除舊事服制情實王家莊

等四起人犯四名業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實羅沅樑等六

起人犯六名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯羅沅樑

與胞兄羅沅椿素睦該犯因田穀成熟搭棚看守

夜間聽聞割穀聲響知有竊賊攜刀出捕黑暗中

見一賊人蹲地竊割稻穀看視不清面貌該犯喊

拿賊人欲逃該犯用刀刺傷其右手腕賊人脚踢該

犯用刀砍傷其左腋肋聲喊倒地該犯聽羅沅椿

聲音當即住手經人點燈趨視查問羅沅椿自認

竊割田穀被該犯捕賊誤傷屬實羅沅椿越三十

六日殞命傷由捕賊誤砍尚非有心干犯情稍可

原是以未勾

一起斬犯白滿銀

與大功兄白滿斗素睦該族宗祠祭祖該犯包辦

酒席祭畢設席共食各散祇有白滿斗並族人白
玉有等尚未食畢白玉有令該犯添酒該犯聲稱
酒已吃完並斥說貪杯不允致相罵詈白玉有撲
毆該犯情急攜刀嚇截白玉有閃避不期白滿斗
正從白玉有身後攏勸該犯收手不及致誤戳傷
其心坎倒地移時殞命傷由誤中死出不虞尚非
有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯鄭悻

與小功兄鄭悻三素睦鄭悻三與該犯出嫁胞姊
鄭氏通姦該犯並不知情嗣鄭悻三復往與鄭氏
續舊適該犯路過進內看望聞說笑聲音從門縫
窺破姦私該犯氣忿踢門進內喊拏鄭悻三起身
欲逃該犯攜木鋤柄毆傷其頂心偏右右肩甲鄭
悻三取刀向砍該犯棄柄奪刀劃傷其左手背鄭
悻三脚踢該犯戳傷其右脚踝鄭悻三抓住伊衣
衿拚命該犯情急用刀砍傷其顛門倒地移時殞
命死者淫惡蔑倫傷由激於義忿尚非無故逞兇
干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯盧潮開

與期親伯母趙氏無嫌趙氏有沙田一段該犯之
父盧在田欲將旱地掉換耕種趙氏不允嗣盧在
田復向趙氏談及掉換沙田趙氏向斥盧在田分
辨致相罵詈趙氏取木椗向盧在田撞毆該犯攏
護拉住椗頭喊放趙氏執椗用力回奪該犯失手
滑脫不期趙氏奪回勢猛致椗頭撞傷其臍肚倒
地越二日殞命傷由奪椗誤撞尚非有心干犯情
稍可原是以未勾

一起斬犯曾紹根

因向小功兄曾紹有索欠被斥分辯曾紹有不依
攜木棒毆傷伊左胸左膝左臍肋該犯奪棒丟
棄曾紹有並拾刀戳傷伊偏左左手背該犯奪刀
過手曾紹有扭住伊胸衿拚命該犯身往後退不
期站立不穩仰跌倒地連曾紹有帶跌撲壓身上
適刀尖向上致誤戳傷其肚腹次日殞命傷由帶
跌誤戳尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯謝廷揚

與大功兄謝廷東無嫌該犯之母胡氏在屋燒草
薰蚊謝廷東聲言薰烟難受囑令移開胡氏斥說

多管謝廷凍頂撞胡氏攜木棒毆傷顛門右額角
謝廷凍奪棒毆傷胡氏右額角胡氏用手將棒格
落謝廷凍將胡氏推跌倒地胡氏喊罵稱欲投人
控究謝廷凍騎壓胡氏身上用口咬傷胡氏右腕
肘胡氏喊救謝廷凍用手指捂住胡氏咽喉不放
該犯聞聲攏勸不開見胡氏面色改變喊不出聲
恐被控斃情急救護捨木棒連築傷謝廷凍右肋
倒地次日殞命死者送兇犯尊毆因救母情切尚
非無故送兇干犯情稍可原是以未勾

光緒二十三年四川省秋審常犯情實田樺廷
等三十二起人犯三十四名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯田樺廷

姦匪妒姦斃命金刃傷多且重淫兇難寬是以勾決

一起絞犯李樹王印李大計存
羅老么

貪賄聽從謀命下手加功均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯吳葆彥

竊匪挾恨謀斃竊匪法無可寬是以勾決

一起斬犯劉茅洗

調姦拒捕刃斃捕人淫兇難寬是以勾決

一起斬犯鄭茂山

姦匪逞忿故殺姦婦淫兇難寬是以勾決

一起斬犯李老么

竊盜拒捕刃斃捕人法無可寬是以勾決

一起斬犯滕翰沅

姦匪妒姦故殺總兄淫兇難寬是以勾決

一起斬犯彭昆葆

圖財害命雖未得財業已殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯劉懷泗即劉銀匠

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯童歲澧

姦匪拒捕刃斃捕人復另斃一命淫兇難寬是以勾決

一起斬犯孫沅清

姦匪拒捕致斃捕人淫兇難寬是以勾決

一起斬犯劉添佐

姦匪妒姦故殺姦匪淫兇難寬是以勾決

一起斬犯李老么即李蕪葵

竊盜拒捕致斃逾八事主法無可寬是以勾決

一起斬犯鄧泳青即張椿呀

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯余七娃

竊盜護仗拒斃事主復另傷一人法無可寬是以勾決

一起斬犯程游添

程得妒姦造意游添恃貪賄聽從下手加功均法

無可寬是以俱勾決

一起斬犯高椿山

竊盜拒捕刃斃捕人法無可寬是以勾決

一起絞犯熊沈營

強奪良家妻女致令羞忿自盡法無可寬是以勾決

一起斬犯蘇老么

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯夏仔羊

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯鄒辛酉

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯戴老七

聽從據提勒贖拒捕刃斃捕人法無可寬是以勾決

一起斬犯張蘇汰

竊盜護影拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯余四麻仔

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯王梳匠即王老八

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起絞犯何惘輪

連斃應抵二命法無可寬是以勾決

一起斬犯趙辛鞞

調姦未成故殺本婦滅口淫兇難寬是以勾決

一起絞犯任自願

姦匪妒姦斃命金刃傷多且重淫兇難寬是以勾決

一起絞犯張荃紫

金刃穿透傷重情兇近故法無可寬是以勾決

一起絞犯黎夜娃

金刃穿透傷重情兇近故法無可寬是以勾決

一起斬犯侯抄停

致斃總麻尊屬刃物傷重法無可寬是以勾決

一起絞犯譚棟得

共毆斃命金刃傷多且重法無可寬是以勾決

861 光緒二十三年九月二十四日內閣奉

上諭黃槐森奏參劾屬員請分別懲處一摺雲南維

西通判劉金榜貪鄙不職任性妄為著即行革職

麗江縣知縣李星瑞與情未協人地不宜著開缺

另補餘著照所議辦理該部知道欽此

862 光緒二十三年九月二十四日內閣奉

上諭巡視東城御史茹泰等奏拏獲結夥持械疊次

強劫盜犯請交部審辦一摺所有拏獲之吳大雨

即武大雨李生即李茂林宋慶華三名著交刑部

歸案審辦其出力員弁著俟刑部定案時聲明請

旨另片奏拏獲夥搶婦女兇犯請交部審訊等語

王占魁一犯著交刑部嚴行審訊至各案內在逃

各犯仍飭嚴緝務獲究辦該部知道欽此

863 光緒二十三年九月二十四日內閣奉

上諭調補奉天府府丞李鴻達奏假滿病仍未痊懇

恩續假並請簡員署理順天府府丞員缺一摺李

鴻達著再賞假二十日假滿即行赴任順天府府

丞著貴賢署理欽此

864 應署順天府府丞名單

大理寺少卿貴賢

內閣侍讀學士陳邦瑞

翰林院侍讀學士陳兆文

李殿林

侍講學士秦綬章

865 附生勞啟祝

硃○旨著以光祿寺署正用

866 附生勞啟祝

旨著以中書科中書用

867 五品職銜已革河南試用道啟績
硃○旨著以知府用

868 五品職銜已革河南試用道啟績
旨著開復道員

869

奏蒙

臣等查開列各員均係原任知府試用道啟績

發下覆試卷共一百二十二本 臣等公同詳閱分別

等第名次擬一等三十二名二等四十名三等
五十名均於卷面黏貼黃籤恭呈

御覽伏候

欽定俟

發下後再行拆閱彌封另繕名單進呈謹

奏

870 臣等查對另頁詩句人名均屬相符並將中式

各原卷磨對筆跡亦屬相符謹

奏

871

一等三十二名

吳昌綬

魏震

何宗遜

王新銘

賈士駿

程體慈

恩泰

楊長春

朱裕謙

陶善璐

孟憲彝

陳鴻年

王采珊

托莫洪武

志琮

李金榜

陳鴻翼

武登儒

葉在藻
王曰起
徐挺芝
楊侗
陳開熾
金恩科
馮夢吉
王錫衡
潘毓春
溫興全
許涵志
蔡雨田
祥壽
吳元棻
二等四十名
張潤
宜勳
尹嘉樹
李如璧

周紹濂
梁宇清
金保權
晏孝儒
劉坦
徐葵
劉鳳奎
王曾綬
毓鑫
貴成
王瑞芝
張克一
吳桂芳
沈輝曾
范慶頤
方裕詩
李克迪
顧彥龍
鹿福世

文良
桂齡
趙鎮
王承綱
袁凱
許濂
德鎔
陳光勳
詹榮麟
李麟書
周志煌
李燕春
慶康
王有德
紀龍官
盧敬清
袁葆甲
三等五十名
張珣

楊培森
杜福垣
羅士俊
袁勵端
譚奎昌
李潭
葉毓文
郭葆衷
王黼卿
蔡璋
鄭汝熙
鄒國楨
文琦
心田
塔沁布
連重
董如鴻
李崧祐
潘學瀾

文錦
 鍊格
 林天嶷
 富勒亨額
 何聯恩
 鄭實謙
 施之翰
 杜尹
 繼林
 延兆
 朱天朗
 王寶樞
 兆巖
 吳桐
 趙光甲
 劉兆瀛
 文蔚
 春魁
 劉景范

錫慶
 繻暉
 三音布
 賴汝驥
 張智
 張寶森
 盧元棟
 王倬
 梅芳
 王朝印
 薛壽山

872 奉

旨高均會即高渡會火器殺人例實惟死者以索債
 細故兄弟三人登門尋釁齊向屋內放槍勢極兇
 橫該犯身先受傷回放適斃衡情不無可原著免
 勾餘均照所擬欽此

九月廿日奉大等書黃冊
 見前帶上十四
 發下田 堂文內閣

873 奉

旨高均會即高渡會火器殺人例實著予勾餘均照
所擬欽此

九月十四日奉天等省黃河
見面帶上本
發下

874

光緒二十三年奉天省秋審常犯情實高均會
即高渡會等十八起人犯十九名內除舊事常
犯情實于廣淋等三起人犯三名業於二十一
年並二十二年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實高均會即

高渡會等十五起人犯十六名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯高均會即高渡會

火器殺人惟死者以索積細故兄弟三人登門尋

衅齊向屋內放槍勢極兇橫該犯身先受傷回放

適斃衡情不無可原是以未勾

一起斬犯陳國仲

逞忿故殺幼孩法無可寬是以勾決

一起斬犯姜鐸

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯趙均勝

火器殺人法無可寬是以勾決

一起絞犯孔招其

聽從發塚鑿棺抽竊幫同刨土二次在外瞭望一

次稔惡難寬是以勾決

一起斬犯李葆桂

聽從圖財害命雖未加功業已得財法無可寬是

以勾決

一起絞犯張馮有

均聽從發塚開棺見屍法無可寬是以俱勾決

一起絞犯馬廣

聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯李濤愷

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯張泳禾

火器致斃小功母舅法無可寬是以勾決

一起斬犯劉葆山

因姦拒斃捕人法無可寬是以勾決

一起絞犯劉三九

行竊雇主得贓已逾五百兩法無可寬是以勾決

一起斬犯張六八

竊盜拒捕致斃事主法無可寬是以勾決

一起絞犯劉虫

刃斃人命傷多且重情殊兇狠法無可寬是以勾決

一起絞犯朱蔓愷

聽從發塚開棺見屍法無可寬是以勾決

光緒二十三年陝西省秋審常犯情實田生惠

等十四起人犯十四名內除舊事情實劉當安

一起一名業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實田生惠等

十三起人犯十三名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯田生惠

逞忿故殺復另傷其妻法無可寬是以勾決

一起絞犯劉進漬

貪賄聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯陳懋恆

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯廖墊蘇即廖洪淋

扶恨謀命法無可寬是以勾決

一起絞犯胡詳兒即胡詳

調姦未成拒傷本婦致令羞忿自盡淫兇難寬是以勾決

一起斬犯王城仔

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯江添福

姦匪拒捕故殺本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯胡蟻螫

姦匪妒姦謀斃姦匪淫兇難寬是以勾決

一起斬犯唐少青

逞忿故殺幼孫法無可寬是以勾決

一起斬犯張蔣娃

竊盜拒捕致斃捕人法無可寬是以勾決

一起斬犯席添歲

犯罪拒斃捕人復另傷一人法無可寬是以勾決
一起絞犯况存仔

姦匪因姦刃斃姦婦夫族弟情傷均重淫兇難寬
是以勾決

一起絞犯周士道

刃斃徒手傷多且重法無可寬是以勾決

光緒二十三年湖廣省秋審服制情實陳萌遠

等五起人犯五名內除舊事情實楊鈺等三起

三名業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事情實陳萌遠等二起

人犯二名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯陳萌遠

與胞兄陳萌近無嫌該犯先佃公地耕種曾墊酬
神錢文嗣經陳萌近接佃應由租內扣還屢討未
給後該犯復向催索致相爭鬧陳萌近取樹椿毆
傷該犯右手指舉椿復毆該犯背塘站立無處退
避將樹椿接住陳萌近用力拉轉該犯力弱鬆手

不期椿頭回戳適傷其胸膛倒地移時殞命傷由
拉椿回戳尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯彭心旺即彭二疤仔

因小功兄彭心澆向索賭欠約緩不允致相爭鬧
彭心澆舉矛向戳該犯跑上巖勘彭心澆追至岩
下用矛柄向上亂毆該犯無可躲避接住矛柄求
饒彭心澆用力拉轉該犯鬆手不期矛尖戳傷其
右肋倒地移時殞命傷由拉矛自戳尚非有心干
犯情稍可原是以未勾

光緒二十三年湖廣省秋審常犯情實林暮愷

等十二起人犯十二名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯林暮愷即林紫峰又名耀魁

誣告叛逆未決情殊險惡是以勾決

一起斬犯全士沅

姦匪拒捕刃斃捕人淫兇難寬是以勾決

一起斬犯尹添禾

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯張恆連

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯張濂沅即張突尼古

挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯吳慶古

姦匪挾恨謀命淫兇難寬是以勾決

一起斬犯張葦萌

挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯向懋潰

逞忿故殺復另傷其祖母法無可寬是以勾決

一起絞犯王濛賢

子犯盜致縱容之母被殺法無可寬是以勾決

一起斬犯李潮美

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯向汶受

火器殺人法無可寬是以勾決

一起絞犯傅衣彩

致斃一家二命該犯刃斃一命死係徒手婦女法

無可寬是以勾決

光緒二十三年浙江省秋審常犯情實徐氏等

十起人犯十名口內除舊事常犯情實彭阿培

一起人犯一名業於十七年

免勾時開列榜示外所有新事常犯情實徐氏等九

起人犯九名口謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞婦徐氏

逼媳賣姦不從聽從謀斃其命下手加功法無可

寬是以勾決

一起斬犯洪四倍

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯吳通潰

因姦謀斃縱女犯姦之父法無可寬是以勾決

一起斬犯游得幅

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯成蟻汕

聽從影搶婦女已成入室幫同架拉法無可寬是

以勾決

一起絞犯徐畢生

賭匪聽從聚眾奪犯毆斃差役幫毆有傷情殊貌法是以勾決

一起斬犯金尚州即憾仔

丐匪挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯邵銀祭

因姦聽從姦婦謀斃李廷光難寬是以勾決

一起斬犯張有滯即張若漳

刃斃總尊復另傷死者之弟亦係該犯總尊情傷

均重法無可寬是以勾決

光緒二十三年江西省秋審常犯情實胡冬水

等六起人犯十一名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯胡冬水

竊匪聽從謀斃事主下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯古能才

竊盜臨時護賊謀斃事主業因伊父首送免其立

決法難再寬是以勾決

一起斬犯周浸漢

竊盜拒捕刃斃捕人法無可寬是以勾決

一起絞犯葉汶仲

連斃應抵二命法無可寬是以勾決

一起絞犯何汰伙何步煙何葆笙何樺得陶梅

生陳燭澗

聚眾械鬪互斃十九命該犯等各下手致斃一命

均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯歐陽湖漳即達三

造意謀斃生有子女庶母法無可寬是以勾決

875 光緒二十三年九月二十五日內閣奉

上諭涼州副都統依楞額奏革員畏罪潛逃請飭嚴

拏一摺涼州左翼協領得敦前因管理糧餉不實

不盡並串通驍騎校裕積等捏詞誣控經依楞額

奏參革職永不敘用發往軍臺効力贖罪該革員

膽敢與已革舉人恩光等聞風潛逃隱匿省垣抗

不到案實屬藐法即著迅速拏獲解回涼州聽候

究辦已革驍騎校百連逃匿無蹤著陝甘總督飭

屬嚴拏務獲逃解涼州歸案審辦欽此

876 光緒二十三年九月二十五日內閣奉

上諭此次履試順天鄉試舉人列入一等之吳昌綬等三十二名列入二等之張潤等四十名列入三等之張珣等五十名俱著准其一體會試欽此

877 光緒二十三年九月二十六日奉

旨依議冊併發欽此

內閣奉 皇太后萬壽聖節恭逢喜慶籌辦事宜 黃白紅紫

878 光緒二十三年九月二十六日奉

旨依議欽此

恭親王會禮部奉初九日廷宴手酒京儀數目摺 黃白紅紫

879 光緒二十三年九月二十六日奉

旨依議欽此

奉親王會禮部奉初九日廷宴手酒京儀數目摺 黃白紅紫

880 光緒二十三年九月二十六日奉

旨依議欽此

恭親王會禮部奉 陛見全儀應合在案等語 黃白紅紫

881 軍機大臣 字寄

熱河都統壽 光緒二十三年九月二十七日奉
上諭有人奏蒙古郡王貪殘橫暴據實糾參一摺據稱昭烏達盟長郡王建木林達爾達克以練兵為名殺掠漢民苛派勒索縱令蒙弁橫行聚斂並有殺死佃民轟斃人命控案又捏稱公主園寢被焚請款冒銷賄託理藩院越次請補副盟長之缺購買洋槍浮開價值勒令各旗攤辦請飭查辦等語著壽蔭按照所參各節確切查明據實具奏毋稍徇隱原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

882 本日御史崇蔭奏蒙古郡王貪殘橫暴據實糾參摺奉寄信

諭旨著壽蔭查奏謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

883 光緒二十三年九月二十七日內閣奉

上諭吏部奏遵議處分一摺廣西巡撫史念祖著照部議革職廣西候補知府趙沫彥著降三級調用不准抵銷欽此

884 光緒二十三年九月二十七日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲扶嫌糾夥強拉太監人犯請交部審辦一摺所有拏獲逸任春順即于九亭周順趙盧氏趙亮即趙二等四名口均著交刑部嚴行審訊按律懲辦未獲之池三等犯仍著一體嚴拏務獲毋任漏網欽此

885 光緒二十三年九月二十七日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏遵保獲盜出力員弁擬請獎勵一摺著兵部議奏欽此

886 光緒二十三年九月二十七日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏續行拏獲結夥持械搶劫盜犯請交部訊辦等語所有拏獲之楊五禿子高三

等二名著交刑部歸案審明辦理未獲之小盧二

王等犯仍著嚴緝務獲送部究辦該衙門知道欽此

887 光緒二十三年九月二十八日內閣奉

上諭毓焜等奏永濟庫租銀各州縣積欠甚鉅請飭嚴催開單呈覽一摺永濟庫每年額徵租銀開放公項均關緊要近年以來各州縣徵解租銀任意拖欠以致不敷支發著直隸總督按照單開數目勒限嚴催迅速補解嗣後並不准再有延欠以重庫儲單併發欽此

888 光緒二十三年九月二十八日內閣奉

上諭毓焜等奏估修倉廩需用工料銀兩請飭撥款一摺永濟倉廩座房間多有坍塌自應及時修理所需工料銀兩著直隸總督轉飭藩司如數借撥以濟要工餘著照所議辦理欽此

889 光緒二十三年九月二十八日奉

旨知道了欽此

署江蘇巡撫奎俊

安徽巡撫鄧華熙

山東巡撫張汝梅

山西巡撫胡聘之

河南巡撫劉樹堂

陝西巡撫魏光燾

甘肅新疆巡撫饒應祺

浙江巡撫廖壽豐

江西巡撫德壽

湖北巡撫譚繼洵

湖南巡撫陳寶箴

廣東巡撫許振璋

雲南巡撫黃槐森

貴州巡撫王毓藻

硃。

直隸布政使負鳳林 陝西進士 光緒二十二年三月補出為尋月刑部直隸

江甯布政使松壽 正白旗滿洲監生 光緒二十二年九月補

江蘇布政使聶緝規 湖南監生 光緒二十二年七月補

署安徽布政使于蔭霖 奉天進士 光緒二十二年七月署

山東布政使張國正 漢軍鎮遠監生 光緒二十二年五月補

山西布政使俞廉三 浙江監生 光緒二十二年六月補

河南布政使額勒精額 滿洲鑲紅旗鑲黃旗進士 光緒二十年十一月補

陝西布政使李希蓮 山西進士 光緒二十二年九月補

甘肅布政使曾鈺 正白旗滿洲人 光緒二十年十二月補

甘肅新疆布政使丁振鐸 河南進士 光緒二十二年十月補

浙江布政使惲祖翼 江蘇舉人 光緒二十二年十月補

福建布政使李邦楨 江蘇進士 光緒二十三年八月補

江西布政使翁曾桂 江蘇監生 光緒二十二年四月補

湖北布政使王之春 湖南人 光緒十六年十二月補

湖南布政使何樞 河南進士原籍浙江 光緒十五年十二月補

廣東布政使張人駿 直隸進士 光緒二十一年十二月補

廣西布政使游智開 湖南舉人 光緒二十一年八月補

四川布政使裕長 正白旗滿洲監生 光緒二十三年二月補

雲南布政使裕祥 滿洲鑲白旗進士 光緒二十一年九月補

貴州布政使邵積誠 福建進士 光緒二十二年正月補

硃。

光緒二十三年九月二十九日內閣奉

上諭倉場衙門順天府奏請撥王恕園等處粥廠賑

米一摺所有通州王恕園等處粥廠並煖廠棲流所加恩著賞給米一千五百石以惠窮黎餘依議該衙門知道欽此

900 交翰林院本日軍機大臣面奉

諭旨翰林院編修徐琪吳士鑑著於本月三十日預備召見檀機張亨嘉于受慶著於十月初四日預備召見欽此相應傳知

貴衙門轉傳各該員欽遵可也此交

九月二十九日

901

交翰林院編修徐琪吳士鑑著於本月三十日預備召見檀機張亨嘉于受慶著於十月初四日預備召見倉米放槍拒捕並拋執砲傷廐座請

飭嚴拿一摺軍機大臣面奉

諭旨著步軍統領衙門順天府五城御史一體嚴拿務獲送交刑部從嚴懲辦並著步軍統領衙門知照左翼查城大臣嚴飭值班官兵隨時認真查拏毋稍疏懈欽此相應傳知
貴衙門欽遵辦理可也此交

九月二十九日

902 交刑部倉場衙門本日軍機大臣面奉

諭旨倉場衙門奏匪徒越城偷竊倉米拒捕行強請

嚴定罪名等語著刑部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

九月二十九日

903 光緒二十三年九月二十九日奉

旨毋庸添派欽此

懷遠奉 兼慶等處工程應否添派人員修繕

904 光緒二十三年九月二十九日奉

旨著賞假十日欽此

陳學棻奏請假二十日摺

905 軍機大臣 字寄

直隸湖廣四川兩廣陝甘雲貴各總督安徽江西湖北湖南山東山西陝西甘肅新疆廣東廣西雲南貴州各巡撫 光緒二十三年九月三十日奉

上諭四川東一帶上年灾情甚重本年三月間欽奉
旨特頒內帑銀十萬兩復由戶部籌撥銀十萬兩交

鹿傳霖辦理賑撫並准其開辦賑捐嗣據該前督
奏報酉陽州屬本年又復被水被雹當照所請推
廣賑捐俾資接濟湖北鄖陽宜昌施南等府屬亦
因上年灾區過廣准張之洞等電請截留漕米三
萬石辦理春撫嗣蒙

懿旨賞給內帑銀五萬兩並准張之洞等奏請推廣捐

輸俾作賑撫之需王文韶奏順天武清等縣直隸
天津等縣窪地被淹請將現辦推廣賑捐接展一
年當經允准廣東嘉應州屬五六月間疊遭大雨
山水漲發准許振禕奏請撥銀五千兩撫恤灾區
其安徽五河縣湖北天門崇陽恩施等縣江西義
甯等廳州縣湖南桑植等縣貴州仁懷等處被水
雲南石屏等州縣被旱被水陝西綏德州及平利
縣所屬地方被水被雹山東福山棲霞二縣所屬
地方被火甘肅新疆呼圖壁等處被蝗均經該督
撫等查勘撫恤小民諒可不至失所惟念來春青
黃不接之時民力未免拮据著傳諭該督撫等體

察情形如有應行接濟之處即查明據實覆奏務
於封印以前奏到俟朕於新正降旨加恩再湖南
南洲廳等處被水甘肅金縣等處陝西安定等縣
被水被雹大荔等縣被水雲南賓川州被旱廣西
灌陽等州縣收成歉薄經該督撫等委員查勘即
著迅速辦理並將來春應否接濟之處一併查明
於封印前奏到此外各該省有無被灾地方應行
調濟撫恤之處著該督撫等一併查奏候旨施恩
將此各諭令知之欽此

906 查四川湖北上年被灾籌辦春撫欽奉

懿旨特頒內帑銀兩並蒙

恩准截漕撥款暨展辦賑捐本年順天直隸廣東被
灾地方俱經隨時蒙

恩諭令籌款賑撫其安徽湖北江西湖南雲南貴州
陝西山東甘肅新疆被水被旱被雹被火被蝗
之處均經該督撫查勘撫恤明春應否量為接
濟臣等謹照向例繕寫詢問該督撫等

諭旨俟覆奏到日再行擬寫新正

加恩諭旨呈進再湖南甘肅陝西雲南廣西被水被
雹被旱暨收成歉薄之處該督撫等均已表明
查勘應否接濟現俱未經奏到此外各省有無
被災地方應行調劑撫恤之處一併詢問令該
督撫等迅速查奏彙辦謹

奏

光緒二十三年九月三十日奉

旨依議欽此

907 軍機大臣面奉

諭旨十月初七日

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后還宮

仍回

頤和園著奕劻恭隨載漪載濂載溥偉載澗載瀾載

振溥僕恭引欽此

黃面紅裏見面帶上帶下歸福

另繕添年月日遞

908 光緒二十三年十月初一日軍機大臣面奉

諭旨十月初七日

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后還宮

仍回

頤和園著奕劻恭隨載漪載濂載溥偉載澗載瀾載

振溥僕恭引欽此

黃面紅裏

909 交宗人府侍衛處軍機大臣面奉

諭旨十月初七日

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后還宮

仍回

頤和園著奕劻恭隨載漪載濂載溥偉載澗載瀾載

振溥僕恭引欽此相應傳知

貴衙門轉傳欽遵可也此交

十月初一日

910 光緒二十三年十月初一日奉

旨知道了欽此

恭親王等奉

皇上慶賀

皇太后未文摺

911 光緒二十三年十月初一日奉

旨連函恭進欽此

恭親王等奉親進表文是否連函恭進片

912 光緒二十三年十月初一日奉

旨知道了欽此

恭親王等奉十月初十日

皇上行禮摺禮儀摺

913 光緒二十三年十月初一日奉
旨知道了欽此

恭親王等奏十月初十日
皇后行禮禮儀摺

914 光緒二十三年十月初一日奉
旨知道了欽此

恭親王等奏王公百官慶賀
皇太后表文

915 光緒二十三年十月初一日奉
旨知道了欽此

恭親王等恭進
皇上
皇后行禮禮節摺

916 光緒二十三年十月初二日內閣奉
上諭廣西巡撫著黃槐森調補裕祥著補授雲南巡
撫欽此

917 光緒二十三年十月初二日奉
旨著派胡燏棻入閣監臨欽此

順天府奏武備內場監臨摺 欽此

918 光緒二十三年十月初二日奉
旨著停止升殿

鴻臚寺奏謝 恩官日已滿有人是否并 殿摺

919 光緒二十三年十月初二日軍機大臣面奉
諭旨本月初十日恭逢

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽
著自初七日起至十五日止王公百官均穿蟒袍
補褂欽此

黃面紅裏

920 交內閣本日軍機大臣面奉
諭旨本月初十日恭逢

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽
著自初七日起至十五日止王公百官均穿蟒袍
補褂欽此相應傳知
貴衙門 轉傳一體欽遵可也此交

十月初二日

921 交翰林院本日軍機大臣面奉

諭旨翰林院編修檀璣張亨嘉于受慶著改於本月初六日預備召見欽此相應傳知

貴衙門轉傳各該員欽遵可也此交

十月初二日

922 交總理各國事務衙門本日順天府尹胡燏

荼奏查勘山海關內外鐵路工程一摺軍機大臣面奉

諭旨該衙門知道欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

十月初二日

923 本日順天府尹胡燏荼奏查勘山海關內外

鐵路工程大概情形摺奉

旨該衙門知道謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

924 光緒二十三年十月初三日內閣奉

上諭任道鎔奏節交霜降黃河安瀾一摺本年黃河

各工悉臻平穩普慶安瀾覽奏實深寅感著發去

大藏香十枝交任道鎔祇領虔詣

河神廟恭代祀謝用答

神庥所有辦理河工出力之河南布政使額勒精

額開歸陳許道穆奇先河北道岑春榮均著交部

從優議敘道員用開封府知府文煥著俟離知府

任歸道員班後賞加二品銜餘著照所議辦理該

部知道欽此

925 光緒二十三年十月初三日內閣奉

上諭雲南布政使著湯壽銘補授興祿著補授雲南

按察使欽此

926 軍機大臣面奉

諭旨本月初七日至十五日均著推班欽此

黃面紅粟

927 交內閣本日軍機大臣面奉

諭旨本月初七日至十五日均著推班欽此相應傳知

貴衙門迅即轉傳各衙門一體欽遵可也此交

十月初三日

928 光緒二十三年十月初四日內閣奉

上諭此考考試開散宗室馬步箭所有中步箭五枝

之鈺璞崇林溥丞恆亮祥樸善全德桂賽凌阿毓

吉溥稀毓康溥榮毓尊崇光興海吉榮均著賞給

三等侍衛中步箭四枝並中馬箭一枝之景秀麟

瑞奕枰毓璋海亮成貴載杭延增毓泰均著賞給

四等侍衛其餘中步箭四枝者均著賞給大緞一

疋銀十兩中步箭三枝者均著賞銀五兩欽此

929 光緒二十三年十月初四日內閣奉

上諭雲南迤東道員缺著陳啟泰補授欽此

930 查雲南迤東道係銜繁難要缺謹

奏

931 光緒二十三年十月初五日內閣奉

上諭直隸保定府知府員缺緊要著該督於通省知

府內揀員調補所遺員缺著潘青照補授欽此

932 光緒二十三年十月初五日內閣奉

上諭延茂等奏監犯脫逃請將管獄官等分別懲辦一

摺據稱本年四月間阿勒楚喀副都統衙門管獄

官雲騎尉勝亮聽從監犯劉立央懇回家探望以

致乘間脫逃旋經練軍官兵捕獲訊明管獄官兵

等實有受賄情事等語管獄官雲騎尉勝亮於看

守要犯報敢允其央懇出獄回家致被脫逃實非

尋常疏忽可比勝亮著先行革職交該署將軍等

提同值班官兵等嚴行審訊分別懲辦該部知道

欽此

933 光緒二十三年十月初六日內閣奉

上諭翰林院編修徐琪吳士鑑張亨嘉均著在南書

房行走欽此

934 光緒二十三年十月初六日內閣奉

上諭理藩院左侍郎綿宜正紅旗滿洲副都統明秀均著加恩在紫禁城內騎馬欽此

935 一品大員未經

賞馬名單

刑部尚書廖壽恆

都察院左都御史裕德

鑲白旗滿洲都統符珍

鑲藍旗蒙古都統恩佑

936 二品大員年屆六十以上未經

賞馬名單

吏部右侍郎徐會灃 年六十一歲

戶部右侍郎陳學棻 年六十三歲
現出學差

兵部右侍郎榮惠 年六十八歲

楊頤 年六十七歲

刑部左侍郎阿克丹 年六十五歲

理藩院左侍郎綿宜 年七十一歲

殊。

鑲黃旗蒙古副都統官祥 年六十一歲

正黃旗漢軍副都統德魁 年六十歲

鑲白旗蒙古副都統明忠 年六十四歲

舒存 年六十一歲

鑲白旗漢軍副都統玉書 年六十四歲

正紅旗滿洲副都統明秀 年八十歲

正紅旗漢軍副都統澧深 年六十九歲

鑲紅旗蒙古副都統恩普 年七十歲

廣忠 年七十歲

正藍旗滿洲副都統秀吉 年六十四歲

正藍旗蒙古副都統耆齡 年六十九歲

鑲藍旗滿洲副都統明安 年六十五歲

鑲藍旗漢軍副都統吉恆 年七十歲

鈕楞額 年六十二歲

937 光緒二十三年十月初六日內閣奉

上諭本日鹿傳霖奏各省大員捐助賑銀片內出使

大臣伍廷芳繕寫錯誤著交部察議欽此

殊。

938 光緒二十三年十月初六日內閣奉

上諭依克唐阿奏查明職官隱漏捐款據實參辦一摺奉天中前所路記佐領官清隱漏釐捐收多報少實屬貪劣不職官清著即行革職仍將漏捐錢文悉數追繳以重公款該部知道欽此

939 光緒二十三年十月初七日內閣奉

上諭李秉衡奏節交霜降黃河一律安瀾一摺本年山東黃河險工疊出經李秉衡督飭在工員弁加意修守仰賴

神靈默佑現在節逾霜降通工一律安瀾覽奏實深寅感著發去大藏香十枝交李秉衡祇領虔詣大王廟敬謹祀謝用答

神庥上游督辦兗沂曹濟道錫良中游督辦候補道林介景均著交部從優議敘欽此

940 光緒二十三年十月初七日內閣奉

上諭李秉衡奏特保治行卓著之員請分別獎勵一摺山東武定府知府尚其亨志趣超卓明練有為

沂州府知府丁立鈞宅心正大沒事嚴明請補濟甯直隸州知州凌芬語練勤明才堪治劇陽穀縣知縣胡建樞廉明慈惠所至有聲調署清平縣單縣知縣李銓勤政愛民力祛積弊博平縣知縣李惟誠政平訟理愷悌宜民調署曹縣堂邑縣知縣金林緝捕勤能與情悅服調補嶧縣署單縣知縣朱鍾琪除暴安良有胆有識以上各員據該撫臚列政績均堪備循良之選即著傳旨嘉獎前著青州府知府候補知府楊傳書操履篤實廉謹不阿著交軍機處存記均著飭令該員等益加奮勉毋得始勤終怠用副朝廷勤求吏治至意該部知道欽此

941 光緒二十三年十月初七日內閣奉

上諭富勒銘額奏舊疾增劇懇請開缺一摺伊犁副都統富勒銘額著准其開缺回旗調理欽此

942 滿頭班

花翎三品銜候補五品京堂戶部郎中孚琦

三品銜即選道理藩院即補郎中員外郎多壽
 儘先即選道得道員後加三品銜花翎四品銜理藩院即補郎中志樸
 儘先即選道得道員後加三品銜花翎三品銜兵部郎中惠兆
 花翎四品銜理藩院即補員外郎豐陞額
 四品銜選用知府戶部員外郎雲騎尉世職慶連
 四品銜兵部即補郎中員外郎麟緒
 戶部即補員外郎恆斌
 內閣即補侍讀英凱
 漢頭班
 花翎太常寺卿陳邦瑞
 三品銜得府後在任候補道 記名御史吏部員外郎徐士佳
 三品銜道員用工部候補郎中繼昌
 四品銜 記名御史工部員外郎王彥威
 四品銜戶部候補郎中胡祖謙
 花翎三品銜 記名道府選保送應升之缺開列在前禮部郎中郭曾炳
 三品銜刑部郎中李齊賓
 四品銜道員用 記名道府兵部郎中濮子澄
 刑部即補員外郎盧震
 工部候補主事得缺後以員外郎即補甘大璋

現在告假

四品銜兵部員外郎張嘉猷
 內閣候補中書得缺後以主事即補李象寅
 滿二班
 花翎四品頂戴得四品後以三品京堂候補國子監司業特圖慎
 花翎三品銜應升之缺升用 記名道府戶部郎中和爾賚額
 三品銜戶部郎中榮霽
 即選知府補郎中後加三品銜四品銜理藩院員外郎承祐
 道員用 記名道府刑部員外郎玉貴
 記名司業得缺後以四品京堂補用四品銜理藩院員外郎文年
 刑部即補郎中英秀
 刑部候補主事朱秀
 內閣候補侍讀先換頂戴貼寫中書桂隆
 漢二班
 三品銜候補五品京堂刑部員外郎李蔭鑾
 三品銜得府後在任候補道 記名繁缺知府吏部郎中王嘉木
 三品銜得府後在任候補道 記名御史吏部即補員外郎孫朝華
 三品銜戶部即補郎中連文冲
 四品銜刑部候補郎中郭之全
 四品銜得府後在任候補道 記名御史刑部員外郎鄭炳麟

三品街道員用 記名道府戶部郎中馮汝駉

刑部候補郎中楊壽樞

戶部即補員外郎主事凌福彭

禮部即補員外郎王慶平

吏部即補員外郎孫筭鏗

四品銜刑部即補員外郎何葆麟

943 光緒二十三年十月初十日奉

旨本月初七日

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后還宮仍回

頤和園所有恭隨

鑾輿慶親王奕劻著賞給三鑲玉如意一柄圓金三疋恭引

鑾輿載漪載瀅載溥載潤溥倬均著賞給八絲緞二疋

載潤載振溥倬均著賞給八絲緞二件內務府大

臣世績著賞給八絲緞二件前引提鑪偏吉侍衛

官員著各賞給紀錄一次請轎校尉著各賞給銀

二兩儀駕騎駕校尉內務府三旗執豹尾槍兵丁

八旗護軍營站道兵丁圓明園站道兵丁步營綠

營站道兵丁著各賞給銀一兩由戶部給發欽此

944 本月初七日跟隨

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后還宮

仍回

頤和園官兵等擬賞單

前引提鑪偏吉侍衛官員擬各

賞給紀錄一次

請轎校尉擬各

賞給銀二兩

儀駕騎駕校尉 內務府三旗執豹尾槍兵丁

八旗護軍營站道兵丁 圓明園站道兵丁

步營綠營站道兵丁均擬各

賞給銀一兩

硃筆

945

奕劻 三鑲玉如意一柄 圓金三疋

載漪載瀅載溥載潤溥倬 各尺頭二疋

載澗載振溥倬 各尺頭二件

內務府大臣世績 尺頭二件

以上俱由內交下

十月初十日見面帶下堂上
旨尺頭二字改為八絲緞

946 光緒二十三年十月十一日內閣奉

上諭王文韶奏東明黃河伏秋大汛獲慶安瀾一摺
直隸東明縣屬黃河南堤各汛本年伏秋風漲經
王文韶督飭文武員弁搶護悉臻平穩現在節逾
霜降仰賴

神靈默佑獲慶安瀾實深寅感發去大藏香十枝
著王文韶祇領交大順廣道萬培因虔詣李連莊
高村黃莊

大王廟敬謹祀謝以答
神庥所有隨摺保獎文武各員著該部議奏餘著
照所議辦理欽此

947 光緒十年十月初七日軍機大臣面奉

諭旨司章副護軍參領惠新著以本旗護軍參領即
補先換頂戴委護軍參領伊昌阿著以本旗副護
軍參領即補先換頂戴護軍校全興常輔恆斌均
著以本旗委護軍參領即補先換頂戴藍翎長德
隆成聯和廣均著以本旗護軍校即補先換頂戴

護軍永存著以本旗藍翎長即補先給頂翎各旗
派出管司節之輜車都尉隆善等均著交部從優
議敘司節德玉等十六名備用司章存善等九名
著每名賞給銀六兩由廣儲司給發禮部堂官及
承辦司員均著賞加一級欽此

黃面紅裏

948 謹將此次

慶辰典禮執事各項人員酌成案擬請分別
賞賚恭呈

總覽

黃面紅裏

949 謹將此次

慶辰典禮執事各項人員酌成案擬請分別
賞賚恭呈

御覽請

旨

黃面紅裏

950 光緒二十三年十月十五日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后懿旨
此次恭親王等承辦慶辰典禮妥慎周詳恭親王奕訢著賞給御筆錫福宣猷扁額一方御筆長壽字一張通玉如意一柄帶膝貂褂一件金壽字緞四疋慶親王奕劻著賞給御筆長壽字一張通玉如意一柄帶膝貂褂一件金壽字緞二疋欽此

黃面紅泉

951 光緒二十三年十月十五日內閣奉

上諭此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰筵宴喜起舞大臣札拉豐阿芬申均著賞給蟒袍一件頭等侍衛公載鈺頭等侍衛訥欽奉車凌阿均著交部從優議敘頭等侍衛伊立布文璞均著賞加二品頂戴二等侍衛溥整全福容斌吉順志和富祥均著升為頭等侍衛三等侍衛載光崇興錦良桂泉景麟桂和烏拉喜春恩福均著升為二

等侍衛四等侍衛松海著升為三等侍衛二等侍衛英茂頭等侍衛全福二等侍衛富山均著交部從優議敘欽此

952 光緒二十三年十月十五日內閣奉

上諭此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰宗親筵宴綠衣進舞之近支王公恭親王慶親王奕劻均著交宗人府從優議敘醇親王載灃端郡王載漪郡王銜貝勒載濂郡王銜貝勒載滢貝勒載潤貝勒溥偉均著於常年俸銀外加賞銀五百兩貝勒銜貝子奕謨貝子溥倫鎮國公載澤鎮國公載洵不入八分鎮國公載澗不入八分輔國公載濤不入八分輔國公銜鎮國將軍載瀛頭品頂戴鎮國將軍載振頭品頂戴鎮國將軍溥儀鎮國將軍溥侗頭品頂戴載模二品頂戴溥偉均著賞給三鍊玉如意一柄蟒袍一件欽此

黃面紅泉

953 光緒二十三年十月十五日內閣奉

上諭此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽
慶辰宣表鳴贊各官均著賞加一級欽此

黃面紅裏

954 光緒二十三年十月十五日軍機大臣面奉

諭旨司章委護軍參領德隆著以本旗副護軍參領
即補先換頂戴護軍校永存著以本旗委護軍參
領即補先換頂戴藍翎長誠綱雙福崇凌鐸魁均
著以本旗護軍校即補先換頂戴護軍柏順瑞山
達凌阿均著以本旗藍翎長即補先給頂翎各旗
派出管司節之一等男志凌等均著交部從優議
敘司節松林等十六名備用司章玉山等九名暨
喜起舞慶隆舞各項應差人等著每名賞給銀六
兩由戶部給發禮部堂官及承辦司員均著賞加
一級欽此

黃面紅裏

955 交禮部本日軍機大臣面奉

諭旨司章委護軍參領德隆著以本旗副護軍參領

即補先換頂戴護軍校永存著以本旗委護軍參
領即補先換頂戴藍翎長誠綱雙福崇凌鐸魁均
著以本旗護軍校即補先換頂戴護軍柏順瑞山
達凌阿均著以本旗藍翎長即補先給頂翎各旗
派出管司節之一等男志凌等均著交部從優議
敘司節松林等十六名備用司章玉山等九名暨
喜起舞慶隆舞各項應差人等著每名賞給銀六
兩由戶部給發禮部堂官及承辦司員均著賞加
一級欽此相應傳知

貴部欽遵轉傳知照可也此交

十月十五日

956 光緒二十三年十月十五日軍機大臣面奉

諭旨此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽
慶辰所有禮部樂部蒙古音律處內務府健銳營樂
司員帶技藝翼長參領均著賞加一級各項應差

員役每名賞給銀六兩由戶部給發欽此

黃面紅裏

957 交禮部本日軍機大臣面奉

諭旨此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰所有禮部樂部蒙古音律處內務府健銳營樂司員帶技藝翼長參領均著賞加一級各項應差員役每名賞給銀六兩由戶部給發欽此相應傳知貴部轉行各該衙門一體欽遵可也此交

十月十五日

958 軍機大臣面奉

諭旨此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰所有工部承辦綵殿司員著該部堂官將實在得力之員分別奏請獎勵欽此

黃面紅裏

959 交工部本日軍機大臣面奉

諭旨此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰所有工部承辦綵殿司員著該部堂官將實在得力之員分別奏請獎勵欽此相應傳貴部欽遵辦理可也此交

十月十五日

960 軍機大臣面奉

諭旨頤和園工程處人員著恭親王慶親王奕劻酌擬獎欽欽此

黃面紅裏

961 交內務府本日軍機大臣面奉

諭旨頤和園工程處人員著恭親王慶親王奕劻酌擬獎欽欽此相應傳知貴衙門欽遵辦理可也此交

十月十五日

962 軍機大臣面奉

諭旨此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰所有輪船公所電燈公所當差員役著奕助分別

奏請獎勵欽此

黃面紅果

963 交神機營本日軍機大臣面奉

諭旨此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰所有輪船公所電燈公所當差員役著奕助分別

奏請獎勵欽此相應傳知

貴部門欽遵辦理可也此交

十月十五日

964 軍機大臣面奉

諭旨此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰所有禮部承辦典禮司員著該部堂官將實在得力之員分別奏請獎勵欽此

黃面紅果

965 交禮部本日軍機大臣面奉

諭旨此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰所有禮部承辦典禮司員著該部堂官將實在得力之員分別奏請獎勵欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

十月十五日

966 軍機大臣面奉

諭旨此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰所有頤和園司員著該管大臣擇其實在得力者

奏請獎勵欽此

黃面紅果

967 交內務府本日軍機大臣面奉

諭旨此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰所有頤和園司員著該管大臣擇其實在得力者

奏請獎勵欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

十月十五日

968 軍機大臣面奉

諭旨此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰所有內務府各司處司員及茶膳房並各項備差

人員著總管內務府大臣將實在得力人員分別

奏請獎勵欽此

黃雨虹稟

969 交內務府本日軍機大臣面奉

諭旨此次

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻崇熙皇太后萬壽慶辰所有內務府各司處司員及茶膳房並各項備差

人員著總管內務府大臣將實在得力人員分別

奏請獎勵欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

十月十五日

970 光緒二十三年十月十六日內閣奉

上諭饒應祺奏新疆左宗棠專祠請頒匾額等語封疆大吏陳奏事件豈容稍涉附會乃饒應祺輒以荒誕不經之語登諸奏牘實屬非是饒應祺著傳旨申飭所請著毋庸議欽此

971 光緒二十三年十月十六日內閣奉

上諭奉天府府丞兼學政李鴻達奏假期已滿病仍未痊懇請開缺一摺李鴻達著准其開缺欽此

972 光緒二十三年十月十六日內閣奉

上諭御史秀林等奏稽察入關時刻開單呈覽並外簾官逾時尚未入關各摺片本科順天武鄉試外簾官工部主事汪贊綸因何不入關之處著該部查明辦理單併發欽此

973 御史秀林等奏稽查入關時刻摺單一件又奏

外簾官工部主事汪贊綸逾時尚未入關片奉明發

諭旨一道謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

974 光緒二十三年十月十七日內閣奉

上諭奉天府府丞兼學政著貴賢調補欽此

975 應調奉天府府丞名單

通政使司副使葛寶華 現出裁差

殊。大理寺少卿貴賢

詹事府少詹事李駿藻 現出學差

鴻臚寺卿張仁輔 現出試差

976 光緒二十三年十月十七日內閣奉

上諭昨日道旁叩閭之福建監生岳步蟾著交刑部

嚴行審訊欽此

977

岳步蟾福建仙游縣監生因仙游莆田二縣丁糧輕重不等盜賊公行委員勒索兵丁孱弱協鎮年收漏規種種弊端請查辦為此來京在

聞

978

交戶部本日洗馬憚毓鼎奏請飭添鑄制錢暨添鑄大錢並設法變通銅運各摺片軍機大臣面奉

諭旨戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交 計鈔鈔摺片二件

979

本日洗馬憚毓鼎奏請飭添鑄制錢摺又奏請添鑄大錢片又奏設法變通

銅運片奉交片

諭旨戶部議奏謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

980 軍機大臣 字寄

成都將軍署四川總督恭 光緒二十三年十

月十八日奉

上諭鹿傳霖奏辦理德爾格忒土司一案情形據實
上陳一摺據稱德格歸流各土司小有不安實因
謠傳所致雜竹卡部落經張繼親往開導亦已聽
命察木多之倉儲已經該前督出示曉諭各土司
早已帖然無事且提訊老土司父子並無怨詞奪
吉色額手書番字供詞存卷可查該處道理賦稅
未及兩月均已查清今忽而改圖恐啟土司之輕
藐長藏番之刁風等語此事關繫川藏大局著恭
壽將其所奏各節詳細酌毋得稍存成見回護
前奏儘數行了事仍貽後患恭壽亦不得辭其咎
也原摺著鈔給閱看將此由四百里諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

981 光緒二十三年十月十八日內閣奉

上諭陳學棻現出學差戶部右侍郎兼管錢法堂事
務著徐用儀兼署欽此

硃。

982 應兼署戶部漢右侍郎名單

吏部左侍郎徐用儀

右侍郎徐會澧 現著禮部左侍郎

禮部右侍郎唐景崇

兵部左侍郎楊頤 現著工部右侍郎

右侍郎壽昌 現著刑部右侍郎

刑部左侍郎趙舒翹

983 應署戶部漢右侍郎名單

內閣學士梁仲衡 現著工部左侍郎

都察院左副都御史徐承煜 現著大理寺卿

984 明保候選主事鮑祖恩

硃。旨著以主事即補

985 明保候選主事鮑祖恩

旨著交軍機處存記

986 京察二等補行引

見

昌陵禮部贊禮郎裕林

殊○旨著照舊供職

987 京察二等補行引

見

昌陵禮部贊禮郎裕林

旨著原品休致

988 軍機大臣 字寄

升任山東巡撫李 光緒二十三年十月十九

日奉

上諭有人奏山東文登縣劣紳邵依仁等鑽營知縣

李祖年圍佔灘地詭詞捏報竟將有契民地充數

勒買請飭查辦等語著李秉衡確切查明如有前

項情弊即行從嚴叅辦原片著鈔給閱看將此諭

令知之欽此遵

旨寄信前來

989 光緒二十三年十月十九日內閣奉

上諭各省道府等官之賢否向由各該督撫年終出

具密考以憑黜陟廣西思恩府知府周天霖前據

譚鍾麟奏稱廉明誠篤處事安詳史念祖奏稱聲

名平常操守難信督撫考語大相懸殊該知府在

思恩府任內官聲政蹟究竟若何著黃槐森許振

禕確切查明據實覆奏毋得稍有徇徇欽此

990 本日翰林院侍講學士濟澂奏牙行奸商纏訟

有礙稅課請

飭妥定章程摺查此案本年七月間據巡視西城御

史恩順等奏已奉明發

諭旨令順天府查明辦理此摺奉

旨存又奏山東文登縣劣紳邵依仁等捏報灘地片

奉寄信

諭旨令李秉衡查明叅辦謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

十月十九日

991 前廣西思恩府知府周天霖

旨著仍以知府用

992 前廣西思恩府知府周天霖

旨著以簡缺知府用

993 前廣西思恩府知府周天霖

旨著以同知用

994 光緒二十三年十月二十一日內閣奉

上諭現在天氣漸寒所有食餉之間散宗室覺羅人等生計維艱殊深軫念著加恩賞給一月錢糧其宗室覺羅孤寡除有恩賞錢糧外著再加賞半月錢糧以示體恤欽此

995 光緒二十三年十月二十一日內閣奉

上諭現在天氣漸寒京師兵丁當差勤苦殊深軫念所有八旗及綠步各營官兵均著加恩賞給半月錢糧以示體恤欽此

996 查本月十六日據稽察入關時刻御史秀林等

奏順天武鄉試外廉官汪贊綸逾時尚未入關當經奉

旨著該部查明辦理茲准工部文稱轉准至公堂移會主事汪贊綸實因聽

宣後馳赴貢院中途馬驚以致受傷仍力疾於酉初入關等情查該主事既經入關理合據咨具奏

997 軍機大臣 字寄

成都將軍兼署四川總督恭 光緒二十三年

十月二十二日奉

上諭恭壽奏善度川省邊務事宜一摺覽奏均悉德爾格忒土司一事已電諭文海毋庸集訊該土司母子兄弟自可毋庸令其在打箭爐聽候應如何妥籌辦結即著恭壽悉心經理張繼應查各節亦著恭壽查訊已塘三巖兩案均著酌覈情形妥辦贍對一案將來若何結束應俟文海抵藏會商訖欽後再行會同具奏請旨定奪將此諭令知之

欽此遵
旨寄信前來

998 光緒二十三年十月二十二日內閣奉
上諭山東泰安府知府員缺著盧昌詒補授欽此

999 查山東泰安府知府係衝繁難要缺謹
奏

1000 光緒二十三年十月二十二日奉
旨依議欽此

字人府奏進解之近支上通

旨議核辦

黃面紅裏

1001 軍機大臣 字寄

福州將軍 直隸兩江湖廣閩浙兩廣四川各
總督 江蘇安徽江西浙江湖北湖南河南山東山
西廣東各巡撫 傳諭粵海關淮安關各監督
光緒二十三年十月二十二日奉

上諭戶部奏請催解京餉一摺本年京餉原撥續撥
共銀八百萬兩截至九月底止除劃撥截留解到
報解起程等款外尚欠解銀二百四十七萬一千
二百餘兩現在部庫存項十分支絀一切放款為
數甚鉅所有各省關欠解京餉亟應全數報解以
濟要需著各該將軍督撫監督等各將欠解銀兩
迅即照數依限解部統於年內掃數解齊儻敢諉
卸拖欠即由戶部指名嚴叅原單著鈔給閱看將
此由五百里諭知福州將軍直隸兩江湖廣閩浙
兩廣四川各總督江蘇安徽江西浙江湖北湖南
河南山東山西廣東各巡撫並傳諭粵海關淮安
關各監督知之欽此遵

旨寄信前來

1002 軍機大臣 字寄

福州將軍 直隸兩江湖廣閩浙兩廣四川江
蘇安徽江西浙江湖北湖南河南山東山西廣
東各督撫 傳諭粵海關淮安關各監督
光緒二十三年十月二十三日奉

上諭戶部奏豫撥來年京餉一摺歷屆京餉均係年前豫撥光緒二十四年京餉該部擬在地丁鹽課等款內指撥銀七百萬兩請飭各該省關於來年分批起解等語京餉關係要現經該部就各省關情形酌量指撥自應遵照奏定數目源源報解以應要需著該將軍督撫監督等務於接到部文後分批趕解限於來年五月前解到一半十二月初間全數解清不准截留改撥藉詞延誤儻屆期不到即著該部照奏定章程指名嚴叅原單著鈔給閱看另片奏光緒二十四年內務府經費擬撥鹽課茶稅等款共銀六十萬兩請飭依限完解等語除內務府應還部庫墊放銀四萬六千六百餘兩應由指撥九江開常稅款內勻解部庫外下餘銀五十五萬三千三百餘兩著該將軍督撫監督等務於來年開印後陸續徑解內務府交納仍限六月前解到一半十二月初間掃數解清不准稍有蒂欠原片單並著鈔給閱看將此由五百里諭知福州將軍直隸兩江湖廣閩浙兩廣四川江蘇安徽江西浙江湖北湖南山東山西廣東各督撫

並傳諭粵海關淮安關各監督知之欽此遵
旨寄信前來

1003 軍機大臣 字寄

福州將軍 兩江湖廣閩浙兩廣江蘇安徽江西浙江湖北廣東各督撫 傳諭粵海關監督
光緒二十三年十月二十三日奏

上諭戶部奏豫撥籌備餉需一摺據稱戊戌年籌備餉需共指撥銀二百萬兩請飭依限報解等語此項餉銀關係要著該將軍督撫監督等按照指撥銀數於來年四月前解到一半十月內全數解清毋稍遲逾餘依議原摺單均著鈔給閱看將此由四百里諭知福州將軍兩江湖廣閩浙兩廣江蘇安徽江西浙江湖北廣東各督撫並傳諭粵海關監督知之欽此遵
旨寄信前來

1004 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨山東巡撫張汝梅著於本月二十四日請訓欽

此相應傳知

貴部迅即轉傳欽遵可也此交

十月二十三日

1005 本日侍講王榮商奏請優給在京大員養廉摺

又奏請停捐知縣片均奉

旨存謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

1006 貴州運鉛委員候補同知謝廷佐

硃 ○旨著該部照例給獎

1007 交總理各國事務衙門本日順天府府尹胡燏

棻奏鐵路車頭請照官物免稅等語奉

旨總理各國事務衙門議奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

計黏鈔片二件

十月二十四日

1008 交兵部本日引

見拔補千總擬陪之把總王吉士拔補把總擬陪之

外委魯昇均奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

十月二十四日

1009 交順天府府尹胡 本日

貴府尹奏開用督辦山海關內外鐵路關防日

期摺奉

旨知道了欽此又奏鐵路車頭請照官物免稅片奉

旨總理各國事務衙門議奏欽此相應傳知

貴府尹查照可也此交

十月二十四日

1010 本日順天府府尹胡燏棻奏開用督辦山海關

內外鐵路關防日期摺奉

旨知道了又奏鐵路車頭請照官物免稅片奉

旨總理各國事務衙門奏謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

十月二十四日

1011 光緒二十三年十月二十五日內閣奉

上諭陝西同州府知府員缺著胡湘林補授欽此

1012 查陝西同州府知府係衝繁難要缺謹

奏

1013 光緒二十三年十月二十六日內閣奉

上諭長萃李端棻奏全漕告竣請將出力員弁獎勵一摺本年江蘇等省海運河運漕白糧米豆石先後抵通經長萃等督率坐糧廳等驗收完竣辦理均無貽誤長萃李端棻並升任侍郎廖壽恆均著交部議敘所保出力各員均著該部議奏單三件併發欽此

1014 光緒二十三年十月二十六日內閣奉

上諭王文韶奏查明開州等州縣災歉情形請分別蠲緩糧賦一摺直隸開州東明長垣三州縣濱臨黃河村莊本年秋禾被水災歉若將應徵糧賦照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有開州武祥屯等三十六村成災八分白瑤集等三十村成災五分毛家莊等二十四村歉收四分蘭寨等十二村歉收三分東明縣高尚寨等七十村成災七分馬集等二十九村成災六分高堙等十九村成災五分雙井等七村歉收四分長垣縣任雙祿等一百十四村成災八分溫寨等七十村成災五分尾油房等十村歉收四分蔣油房等二百四村歉收三分以上各州縣成災五六分村莊應徵本年錢糧著蠲免十分之一成災七分村莊應徵本年錢糧著蠲免十分之二成災八分村莊應徵本年錢糧著蠲免十分之四其成災五六七分村莊蠲剩錢糧著緩至光緒二十四年秋後起分作二年帶徵成災八分村莊蠲剩錢糧著緩至二十四

年秋後起分作三年帶做如有未被災以前花戶長完銀兩准抵下年正賦又各災村應完節年錢糧數收四分村莊應完本年節年錢糧並數收三分村莊應完節年錢糧均著緩至光緒二十四年秋後啟做其出借倉穀等項著一體緩做並分別減免差徭以節民力餘著照所議辦理該督卽刊刻騰黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1015 光緒二十三年十月二十六日內閣奉

上諭王文韶奏查明秋禾被災較重州縣懇恩蠲豁糧租一摺直隸武清等各州縣地方夏秋大雨河流漫決並有被潮被蟲被雹之處灾情甚重若將應徵錢糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有武清縣九河印子等七十六村成災九分張四莊等四十一村成災七分五八里莊等二十六村成災五分牛鎮等六十三村數收四分四戶等四十四村數收三分寶坻縣普賢坨等四十九村成災十分中家莊等五十村成災八分楊木莊

等九村成災五分石橋莊等二十九村數收四分駱家莊等一百三村數收三分薊州白龍港等二村成災八分青淀莊等八村成災七分柳子等十一村成災六分小朱莊等二十一村成災五分肖莊子等二十七村數收四分塔兒莊等十四村數收三分霸州水大汪莊等十三村成災八分策城鎮等七村成災六分下賈莊等五村成災五分許家鋪等二村數收四分文安縣康黃鋪等二十五村成災九分高家頭等二十七村成災八分徐黃鋪等十六村成災六分張石槽等二十村成災五楊里東莊等二十七村數收四分小京頭等四十四村數收三分大成縣娘娘莊等十一村成災東白洋等十六村成災五分西空城等三十四村數收四分九間房等十一村數收三分東安縣褚河港一村成災八分龍門莊等九村數收四分辛店等十三村數收三分大興縣岳家務等十六村成災六分前大營等三十四村成災五分北頓堡等九村數收四分宛平縣天宮院等二十五村成

灾六分東中堡等十四村成灾五分西中堡等十二村歉收四分昌黎縣少佛林一村成灾七分陳家林一村成灾六分東安縣大小寨等三十四村成灾六分北青村等三十五村成灾五分南鴻村等六十二村歉收四分煎鹽窩等四十二村歉收三分高陽縣雍城一村成灾九分良村等二村成灾八分何家莊等六村成灾七分魏家莊等七村成灾六分博士莊等四村成灾五分小關等三村歉收四分梅果莊等二村歉收三分獻縣大章等五十三村成灾七分參軍鎮等九村歉收四分天津縣孟家莊等二十四村成灾八分劉快莊等十三村成灾七分高興埠等三十村成灾六分歡地等十四村成灾五分陳家溝等三十五村歉收四分于明莊等二十一村歉收三分靜海縣水高莊等十一村成灾七分洋菜港等三十四村成灾六分第三堡等二十四村成灾五分關裏村等四十三村歉收四分三呼莊等二十四村歉收三分饒陽縣東尹村等十七村成灾六分小邵村等四十四村成灾五分小宋各莊等三村歉收四分以上

十六州縣成灾五七七八九十分村莊應徵本年下忙地丁錢糧各項旗租均著一律豁免其應徵屯未穀豆草束竈課學租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租白照民地蠲豁者均著一併豁免如有未被以前花戶長完銀兩准其抵作下年正賦其本年上半年兵欠及節年未完糧租並向不蠲豁之本年節年兵部馬館租鑾儀衛租永濟庫租代徵租暨出借倉穀籽種口糧牛具等項均著緩至光緒二十四年秋後啟徵成灾五分村莊應徵本年地丁錢糧仍著照例蠲免十分之一蠲贖之項自光緒二十四年秋後起分作二年帶徵其未完節年地丁錢糧各項旗租暨例無蠲免之本年各項旗租並歉收四分村莊應徵本年節年地丁錢糧各項旗租歉收三分村莊應徵節年地丁錢糧各項旗租均著緩至光緒二十四年秋後起徵其應徵屯米穀豆草束竈課學租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租均照民地之例分別蠲緩帶徵其有出借倉穀籽種口糧牛具

等項及兵部馬館租鑾儀衛租永濟庫租代徵租著一體緩至光緒二十四年秋後啟徵並分別減免差徭又大城縣成熟村莊今歲雖獲有秋惟因連年饑民困未蘇著將節年民欠錢糧緩至光緒二十四年麥後啟徵以紓民力餘著照所議辦理該督卽刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1016 光緒二十三年十月二十六日內閣奉

上諭王文韶奏查明本年秋禾被水災歉較輕州縣懇恩蠲緩糧租一摺本年順天直隸各屬被水災歉本日業經明降諭旨將災重各地方糧租分別蠲免其被災較輕各州縣收成歉簿若將應徵地丁錢糧等項照舊徵收民力實有未遑加恩著照所請所有樂亭縣倉上營等九村成災五分公管營等五十三村歉收四分高莊等一百十七村歉收三分清苑縣劉家口等七村成災五分田蒿村等二十六村歉收四分納賢村等八村歉收三分永年縣南張莊一村成災五分南胡賈等七村歉

收四分深州馮家營等十村成災五分得勝營等四村歉收四分小北斗等六村歉收三分以上四州縣成災五分村莊應徵本年地丁錢糧著照例蠲免十分之一如有未被災以前花戶長完之項准抵下年正賦蠲贖之項自光緒二十四年秋後起分作二年帶徵其未完節年地丁錢糧及例無蠲免之本節年旗租同歉收四分村莊應徵本節年一地丁錢糧各項旗租並歉收三分村莊應徵節年地丁錢糧各項旗租均著緩至光緒二十四年秋後啟徵凡有應徵屯米穀豆草束電學租旗產錢糧及海防費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租均照民地之例分別蠲緩帶徵其有出借倉穀籽糧口糧牛具暨兵部馬館租鑾儀衛租代徵租均著一體緩至光緒二十四年秋後啟徵並分別減免差徭通州梁各莊等二十一村歉收四分馬莊等四十村歉收三分三河縣錢公莊等二村歉收四分榮各馬房莊等四村歉收三分香河縣牛際河等二十二村歉收四分前彭務等五十八村歉收三分甯河縣潘莊等十二村歉

收四分南淮魚淀等三十三村款收三分保定縣
崔家莊等三村款收四分順義縣下營村等十一
村款收四分新莊戶等七村款收三分深州王家
法寶等三十二村款收四分太平莊等一百二十
七村款收三分安肅縣大辛莊等三村款收三分
雄縣孫家莊等五村款收三分任邱縣白家莊等
十一村款收三分青縣南馬家莊等十二村款收
四分小黃窪等十七村款收三分滄州李官莊等
四十五村款收四分大閻鎮臺莊等五十二村款
收三分南皮縣湯老莊等十四村款收四分姚九
撥等十七村款收三分鹽山縣西和樂莊等八村
款收四分彭家莊等二十二村款收三分雞澤縣
東柳村等五村款收四分大韓固營等六村款收
三分大名縣江家莊等二十村款收三分蔚州羊
園堡等七村款收四分龍門縣大小倉堡等三村
款收四分鴨鴨堡等二村款收三分玉田縣倪家
莊十村款收四分小呂家莊等八村款收三分武
強縣邵北邵什等八村款收四分張沙窪等十四

村款收三分以上二十州縣款收四分村莊應徵
本節年地丁錢糧各項旗租款收三分村莊應徵
節年地丁錢糧各項旗租並屯米穀豆草束電課
學租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉
廣恩庫租通津二幫屯租兵部馬館租鑾儀衛租
代徵租並出借倉穀籽種口糧牛具等項均著一
體緩光緒二十四年奉後啟徵並減免差徭以紓
民力餘著照所議辦理該督即刊刻謄黃徧行曉
諭務使實惠均霑任吏胥舞弊用副軫念民艱至
意該部知道欽此

1017 軍機大臣 字寄

湖廣總督張 湖北巡撫譚 光緒二十三年
十月二十七日奉

上諭給事中高燮曾奏湖北潛江縣屬唐心口隄工
關係數州縣田廬本年漢水漫溢其故由於興工
太遲請飭迅速堵築等語此項隄工據奏關係緊
要即著張之洞譚繼洵酌度情形趕緊堵築原片
著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵
旨寄信前來

1018 本日出使大臣張蔭桓奏保舉隨帶人員摺單

一件奉

旨依議又奏道員梁誠請發洋務省分補用片奉

旨依議又奏章京瑞良等懇

恩獎勵片奉

旨瑞良顧肇新均著交軍機處存記遇有海關道員

缺出請

旨簡放又奏稅務司金登幹請

賞給寶星片奉

旨依議給事中高燮曾奏德國垂涎膠澳不宜輕許

摺奉

旨存又奏內務府等衙門承辦

慶典請將出力各員酌予

封典片奉

旨存又奏湖北潛江縣堤工請

飭迅速堵築片奉寄信

諭旨令張之洞等趕緊堵築謹將原摺片單恭呈

慈覽謹

奏

十月二十七日

1019 交出使大臣張本日

貴大臣具奏酌保隨帶人員摺單一件又奏道

員梁誠請發往沿江沿海洋務省分補用並

賞加二品頂戴片又奏稅務司金登幹請

賞給寶星片均奉

旨依議欽此又奏郎中瑞良顧肇新請獎勵片奉

旨瑞良顧肇新均著交軍機處存記遇有海關道員

缺出請旨簡放欽此相應傳知

貴大臣欽遵可也此交

十月二十七日

1020 光緒二十三年十月二十九日奉

旨依議欽此

工部奏請由部撥給備辦練明銀兩摺

黃西紅表

1021 光緒二十三年十月二十九日奉

旨依議欽此

工部奏請由部撥給銀兩片

黃西紅表

1022

光緒二十三年十月二十九日奉

旨准其酌保欽此

內務府奏遵軍營保卷各員應否獎卹摺

黃面紅裏

1023

光緒二十三年十月二十九日奉

旨著戶部如數籌撥欽此

岑儀制奏請由戶部并撥銀兩摺

黃面紅裏

1024 光緒二十三年十一月初一日奉
旨依議欽此

慶親王奏遵保輪船電燈公所人員摺

1025 光緒二十三年十一月初一日奉
旨永隆等三員均著交部從優議欽此

慶親王奏副都統永隆等應如何獎勵片

1026 光緒二十三年十一月初一日奉
旨依議欽此

禮部奏遵保恭辦 慶辰典禮人員摺

1027 光緒二十三年十一月初一日奉
旨依議欽此

工部奏恭辦 線殿人員請獎摺

1028 光緒二十三年十一月初一日奉
旨依議欽此

工部奏即中何乃堂請優獎片

1029 光緒二十三年十一月初一日奉
旨依議欽此

頤和園奏遵保恭辦 慶辰典禮人員摺

1030 光緒二十三年十一月初一日奉
旨依議欽此

內務府奏遵保恭辦 慶辰典禮人員摺

1031 光緒二十三年十一月初一日奉
旨莊山著賞給蟒袍一件交部從優議欽此

內務府奏堂郎中莊山應如何獎勵片

1032 光緒二十三年十一月初一日奉
旨依議欽此

上駟院奏遵保恭辦 慶辰典禮人員摺

1033 光緒二十三年十一月初一日奉
旨依議欽此

御茶膳房奏遵保恭辦 慶辰典禮人員摺

1034 軍機大臣 字寄

成都將軍兼署四川總督恭 駐藏辦事大臣文

光緒二十三年十一月初三日奉

上諭文海奏德爾格忒土司一案先行擬結並安插土司情形及麻書孔撒兩土司雖有不服毋庸示威又查明張繼前後辦事實情各摺片據稱德爾格忒土司一案現經訊結並派員護送該土司回籍朱窩章谷瞻對三處均不必改土歸流請照懋功五屯章程設立屯員分派委員王耀南等前往經理其事並擬將德格瞻對兩處勇丁撤回各等語所奏籌辦各節持論均屬平允即可照此辦法完結著恭壽再行悉心體察定議具奏俟該署督覆奏到日再降諭旨至所奏張繼辦理德裕一案未免輕率其辦理瞻對勞績亦不可沒請將該員德格案內保獎撤銷免其再議之處著照所請行文海摺片四件均著鈔給恭壽閱看文海入藏後接見達賴務當宣布朝廷德意善為操縱並將應辦事宜隨時知照恭壽會商妥辦期臻盡善將此由四百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1035 光緒二十三年十一月初三日內閣奉

上諭奎俊著補授江蘇巡撫欽此

1036 奉

旨除張慈考業經病故張巨妮暫行扣除外陳濟滢係外委火器誤殺旁人例實惟該犯因奉派巡查禁米出口見有米船停泊疑係違禁私運稱欲帶回訊明被斥生氣起釁事屬因公與因別故鬪毆擅放烏鎗誤斃人命者不同情稍可原侯在汕係謀殺姦拐人妻匪徒該部查辦減等時因該犯並無應捕之責擬以不准援免惟該犯因查知拐情勸令送回不允復甞者用言嚇制忿激起意謀殺較尋常挾恨謀命之案衡情稍有可原王氏係因姦致夫被謀殺該部查辦減等時擬以不准援免惟該氏事前並不知情事後查知即向夫弟告稱被姦夫架擡無蹤因而破案尚與德姦忌仇者不同情稍可原葉氏係因姦致翁被殺例實惟該氏見翁受傷即行喊救並向伊夫哭訴將姦夫指獲尚有不忍致死其翁之心情稍可原均著免勾餘

均著照所擬欽此

十月二十七日

見面帶上十一月初三日同安徽

等省黃册

發下由堂交內閣

1037 奉

旨除張慈喙業經病故張巨妮暫行扣除外陳濟澧係外委火器誤殺旁人侯在汕係獲竊人妻匪徒王氏係因姦致夫被謀殺葉氏係因姦致翁被殺均著予勾餘均照所擬欽此

十月二十七日

見面帶上未

發下

1038 奉

旨除張慈喙業經病故外陳濟澧係外委火器誤殺旁人例實惟該犯因奉派巡查禁米出口見有米船停泊疑係違禁私運稱欲帶回訊明被斥生氣起釁事屬因公與因別故關毆擅放烏鎗誤斃人命者不同情稍可原侯在汕係謀殺姦拐人妻匪徒

該部查辦減等時因該犯並無應捕之責擬以不

准援免惟該犯因查知拐情勒令送回不允復被

死者用言嚇制忿激起意謀殺較尋常挾恨謀命

之業衡情稍有可原王氏係因姦致夫被謀殺該

部查辦減等時擬以不准援免惟該氏事前並不

知情事後查知即向夫弟告稱被姦夫架擡無蹤

因而破業尚與總姦忘仇者不同情稍可原葉氏

係因姦致翁被殺例實惟該氏見翁受傷即行喊

救並向伊夫哭訴將姦夫指獲尚有不忍致死其

翁之心情稍可原均著免勾餘均著照所擬欽此

十月二十五日

見面帶上未

發下

1039 奉

旨除張慈喙業經病故外陳濟澧係外委火器誤殺旁人侯在汕係謀殺姦拐人妻匪徒王氏係因姦致夫被謀殺葉氏係因姦致翁被殺均著予勾餘均照所擬欽此

十月二十五日

見面帶上未
發下

1040 奉

旨陳濟滢係外委火器誤殺旁人例實惟該犯因奉
派巡查禁米出口見有米船停泊疑係違禁私運
稱欲帶回訊明被斥生氣起釁事屬因公與因別
故鬪毆擅放鳥鎗誤斃人命者不同情稍可原候
在汕係謀殺姦拐人妻匪徒該部查辦減等時因
該犯並無應捕之責擬以不准援免惟該犯因查
知拐情勸令送回不允復被死者用言嚇制忿激
起意謀殺較尋常挾恨謀命案衡情稍有可原王
氏係因姦致夫被謀殺該部查辦減等時擬以不
准援免惟該氏事前並不知情事後查知即向夫
弟告稱被姦夫架擡無蹤因而破案尚與懲姦忘
仇者不同情稍可原葉氏係因姦致翁被殺例實
惟該氏見翁受傷即行喊救並向伊夫哭訴將姦
夫指獲尚有不忍致死其翁之心情稍可原均著
免勾餘均照所擬欽此

九月二十二日同安徽等省黃冊

見面帶上未
發下

1041 奉

旨陳濟滢係外委火器誤殺旁人候在汕係謀殺姦
拐人妻匪徒王氏係因姦致夫被謀殺葉氏係因
姦致翁被殺均著予勾餘均著照所擬欽此

九月二十二日同安徽等省黃冊
見面帶上未

發下

1042 光緒二十三年安徽省秋審常犯情實朱小毛

等七起人犯七名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯朱小毛

聽從圖財謀命雖未加功業已得財法無可寬是

以勾決

一起斬犯韓開淋

挾恨謀命復另斃一命法無可寬是以勾決

一起斬犯丁義寬

賭匪逞恣故殺賭匪法無可寬是以勾決

一起斬犯宋長善

挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯鞏得然

因姦同謀殺死本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯張尿胡即張繼甚

聽從搶奪拒斃事主幫毆刃傷情殊兇暴是以勾決

一起絞犯胡克言

謀殺大功弟情殊殘忍是以勾決

光緒二十三年江蘇省秋審官犯陳濟滢一起

人犯一名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯陳濟滢

係外委火器誤殺旁人因奉派巡查禁米出口見有米船停泊疑係違禁私運稱欲帶回訊明被斥起釁事屬因公與因別故關毆擅放烏鎗誤斃人命者不同情稍可原是以未勾

光緒二十三年江蘇省秋審服制情實沈孟佺

等七起人犯七名口內除舊事服制情實司得

立王淦樺徐得按業於上年

免勾時開列榜示外所有新事服制情實沈孟佺等

四起人犯四名口謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯沈孟佺

因胞兄沈孟柳素好游蕩不服其父沈潮濼管教嗣沈潮濼與該犯及施得棿在屋食瓜沈孟柳由外回歸揭開鍋蓋見鍋內無飯即行吵鬧沈潮濼向斥沈孟柳用鍋蓋向沈潮濼擲毆沈潮濼氣忿用刀回擲落地沈孟柳拾刀向沈潮濼撲砍該犯將刀奪下沈潮濼氣極央令施得棿幫同該犯將沈孟柳致死該犯等勸解沈潮濼不依該犯無奈同施得棿將其按地用刀向頭上連砍兩下沈孟柳滾罵聲言欲與沈潮濼拚命沈潮濼喝令該犯速將沈孟柳致死該犯跪求寬免沈潮濼言不將沈孟柳致死不如自己先死向伊奪刀欲得自刎

該犯情急用刀向沈孟柳連砍數下先後致傷其顛門左耳輪腦後當即殞命死者罪犯應死砍由迫於父命尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾一起絞婦張氏

與夫祁潮罕素睦祁潮罕族弟祁潮剝往向祁潮罕借錢適祁潮罕外出當向該氏借去錢文祁潮罕回歸該氏即向告知嗣祁潮罕因有急零該氏往向索討祁潮剝央緩該氏折回祁潮罕不依辱罵該氏忿辯祁潮罕用木棍向毆該氏用手架格致指甲誤抓傷其右腮朕經人勸散祁潮罕聲言家事由婦女作主要伊何用不如辱死該氏以為氣言未經理會詎祁潮罕氣忿莫釋乘間自縊殞命釁起口角致夫自盡尚無逼迫情狀情稍可原是以未勾

一起斬犯趙淮

因借欠降服大功姊夫叔支廷仁錢文未償嗣該犯赴支廷仁家看壁支廷仁向索前欠央緩不允致相罵詈支廷仁撲毆該犯取刀截向支廷仁右腿支廷仁揪住伊髮辯擒毆該犯情急用刀向截

支廷仁閃避適趙氏從支廷仁身旁趕攏拉勸該犯收手不及致誤傷趙氏產門倒地移時殞命傷由誤中死出不虞尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起絞犯王得根

與胞伯王登幅素睦該犯因戴金壽向伊索欠央緩不允致相罵詈戴金壽用鐵叉向截該犯用木棍抵格適王登幅趕往攔勸該犯收手不及致誤傷其右手腕撞跌倒地王登幅之妻張氏將其扶回醫治王登幅以老來被姪誤傷跌地無顏為人不如速死之言向張氏告述張氏勸慰詎王登幅氣忿莫釋潛行吞服洋煙毒發殞命由於誤死係自行服毒尚無逼迫情狀情稍可原是以未勾

光緒二十三年江蘇省秋審常犯情實葛小連仔等二十四起人犯二十九名口內除舊事常犯情實尹兆詳胡懋徐岳萌殷阿虎殷阿五趙齊蟾四起人犯六名業於十七年並十八年及二十一年

免勾時開列榜示外所有新事常犯情實葛小連仔
等二十起人犯二十三名口謹將
勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯葛小連仔絞犯葛淋淋

圖財害命未得財葛小連仔造意葛淋淋聽從下
手加功均法無可寬是以俱勾決

一起斬犯轟四均

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯于開玲

竊匪聽從謀斃竊匪下手加功法無可寬是以勾決

一起絞犯周城即周有悳

聽從盜犯謀殺眼線下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯嚴滙生

鹽巡疑私槍斃二命法無可寬是以勾決

一起斬犯侯在汕

係謀殺姦拐人妻匪徒因查知拐情勸令送回不
允復被死者用言嚇制忿激起意謀殺較尋常挾
恨謀命之案情稍可原是以未勾

一起斬犯沈氏絞犯陸阿汰胡阿棟

謀斃人命沈氏造意陸阿汰因姦胡阿棟貪賄均
下手加功法無可寬是以俱勾決

一起斬犯吳有得

因姦謀殺縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯張老四

聽從行劫入室擦贓多次業因供獲首夥各盜免
其立決法難再寬是以勾決

一起絞婦王氏

因姦致夫被謀殺事前並不知情事後查知即向
夫弟告稱被姦夫架撞無蹤因而破案尚與姦
忘仇者不同情稍可原是以未勾

一起斬犯邊時慈即邊六

竊盜臨時喝令行強業因供護夥盜免其立法
難再寬是以勾決

一起絞犯隈田

聽從聚眾搶奪良婦已成入室幫同架拉法無可
寬是以勾決

一起斬犯范益余

拐匪挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯袁永浚

挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯陸懋仔即陸道沅

姦匪妬姦謀斃姦匪淫兇難寬是以勾決

一起絞犯何傳禾

因姦聽從謀斃姦婦之子下手加功淫兇難寬是

以勾決

一起絞婦蔣氏

挾恨謀斃夫前妻之子致夫絕嗣情殊殘忍是以

勾決

一起斬犯徐其即徐提

挾忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯孫阿竹

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起絞犯徐茂著

因姦故殺妻命情殊殘忍是以勾決

光緒二十三年河南省秋審服制情實孫濛等

四起人犯四名內除舊事服制情實張心恆一

起一名業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實孫濛等三

起人犯三名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯孫濛

與小功兄孫澱華素睦該犯之父孫大生在門首

擺賣雜貨孫澱華斥說占其地界孫大生分辯致

相罵詈孫澱華將孫大生推跌倒地用手擒按拔

刀欲砍孫大生喊救該犯聞聲趕出瞥見情急拔

刀嚇札適傷其右脇倒地移時殞命札由救父情

切尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起絞犯王汰浚

因圖種繼母盧氏養贍地畝託弟王聚婉說王聚

不允問斤分辯該犯揪扭盧氏喝阻該犯不理將

王聚推跌倒地盧氏嚷罵該犯畏懼走避經鄰人

劉杏查問盧氏告知前情並以該犯不聽教訓不如

早死之言向吉劉杏勸慰各散詎盧氏氣忿莫釋

乘間自縊殞命違犯教令致繼母自盡尚無觸忤

重情稍可原是以未勾

一起斬犯楊榜

與小功兄楊拴素睦該犯之父楊石礮與楊拴均充該村會首嗣楊石礮在廟辦會楊拴前往算賬怨說用錢過多致相罵詈楊石礮將其掌責未傷楊拴取刀楊石礮走出廟外滑倒在地楊拴追及舉刀欲砍楊石礮喊救該犯瞥見情切救護攜木棍嚇毆適傷其顛門倒地移時殞命毆由救父情切尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

光緒二十三年省秋審常犯情實程棟忙兒

等八起人犯九名口內除舊事常犯情實謝水

心一起人犯一名業於十七年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實程棟忙兒

等七起人犯八名口

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯程棟忙兒

致斃逾七族祖全刃傷多且重情殊欺凌是以勾決

一起絞婦柳氏絞犯孔丑兒

均聽從謀命下手加功法無可寬是以傷決

一起斬犯孫六七則

強姦十歲幼女已成淫惡難寬是以勾決

一起斬犯呂濇潮

因姦商同姦婦謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯梁財即尚才

聽從聚眾搶奪婦女已成雖未入室架拉惟案關

首夥犯拒斃事主等二名情節較重法無可寬是

以勾決

一起斬犯武十沅

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯胡掌親

姦匪刃斃姦婦傷多且重淫兇難寬是以勾決

光緒二十三年河南省秋審常犯情實崔馬即

崔振蘭等十起人犯十名內除舊事常犯情實

焦國棟一起一名業於十八年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實崔馬即在

振蘭等九起人犯九名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯崔馬即崔振蘭

圖姦未成搶斃本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯閻荃鈺即閻勞三

聽從搶奪拒斃事主幫毆刃傷法無可寬是以勾決

一起斬犯劉沅

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯白滄

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞婦葉氏

因姦致翁被殺惟該氏見翁受傷即行喊救並向

伊夫哭訴將姦夫指獲尚有不忍致死其翁之心

情稍可原是以未勾

一起斬犯郝槐即郝久維

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯王終得

竊盜臨時行強目擊伙犯拒斃事主業因自首免

其立決法難再寬是以勾決

一起斬犯呂凡

竊盜拒捕致斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯張會成

木器殺人法無可寬是以勾決

1043 文戶部本日劉坤一奎俊電奏江蘇宿遷邳州

等處被災請將本年江北河運漕米三萬石截

留賑撫等語軍機大臣面奉

諭旨戶部速議具奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

計粘鈔電奏一件
十一月初四日

1044 光緒二十三年十一月初四日奉

旨著毋庸議欽此

吏部奏江蘇候補道杜俞等保舉不符應否覈議摺

1045 直隸州用升用知縣直隸懷來縣教諭王煜

硃。旨著以知縣用

1046 前山西蒲州府知府清樸
硃。旨著以同知用

1047 前山西蒲州府知府清樸
旨著以簡缺知府用

1048 前山西蒲州府知府清樸
旨著仍以知府用

1049 監生駱懋勳
旨著以主事用

1050 監生駱懋勳
旨著以光祿寺署正用

摺
旨片均未
硃園奉
旨以同知用另有文片

1051 交吏部本日引
見之監生駱懋勳奉

旨著以同知用欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此文

十一月初四日

1052 光緒二十三年十一月初五日內閣奉

上諭前據御史宋伯魯奏中城地面商人王遠來賈
鈺楨被毒身死一案該城正指揮沈壩等有商同
諱匿捏供詳報情事當交刑部提案訊究旋據給
事中丁之斌等奏刑部承審參案濫行株累復經
添派都察院堂官會同刑部研訊茲據裕德等訊
明覆奏此案王遠來賈鈺楨據屍親供稱均係被
煤燻死並無異詞張仲忻被參受賄勒結一節查
無其事該御史未經送部徑行審結係遵照臺規
辦理尚無不合宋伯魯係得自風聞亦無挾嫌情
事刑部司員承審此案因前後供詞不符是以用
刑均著無庸置議中城正指揮沈壩雖無與屍親
等商同諱匿各情惟既經該城御史批駁未請別
城會驗究屬疏忽著交部議處欽此

1053

本日都察院會同刑部奏審明商人王遠來等身死案擬結摺奉明發

諭旨一道謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

1054

光緒二十三年十一月初五日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏遵保古營獲盜尤為出力員

弁懇恩獎勵一摺著兵部議奏欽此

1055

光緒二十三年十一月初五日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲疊次持械搶劫之鄰境盜犯請交部審辦一摺所有拏獲之大陳即陳名奎楊二即楊汶滙小楊仔即楊坤山王戎即王四

王二即王瘡巴尹六田五劉三李二即李俊仔王

得元即王安元樊思溫李二禿仔郭興即郭桂等

十三名著交刑部嚴行審訊按律懲辦未獲之周

三賈宗汶等犯仍飭嚴緝務獲究辦原摺此案之

文武員弁著俟刑部定案時聲明請旨該衙門知

道欽此

1056

光緒二十三年十一月初五日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏遵保北營獲盜尤為出力員

弁懇恩獎勵一摺著兵部議奏欽此

1057

光緒二十三年十一月初五日奉

旨著歸入緩決欽此

刑部奏太監李長材請歸入緩決片

1058

光緒二十三年十一月初六日內閣奉

上諭巡視北城御史文博等奏遵保拏獲持械搶劫

盜犯之司坊官紳懇恩獎勵並遵駁改獎及請照

原保給獎註冊各摺片著該部議奏單一件片三

件併發欽此

1059

本日巡視北城御史文博等奏遵保獲盜出力

之司坊官紳摺一件單一件並遵駁改獎及請

照原保給獎註冊片三件奉明發

諭旨一道謹將原摺片單恭呈

慈覽謹

奏

1060 光緒二十三年十一月初六日內閣奉

上諭史念祖奏特奏不安本分之道員請旨懲辦等語廣西試用道謝光綺居心巧詐招搖唆事並有自擬劄稿求委要差情事實屬荒謬謝光綺著即行革職驅逐回籍不准逗留該部知道欽此

1061 光緒二十三年十一月初七日內閣奉

上諭史念祖奏知縣徵存錢糧銀米延不解繳請旨拏問監追查封家產備抵一摺廣西已革興安縣知縣卜永春任內已徵未解各年分正雜銀兩存倉米石為數甚鉅屢經勒限嚴催仍未解繳殊屬任意延玩卜永春著即行拏問監追仍提集經手丁書人等訊明是侵是挪分別擬辦並著雲南巡撫將該革員原籍家產查封備抵其廣西寓所資財一併查封餘著照所議辦理該部知道欽此

1062 滿頭班

花翎三品銜候補五品京堂戶部郎中孚琦
三品銜即選道理藩院即補郎中員外郎多壽差

儘先即選道得道員後加三品銜花翎四品銜理藩院即補郎中志模

儘先即選道得道員後加三品銜花翎三品銜兵部郎中惠兆

花翎四品銜理藩院即補員外郎豐陞額

四品銜選用知府戶部員外郎雲騎尉世職慶連

四品銜兵部即補郎中員外郎麟緒

戶部即補員外郎恆斌

內閣即補侍讀英凱

漢頭班

花翎太常寺卿陳邦瑞

三品銜得知府後在任候補道 記名御史吏部員外郎徐圭佳

三品銜道員用工部候補郎中繼昌

三品銜 記名御史工部員外郎王彥威

四品銜戶部候補郎中胡祖謙

花翎三品銜 記名道府選保送應升之缺開列在前禮部郎中郭曾所

三品銜刑部郎中李舜賓

四品銜道員用 記名道府兵部郎中濮子潼

刑部即補員外郎盧震

工部候補主事得缺後以員外郎即補甘大璋 現在告假

四品銜兵部員外郎張嘉猷

戶部即補主事李象寅

滿二班

花翎四品頂戴得四品後以三品京堂候補國子監司業特圖慎

花翎三品銜應升之缺升用 記名道府戶部郎中和爾齊額

三品銜戶部郎中榮需

即選知府補郎中後加三品銜四品銜理藩院員外郎承祐

道員用 記名道府刑部員外郎王貴

記名司業得缺後以四品京堂補用四品銜理藩院員外郎文年

刑部即補郎中英秀

刑部候補主事來秀

內閣候補侍讀先換頂戴貼寫中書桂陰

漢二班

三品銜候補五品京堂刑部員外郎李陰鑾

三品銜得知府後在任候補道 記名繁缺知府吏部郎中王嘉木

三品銜得知府後在任候補道 記名御史吏部郎中孫朝華

三品銜戶部郎中連文冲

四品銜刑部候補郎中郭之全

四品銜得知府後在任候補道 記名御史刑部員外郎郵炳麟

三品銜道員用 記名道府戶部郎中滿汝駿

刑部候補郎中楊壽樞

戶部即補員外郎王事凌福彭

禮部員外郎王慶平

吏部即補員外郎孫筭經

四品銜刑部即補員外郎何葆麟

1063 光緒二十三年十一月初九日內閣奉

上諭上年贍對番官越界滋事當諭令鹿傳霖秉公

查辦以息爭端乃該番官膽敢抗違經鹿傳霖派

兵勦辦並請收回其地原屬咎由自取朝廷因念

該僧番等久受國家深仁厚澤豈竟自外生成惡

鹿傳霖操之過慮未足以折服其心特將鹿傳霖

開缺派恭壽署理督募諭令持平辦理茲據奏稱

當鹿傳霖派兵進剿之時該番官等並非有意抗

拒因見大兵臨境疑懼不敢投案憑案固守鹿傳

霖誤聽帶兵官一面之詞遂謂其叛形昭著是以

有改土歸流之議前據達賴喇嘛在理藩院呈請

賞還地方並覽該署督此次所奏各節是該番官

並無叛逆情形尚屬可信朝廷軫念僧番豈肯以

跡近疑似遽行收回其地所有三贖地方仍著一律賞給達賴喇嘛收管毋庸改土歸流該達賴喇嘛當仰體朝廷覆宥之仁知感知畏力圖自新即著慎選番官嚴加約束毋得再有苛虐時民侵擾鄰境情事致干罪戾其一切善後事宜著恭壽妥為經理以期永遠相安至德爾格忒朱窩章谷巴塘裏塘各案仍著該署督悉心妥籌次第辦結另片所奏鄂克什土司事襲一業現據該署督將土婦釋放並派員前往懋功查辦亦尚中肯即著迅速辦結毋稍遲延欽此

1064 光緒二十三年十一月初十日奉

旨左翼監督著德雲去右翼監督著奕功去欽此

1065 應放左右翼監督之侍郎名單

吏部右侍郎溥善

戶部左侍郎立山

禮部左侍郎莖岫

右侍郎溥頤

兵部左侍郎榮惠

右侍郎文治

刑部右侍郎文琳

工部左侍郎鳳鳴

右侍郎英年

理藩院左侍郎綿宜

右侍郎會章

1066 應放左右翼之副都統名單

芬車

彭壽

官祥

色楞額

恩燾

戴澤

德魁

永隆

奕功

果勒敏

英信 定昌 戴直 明秀 祥普 戴瀾 澧深 敬昌 明惠 舒存 王書 信恪 善著 恩普 廣忠 色普徵額 志鈞 秀吉假 希朗阿假

耆齡

福森布

福珠禮

明安

愛隆

玉璋

吉恆假

鈕楞額

1067 光緒二十三年十一月初十日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲偷刮官廟佛金人犯請
交部審辦一摺所有拏獲之高四侯振明姜成義
郝得林徐二等五名著交刑部審明辦理欽此

1068 光緒二十三年十一月十一日內閣奉

上諭松椿奏霜降安瀾一摺本年伏秋內大雨兼
旬湖河並漲經松椿督飭在工各員將車邏南關
新壩陸續啟放設法搶修現在節逾霜降工穩瀾
安仰賴

神靈默佑實深寅感著發去大藏香十五枝文松
椿祇領敬謹致祭以答
神庥餘著照所議辦理該部知道欽此

1069 光緒二十三年十一月十一日內閣奉

上諭王毓藻奏特參文武不職各員請旨分別降黜
一摺貴州思南府知府保謙昏無能著即行開缺
試用通判施澤廣習慣荒唐著以縣丞降補正安
州知州李上珍獨山州知州伍恩桂縱差毒民署
荔波縣方村縣丞田書文試用州吏目劉樹謙不
知檢束補用副將夏魁元罷軟不振補用副將馬
定邦師行騷擾均著即行革職以肅官方候補知
府吳厚恩陳善藩不惜聲名均著驅逐回籍至摺
內所參餘慶縣知縣劉鈞貪黷無厭其應如何懲
處之處何以漏未聲敘著王毓藻明白回奏餘著
照所議辦理該部知道欽此

1070 光緒二十三年十一月十一日內閣奉

上諭崇歡奏假期屆滿病仍未痊懇請開缺一摺烏
里雅蘇合將軍崇歡著准其開缺回旗欽此

1071 光緒二十三年十一月十一日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏擊獲搶奪看管人犯拆毀官
廳毆傷官員之宗室等請交刑部會同宗人府嚴
訊一摺所有擊獲之宗室戴燁戴霖劉三黑即劉
三夏三即夏清德等四名著交刑部會同宗人府
審明辦理未獲之小常等犯仍飭嚴緝務獲究辦
另片奏輔國公溥釗以族叔戴燁等被官人搶毆
出具門文查詢等語著該衙門歸案一併查辦欽此

1072 軍機大臣 字寄

戶部 直隸兩江閩浙各總督江蘇安徽河
南山東各巡撫 傳諭淮安關監督 光緒二
十三年十一月十二日內閣奉

上諭依克唐阿等奏請飭撥東三省來年的餉並請
催欠餉一摺東三省戊戌年的餉應撥奉天銀二
十六萬兩吉林銀十一萬八千八百五兩零打牲
烏拉銀四萬二千三百五十六兩零黑龍江銀十
九萬三千四百十兩著戶部照數指撥令各該省
督撫等如數籌解毋許遲延並於報解之時分晰

奉天吉林打牲烏拉黑龍江各款目以免牽混其各省欠解東三省本年的餉暨歷年欠餉著各該督撫監督按照單開數目趕緊籌措務於年內掃數解清以濟要需原單均著鈔給閱看將此諭知戶部並由五百里諭知直隸兩江閩浙各總督江蘇安徽河南山東各巡撫暨傳諭淮安關監督知之欽此遵

旨寄信前來

1073 光緒二十三年十一月十三日奉

旨准其揀選承襲欽此

宗人府奏奉恩將軍福寬為故無子等語再行揀選承襲

1074 交總理各國事務衙門本日都察院奏直隸文

生孟士仁遣抱呈訴官袒洋教強奪民田請

飭查辦一摺軍機大臣面奉

諭旨該衙門知道欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

十一月十三日

1075 本日都察院代奏直隸文生孟士仁遣抱呈控官袒洋教奪田戳虐摺奉交片

諭旨該衙門知道謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

1076 光緒二十三年十一月十四日內閣奉

上諭長萃等奏家人勒索花戶牽涉言官據實陳明

一摺據稱本年八九月間太平倉兩次採買還倉

米石拉運出城時有稽查俸申米御史寶安家人

孫二劉二勒索花戶銀兩情事此案現在步軍統

領衙門質訊請飭送部究辦等語所有此案人証

著該衙門解交刑部澈底根究按律懲辦花戶全

緝量一併送部審訊御史寶安著聽候傳質欽此

1077 光緒二十三年十一月十四日內閣奉

上諭廣東高廉欽道員缺著吉順補授欽此

1078 光緒二十三年十一月十四日內閣奉

上諭廣西思恩府知府員缺著成慶補授欽此

1079 查廣東高廉欽道係簡缺廣西思恩府知府係

繁雜要缺謹

奏

1080 光緒二十三年十一月十四日內閣奉

上諭直隸宣化鎮總兵員缺著陳飛熊補授欽此

1081 查直隸宣化鎮總兵係陸路缺謹

奏

1082 光緒二十三年十一月十四日內閣奉

上諭工部奏

東陵應修各工請派員募修一摺著派溥善壽昌敬謹

承修餘著照所議辦理欽此

1083 溥絨

硃。旨著賞給翎支緞疋

旨著賞給緞疋

恆照

○旨著賞給翎支緞疋

旨著賞給緞疋

奕智

○旨著賞給翎支緞疋

旨著賞給緞疋

悅連

○旨著賞給翎支緞疋

旨著賞給緞疋

毓書

○旨著賞給翎支緞疋

旨著賞給緞疋

溥銘

○旨著賞給翎支緞疋

旨著賞給緞疋

1084 本日倉場侍郎長萃等奏言官家人勒索花戶

請究辦摺奉明發

諭旨一道御史管廷獻奏敵欲無厭防禦宜亟摺奉

旨存謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

十一月十四日

1085 奉

旨除于葆清暫行扣除外餘均照所議欽此

十一月初十日

見面帶上十四日

發下由堂文內閣

1086 奉

旨均著照所擬欽此

十月二十七日同山東憲書黃冊

見面帶上未

發下

1087 光緒二十三年山東省秋審服制情實郁存裡

等六起人犯六名口內除舊事服制情實于永

年等四起人犯四名口業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實郁存裡等

二起人犯二名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯郁存裡

與大功兄郁存若無嫌該犯素患瘋病時發時愈

嗣該犯瘋病復發擊鐵球鐵刀在院跳舞郁存若

之子郁魁文走至被該犯用球刀擊砍傷郁魁文

奪刀逃避該犯取木棍追出郁存若攔阻該犯用

棍毆傷其右眉連眼胞並迭毆傷右太陽連右耳

耳根腮頰頰頰倒地該犯之妻李氏喊救被該犯

用石毆傷郁存若當即殞命郁魁文等傷經平復

該犯到案驗係瘋迷覆審供吐明晰毆由瘋發無

知尚非有心干犯情稍可原是以未勾

一起斬犯韓汰送即韓茂森

與大功兄韓長青無嫌該犯之父韓青立將墜地

賣與韓長青為業嗣韓青立欲在地內築墳韓長青不允控州斷結不准築墳嗣韓青立不甘復與韓長青理論致相罵詈韓長青撲毆韓青立用鐵尺向毆韓長青躲避該犯瞥見幫護韓青立喝令毆打該犯接過鐵尺毆傷其右手背右手腕韓長青脚踢該犯毆傷左右膝右脚踝韓長青拚命該犯毆傷其偏右右肘肘韓長青揪住伊髮辮挂按該犯情急用鐵尺連毆傷其右脚腕倒地越二日殞命毆由迫於父命尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

光緒二十三年山東省秋審常犯情實宋遂等二十八起人犯二十九名內除舊事常犯情實劉小洵一起一名業於十九年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實宋遂等二十七起人犯二十八名

勾到時所奉諭旨恭錄於後

一起斬犯宋遂

因姦起意謀斃姦夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯張敬可

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯劉狗

聽從圖財害命雖未加功業已殺人得財法無可寬是以勾決

一起絞犯貝十

聽從夥槍婦女已成人室幫同架拉法無可寬是以勾決

一起新犯呂黑
絞犯張益

竊匪挾嫌謀命呂黑造意張益聽從加功均法無

可寬是以俱勾決

一起斬犯沙汰革

竊盜拒捕刃斃事主復另傷一人法無可寬是以

勾決

一起斬犯孫小壑即孫得勝

竊盜拒捕槍傷事主法無可寬是以勾決

一起絞犯楊懷鯨

賭匪聽從謀斃查禁賭博莊長下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯王小性

竊匪逞忿故殺竊匪法無可寬是以勾決

一起斬犯張娃即張導鈺

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯李海

竊盜拒捕刀斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯李善遊

竊盜拒捕槍傷事主法無可寬是以勾決

一起斬犯楊晟烈

因姦謀命淫兇難寬是以勾決

一起絞犯魏振香

貪賄聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起絞犯李不耳

挾嫌聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯焦二小

竊盜拒斃事主法無可寬是以勾決

一起斬犯沈泗勝

竊匪謀斃竊匪法無可寬是以勾決

一起斬犯王文潞

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯張希江

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯王盅揪

火器殺人法無可寬是以勾決

一起斬犯宋葆菁

竊盜拒捕刀斃捕人法無可寬是以勾決

一起斬犯馬蓀

竊盜拒捕鎗傷事主法無可寬是以勾決

一起絞犯于占四

致斃被造四命該犯下手致斃一命法無可寬是以勾決

以勾決

一起絞犯趙尚信

酗酒游蕩謀殺理阻之妻情殊殘忍是以勾決

一起絞犯王得能

姦通總麻姪妻刀斃理斤婦女淫兇難寬是以勾決

一起絞犯張小三即張鱗右

致斃雙替族兄全刃穿透傷重法無可寬是以勾決

一起絞犯楊釜池

致斃人命全刃傷多且重法無可寬是以勾決

光緒二十三年直隸省秋審服制情實石住廝

等五起人犯五名口內除舊事服制情事焦五

妮等二起人犯二名口業於上年

免勾時開列榜示外謹將新事服制情實石住廝

起人犯二名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯石住廝

因向期親叔母張氏借錢張氏答稱無錢借給該

犯不信吵鬧並以如不應允定欲搬來同住大家

不得安身之言向張氏嚇逼張氏哭罵經鄰人石

珍等將該犯勸走張氏哭稱被該犯如此吵鬧嚇

逼難以為人不如尋死石珍等勸慰各散詎張氏

氣忿莫釋乘間吞服洋煙次日毒發殞命逼迫期

親叔母教令自盡尚無毆辱重情情稍可原是以

未勾

一起斬犯邱淙鄰

與胞叔邱汰祭素睦該犯之母王氏因腹瀉不及

赴廁在院內出恭邱汰祭瞥見斥說踏蹋院子王

氏分辨該犯之父邱汰松理論邱汰祭不服混罵

並將邱汰松推跌倒地磕落門牙一箇該犯同弟

邱淙儀聽聞趨勸邱汰祭仍向混罵邱汰松生氣

喝令該犯代毆該犯不敢動手邱汰松聲言不代

毆定要拚命該犯無奈用木棍毆傷其右臙肋邱

汰祭脚踢邱汰松奪棍連毆其左右臙肋倒地邱

汰祭罵邱汰松逼令邱淙儀按住邱汰祭上身自

用棍迭毆傷其左右臙肋連脚腕次日殞命除毆

胞叔至死罪應斬決之邱淙儀緝獲另結外毆由

迫於父命尚非無故逞兇干犯情稍可原是以未勾

一起絞犯張二包

與胞兄張汰黑素睦張汰黑素不務正事張汰黑

自外回歸向母白氏要麵做飯白氏不允張汰黑

將麵袋擄走白氏拉住喊罵張汰黑咬住白氏右

脰膊不放該犯聞鬧趨至拉不開惟時白氏受傷

面色改變連喊救命該犯情急拔刀砍傷張汰黑

左後肋經人趨視白氏哭稱被張汰黑咬傷無顏

為人情愿一死張汰黑聲言白氏欲死伊必先死

經勸各散嗣白氏因傷痛哭稱定不欲生張汰黑
聽聞情急乘間自投水坑被淹殞命以張汰黑投
坑溺斃係被母哭鬧情急所致將該犯仍照刃傷
胞兄本例定擬傷由救母情切尚非有心逞兇干
犯情稍可原是以未勾

光緒二十三年直隸省秋審常犯情實王新禾
等二十五起人犯二十五名內除舊事常犯情
實李二一起一名業於十七年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實王新禾等
二十四起人犯二十四名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起絞犯王新禾

聽從發塚開棺見屍幫同下手法無可寬是以勾決

一起斬犯姜導

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯李小和即李秀洳

竊盜拒捕刃斃事主復另傷一人法無可寬是以
勾決

一起斬犯杜愷汶

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯王拴和

竊盜臨時盜所護仗拒捕刃傷事主法無可寬是
以勾決

一起斬犯趙幅來

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯王落即王葆瀟

因姦起意謀斃縱姦本夫淫兇難寬是以勾決

一起斬犯王采頭

挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起斬犯郭十月

因姦聽從姦婦謀斃本夫淫兇難寬是以勾決

一起絞犯于三即于印澄

捏寫欠字誣告復堅詞刁難致被誣之人愁急自

盡險惡難寬是以勾決

一起斬犯譚四

竊盜拒捕刃斃事主法無可寬是以勾決

一起絞犯李滿幅

聽從發塚開棺見屍幫同下手法無可寬是以勾決

一起斬犯崔二

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯趙二仔

竊盜拒捕刃斃事主復另傷事主二人法無可寬是以勾決

一起斬犯紀振升

姦匪搶奪姦婦拒斃捕人淫兒難寬是以勾決

一起斬犯董淋

挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起絞犯李長得

貪賄聽從謀命下手加功法無可寬是以勾決

一起斬犯劉北瓜

挾恨謀命法無可寬是以勾決

一起絞犯孫刑方即孫憚仔

連斃應抵二命法無可寬是以勾決

一起斬犯察哈斯諾海

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯王鈺澧

平空疑竊捆縛七旬老人毆傷後按倒灌糞致令

受毒斃命情殊欺凌是以勾決

一起絞犯何泳莒

挾嫌遷怒謀殺胞姪情殊殘忍是以勾決

一起絞犯龐汝明

結伙持執鎗械晝夜擄拐幼童勒贖兇暴難寬是以勾決

一起絞犯周幅潰

致斃人命倒地後傷多且重情殊兇狠是以勾決

光緒二十三年熱河秋審常犯情實張發等二

起人犯二名謹將

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯張發

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起絞犯趙發

聽從發塚開棺見屍法無可寬是以勾決

1088 光緒二十三年十一月十五日內閣奉

上諭連順泰汗山祭饗木亭將就傾圮請籌款興修
一摺庫倫運南汗山禱雨祈晴素著靈應祭饗木
亭年久失修即著連順籌集款項選派妥員前往
監修以肅祀典餘著照所議辦理該衙門知道欽此

1089 光緒二十三年十一月十五日奉

旨奇克紳布著賞給霍隆武巴圖魯名號蘇貴興著
賞給泥鏗額巴圖魯名號楊志勝著賞換達春巴
圖魯名號廣勳著賞給阿克敦巴圖魯名號楊讓
梨著賞給鏗色巴圖魯名號孫國乾著賞換呼敦
巴圖魯名號趙達元著賞換穆特本巴圖魯名號
黨有福著賞換烏拉喜蘇巴圖魯名號劉徵鳳著
賞給勤勇巴圖魯名號梁俊相著賞給威用巴圖
魯名號周斌著賞給籌勇巴圖魯名號姚炳義著
賞給進勇巴圖魯名號曹生雲著賞給謀勇巴圖
魯名號邊俊英著賞給精勇巴圖魯名號傅提光
著賞給明勇巴圖魯名號孫鳳福著賞給敏勇巴
圖魯名號何訓忠著賞給威勇巴圖魯名號田書

信著賞給佐勇巴圖魯名號王仁福著賞給安勇
巴圖魯名號馬王著賞給固勇巴圖魯名號鄧榮
高著賞給亨勇巴圖魯名號王少林著賞給圖勇
巴圖魯名號韋廷苞著賞給烈勇巴圖魯名號餘
依議欽此

兵部奏遵議伏甘總督奏西甯清出力各員請獎摺

1090 兵部謹覆奏請

賞給記名副都統奇克紳布等清字勇號恭請
圖出四字

武 實 信 果 鼓 榮 重 俊 威

武 實 信 果 鼓 榮 重 俊 威

〇〇〇

誠果信平重助循策裴元急勉揚鎮克順烈國亨

益繼鼓榮俊齊譽容機萬捷資堅力

¹⁰⁹³軍機大臣 字寄

盛京將軍依

盛京兵部侍郎溥

光緒二十三年十一月十六

日奉

上諭理藩院奏據呈代奏請旨查辦一摺據稱准都察咨送奉天陳新蘇魯克牧丁豐陞額呈稱盛京養息牧地面開荒開墾招佃以致眾牧丁失業無依並恐有誤

三陵祭品復據牧丁布都格克齊呈訴大致相同請飭

盛京將軍會同勘辦荒務大臣妥籌辦法等語養息牧開荒一事非徒裕課實以便民若將永遠封禁之區一律招佃開墾勢必豐旺草地盡被民佃佔去該牧丁等生計全失不特每年應交祭品無從供給亦且資生無術凍餒堪虞是朝廷未收裕課之效牧丁已受無窮之累而且因區區賦課致二百餘年養養之蒙古牧丁羣懷缺望亦屬得不償失著依克唐阿溥頤就現在情形詳加體察如果養息牧招墾有礙蒙古生計是否可以另籌辦法抑或應行停止之處悉心妥籌奏明辦理原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1094 軍機大臣 字寄

兩江總督劉 江蘇巡撫奎 光緒二十三年十一月十六日奉

上諭御史張兆蘭奏江北飢民甚眾亟宜設法賑恤一摺前據劉坤一等電奏江蘇宿遷等處被災業經准留本年江北漕米三萬石儘數改折以備賑撫茲據該御史奏稱阜甯安東沐陽邳州宿遷等處水災甚重其餘各州縣收成亦歉飢民在瓜洲口一帶意欲渡江求食揚州府縣截留飢民不准渡江恐滋事端等語著劉坤一奎俊飭屬妥為安插亟籌賑撫所請提解常平穀價息銀暨施放棉衣各節並著該督等體察情形迅速辦理原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1095 光緒二十三年十一月十六日內閣奉

上諭御史張兆蘭奏各省常平倉穀州縣多有虧挪請飭分年造冊報部等語各省設立常平倉原為有備無患之良法乃近來各州縣往往有移新掩

舊挪東補西是以虧欠之案層見疊出實屬不成
事體著各該省督撫通飭各屬現在實存倉穀若
干變價生息若干每年分別造冊報部存案以備
指撥剋期報解不准掩飾騰挪以重倉儲該部知
道欽此

1096 本日御史張兆蘭奏江北飢民甚多亟宜設法
賑恤摺奉寄信

諭旨著劉坤一奎俊妥籌賑撫又奏各省常平倉穀請
飭按年報部以備指撥片奉明發

諭旨著各該省依限造報謹將原摺片恭呈

慈覽謹
奏

十一月十六日

1097 光緒二十三年十一月十七日內閣奉

上諭鄧華熙奏查明各屬秋禾歉收請分別徵緩錢
糧一摺本年安徽省自春徂夏晴雨欠調六七月
間大雨河湖淮水並漲低田被淹其高阜處所又

因五月間亢晴日久被風被蟲入秋後又復被雨
收成均形歉薄若將應徵錢糧照常徵收民力實
有未逮加恩著照所請所有本年被災較重之五
河縣並鳳陽衛嵌生屯田通境未完上忙及本年
下忙本徵各款錢糧銀米同泗洲之舊虹鄉通境
新徵並歷年災緩各項銀米著一律全緩如五河
縣有花戶將本年下忙錢徵已輸在官者准其流
抵次年新賦其泗虹兩境同被災亦重及輕重不
等之宿州鳳陽並臨淮鄉懷遠靈璧鳳臺韻上無
為建平望江亳州銅陵建德東流壽州含山舒城
定遠阜陽和州桐城蕪湖霍邱宿和貴池繁昌廬
江巢縣渦陽盱眙當塗天長全椒懷甯潛山太湖
合肥等三十六州縣並建陽安慶廬州鳳陽長淮
泗州等六衛嵌生各該州縣屯田勘不成災各屬
各保內本年無收民田五萬七千四百七十一頃
二十四畝零應徵地丁存俸驛站米麥豆折徵倉
項等銀二十二萬六千四百五十兩零徵南兵孤
米麥五萬二千一百二十四石零又收馬場租稯
辦等銀五千五十二兩零又外衛屯田一千七百

五十頃七十九畝零應徵屯折徵項津貼等銀九千八百二十六兩零又省衛屯田二十五百五十九頃五十三畝零應徵屯畝貢舫徵項米豆折津貼等銀九千五十七兩零又屯運等田一十八十七頃七十三畝零應徵二項津貼等銀二千三百兩零又蘆洲一萬一千七百九十五頃八畝零應徵蘆課銀二萬六千二十四兩零又建陽安慶廬州長淮泗州等六衛所有本年無收屯田一十四百二十九頃三十五畝零應徵銀八千八百五十八兩零又蘆州九百三十四頃五十五畝零應徵銀一千四百五十六兩零均著緩至光緒二十四年分別啓徵至被災較重之泗州並舊虹鄉暨情形亦重及輕重不等之宿州等三十六州縣及建陽六衛嵌坐各該州縣屯田勘不成災保內未經被災成熟田地雖屬稍有薄收應徵光緒十四十五十六十七十八十九二十二十一二十二等年熟田歸舊欠銀米均著分別啓徵並別熟啓徵新賦其各州縣衛光緒十四十五十六十七十八十九二十二十一二十二等年災緩民衛銀米均著

隨同本年各保內荒歉田畝一律緩徵以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1098 光緒二十三年十一月十七日內閣奉

上諭鄧華熙奏查明各屬秋禾歉收請分別徵緩漕糧開單呈覽一摺本年安徽省各屬被水被旱被風被蟲田畝收成歉薄本日業經降旨將錢糧分別徵緩以示體恤若將應徵漕糧照常徵收民力仍有未逮加恩著照所請所有被災較重之五河縣通境應完本年新漕及光緒十四十五十六十七十八十九二十二十一二十二等年災緩民欠漕米均著全緩如有花戶豫完在官者准其流抵次年漕糧所有情形亦重之泗州舊虹鄉通境新舊漕糧同宿州懷遠靈璧鳳臺穎上無為建平望江亳州銅陵建德東流壽州舒城定遠阜陽桐城蕪湖霍邱宿松貴池繁昌廬江巢縣渦陽盱眙當塗天長懷甯潛山太湖合肥等三十二州縣內除

潛山太湖宿松三縣光緒八年沙壓田畝無徵外其餘同宿州等州縣勘不成灾保內歉收田畝新舊漕糧及光緒十四十五十六十七十八十九二十十一二十二等年灾緩舊欠漕米均著分別緩徵以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃並將單內所開區圖村莊分晰徵緩詳細刊明徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1099 光緒二十三年十一月十八日內閣奉

上諭李秉衡著即開缺四川總督著裕祿補授欽此

1100 光緒二十三年十一月十八日內閣奉

上諭四川布政使著王之春調補員鳳林著調補湖北布政使直隸布政使著裕長調補欽此

1101 光緒二十三年十一月十八日奉

旨依議欽此

戶部奏請發內務府常年經費摺

1102 光緒二十三年十一月十八日奉
旨依議欽此

戶部奏海軍經費改歸部撥摺

1103 光緒二十三年十一月十八日奉

旨依議欽此

恭親王等奏遵保在工出力人員分別獎敘摺

黃面紅裏

1104 光緒二十三年十一月十八日奉

旨恩佑著賞穿帶膝貂鞋並交部從優議敘欽此

恭親王奏請獎勵恩佑片

黃面紅裏

1105 光緒二十三年十一月十九日內閣奉

上諭鄧華熙奏在籍總兵修墓未竣懇請開缺一摺四川北鎮總兵何乘鰲著准其開缺欽此

1106

交總理各國事務衙門本日給事中高燮曾奏請令主事康有為相機入西洋弭兵會等語軍機大臣面奉

諭旨總理各國事務衙門酌覈辦理欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此文計黏鈔片一件

十一月十九日

1107

本日給事中高燮曾奏請密與德國訂約不必牽連教案摺又奏李秉衡不宜終於廢棄片奉旨存又奏請令主事康有為相機入西洋弭兵會片奉交片

諭旨總理各國事務衙門酌覈辦理御史王鵬運奏

山東鐵路不宜歸德國攬辦摺奉

旨存謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

1108 奉

旨李四即李茂係聽從偷竊月波樓陳設由立法改

為監候例實惟該犯僅止在牆外接賊與爬越宮牆身入禁地者不同不無可原著免勾餘均照所擬欽此

發下

十一月初三日見面帶上十九日

1109 奉

旨李四即李茂係聽從偷竊月波樓陳設由立法改為監候著予勾餘均照所擬欽此

發下

十一月十三日見面帶上未

1110 光緒二十三年

朝審常犯情實楊得青即楊合兒又名楊得山即

楊二等十四起人犯十七名內除舊事常犯情

實張城靄即張城海等六起人犯九名業於二

十一年二十二年

免勾時開列榜示外謹將新事常犯情實楊得青即

楊合兒又名楊得山即楊二等八起人犯八名

勾到時所奉

諭旨恭錄於後

一起斬犯楊得青即楊合兒又名楊得山即楊二

賭匪火器殺人法無可寬是以勾決

一起絞犯王存壁即王汰

素有主僕名分雇工糾同外人擄捉僱主幼子勒

贖情殊刁惡是以勾決

一起斬犯鞠一兒

逞忿故殺法無可寬是以勾決

一起斬犯楊斗兒

窩娼匪徒火器誤殺愛復另傷一人法無可寬是以

勾決

一起絞犯趙泳詳

聽從伙搶婦女已成入室幫同架拉法無可寬是

以勾決

一起斬犯張起瀾

聽從捉人勒贖槍斃人命法無可寬是以勾決

一起斬犯李四即李茂

聽從偷竊月波樓陳設僅止在牆外接賊與爬越

宮牆身入禁地者不同不無可原是以免勾

一起斬犯聶五兒

逞忿故殺法無可寬是以勾決

1111 光緒二十三年十一月二十日內閣奉

上諭四川北鎮總兵員缺著初發祥補授欽此

1112 查四川北鎮總兵係陸路缺謹

奏

1113 光緒二十三年十一月二十日內閣奉

上諭太常寺奏請簡員署理卿缺一摺太常寺少卿

著崇勳署理欽此

1114 應署太常寺少卿人員名單

硃。

鴻臚寺卿崇勳

太僕寺少卿隆恩

內閣侍讀學士榮慶

明啟

祥祺

多歡

繼恆

崇壽

光祿寺少卿德本

鴻臚寺少卿台布

1115 光緒二十三年十一月二十日內閣奉

上諭陶模奏奏劾屬員請旨懲儆等語甘肅花翎候補直隸州知州王運元遇事鑽營不顧行止試用典史惠熙行同市儈營私漁利候補按司獄郭熾昌承辦釐務任聽書巡需索均著即行革職王運元並著拔去翎枝與惠熙一併驅逐回籍該部知道欽此

1116 光緒二十三年十一月二十日內閣奉

上諭陶模奏副將貪庸不職請旨革職等語甘肅儘先副將李錦恆營務廢弛所部馬勇類多老弱充數並有懸缺不補希圖侵冒情事著即行革職並不准投効各路軍營以示懲儆嗣後各營如查有空額即行從嚴懲辦毋稍寬縱該部知道欽此

1117 光緒二十三年十一月二十日內閣奉

上諭書正奏請將筆帖式再留二年等語杭州織造衙門筆帖式錫惠延蘭業經留任二年應即照例更換嗣後各織造衙門筆帖式祇許留任一次不准再留欽此

1118 交內閣本日軍機大臣面奉

諭旨本月二十三日所有進內當差之王公文武大

小官員均著穿蟒袍補褂一日欽此相應傳知

貴衙門轉傳各衙門一體欽遵可也此交

十一月二十日

1119 光緒二十三年十一月二十一日內閣奉

上諭溥倫奏左翼關稅一年期滿正額無虧盈餘未能足額一摺著戶部覈議具奏欽此

1120 光緒二十三年十一月二十一日內閣奉

上諭載瀛奏右翼關稅一年期滿正額無虧盈餘未能足額一摺著戶部覈議具奏欽此

1121 本日大學士徐桐奏敵釁日深請豫籌防備摺奉

旨存謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

1122 光緒二十三年十一月二十二日奉

旨仍在宮中恭覽欽此

禮部奏

玉牒書成禮節請

旨摺

黃面紅裏

1123 軍機大臣 字寄

廣西巡撫黃 光緒二十三年十一月二十四

日奉

上諭有人奏已革廣西撫臣叅劾屬吏恐有不實請
飭查辦一摺前據史念祖奏叅廣西灌陽縣被匪
撲擾一案藩司等查報不實貽誤迴護當將游智
開等交部議處茲據奏稱賊匪在全州四所地方
猖獗之時兩司稟請防禦該革撫付之不理與該
革撫所奏情事兩歧等語著黃槐森按照所奏各

節確切查明據實具奏毋稍徇原摺著鈔給閱
看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1124 光緒二十三年十一月二十四日內閣奉

上諭前據崇歡等兩次奏叅札薩克圖汗部落鎮國
公阿育爾色德丹占札木楚藉端索賄並擅離職
守各節當經分別降旨將阿育爾色德丹占札木
楚革去盟長並札薩克之任茲據理藩院奏稱該
公呈訴被叅冤抑與原奏迴不相符請飭查究辦
等語阿育爾色德丹占札木楚疊經崇歡等奏
是否果有冤抑抑係飾詞狡辨著貴恆到任後確
切查明據實具奏欽此

1125 光緒二十三年十一月二十四日內閣奉

上諭昨日道旁叩閭之河南民人王清奏著交刑部
嚴行審訊欽此

1126 雲南運銅委員王嘉福

硃。旨著該部照例給獎

1127 本日御史李念茲奏已革撫臣史念祖叅劾屬

吏恐有不實請

飭查摺奉寄信

諭旨著黃槐森確查具奏謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

十一月二十四日

1128 軍機大臣 字寄

戶部 各直省將軍督撫 光緒二十三年十

一月二十五日奉

上諭自中東罷役以來中外諸臣矜言自強之術二
年於茲矣現在事機日迫凡遇各國交涉之事無
不萬分棘手總緣窺我武備廢弛船砲不齊以致
強鄰狡焉思啟合以謀我目下欲圖自強自以修
明武備為第一要義惟是出入兩款不敷甚鉅前

曾醇諭各該省將軍督撫嚴杜釐金中飽汰除練
兵冗數旋據陸續覆奏並未將釐金中飽之數和
盤託出所裁兵勇亦未確查空額茲據剛毅面奏
今天下之急莫如練兵籌餉練兵須練可用之兵
籌餉須籌常年之餉即如國初取民有制既無釐
金又無雜稅而未嘗患財不多兵不强今有釐稅
洋藥土藥等課每年增入三十餘萬之多而財轉
不敷用者蓋因廣取濫用漫無限制故也今欲籌
兵餉先由戶部查明咸豐三年以前各省歲入歲
出之款原有入款不准欠原有出款不必裁其三
年以後續增入款曰釐金曰雜稅曰洋關曰土藥
續增出款曰練餉曰購械曰各項經費今年又有
還借洋款一節應由戶部查明續增入款共有若
干續增出款共有若干可裁則裁可減則減務將
練勇之空額開除釐金之中飽嚴杜餘如鹽場廉
費冗員薪水出使經費機器各局雜支均減定數
目不許濫支濫銷庶鉅款不至難籌等語所奏尚
屬切實當此需款孔亟之時部臣疆臣自應不分
畛域竭力圖維惟是外有用款疆吏實總其成著

即嚴飭在事各員釐剔弊端力除中飽尤須正己率屬以期大法小廉應如何認真總核集成鉅款是在該將軍督撫等激發天良認真整頓應即詳細確實覆奏至於嚴查兵勇缺額迭經通諭各省不啻三令五申昨復據徐桐摺奏請飭沿江沿海各督撫激厲忠義聯絡鄉團將備之疲軟者速即更換營勇之缺弱者趕緊募補減綠營無用之卒以養戰士調內地屯防之旅以固海疆各省將官有老於兵事緩急可恃者無論官職大小現任退閒准其一律奏調等語所奏尤為當務之急著即迅速籌辦如有知兵之員為該將軍督撫等素所深悉者並准其保奏以備干城之選將此由四百里通諭知之欽此遵

旨寄信前來

1129 光緒二十三年十一月二十五日內閣奉

上諭御史彭述奏承繼襲職人員捐納職官仍應繳足捐免保舉銀兩等語著該部議奏欽此

1130 光緒二十三年十一月二十五日奉
旨這所奏疏防監犯越獄之彈春瑄獄官驍騎校常喜著先行革職交延茂等提同值班官兵等嚴行審訊有無鬆刑賄縱情弊按例懲辦仍勒限嚴緝逸犯楊青雲務獲究辦餘著照所議辦理該部知道欽此

1131 本日御史彭述奏江蘇徐海二屬水災請速籌

賑撫摺又奏嗣後督撫既經奉

旨降革不得舉劾屬員片又奏凡督撫降革請即

派員護理毋庸俟新任交接片均奉

旨存又奏承繼襲職人員捐納職官應仍繳捐免保舉銀兩片奉明發

諭旨令該部議奏謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

1132 軍機大臣 字寄

福州將軍 兩江湖廣閩浙四川兩廣山東山

西浙江江西安徽江蘇湖北湖南廣東各督撫
傳諭粵海關監督 光緒二十三年十一月二十
六日奉

上諭戶部總理各國事務衙門奏豫撥東北邊防經
費一摺據稱光緒二十四年東北邊防經費照案
指撥山東地丁銀十二萬兩山西地丁銀十萬兩
浙江地丁銀八萬兩江西地丁銀五萬兩安徽地
丁銀十萬兩江蘇釐金銀八萬兩江西釐金銀八
萬兩浙江釐金銀八萬兩安徽釐金銀五萬兩湖
北釐金銀八萬兩湖南釐金銀八萬兩福建釐金
銀八萬兩江海關六成洋稅銀十萬兩江漢關六
成洋稅銀十萬兩夔關常稅銀四萬兩閩海關六
成洋稅銀十萬兩湖北糧道庫漕項銀四萬兩南
糧米折銀四萬兩四川鹽釐銀十五萬兩兩淮鹽
釐銀十二萬兩四川津貼銀八萬兩山東糧道庫
銀五萬兩廣東釐金銀八萬兩粵海關六成洋稅
銀十二萬兩請飭依限報解等語此項餉需最關
緊要著該將軍督撫監督等按照指撥銀數於來
年五月前批解一半年內全數解清毋稍遲逾將

此諭知福州將軍兩江湖廣閩浙四川兩廣山東
山西浙江江西安徽江蘇湖北湖南廣東各督撫
並傳諭粵海關監督知之欽此遵
旨寄信前來

1133 軍機大臣 字寄

直隸兩江閩浙四川山東浙江江西安徽江蘇
湖南河南各督撫傳諭粵海關監督 光緒二
十三年十一月二十六日奉

上諭戶部總理各國事務衙門奏各省關欠解東北
邊防經費請旨嚴催一摺據稱本年各省關應解
東北邊防經費二百萬兩現據解到部庫及報解
起程共銀一百六十六萬兩欠解銀三十四萬兩
請飭速解並補解歷年積欠銀兩等語此項經費
關係邊防要需何得任意延欠著該督撫監督按
照單開本年未解及歷年欠解銀數趕緊籌解儘
再遲延即著戶部照貽誤京餉例指名嚴參餘著
照所議辦理原單著給閱看將此由四百里諭知
各該督撫並傳諭粵海關監督知之欽此遵
旨寄信前來

1134 光緒二十三年十一月二十六日奉

旨著准其開復道員銜翎欽此

戶部奏故員沈桂呈繳捐復銀兩請 旨摺

1135 光緒二十三年十一月二十六日奉

旨著於十二月初七日考試馬步箭初九日在乾清

宮考試繙譯欽此

宗人府奏請定考試馬步箭日期摺

1136 交順天府步軍統領衙門城本日軍機大臣面奉

諭旨侍講學士濟激奏奸商圖利倒閉錢鋪請飭嚴

禁等語著步軍統領衙門順天府五城隨時防查

嚴行禁止欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交 計黏鈔片一件

十一月二十九日

1137 本日侍講學士濟激奏銀價日低亟宜整頓摺

奉交片

諭旨令戶部議奏又奏奸商圖利倒閉錢鋪請嚴禁

片奉交片

諭旨令步軍統領等衙門查禁御史王廷相奏和局

不宜求速請急修戰備摺又奏請起用李秉衡

片均奉

旨存謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

1138 光緒二十三年十一月三十日內閣奉

上諭史念祖奏已故革職知縣虧欠交代延不解繳請

飭查鈔一摺廣西已故革職容縣知縣易紹惠虧

欠丁耗等款共銀八十三百餘兩之多迭經嚴催

該家屬迄未完繳實屬玩延著廣西巡撫嚴提該

家屬並經手丁胥人等究明是侵是挪按律懲辦

並將該故員寓所資財派員嚴密查封其原籍家

產並著湖北巡撫一併查封備抵以重庫款該部

知道欽此

1139

本日給事中龐鴻書等奏德患未弭請撥勁旅
前赴膠州以杜奸謀摺奉

旨存謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

十一月三十日

1140 本日御史茹泰奏銀價日低請

飭妥議章程以維園法摺奉交片

諭旨戶部議奏謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

1141 交戶部本日御史茹泰奏請整頓園法摺軍機

大臣面奉

諭旨著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交計貼鈔摺一件

十二月初一日

1142 光緒二十三年十二月初二日內閣奉

上諭甘肅提督董福祥著加恩在紫禁城內騎馬欽此

1143 光緒二十三年十二月初二日內閣奉

上諭浙江紹興府知府員缺著熊起礮補授欽此

1144 查浙江紹興府知府係衝繁難要缺謹

奏

1145 光緒二十三年十二月初二日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏遵保獲盜尤為出力員弁懇

恩獎勵一摺著兵部議奏欽此

1146 光緒二十三年十二月初三日內閣奉

上諭張之洞奏都司交卸不將錢糧公款交清潛行

避匿請革職查追一摺湖南准補靖州協中軍都

司李友勝經前兼護湖廣總督譚繼洵飭調考驗

給咨赴部該都司並未請咨竟敢攜帶公款潛行

避匿實屬謬妄李友勝著先行革職由該督通飭

湖南湖北兩省勒傳歸案訊究追繳以重餉項而

儆官邪餘著照所議辦理該部知道欽此

1147 本日御史楊福臻奏預防漕務改革臚陳利害

摺奉

旨存又奏五城竊盜案送部書吏需索錢文請

飭嚴禁片奉交片

諭旨令刑部查明嚴禁謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

1148 交刑部本日御史楊福臻奏五城竊盜案送部

移交贓物刃械胥吏勒索錢文請

飭嚴禁等語軍機大臣面奉

諭旨著刑部查明如有前項情弊即著嚴行禁止

欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計黏鈔片存

十二月初三日

1149 保舉在任候選知縣浙江黃巖縣教諭王為幹

硃。旨著以知縣用

1150 開復原銜前山東甯海州知州陳壽清

硃。旨著開復原官

1151 楊萬凱

硃。旨著以主事用

1152 楊萬凱

旨著以光祿寺著正用

1153 楊萬凱

旨著以通判用

1154 光緒二十三年十二月初四日內閣奉

上諭蘇增岱奏查明防守尉被控各情請旨懲處一

指三河縣防守尉崇麟挑放甲缺被人控告經蘇

增岱查明雖無受賄情事惟於伊子恩平向人借

用銀兩送給謙光家丁求免調考實屬咎無可辭

驍騎校恩微亨為兵丁經手錢債亦屬不知檢束

崇麟恩微亨均著交部議處副都統謙光於家丁

收受銀兩未能覺察著一併交部議處仍緝拏該

家丁務獲審明究辦餘著照所議辦理該部知道

欽此

1155 光緒二十三年十二月初六日內閣奉

上諭奕助等奏侍衛呈請開去要差據情代奏一摺

長順著准其開去乾清門差使欽此

1156 六品廕生楊兆棟

硃。旨著以通判用

1157 光緒二十三年十二月初七日內閣奉

上諭徐樹銘奏請飭各省舉行蠶政等語蠶政與農功並重浙江湖北直隸等省均已辦有成效各省宜蠶之地尚多即著各督撫飭令地方官認真籌辦以廣利源欽此

1158 光緒二十三年十二月初七日內閣奉

上諭浙江歸安縣徵收錢糧有浮收情事經御史陳其璋華輝參奏並編修朱祖謀等在都察院呈控先從諭令廖壽豐查辦茲據查明覆奏所參各款或查無其事或事無實據均著毋庸置議歸安縣知縣朱鑑章人地不宜業經撤任調省即著該撫督同藩司隨時察看並飭令現任知縣將革除股戶包飯食費名目勒石永禁糧差潘吉等即著提省並勒緝滋事之葉順流等務獲訊辦欽此

1159 本日左都御史徐樹銘奏請

飭各督撫將軍選舉良將認真訓練指奉旨存又奏請舉辦蠶政片奉明發

諭旨令各省督撫認真舉辦御史閻錫齡奏請整頓

錢法摺奉

旨存謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

1160 光緒二十三年十二月初八日內閣奉

上諭京師入冬以來曾經得有微雪尚未渥沛祥雲現在節逾冬至農田待澤正殷朕心實深寅盼允宜虔申祈禱本月初十日朕親詣

大高殿拈香

時應宮著派貝勒載澄

昭顯廟著派貝勒載澗

宣仁廟著派貝勒溥偉

凝和廟著派貝子溥倫同於是日分詣拈香欽此

1161 光緒二十三年十二月初八日內閣奉

上諭熙敬等奏考試應封宗室馬步箭完竣一摺此次考試應封宗室馬步箭不到者甚多除溥荃斌

隆毓威呈報患病延咎呈報丁憂外文瀛文澄並
無事故臨期不到實屬荒謬均著停封一次嗣後
考試應封宗室如再有捏報患病及無故不到者
即著宗人府嚴行叅處欽此

1162 光緒二十三年十二月初八日內閣奉

上諭胡聘之奏特保治行卓著各員一摺山西平定
直隸州知州李義銘調署霍州直隸州知州潞安
府同知李崇沈調署絳州直隸州知州介休縣知
縣吳巨汾陽縣知縣沈士林調署臨汾縣太平縣
知縣俞恆調補平遙縣知縣沈士傑調署鳳臺縣
臨汾縣知縣賀榮驥夏縣知縣盛沅既據該撫奏
稱政績昭彰民情愛戴均堪備循良之選即著傳
旨嘉獎仍飭令該員等益加奮勉毋得始勤終怠
用副朝廷振興吏治至意欽此

1163 光緒二十三年十二月初八日內閣奉

上諭胡聘之奏特參庸劣不職各員等語山西候補
知州李支瑞性喜鑽營不知自愛崞縣知縣陳啟

緒縱容差役致釀人命歸化城巡檢劉架不安本
分前署曲沃縣典史候補從九品嚴昭瑞膽大妄
為前署靜樂縣婁煩司巡檢候補從九品陳紹堦
違例擅受均著即行革職永濟縣知縣崔同敏才
欠開展難勝繁劇著開缺另補餘著照所議辦理
該部知道欽此

1164 本日御史楊深秀奏時勢艱危謹貢芻議摺奉

旨存謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

十二月初八日

1165 滿頭班

花翎三品銜候補五品京堂戶部郎中孚琦

三品銜即選道理藩院郎中員外郎多壽差

儘先即選道得道員後加二品銜花翎四品銜理藩院郎中志樸

儘先即選道得道員後加二品銜花翎三品銜兵部郎中惠兆

花翎四品銜理藩院員外郎豐陞類

四品銜選用知府戶部員外郎雲騎尉世職慶連

四品銜兵部郎中麟緒

戶部即補員外郎恆斌

內閣即補侍讀英凱

漢頭班

花翎太常寺少卿陳邦瑞

三品銜得知府後在任候補道記名御史部員外郎徐士佳

三品銜道員用工部郎中繼昌

三品銜記名御史工部員外郎王彥威

四品銜戶部候補郎中胡祖謙

花翎三品銜記名道府遇保送應行之缺開列在刑部郎中郭曾忻

三品銜刑部郎中李舜賓

四品銜道員用記名道府兵部郎中濮子潼

刑部即補員外郎盧震

工部候補主事得缺後以員外郎即補甘大璋告假

四品銜兵部員外郎張嘉猷

戶部即補主事李象寅

滿二班

花翎四品頂戴得四品後以三品京堂候補國子監司業將國順

花翎三品銜應升用記名道府戶部郎中和尙慶額

三品銜戶部郎中榮需

即選知府補郎中後加三品銜四品銜理藩院員外郎承祐

道員用記名道府刑部郎中玉貴

記名司業得缺後以四品京堂補用四品銜理藩院員外郎文年

刑部即補郎中英秀

刑部候補主事來秀

內閣候補侍讀先換頂戴貼寫中書桂蔭

漢二班

三品銜候補五品京堂刑部員外郎李蔭鑾

三品銜得知府後在任候補道記名繁缺知府吏部郎中王嘉木

三品銜得知府後在任候補道記名御史部即補員外郎孫朝華

三品銜戶部郎中連文沖

四品銜刑部候補郎中郭之全

四品銜得知府後在任候補道記名御史刑部員外郎鄭炳麟

三品銜道員用記名道府戶部郎中馮汝駿

刑部候補郎中楊壽樞

戶部即補員外郎主事凌福彭

禮部即補員外郎王慶平

吏部即補員外郎孫箚經

四品銜刑部即補員外郎何葆麟

1166 軍機大臣 字寄

兩廣總督譚 廣西巡撫黃 光緒二十三年

十二月初九日奉

上諭有人奏廣西會匪為害地方請嚴飭迅辦一摺據稱興安全州一帶向為匪人卯育之區匪首至今未獲實因橫州一案辦理不善以至釀成事端近日梧州太平等關及西江口岸均已開通商埠華洋雜處更恐匪類潛藏又聞與廣東交界地方山林菁密會匪出沒無常請飭協同兜拏等語會匪勾結滋事最為地方之害著譚鍾麟黃槐森嚴飭所屬文武員弁將未獲盜犯實力控捕其通商口岸及兩省交界之區尤應認真拏辦以弭隱患原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1167 光緒二十三年十二月初九日內閣奉

上諭世鐸等奏恭修

玉牒告成請將在館出力人員從優獎敘一摺此次恭修玉牒卷帙繁多該承辦各員及膳錄供事等不辭勞瘁辦理妥速自應從優鼓勵所有提調官內閣侍讀學士崇壽著以三品京堂開列在前並賞加二品銜纂修官鴻臚寺少卿臺布著以四品京堂開列在前俟升四品京堂後加二品銜記名四五品京堂宗人府理事官英慈著開缺以副都統遇缺題奏理事官經文泰著在任以應升之缺儘先升用並賞戴花翎記名五品京堂理事官戴皆著以四品京堂開列在前俟升四品京堂後賞加二品銜戶部緞疋庫員外郎榮普著賞戴花翎並加四品銜宗人府主事麒振著免補副理事官以理事官無論題選遇缺即補並賞加四品銜副理事官靈熙著以理事官無論題選遇缺即補並賞戴花翎理事官墨麒著以應升之缺開列在前俟升四品後賞加二品銜候選副理事官主事璞良著仍以副理事官無論題選遇缺即補俟補缺後以理事

官遇缺即補俸滿歲分工部主事注朝模著以本部員外郎無論題選咨留遇缺即補宗人府主事陳本仁著以員外郎分部無論題選咨留遇缺即補收掌官筆帖式定壽恆廉均著免補委署主事以經歷主事無論題選遇缺即補瑞吉祥璣常瑞均著以委署主事遇缺即補委署主事訥欽祥樞均著以經歷主事無論咨留遇缺即補候補筆帖式定秀効力筆帖式福銳溥平承惠均著以宗人府筆帖式遇缺即補候補缺後以委署主事儘先補用志厚榮祺溥恩經武勒均著以宗人府筆帖式遇缺即補候補主事模厚著以經歷主事無論咨留遇缺即補筆帖式崇祿著以委署主事遇缺即補以上各員均著俟補缺後免其試俸纂修官四品銜內閣侍讀德元著賞戴花翎並賞換三品頂戴記名道府四品銜內閣侍讀靈椿著賞換三品頂戴俟升道員後加二品銜四品銜內閣侍讀紹昌著在任遇有應升應轉坊缺開列在前並賞換三品頂戴督催官內閣侍讀英華著賞給隨帶加二級候選知府內閣侍讀貴壽著俟歸知府班

後在任以道員儘先升用騰錄官侍讀銜即選同知潤昌著賞換四品頂戴俟選同知後在任以知府歸候補班前補用內閣中書毓書著在任以侍讀遇缺即補並賞加五品銜內閣貼寫中書奎佑錫庚候補中書紹明均著作為侍讀遇缺即補並賞加四品銜內閣中書穆津著在任以侍讀遇缺即補升任後賞加四品頂戴連先著在任以撫民同知不論雙單月遇缺即選俟選同知後賞加知府銜內閣候補中書廉煜著以本堂中書不計旗分遇缺即補並賞加侍讀銜纂修官內閣中書王繩著賞戴花翎並加五品銜候選道許秉璋著以道員分省補用並賞加二品銜騰錄官截取同知吳中欽雷在夏齊權珊均著俟同知分省後免補本班以知府仍歸原省補用並俟歸知府班後賞加鹽運使銜分省試用同知劉家蔭陸鍾岱均著以知府仍分省補用並賞加鹽運使銜內閣中書吳炯趙椿年均著俟截取同知分省後免補本班以知府仍歸原省補用並俟歸知府班後賞加鹽運使銜指分廣西試用同知羅廷桂指分四川試

用同知高增壽均著以知府仍歸原省補用並賞
加鹽運使銜候選郎中李永懋著仍以郎中分部
無論咨留遇缺即補內閣候補中書顏廷佐著作
為候補侍讀遇缺即補並賞加四品銜指分河南
截取同知馬希援著以知府仍歸原省補用並賞
加鹽運使銜分省試用同知毛祖模呂鈺均著以
知府仍分省補用纂修官記名道府道員用禮部
員外郎惠齡著俟得道員後賞給三代二品封典
並隨帶加二級禮部候補主事補缺後無論題選
咨留即行借補員外郎王麒著免補主事仍歸原
保班次補用並賞加四品銜膳錄官禮部筆帖式
在任候選知州崇謙著俟選知州後在任以直隸
州知州前充補用得缺後賞加四品銜禮部筆帖
式齡安著在任以知縣不論雙單月選用並賞加
同知銜補主事後候補員外郎禮部筆帖式清祖
著作為本部員外郎無論題選遇缺即補膳錄官
儘先題升主事禮部筆帖式錫瑞著俟題主事後
以本部員外郎儘先題升先換頂戴咨留主事在
任遇缺員外郎禮部筆帖式存厚著俟補主事後

以本部員外郎儘先題升先換頂戴遇缺即補主
事禮部筆帖式增銳著作為本部員外郎遇缺即
補題升禮部主事塔思哈著賞加四品銜禮部候
補筆帖式分省補用同知英霖著免補同知以知
府分省歸候補班補用供事遇缺即選按察司經
歷陳葆卿著以通判分發省分俟到省後免補本
班以同知仍歸原省候補班補用即選布政司理
問馬莛榮著以知州不論雙單月歸分缺先選用
俟選缺後以運同在任升用先換頂戴五品銜分
省補用州判張觀宸著以通判仍分省補用並賞
加四品銜即選縣丞牟其汶著以知縣不論雙單
月歸分缺先選用俟選缺後在任以直隸州知州
補用先換頂戴施作霖著以典史分省歸候補班
前即補並賞加六品銜候選縣丞古秉彝丁志廉
均著以知縣分省歸候補班補用並賞如同知銜
吳鏗李諧南陳懷恩張傳楷王炳奎毛駿輝張慶
樹方基培龔蔭森賞壽廷楊以沅均著以府經歷
分省歸候補班補用並賞加六品銜分省府經歷
曹金鏗著以知縣仍分省補用俟補缺後以應升

之缺升用鄒永齡謝恭壽汪德泉方心鑒汪寶愈
崔家杰錢晉元陳寵鉞白坊曹聯駿吳星耀均著
以縣丞分省歸候補班補用並賞加六品銜候選
未入流郭汝翼賀述曾均著以巡檢分省歸候補
班補用並賞加六品銜候選按察司經歷邵宗翰
著以通判不論雙單月歸議敘間用班選用並賞
加同知銜候選縣丞吳承蔭朱澤潤王鏡明均著
以知縣分省歸候補班補用於啟仁劉玉山顧繩
正均著以縣丞不論雙單月儘先即選並賞加六
品銜按察司經歷銜李耀庭著以按察司經歷分
省歸候補班補用並賞加五品銜六品銜即選巡
檢張超銘著以州判不論雙單月遇缺即選並賞
加五品銜六品銜即選縣丞李世斌著以鹽大使
歸議敘班先選用並賞加五品銜六品銜即選縣
主簿孫麟光著以州判不論雙單月遇缺即選並
賞加五品銜馬望華余玉君均著以縣丞分省歸
候補班補用並賞加六品銜六品銜選用巡檢孫
汝權著俟選巡檢後在任以州判補用並賞換五
品頂戴分省縣丞謝鴻恩著俟分省後以知縣仍

歸原省補用並賞如同知銜六品銜即選縣丞蘇
鴻鏞著以州判不論雙單月歸議敘班前先用
並賞加五品銜張瀚著以巡檢歸議敘班不論雙
單月間用班內選用並賞加六品銜徐思清著以
縣丞分省歸議敘班前補用並賞加六品銜餘著
照所議辦理該部知道單併發欽此

1168 光緒二十三年十二月初九日內閣奉

上諭張汝梅奏查明各州縣本年秋禾被災情形懇
恩分別蠲緩新舊錢漕一摺山東濟南等府所屬
州縣本年早晚秋禾或因陽雨失時或因河流漫
溢或被旱被風被蟲被沙被驟收成均形歉薄沿
河一帶並有坍塌沙壓堤埝佔空地畝收成更無
可望若將應徵錢糧照常徵收民力實有未逮加
恩著照所請所有被水成災最重之齊東縣方四
等里城關莊等五十九村莊東平州智明等保東
馬家莊等一百三十村莊青城縣馬札子家莊七
十七村莊利津縣煙火臺等地方西韓莊等四十
六村莊併沙壓地畝蒲臺縣仁字等鄉馬家廟等

八十九村莊並光緒十四年查辦水冲沙壓取土
溝塘各地畝濮州西許村等里孫家莊等一百二
十九村莊應徵本年錢糧漕米漕倉學租河銀地
租等項同例不徵漕之樂安縣崇四等保東西現
河等十五村莊東平所王屯等三屯王官屯等十
六村莊本年錢糧倉項民佃等項並永阜場甘草
窩等境灘他四十三副及坐落利津等縣境內之
辛莊等十一村莊王家岡場坐落樂安縣境內之東
營等四村莊本年竈課錢糧並齊東東平青城利
津蒲臺濮州樂安東平所永阜場王家岡場等處
原緩上忙新賦均著一律全行蠲免如有未奉蠲
免之先灾前溢完蠲額銀兩查明流抵次年正賦
又被水成灾八分之章邱縣西六等里大華莊等
二十二村莊東平州智遠等保板橋莊等五十四
村東阿縣尹村等村本莊等八十六村莊平陰縣
陳洪鋪等里孔家集等五村莊利津縣小集等地
方崔家莊等四十八村莊並沙壓地畝應徵本年
錢糧漕米漕倉河銀荒田馬厰賃基籽粒等項同
例不徵漕之博興縣向順鄉大許等社范家莊等

十六村莊本年錢糧倉項民佃竈課等項並永阜
場坐落利津縣境內之劉家莊等四村莊本年竈
課錢糧及章邱東平東阿平陰利津博興永阜場
等處原緩上忙新賦均著照例蠲免十分之四又
被水成灾七分之長清縣王南等里樓子王家莊
等三十二村莊濱州東南路等路彭莊等六十七
村莊蒲臺縣信字鄉後驀家等十九村莊應徵本
年錢糧漕米漕倉民佃竈課等項同例不徵漕之
長清縣併衛擔屯等里耿紀店等二十一村莊本
年錢糧並永利場坐落濱州境內之毛李莊一村
莊本年竈課錢糧及長清濱州蒲臺長清縣併衛
永利場等處原緩上忙新賦均著蠲免十分之二
又被水成灾五分之壽張縣黃前等里小龍灣等
八村莊應徵本年錢糧漕米漕倉河銀等項同原
緩上忙新賦均著蠲免十分之一各該州縣鹽場
蠲贖錢糧漕米等項均著緩至光緒二十四年秋
後如原報成灾八分者分作三年帶徵七分五分
者分作二年帶徵其有未奉蠲免之先溢完蠲額

銀兩查明流抵次年正賦至光緒二十二年未完
民欠及因灾蠲贖原緩錢糧漕米漕倉河銀學租
荒田馬廠債基籽粒民佃竈課等項均著緩至
光緒二十四年秋後啟徵又被水勘不成灾較重
之濟甯州黑土店等地方本店等一百二十七村
莊歷城縣安平五等里清河寺等三十九村花同
州塌堤佔沙壓及小清河挖佔地畝之安平一等
里大沙灘等二百七十一村莊章邱縣清三等里
南茅莊等四十四村莊並光緒十四年以後報明
沙壓坍塌堤埝佔壓及小清河挖佔各地畝興州
塌沙壓遷民地畝鄒平縣長六等里霍家坡等十
八村莊並小清河杏花溝佔壓地畝長山縣勤謹
等約東唐口等七村莊內新開小清河堤埝佔壓
地畝及牧伯等約阜集莊等十九村莊內挑挖杏
花溝佔壓地畝新城縣姚郭莊等三村莊同新清
河挑廢堤壓地畝齊東縣青五等里東西張家庵
等四十三村莊並光緒十四年以後埝佔河佔新
遷莊堤壓沙壓坍塌土塘湮鹹各地畝被水被沙
之齊河縣北關等地方小八里莊等四十四村莊

並沿河新舊坍塌堤佔各地畝被水之濟陽縣康
約等約范家園等二十四村莊同坍塌埝佔沙壓
各地畝禹城縣九邱五等里孫家莊等八十八村
莊內徒駭河堤佔地畝臨邑縣之徒駭河堤佔坍
塌地畝被水之長清縣順屯等里後縣家莊等四
十八村莊同趙保等里李家潰等一百八十八村
莊內沿河坍塌堤佔埝佔沙壓各地畝肥城縣孝
山等社張莊等二十五村莊同堤佔坍塌沙壓各
地畝之感化等社方家園等七十三村莊並坍塌
之孝山社安道口等二村莊同新遷灾民取佔地
基東平州智明等保陳家堤等一百六十七村莊
兼挑挖阻水引河淤灘沙壓各地畝東阿縣尹村
等姜溝等五十三村莊及堤佔坍塌沙壓土塘並
佔壓水櫃各地畝平陰縣陳洪鋪等里小屯莊等
六村莊並光緒十四年以後堤佔坍塌沙壓各地
畝惠民縣平字等約常家等之光緒十四年以後
坍塌堤佔埝佔沙壓各地畝青城洪字等號皮家
莊等九十八村莊並堤佔使土遷民局購佔地畝
陽信縣歸德等鄉堤上王等三村莊樂陵縣東路

法字等的鄭家廟等三村莊商河縣之堤埝佔壓地畝被水之濱州東南路等索莊等路索莊等三十村莊又東路十保北鎮街等一百四村莊內兩岸掘毀埝佔坍塌地畝西路七保侯玉璽莊等一百一村莊內沙壓沖刷坍塌地畝東路四保王蘭莊等二百五十村莊內兩岸堤埝佔壓地畝東路三保鄭莊等一百十五村莊內沿河堤埝並河干佔壓地畝東路十一保時平莊等七村莊內北岸掘毀地畝東南路二十二保祁莊等二村莊內挑挖引河佔壓地畝東南路八保打魚莊等三村莊內新報搶險加築復錢掘毀佔壓地畝利津縣高頭等地方李家橋等六十一村莊並堤佔沙壓地畝蒲臺縣仁字等鄉韓家莊等四十三村莊並光緒十四年查辦堤埝佔壓水沖沙壓取土溝塘各地畝滋陽縣南辛等社沙岡頭等十二村莊鄒縣安侯等社果莊等二十三村莊陽穀縣東更名南六等里王家窪等一百二十七村莊並被鹹之辛五等都張垸堆等十七村莊及挑河佔壓地畝被水之壽張縣單北等里單上莊等八十五村莊

並沿河坍塌堤佔沙壓各地畝被水被旱之荷澤縣大郭等都魏樓等六十四村莊被水之曹縣雲趙等里魏灣集等四十八村莊鄆城縣蕭皮口等里張家樓等二十四村莊濮州北舊城等里陳家莊等四十六村莊范縣大渚潭等里香塾王莊等六十一村莊並河坍塌佔地畝被沙之朝城縣在二等里羅家樓等四村莊被水之聊城縣東關等里傅家莊等七村莊並被水之一鄉下等里陳家海等二十六村莊館陶縣河西等地方河西街等四十一村莊內衛河堤埝佔壓地畝被水之魚臺縣弟等方藝家莊等二百三十六村莊應徵本年錢糧漕米漕倉河銀學租地租河租湖租荒田馬廠賃基籽糧民墊寬地電課等項並被水之滋陽縣例不做漕進賢等社乳牛廠等七村莊魚臺縣例不做漕安賢等鄉和沙集等十村莊本年錢糧漕倉河銀學租河租湖租荒田馬場等項同例不做漕被水之靈化縣大莊等里丁家坊等二十二村莊及沙壓地畝之趙山莊等十七村莊與徒駭河兩岸坍塌地畝之流鐘鎮等六十九村莊博興

縣東姑等鄉屯佃等社屯龍莊等七村莊並挑挖新清河佔壓地畝樂安縣崇三等保官莊稿等三十四村莊並挑濬預備等河佔壓地畝被蠲之平度州大苗家等二十一村莊昌邑縣坐落平度州境內之辛河衛一屯莊被水之濰縣馬頭社神堂莊等五村莊應徵本年錢糧漕倉民佃鹽課窰課票價等項並被水之臨清衛生落濟甯州境內劉官屯等九屯莊又坐落滋陽縣境內高林屯一屯莊東昌衛生落濮州境內之楊宣屯等十四屯莊坐落范縣境內之孟太屯等四屯莊同被水並被沙壓坐落聊城縣境內之河西北等十屯莊本年錢糧漕倉等項及被水之東平所南張屯等四屯安上鎮等三十九村莊本年錢糧同歷城縣併衛丁家屯等四屯莊內坍塌沙壓並小清河挖佔水地畝被沙之齊河縣併衛張祀等地方宰莊等三屯莊並沿河坍塌堤佔壓地畝暨被水被沙之濟陽縣併衛地畝被水之長清縣併衛擔屯等里龍王廟等二十五村莊同報明擔屯等里睦里莊等四十二村莊內沿河坍塌堤佔沙壓各地

畝肥城縣併街雷屯一屯莊本年錢糧並被水之永利場坐落霑化縣境內之窰戶陳莊等六村莊坐落惠民縣境內之王窰戶家一村莊坐落濰州境內之盧莊等四村莊坐落利津縣境內之謝家窰等四村莊永阜場坐落霑化等縣境內之石家店等十二村莊王家岡場坐落辛場之窰戶劉等四村莊本年窰課錢糧同以上濟甯州等處今春青黃不接業內原緩上忙新賦並各該州縣街場所有光緒二十二年未完民欠及因災蠲贖原緩錢糧漕米漕倉河銀學租地租湖租河租荒田馬廠債基籽粒民佃窰地鹽課窰課票價等項暨併衛錢糧均著緩至光緒二十四年秋後啟徵又被水較輕之濟甯州棧駕莊等地方二十里鋪等三十九村莊歷城縣北元一等里李家馬頭等六十五村莊章邱縣清三等里王官莊等二十九村莊鄒平縣長二等里小言莊等七十村莊長山縣自修等約朱家崖等二十三村莊新城縣前陳家莊一村莊齊東縣果一等里高唐寨等七十七村莊同其餘闕境村莊被水被沙之齊河縣北關等地

方左王莊等一百十二村莊被水之濟陽縣觀約
等約姬家店等六村莊禹城縣一都二等里千戶
屯等七村莊長青縣郭保等里裴家莊等三十七
村莊德州正東九保王解莊等三村莊平原縣一
都十七國牟莊等十七村莊肥城縣孝山等社石
岡等十村莊東平州東智來等保西下坡等四十
三村莊東阿縣尹村等村後姜溝等四十五村莊
平陰縣陳洪鋪等里劉小莊等十九村莊惠民縣
法字等約大柏李字等二十八村莊青城縣至字
等號順和莊等閩境之三百九十村莊陽信縣孝
義等鄉大杜莊等四十八村莊樂陵縣東路法字
約鐵家營等五村莊濱州東路等路閩莊等一百
二十八村莊利津縣北馮等地方南關等六十三
村莊蒲臺縣義字等鄉魏福吳莊等九村莊濰陽
縣南辛等社高家村等十村莊鄒縣安侯等社高
村等十村莊汶上縣北馬莊等社坡裏村等七十
三村莊陽穀縣南七都等都陽胡子莊等二十八
村莊壽張縣單北等里董家花園等四十六村莊
同其餘閩境村莊被沙被旱之荷澤縣大郭等都

閩拐等十五村莊被水之曹縣之沛邱等里郭樓
等五十五村莊定陶縣柏北等村西李莊等六十
六村莊被水被旱之鉅野縣豐樂下等保西姜莊
等九村莊並前被黃水冲刷成溝之太平集地畝
被水之濮州閩境西關等里史家莊等一千四百
七十八村莊范縣閩境英東等里鄭家樓等五百
二十一村莊被旱被蟲之觀城縣召里等里鎮佛
寺等五村莊被水之聊城縣四鄉上等里戴家莊
等五村莊魚臺縣孝等方龐家窪等六十四村除
本年錢糧漕倉河銀學租河租荒田民佃地地
課等項及歷城縣併衛本年錢糧並以上濟甯州
等處今春青黃不接業內原緩上忙新賦均照常
徵收外所有本年漕米同被水之聊城縣例不徵
漕城北民里五里堡等十五村莊本年錢糧與例
不徵漕被水之海豐縣毛王等堆毛王莊等四村
莊臨淄縣南一等社徐姚莊等十村莊內淄河兩
岸被水冲壓地畝被水之高苑縣東四等約劉莊
等十五村莊並挑挖小清河佔壓地畝濰縣馬頭
等社大灣口等二十七村莊本年錢糧漕倉學租

民佃竈課等項並濮州地租同被水之德州衛生
落平原縣境內左衛前所甘官屯等三屯莊被水
被旱之濟甯衛生落鉅野縣境內孫世臣一屯莊
同被水生落滋陽境內沈國鄉一屯莊生落壽張
縣境內王德政一屯莊被水被沙之濟河縣併衛
宣章等地方宋牌等二十四村莊被水之長清縣
併衛胡屯等里段字莊等十二村莊本年錢糧倉
項地租等項並聊城海豐臨淄高苑濰縣及齊河
縣併衛等處今春青黃不接案內原緩上忙新賦
均著緩至光緒二十四年秋後啟徵並以上較輕
之濟甯等州縣衛所有光緒二十二年未完民欠
及因災蠲贖原緩錢糧漕米漕倉河銀學租地租
湖租民佃竈地竈課鹽課等項暨併衛錢糧均著
緩至光緒二十四年秋後啟徵又被旱最輕之臨
清州閩境村莊被水之濟甯州黑土店等地方前
石橋等一百二村莊同其餘閩境村莊歷城縣安
平一等里興福莊等二十六村莊同其餘閩境村
莊章邱縣關八等里炭張鋪等五村莊同其餘閩
境村莊鄒平縣長肆等里大王駁莊等一百二十

三村莊同其餘閩境村莊長山縣盛篤等約李家
套等十七村莊同其餘閩境村莊新城縣後陳家
莊一村莊同其餘閩境村莊濟河縣北關等地方
呂莊等三十一村莊同其餘閩境村莊濟陽縣喜
約等約張家庵等十村莊同其餘閩境村莊禹城
縣一都二等里小劉山莊等五村莊同其餘閩境
村莊臨邑縣閩境村莊長清縣坊西等里西關等
二十四村莊同其餘閩境村莊陵縣閩境村莊德
州閩境村莊德平縣閩境村莊平原縣一都十三
團張八莊等四十二村莊同其餘閩境村莊肥城
縣北流等社范家營等三村莊同其餘閩境村莊
東平州西智里等保三里莊等四十六村莊同其
餘閩境村莊東河縣魚山等村東莊等九十四村
莊同其餘閩境村莊平陰縣西寨等里後寨等二
十九村莊同其餘閩境村莊惠民縣法字等約高
家廟等一百四十六村莊同其餘閩境村莊陽信
縣孝義等鄉沽佛廟等七十七村莊同其餘閩境
村莊樂陵縣東路和字等約小白楊樹張家等五
村莊同其餘閩境村莊商河縣隆五鄉劉官莊等

三村莊同其餘閩境村莊濱州東路等路窪張等一百十六村莊同其餘閩境村莊利津縣南馮等地方林家莊等二十九村莊同其餘閩境村莊蒲臺縣仁字等鄉河溝趙莊等十七村莊同其餘閩境村莊滋陽縣進賢等社禹家村等二十六村莊同其餘閩境村莊曲阜縣閩境村莊甯陽閩境村莊鄒縣安侯等社南元等六村莊同其餘閩境村莊泗水縣閩境村莊滕縣閩境村莊被旱之嶧縣閩境村莊被水之汶上縣東門等社坡裏村等一百九十九村莊同其餘閩境村莊陽穀縣東更名南陸等里後雷莊等一百二十四村莊同其餘閩境村莊被沙被旱之荷澤縣許家等都吳莊等九村莊同其餘閩境村莊被水之單縣閩境村莊城武縣文明村白廟等處同其餘閩境村莊曹縣安崇等里蔣堂等三十四村莊同其餘閩境村莊定陶縣山北等村大董莊等七十九村莊同其餘閩境村莊被水被旱之鉅野縣豐樂上等保任家店等十六村莊同其餘閩境村莊被水之鄆城縣蕭皮口等里姚家莊等二十六村莊同其餘閩境

村莊被旱被蟲之觀城縣呂里等里召張屯等二十五村莊同其餘閩境村莊被旱之朝城縣閩境村莊被水之聊城縣北七下等里錢莊等五村莊同其餘閩境村莊堂邑縣勤一二里王家鋪等十四村莊同其餘閩境村莊被水被旱之博平縣閩境村莊被旱之茌平縣閩境村莊清平縣閩境村莊莘縣閩境村莊被水之館陶縣閩境村莊被蟲之冠縣閩境村莊被水之高唐州閩境村莊恩縣閩境村莊被旱之夏津縣閩境村莊被水之武城縣閩境村莊被旱之邱縣閩境村莊被水之金鄉縣卜居等六方郭家等八十三村莊同其餘閩境村莊嘉祥縣閩境村莊魚臺縣孝等方楊家口等十九村莊同其餘閩境村莊除本年錢糧漕米漕倉河銀學租湖租荒田馬廠賃基籽粒民佃竈地竈課等項同例不徵漕被水之海豐縣彩屯等堆彩屯莊等十二村莊同其餘閩境村莊霑化縣大莊等里鄭家莊等三十二村莊同其餘閩境村莊蘭山縣閩境村莊鄭城縣閩境村莊被旱之費縣閩境村莊被水之莒州閩境村莊沂水縣閩境村

莊日照縣閩境村莊被蟲之益都縣閩境村莊被旱之臨淄縣閩境村莊被水之博興縣東姑等鄉屯佃等社屯園莊等二十村莊同其餘閩境村莊高苑縣東三等約沙疇等二十九村莊同其餘閩境村莊樂安縣崇二等保張家等四十四村莊同其餘閩境村莊壽光縣閩境村莊被旱被水之昌樂縣閩境村莊被水之掖縣海倉劉家二村莊昌邑縣閩境村莊濰縣南臺底等社傅家莊等十三村莊同其餘閩境村莊被風之甯海州茗島等社杜家疇等一千七十二村莊被水被風之文登縣雲光等都望海倪家村等坊鎮併衛共一千二百二十八村莊被旱之榮成縣山前朝陽等都前仁字介等四百三十九村莊本年錢糧漕倉德泰學租民佃地地稅課鹽課票價等項同被水之德州衛坐落武城縣境內左衛大右所黃官屯一屯莊及閩衛屯莊同被水被旱坐落平原禹城高唐德州德平陵縣樂陵息縣夏津清平等州縣境內之閩衛屯莊被水較輕之臨清衛坐落濟甯州境內丁家莊一屯莊同被水被旱最輕之坐落濟甯

嘉祥臨清清平滋陽鉅野鄆城魚臺鄒縣等州縣境內之閩衛屯莊被水之濟甯衛坐落汶上縣境內之汪海屯等三屯莊同其餘坐落各州縣境內之閩衛屯莊被水較輕之東昌衛坐落濮州范縣境內各屯莊同被水被旱最輕之坐落聊城堂邑博平等縣境內各屯莊同其餘閩衛屯莊被水之東平所閩所村莊被水被沙之齊河縣併衛劉從善等地方宋塚等十九屯莊內其餘閩衛屯莊並被風之陵海州千金屯等十五屯官莊地等十六屯暨歷城濟陽長清肥城商河日照榮成等縣併衛本年錢糧漕倉地租民佃地稅課鹽課票價等項同被水之王家岡場坐落高苑縣境內之魏家等二村莊同其餘閩場村莊官臺場閩場村莊永利場坐落各州縣境內之寬戶鄭莊等各村莊同其餘閩場村莊永阜場閩場村莊與坐落各州縣之境內寬地灘池富國場閩場鍋面灘地本年地稅錢糧並以上濟甯州等處今春青黃不接案內原繳上忙新賦均照常徵收所有各該州縣衛所鹽場未完光緒二十二年民欠及因災蠲剩原緩錢

糧漕米漕倉學租地租河租民墊地地窰課鹽課
票價等項均著緩至光緒二十四年秋後啟徵以
上被災各屬凡有光緒十四年至二十一年各年
未完民欠及因灾蠲剩原緩遞緩錢糧漕米漕倉
河銀房租學租地租河租湖租荒田馬廠質基籽
粒臨德等倉米麥銀折民墊地鹽課蘆課窰課
票價出借倉穀等項均著緩至光緒二十四年秋
後錢漕分為兩案各按最先年分遞年依次帶徵
一年其德州東昌臨清濟甯等衛及東平所並水
利永阜官臺富國王家岡濤雄西縣等場坐落各
州縣境內屯莊窰地寄莊錢糧均隨同民田一律
辦理以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄
黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副
軫念民艱至意該部知道欽此

1169 光緒二十三年十二月初九日內閣奉

上諭張汝梅奏凌汛暴漲利津縣危家灘浸埝漫溢
成口現擬趕籌堵合請將在事各員暫緩參處一
摺本年十一月二十四日山東利津縣地方因連

日北風凜冽上游之水挾冰以行水勢涉漲致將
利津逆下之姜莊民埝沖刷並將姜莊逆上危家
灘大堤漫決成口刷寬十三四丈水由濰化縣之
泮河入海此次凌汛失事據該撫奏稱實因下游
水弱凍結冰集人力難施督辦河營各員著照所
請暫緩參處期限一箇月起緊堵合毋得遲誤欽此

1170 本日御史鄭思贊奏廣西會匪為害請

飭該督撫認真拏辦摺奉寄信

諭旨著譚鍾麟黃槐森飭屬嚴拏御史楊深秀奏請

聯結英國以制德氛而堅俄助摺奉交片

諭旨該衙門知道謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

1171 光緒二十三年十二月初十日內閣奉

上諭巡視東城御史茹泰等奏遵保拏獲鄰境疊次
強劫盜犯出力之司坊紳董請旨獎勵一摺著吏
部議奏軍併發欽此

1172 光緒二十三年十二月初十日內閣奉

上諭巡視西城給事中榮陞等奏遵保擊獲疊次搶

劫盜犯出力官紳請獎一摺著吏部議奏軍併發

欽此

1173 本日督辦軍務王大臣奏請

飭董福祥添足二十營移紮大慶關一帶摺恭呈

慈覽俟

發下後再行繕寫

諭旨辦理謹

奏

1174 軍機大臣 字寄

督辦軍務王大臣 戶部 陝甘總督陶 陝

西巡撫魏 山西巡撫胡 甘肅提督董

光緒二十三年十二月十一日奉

上諭督辦軍務王大臣奏請移紮甘軍以資捍衛一

摺據稱自甘肅回匪平定之後董福祥一軍散紮

各處不特訓練不能精熟設有徵調亦難一呼立

應擬令該提督就現有之十六營再募四營於潼

關之東大慶關地方分紮數營其餘均紮山西平

陽府一帶該提督於紮營處所往來督練餉項軍

械請飭分別劃撥指撥等語山陝地方東近畿疆

西控關隴形勢最為扼要董福祥聲望素著即著

迅速添足二十營之數分紮大慶關平陽府一帶

認真督練務成勁旅所需行餉每年八十餘萬兩

著戶部劃撥的款逕解該軍糧臺應添軍械由督

辦軍務處指撥並刊發督練甘軍關防以專責成

該軍移紮以後甘省防務著陶模實力整頓刻下

關內外一律肅清果能就現有之營扼要駐紮足

資鎮懾不得藉口兵力單薄稍涉疏虞將此各諭

令知之欽此遵

旨寄信前來

1175 光緒二十三年十二月十一日內閣奉

上諭順天府奏西城資善堂煖廠收養貧民衆多援

案續請加賞米石一摺本年資善堂煖廠貧民就

食較多所有前次賞給小米三百石不敷散放著

再加恩賞給私米四百石以資接濟該衙門知道

欽此

1176

交卿天部本日順天府奏閩浙總督邊寶泉等捐助賑銀可否准其移獎子弟等語軍機大臣面奉

諭旨著戶部議奏欽此相應傳知

貴卿欽遵可也此交計結鈔原片一件

十二月十一日

1177

本日翰林院代奏編修柯劭忞條陳時事摺又代奏編修張星吉條陳時事摺大學士徐桐奏洋情巨測腹地亟宜籌防摺均奉

旨存謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

1178

光緒二十三年十二月十二日內閣奉
上諭張之洞等奏勘明湖北各州縣衛被淹受旱地

方請分別蠲緩新舊錢糧南米等項開單呈覽一摺湖北省本年春夏之交雨澤連綿江漢同時感漲濱江各屬田廬多被淹沒其高阜之區又復被旱若將應徵錢糧並南米等項照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有成災七分之二漢川縣喝城等五十七垸岷孝感縣務本等二十八社內之各社甲應徵光緒二十三年新賦錢糧南糧正耗銀米照例蠲免二分共應蠲免新賦錢糧正耗銀四千七十六兩零南糧正耗米三百七十三石零其蠲贖銀兩同例不併免隨漕等款共銀一萬六千三百四兩零南糧正耗米一千四百九十三石零一併緩至光緒二十四年秋後分限二年帶徵原緩節年銀米等項並著遞年展緩分限帶徵又勘不成災被淹較重之武昌縣神一等九十里咸甯縣一都等七都內之艾家墩等二十五處並盤洲嘉魚縣宣化等四里內之二十四甲並九洲之越塘等處及九屯之斗塘等處蒲圻縣石坑等二十八團內之洪下市等一百九處崇陽縣大源等十五堡內之五十三牌漢陽縣菱角湖等八

區白峯池等二十區黃陂縣牛湖等四十三社孝感縣咸林等二十三社沔陽縣梅公等一百一十官垸黃岡縣七道河等十四區下蔡等二十二區羅霍洲等十七區蘄水縣袁家墩等三十四區並西壘洲黃梅縣白湖等四鎮及堰塘等五鎮內之七里湖等五十五村莊考田鎮內白馬寺姜家山二村莊廣濟縣太東鄉內之童司牌等八十二村莊永東鄉內之李家園等六十三村莊雲東鄉內之鳳背港等六十七村莊永西鄉內之武山湖等五十五村莊靈西鄉內之花園宕等六十村莊鍾祥縣河鄉內之四和觀等三十村莊湖鄉內之宣家湖等二十一村莊京山縣唐心口等四十三團潛江縣顏家等十九垸張家等四垸楊林等十垸馬昌等二十三垸天門縣諸通等一百九垸內之五百八十八甲半上古下等四垸內之八甲蒲湖等十八垸內之五十三甲潭登等五十垸內之一百二十三甲半應城縣葉背等十一團區江陵縣築支等六十六垸老新口等一百十三垸公安縣毛一等七里並西一等二十五里內之七十五甲

及枝六一所石首縣民旺等十六垸並一都等十四坊垸內之三十六甲暨劉發頂江團合等洲十四號監利縣大蘇湖等一百十七垸並蔡家洲及鐵牛等十洲松滋縣下八上八二都並下五等十都及一所等八所枝江縣利浮等十四洲垸並羊角壩洲二洲荊門州馬上三等二十四團內之小江湖等八十一區受旱較重之蘄水縣大林山等二十三區羅田縣尤河等三十區京山縣羅店等十團共應徵光緒二十三年新賦錢糧屯餉開丁從費租餉蘆課等項正耗銀二十一萬一千六百九兩零南糧正耗米二萬七千九百十五石零一併緩至光緒二十四年秋後限一年帶徵原緩節年銀米一併緩至光緒二十五年秋後遞展一年帶徵被淹受旱次重之江夏縣河街等三十五里金沙等三十四屯興仁等二十里靈泉等十七屯團等三十四洲武昌縣神四等八里嘉魚縣淨居等四里內之二十甲大冶縣貓磯等三十五堡漢陽縣平坊等三十一區黃陂縣韓家廟等十八社黃岡縣錢家堡內萬福團等六區孝感縣廣訓等

十二社黃梅縣太白等十一鎮內之頂獻等一百
三村莊應徵光緒二十三年新賦錢糧盧課籽粒
等項正耗銀三萬七千三百七十八兩零著緩至
光緒二十四年秋後限一年帶徵原緩節年銀米
一併展至光緒二十五年秋後遞年帶徵被淹受
旱較輕之江夏縣依仁等八里桃林等二十八屯
犁頭等十三洲咸甯縣一都等七都內之下好橋
等十三處三都等五都內之鹿過橋等五處嘉魚
縣宣化等十二里內之七十三甲及九洲九屯蒲
圻縣安豐等三十四團之各甲內宅嶺等一百八
十四處漢陽縣陳家河等二十四區漢川縣北河
口蓮子屯二廠畝黃岡縣孔家埠等三十二區蘄
水縣福主廟等二十八區並雞鳴河等十一區麻
城縣東義洲等八區內之二十四號黃梅縣什村
等十六鎮鍾祥縣河鄉內之歐家廟等二十五村
莊湖鄉內之龍山觀等八十六村莊山鄉內之蕭
家店等四十八村莊京山縣高家湖等四團並太
陽晏王等四團潛江縣古埠等六十一垸應城縣
葉嘴等五團區江陵縣唐家等七十垸亢家等三

十垸公安縣刀一等二十里內之三十三甲石首
縣二都等五坊垸內之八甲並頭二總等三坊垸
監利縣團湖等一百三十六坊枝江縣浙洋等十
一洲垸荊門州平林等十九團內之團林鋪等三
十三區應徵光緒二十三年原緩節年銀米盧課
屯餉閑丁提費等項一併緩至光緒二十四年秋
後遞展一年常徵江夏縣崇通等屯應徵光緒二
十三年楚課錢糧正耗銀三百九十七兩零緩至
光緒二十四年秋後限一年常徵原緩節年銀兩
遞展一年常徵漢陽縣崇信坊應徵光緒二十三
年門攤銀兩著徵七分應緩三分正耗銀六十八
兩零緩至光緒二十四年秋後限一年常徵原緩
節年銀兩遞展一年常徵漢陽縣光緒二十一
十二兩年民欠未完地丁等耗正耗銀一千一百
十九兩零沔陽州光緒二十二年民欠未完地丁
正耗銀三千八百八十七兩零黃岡縣光緒二十
二年民欠未完地丁等款正耗銀三千八百二十
五兩零江陵縣光緒二十二年民欠未完地丁正

耗銀八百九十四兩零南糧正耗米三百三十五石零監利縣光緒二十二年民欠未完地丁正耗銀一千四百八十四兩零著一併緩至光緒二十四年秋後限一年帶徵以紓民力餘著照所議辦理該督等即按照單開數目刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1179 光緒二十三年十二月十二日內閣奉

上諭張之洞等奏勘明湖北各州縣被淹受旱地方請緩徵漕糧開單呈覽一摺湖北孝感等縣本年被水受旱各區應徵錢糧南米等項本日業經降旨分別蠲緩外尚有應徵漕糧若令照常完納民力仍有未逮加恩著照所請所有成災七分之久感縣務本等二十八社內之各社中應徵本年漕糧正耗米五百十四石零著緩至二十四年秋後今限二年帶徵原緩節年漕糧並著遞年展緩分限帶徵勘不成災被淹較重之武昌縣神一等十九里咸甯縣一都等七都內之艾家墩等二十五

處嘉魚縣宣化等四里內之二十四甲蒲圻縣石坑等二十八團內之洪下市等一百九處崇陽縣大源等十五堡內之五十三牌漢陽縣白釜池等二十區黃陂縣牛湖等四十三社孝感縣咸林等二十三社沔陽州梅公等一百一十官垸黃岡縣七道河等十四區下塔等二十二區蘄水縣袁家墩等三十四區黃梅縣白湖等四鎮及墩塘等六鎮內之七里湖等五十七村莊廣濟縣秦東鄉內之董司牌等八十二村莊永東鄉內之李家園等六十三村莊靈東鄉內之風背港等六十七村莊永西鄉內之武山湖等五十五村莊靈西鄉內之花園宕等六十村莊潛江縣顏家等十九垸張家等四垸楊林等十垸馬昌等二十三垸天門縣諸通等一百九垸內之五百八十八里半上古下等四垸內之八甲蒲湖等十八垸內之五十三甲淖潑等五十垸內之一百二十三甲半應城縣葉背等十一團區江陵縣築支等六十垸老新口等一百一十三垸公安縣毛一等七里並西一等二十

五里內之七十五甲石首縣民旺等十六垸並一
 都等十四坊垸內之三十六甲監利縣大蘇湖等
 一百十七垸松滋縣下公上八二都並下五等十
 都荊門州馬上三等二十四園內之小江湖等八
 十一區又受旱較重之蘄水縣大桂山等二十三
 區羅田縣尤河等三十區共應徵光緒二十三年
 漕糧正耗米二萬七千五百六十石零均著緩至
 光緒二十四年秋後限一年帶徵原緩節年漕糧
 著緩至二十五年秋後遞展一年帶徵漢陽縣民
 欠未完光緒二十三年漕糧正耗米三百二十四
 石零沔陽縣民欠未完光緒二十二年漕糧正耗
 米一千六百十九石零黃崗縣民欠未完光緒二
 十一年漕糧正耗米一千二百九石零江陵縣民
 欠未完光緒二十一年漕糧正耗米二百十四石
 零監利縣民欠未完光緒二十二年漕糧正耗米
 三百三十石零均著緩至光緒二十四年秋後限
 一年帶徵以紓民力餘著照所議辦理該督等即
 按照單開數目刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均

需毋任吏胥舞弊用副朝廷軫念民艱至意該部
 知道單併發欽此

1180 光緒二十三年十二月十二日內閣奉

上諭戶部奏遵議薄倫所交左翼監督盈餘銀兩一
 摺所交盈餘銀一千四百十三兩零著交廣儲司
 餘依議欽此

1181 光緒二十三年十二月十二日內閣奉

上諭戶部奏遵議載瀛所交右翼監督盈餘銀兩一
 摺所交盈餘銀一千四百三十五兩著交廣儲司
 餘依議欽此

1182 本日御史黃桂鑒奏裁兵練兵請詳議辦法

摺本

旨存謹將原摺恭呈

慈覽謹

奏

十二月十二日

1183 光緒二十三年十二月十三日內閣奉

上諭恭著等奏總兵懇請開缺據情代奏等語貴州

古州鎮總兵丁槐著准其開缺欽此

1184 光緒二十三年十二月十三日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏拏獲白晝聚眾搶擄良家幼

女人犯請交部嚴訊一摺所有拏獲之伊精阿即

伊仔黃林即小黃張得詳即張三李瀾明即李黑

仔楊三常泰即小常海七等七名著交刑部嚴行

審訊按律懲辦未獲之馬三一犯仍飭嚴緝務獲

送部訊辦欽此

1185 光緒二十三年十二月十三日奉

旨鄧維鈺著賞給勳勇巴圖魯名號欽此

吏部奏道員鄧維鈺請賞給勳勇號摺

1186 軍機大臣 字寄

北洋大臣直隸總督王 光緒二十三年十二

月十四日奉

上諭有人奏漢河金廠總辦向駐漢河自湖南候補

道周冕接辦移總局於愛理諸務悉置不問挪匪

鉅款於上海另開買賣以致金廠日壞又以鬻匪

為山賊朦朧調兵並冤殺流民多名意在開支兵

費等語著王文韶按照所奏各節確切查明據實

具奏毋稍徇隱原片著鈔給閱看將此諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

1187 軍機大臣 字寄

兩廣總督譚 光緒二十三年十二月十四日奉

上諭有人奏疆臣勒捐沙田民心怨憤請飭查禁止

一摺據稱清丈沙田失信敏怨得少失多該撫操

之太嚴等語著譚鍾麟查明具奏另片奏許振禱

飲酒賦詩信用私人等語著譚鍾麟一併查奏原

摺片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1188 光緒二十三年十二月十四日內閣奉

上諭王文韶奏查明霸州靜海二州縣被災澆地畝請將租銀豁免一摺本年霸州靜海澆地畝夏秋水暴發各河漫決地畝多被淹澇若將應徵租銀照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有霸州澆地九頃五十三畝零成災六分額徵租銀二十八兩零著減免十成之五銀十四兩零其積欠二十二年未完租銀十四兩零著緩至光緒二十四年秋後啟徵靜海縣當城洋芬港等二村澆地一百九頃十四畝零被災甚重額徵租銀一百六十三兩零著全行豁免內有光緒十六年花戶長完銀二兩零著遞抵光緒二十四年租賦又獨流一村澆地二百四十六頃四十四畝零被災稍輕額徵租銀三百六十九兩零著減免十成之五銀一百八十四兩零減贖銀一百八十四兩零當城等十八村泊地一百五頃三十五畝零被災稍重額徵租銀三百十六兩零著減免十成之五銀一百五十八兩零減贖銀一百五十八兩零又東賈口等四村泊地一百四十七頃四十

畝零成災稍輕額徵租銀四百四十二兩零著減免十成之三銀一百三十二兩零減贖銀三百九兩零又王家營一村泊地三頃五十九畝零成災較輕額徵租銀十兩零著減免十成之二銀二兩零減贖銀八兩零以上各民欠租銀均著緩至光緒二十四年秋後啟徵其節年民欠澆地租銀所著遞至光緒二十四年秋後啟徵以示體恤餘著照所議辦理該督即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副朝廷軫念民艱至意該部知道欽此

1189 光緒二十三年十二月十四日內閣奉

上諭王文韶奏查明安州積澇地畝請將租銀全行豁免一摺直隸安州多年積澇本年復被水淹顆粒無收若將應徵租銀照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有安州東北兩澆地三百二十八頃七十九畝零應徵光緒二十三年租銀一千二百九十一兩零著全行豁免如有從前長完

之項准其抵作下年正賦以紓民力餘著照所議辦理該督即刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1190 交戶部本日御史楊崇伊奏各省荒廢官地請准民間承買收價報解等語軍機大臣面奉

諭旨戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計結鈔片一併

十二月十四日

1191 交都察院本日御史楊崇伊奏五城案件劾詞上控不得率准調城等語軍機大臣面奉

諭旨都察院查明辦理欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交計結鈔片一併

十二月十四日

1192 光緒二十三年十二月十四日奉

旨依議欽此

吏部奏詳 著毋庸議 仍各員無辜不得議議請撥指

1193 光緒二十三年十二月十四日奉旨著發往直隸欽此

吏部奏儘道梁斌應發往何省請 旨

1194 已革花翎三品銜在任即選知府前廣東新會縣知縣潘泰謙

硃。旨准其留營

1195 已革花翎三品銜在任即選知府前廣東新會縣知縣潘泰謙

旨不准留營

1196 已革同知銜江西龍泉縣知縣任國銓

○旨准其留營

1197 已革同知銜江西龍泉縣知縣任國銓

旨不准留營

1198 本日都察院奏編修柯劭志請舉辦山東鄉團

據呈代奏摺呈一件奉

旨存御史楊崇伊奏東三省重地請不拘滿漢

特簡大臣經理摺又奏請釐正文體片均奉

旨存又奏許振禕勒捐沙田請查明禁止摺又奏許

振禕任用私人片奉寄信

諭旨著譚鍾麟查奏又奏參漢河金殿總辦道員周

寬劣跡片奉寄信

諭旨著王文韶查奏又奏各省荒廢官地請准民間

收買片奉交片

諭旨戶部議奏又奏五城控案不得率准調城片奉

交片

諭旨都察院查明辦理以上各摺片應行鈔錄之件

較多擬於明日再行恭呈

慈覽謹

奏

1199 光緒二十三年十二月十五日內閣奉

上諭貴州古州鎮總兵員缺著黃呈祥補授欽此

1200 查貴州古州鎮總兵係陸路缺謹

奏

十二月十四日

1201 謹將昨日都察院並御史楊崇伊封奏摺片呈

共九件恭呈

慈覽謹

奏

1202 光緒二十三年十二月十六日奉

旨依議欽此

戶部奏遵議侍講學士潘敦等條陳恭報信州

1203 光緒二十三年十二月十七日內閣奉

上諭前因京師入冬以來雪澤稀少朕親

詣

大高殿拈香並派貝勒載澄等分詣

特應宮等處拈香虔申祈禱現在雖經得有雪澤

農田尚未霑足實盼彌深本月十九日朕仍親詣

大高殿拈香

時應宮著派貝勒載澄

昭顯廟著派貝勒溥偉

宣仁廟著派貝子奕謨

凝和廟著派貝子溥倫同於是日分詣拈香欽此

1204 光緒二十三年十二月十七日內閣奉

上諭翰林院侍講學士濟澂奏內務府各司庫等官
補缺後例應三年調轉近年以來每有含混留庫
弊竇叢生請飭申明定章等語著總管內務府大
臣按照定例辦理毋稍含混以杜弊端欽此

1205 光緒二十三年十二月十七日內閣奉

上諭翰林院侍講學士濟澂奏倭爾多斯扎薩克貝
子察克多爾色楞出缺該旗章京等蒙蔽盟長竟
以遠族之圖們巴雅爾捏作親姪報部承襲請飭
按照定例覈辦等語著綏遠城將軍查明具奏欽此

1206 光緒二十三年十二月十七日奉

旨桂春著交部從優議敘餘依議欽此

倉場衙門奏山東糧道桂春督辦清務認真請
旨優獎摺

1207 交戶部本日甘肅提督董福祥奏添募四營並

籌調各營情形摺軍機大臣面奉

諭旨戶部知道欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交計結鈔摺一件

十二月十七日

1208 文總理各國事務衙門本日軍機大臣面奉

諭旨向來各衙門堂官有赴各國使館賀年之例著
總理各國事務衙門知照各該衙門嗣後務須循
例前往毋得藉詞推託以重邦交欽此相應傳知
貴衙門轉傳一體欽遵可也此交

十二月十七日

1209 文順天府本日翰林院侍講學士濟澂奏請變

通制錢章程摺軍機大臣面奉

諭旨著順天府妥議辦理欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交計結鈔摺一件

十二月十七日

1210 本日甘肅提督董福祥奏添募四營並籌調各

營情形摺奉文片

諭旨戶部知道翰林院侍講學士濟澂奏請變通制

錢章程摺奉文片

諭旨順天府妥議辦理又奏內務府司庫等官應照

例三年調轉片奉明發

諭旨著內務府大臣按照定例辦理又奏倭爾多斯

扎薩克貝子一缺該旗蒙混承襲請查辦片奉

明發

諭旨著綏遠城將軍查奏謹將原摺片恭呈

以慈覽謹

奏

十二月十七日

1211 查軍機章京李舜賓現在病故其章京一缺應

以服闋在額外行走之吏部候補員外郎孫朝

華充補謹

奏

光緒二十三年十二月十七日奉

旨知道了欽此

1212 軍機大臣 字寄

直隸總督王 光緒二十三年十二月十八日奉

上諭有人奏特參直隸實缺候補各道員暨營中武

弁請飭查辦一摺據稱直隸清河道署天津道高

勝麟通水道沈能虎候補道張振榮錢奎元營官

副將王得勝劣跡多端亟應嚴查參辦等語著王

文韶按照原奏所指各節確切查明據實具奏不

准稍涉迴護原摺著欽給閱看將此諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

1213 光緒二十三年十二月十八日內閣奉

上諭給事中丁之斌奏西甯肅清案内保舉已革山

西平陽府通判張心泰前因任意虐民革職陝西

揀選知縣舉人楊懋源並未到營等語著吏部查

明具奏欽此

1214 光緒二十三年十二月十八日內閣奉

上諭延茂者徵奏吉林雙城堡暨雙城廳三姓等處

被災地故懇恩蠲緩銀穀租賦開單呈覽一摺吉

林所屬雙城堡窪地因上年積水未消未能播種

雙城廳三姓等處今春積水尚存布種較晚復因

江水漲發田禾被淹若將應徵銀穀等項照常徵收旗民丁力實有未逮加恩著照所請所有雙城堡旗丁等納租地五千七百六十九畝五畝零應納本年分大小租錢三千八百零七十九百十丈著全數蠲免雙城堡屬佃民承種園荒三萬畝恆產等處一萬零零五十六畝零應納本年分大小租銀一千九百一十一兩零著緩至明年秋收後起分限三年帶徵三姓八旗兵丁應交本年分義倉穀七百二十石官莊壯丁應交本年分地丁米折等銀六十一兩零均著緩至明年秋收後照數交納又鄂勒圖木索等四站佃民承種納租地畝前經奏准帶徵納租地九千五百八十六畝二畝零應納大小租銀一千八百九十八兩零著再行遞緩一年至二十四年秋收後起仍照原限分限三年帶徵以示體恤餘著照所議辦理該將軍等即按照單開數目詳細刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念災區至意該部知道單併發欽此

1215 光緒二十三年十二月十八日內閣奉

上諭廖壽豐奏查明各屬災歉情形請分別蠲緩地漕等項一摺本年浙江杭州等府屬夏間先水後旱交秋以後復被風被蟲收穫之際雨水尤多田禾受損並歷年沙淤石積各田畝塘本年仍難墾復若將應徵地漕等項照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有嘉興府屬之嘉善湖州府屬之歸安烏程長興德清武康等縣成災十分民田地共二千七百五十二頃三十八畝零杭州府屬之仁和錢塘海甯富陽餘杭嘉興府屬之嘉興秀水嘉善海鹽平湖石門桐鄉湖州府屬之歸安烏程長興德清安吉孝豐武康並湖所紹興府屬之山陰會稽蕭山諸暨金華府屬之金華湯溪處州府屬之遂昌等州縣所歉收民屯學沙投各田地共一萬五百四十頃八十畝零又富陽等十九縣及杭衢二所各年被水坍沒沙淤石積本年仍難墾復民屯學各田地塘共一千一百七十頃九十二畝零統共一萬四千四百六十四頃十一畝零著將嘉善等六縣成災田地與仁和等二十六州

縣並湖所歉收各田地暨富陽等十九縣並杭衢
二所各年淤石積本年仍難望復民屯學各田
地塘應徵光緒二十三年分地丁等項正耗錢糧
漕白等項米石沙收等租銀錢分別成災及各年
淤石積者全行蠲免歉收者緩至來年麥熟起
限一年徵完其被災各縣蠲免銀米如有已輸在
官者流抵次年新賦至秋收減色民力拮据難令
新舊並納之臨安新城於潛昌化鄞縣慈谿奉化
鎮海象山餘姚上虞新昌嵊縣臨海黃巖太平甯
海天臺仙居蘭谿東陽義烏永康武義浦江西安
龍游常山開化建德淳安遂安壽昌桐廬分水永嘉
樂清瑞安平陽泰順玉環麗水縉雲青田龍泉宣
平等廳縣及杭巖嘉湖臺州衢州四衛所與被災
款淤淤各州縣衛所未完各年舊欠暨原緩帶徵
地漕各銀米均著遞緩一年徵收以紓民力餘著
照所議辦理該撫卽刊刻謄黃徧行曉諭務使實
惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部
知道欽此

1216 光緒二十三年十二月十八日內閣奉
上諭康壽豐奏查明各屬荒廢未種田地山塘蕩漫
並新墾之產請將地漕等項分別徵蠲一摺浙江
各屬荒廢未種各產經該撫督飭屬員認真查勘
尚未全行墾復若將地漕等項照常徵收民力實
有未逮加惠著照所請所有杭州等七府屬仁和
等三十四縣暨杭巖衛杭嚴二所共新墾田地山
塘蕩漫四百四十六頃九十三畝零應照科則徵收
錢糧外其仍荒未種暨淤於築塘挖濬墾墾廢
並流亡未報荒蕪缺額民屯沙牧學措各田地山
塘蕩漫共四萬七千一百六頃零應徵本年地丁
等項正耗錢糧漕白行月南秋正耗等項米石沙
牧學措等租銀錢著全行蠲免本年臨安新城於
潛昌化武康安吉孝豐等七縣共新墾田一百零
十九頃七十畝零著本年全蠲來年半蠲仁和錢
塘富陽餘杭臨安新城於潛昌化龍游並杭巖衛
杭所共新墾民屯田地山塘蕩七十二頃三十畝
零酌徵五成蠲免五成以紓民力餘著照所議辦
理該撫卽刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋

任史胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1217 本日給事中丁之斌奏特參直隸清河道高勝

麟等請查辦摺奉寄信

諭旨著王文韶查奏又奏西甯肅清案內保舉已革

通判張心泰等請分別覈銷片奉明發

諭旨著吏部查明具奏查原摺片篇幅較長應行鈔

錄擬於明日再行恭呈

慈覽謹

奏

十二月十八日

1218 交戶部本日黑龍江副都統景祺奏請專設鋪

稅藥牙並請

飭查察哈爾左翼四旗私墾游牧廠地各摺片軍機

大臣面奉

諭旨戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計結鈔摺片各一件

十二月十八日

1219 光緒二十三年十二月十八日奉
旨著熙凌阿承襲欽此

理藩院奏冊具奏請請 簡及北廷免塔而重州

1220 軍機大臣 字寄

成都將軍兼署四川總督恭 四川總督裕

光緒二十三年十二月十九日奉

上諭左都御史徐樹銘奏請特派大員督辦礦務一

摺據稱四川金礦之旺與西藏通若使治蜀之大

臣與西藏聯絡為一直將全藏治之他人不得從

而覬覦則中國之大利可以保全等語開辦礦務

為當今要圖全在地方大吏認真辦理方有成效

即著恭壽邊派幹員確切查勘實力舉辦裕祿到

任後該將軍仍著會同辦理將此各諭令知之

欽此遵

旨寄信前來

1221 光緒二十三年十二月十九日內閣奉

上諭依克唐阿等奏勘明安東縣巨流河等處被水

成災地畝請分別蠲緩錢糧一指奉天安東縣境本年海水漫溢田禾被淹收成歉薄若將應徵錢糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有安東小寺牌地方顆粒無收地畝七千八百九十六畝零應徵正賦錢糧著全行蠲免被災較重之安東縣屬山城子等十三牌七百九十九戶地三萬五千一百五十畝零應徵正賦錢糧著蠲免十分之七其餘三分著緩至二十四年秋後帶徵被災較輕之巨流河界大橋村西等十一村七一百五十七戶紅冊地一萬四千六百六十九畝零應徵正賦錢糧著蠲免十分之五其餘五分著緩至二十四年秋後帶徵巨流河界後東大河泡等七村七三十二戶餘租地一千三百零九畝張哈巴七等五村也十戶升科地五百五十七畝零均著蠲免原租十分之二其餘八分分作三年帶徵以上應徵應緩之正賦原租如有應徵在官者准其抵作次年租賦其巨流河界本年有帶徵上年被災應緩糧租並著遞緩按年帶徵以紓民力該將軍等即刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥

舞舞用副幹念災區至意餘著照所議辦理該部知道欽此

1222 光緒二十三年十二月十九日內閣奉

上諭廖壽豐奏查明杭州等府所屬各場荒蕪未墾寬蕩田地請蠲免電課錢糧一指杭州嘉興松江三府所屬荒蕪寬蕩本年墾復無幾若將應徵電課錢糧照常徵收電力實有未逮加恩著照所請所有仁和海沙鮑郎盧悉橫浦東等場荒蕪未墾寬蕩應徵光緒二十三年電課錢糧著全行蠲免以紓電力餘著照所議辦理該部即刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞舞用副幹念民艱至意該部知道欽此

1223 光緒二十三年十二月十九日內閣奉

上諭廖壽豐奏查明場寬蕩田被災請將應徵電課錢糧分別蠲緩一指兩浙鹽場寬蕩本年夏秋之間被旱被風被潮被蟲禾棉節節受傷致成災歉若將應徵電課錢糧照常徵收電力實有未逮加

恩著照所請所有杜濱海沙鮑郎蘆憑等場並杜濱場光緒二六兩年新升復荒及海沙場前被潮患本年仍難墾復各竈蕩田地應徵光緒二十三年竈課錢糧著全行蠲免並免其分成帶徵其錢清西興永嘉雙穗長亭杜濱海沙蘆憑橫浦浦東等場數收田地應徵光緒二十三年竈課錢糧著准其緩至次年秋後起徵各場舊課同秋收減色之鎮海縣原緩併清龍穿三場竈課均著遞緩一年徵收如有已輸在官者准其流抵次年新賦以紓電力餘著照所議辦理該撫卽刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1224 光緒二十三年十二月十九日奉

旨毋庸議欽此

吏部卷五 光緒二十三年 諭旨 欽此

1225 軍機大臣 字寄

成都將軍兼著四川總督恭 光緒二十三年

十二月二十日奉

上諭恭壽奏巴塘三巖野番搶劫摺弁一業現已辦結擬設立土千戶以圖經久一摺三巖野番向不歸化此次搶劫摺件猶敢不服開導現經官軍攻勦將首逆伏誅其餘均已就撫該署督擬於上中下三巖設立土千戶歸巴塘文武管轄卽著照所請行仍著飭令韓國秀會同糧員將應辦事宜妥籌辦理毋致再有反側所有出力員弁暨陣亡弁勇准其暫行存記併案分別奏請獎卹片片奏請對賞還恐番官還巢愈肆苛虐請飭文海等就近與達賴嚴定約章等語本日已諭令文海等照辦矣又片所奏朱高章谷兩土司有無應襲之人著卽查明辦理至文海前奏改設屯官一節卽著毋庸置議將此由五百里諭令知之欽此

旨寄信前來

1226 軍機大臣 字寄

駐藏辦事大臣文 幫辦大臣訥 光緒二十三年十二月二十日奉

上諭恭壽奏對蒙恩賞還該達賴自必感激竊恐
番官返巢挾嫌報怨肆苛虐現雖飭候補道慶
善妥為撫馭而番官係由達賴統率恐非漢官所
能鈐束請飭文海等就近與達賴約定善後辦法
等語自係為懲前毖後起見文海等身為駐藏大
員恭壽所奏情形想亦籌慮及此即著與達賴嚴
定約章取其慎選番官不再苛虐侵擾確據以期
永遠相安並著傳諭達賴嗣後番官等儻再滋生
事端定惟該達賴是問原片著鈔給閱看將此由
五百里各諭令知之欽此遵
旨寄信前來

1227 軍機大臣 字寄

河東河道總督任 山東巡撫張 光緒二十

三年十二月二十日奉

上諭任道鎔奏確數運河各廳另業工需銀兩酌數
請撥一摺據稱運河應修各工因本年汎水趨刷
坍塌過甚以致需費較鉅與上年情形稍有不同
現將估定各工確切指擬酌撥戊戌年另案工

需銀四萬兩請飭山東巡撫照撥等語此項銀兩
關係運河要工著張汝梅轉飭藩司趕緊如數撥
給毋稍遲延原摺著鈔給張汝梅閱看將此各諭
令知之欽此遵

旨寄信前來

1228 交兵部本日軍機大臣面奉

諭旨袁世凱新建陸軍幫統五品軍功候選縣丞梁
華殿哨長升用守備千總陳如松五品軍功田有
章均因練習泅水夜戰被水淹斃著交部照軍營
立功後積勞病故例從優議卹欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

十二月二十日

1229 據督辦軍務處咨據袁世凱稟稱幫統五品軍

功候選縣丞梁華殿升用守備千總陳如松五
品軍功田有章均因練習泅水夜戰被水淹斃
請照軍營立功後積勞病故例從優議卹前來
臣等公同商酌擬請

旨准如所請辦理謹

奏

十二月二十日

1230 光緒二十三年十二月二十一日奉

旨依議欽此

慶親王奕劻等奏查明文安縣蘇家橋等五十一村大窪民糧地

1231 光緒二十三年十二月二十一日奉

旨依議欽此

慶親王奕劻等奏查明文安縣蘇家橋等五十一村大窪民糧地

1232 光緒二十三年十二月二十二日奉

旨牛允誠著賞換頭等巴圖魯名號欽此

兵部奏總兵牛允誠賞換清字勇號請 旨單

1233 光緒二十三年十二月二十二日內閣奉

上諭王文韶奏查明文安天津二縣大窪地畝請分別蠲緩糧賦一摺本年文安天津二縣窪地因積水未消秋間又復連次霖雨禾稼多被淹浸若將

應徵糧賦照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有文安縣蘇家橋等五十一村大窪民糧地一千一百八十八頃十二畝零額徵本年無閏糧銀五千七百二十五兩零應徵七成銀四十七兩零內界偉村等二十一村應徵七成正銀一千八百十三兩零著全行蠲免又光州村等十四村應徵七成正銀一千六十五兩零著減免一半銀五百三十二兩零其餘一半銀五百三十二兩零同久遠莊等八村應徵七成正銀五百九十二兩零著一併緩至光緒二十四年秋後啟徵天津縣趙沽里等十村民糧地三百頃九畝零額徵本年無閏糧銀七百四十二兩零內程林莊等三村應徵正銀三百二十九兩零著減免一半銀一百六十四兩零又趙沽里等三村應徵正銀二百五兩零著緩至光緒二十四年秋後啟徵程林莊等九村節年錢糧著一併緩至光緒二十四年秋後啟徵以紓民力餘著照所議辦理該督即刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1234 光緒二十三年十二月二十二日內閣奉

上諭劉樹堂奏查明各屬歉收地畝請將新舊錢漕分別展緩開單呈覽一摺本年河南祥符等州縣先因雨澤愆期六月以後又苦霖霖不霽早晚秋禾收成均形歉薄若將新舊錢糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請河南祥符等五十四州縣民欠未完新舊錢漕著分別展緩以紓民力餘著照所議辦理該撫即按照單開各屬應緩錢漕數目分晰刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1235 光緒二十三年十二月二十三日內閣奉

上諭胡聘之奏查明各屬被災情形懇恩分別蠲緩錢糧等項一摺本年山西文水等廳州縣被釀被旱被蝗被凍歉收成災並水冲沙積尚未墾復地畝若將新舊錢糧等項照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有文水縣被釀之南北徐等五村地七十三頃三十六畝零應徵本年地丁正耗米

豆土鹽稅著全行豁免榆次縣歉收王胡鎮等九十二村莊帶徵光緒十七十八並二十一年被災蠲餘原緩地丁正耗米豆等項著一併展緩至光緒二十五年秋後起接續帶徵襄陵縣歉收之四鄉各村帶徵光緒十四十七十八十九二十年原緩舊欠並二十一二十二兩年民欠未完正耗錢糧著遞緩至二十四年春熟後再行帶徵假村等十二村莊二十一年被水業內原請停徵地九頃四十五畝零應徵地丁米石等項著自本年下忙起展停二年限滿能否墾復再行勘辦浮山縣歉收四鄉各村莊帶徵光緒十七十八並二十年民欠正耗錢糧倉穀著展緩至二十四年秋後帶徵吉州被釀成災十分之宣化都等家四鄉各村應徵本年正耗錢糧著免之十分七蠲餘銀兩著展緩至二十四年秋後起分作三年帶徵各該村尚有十九二十兩年民欠暨二十一二十二等年被災蠲餘原緩遞緩正耗錢糧著一併遞緩至二十四年秋後起仍按最先年分接續分年帶徵大河縣前被水冲之南沙嶺等三村沙淤石積地

五十七頃五十畝應徵錢糧米豆著自本年下忙起仍展停二年限滿能否墾復行勘辦應州秋禾歉收之下曠北莊等二百一村並大同縣屬寄莊下峪等三村帶徵光緒十八十九二十二十一二十二等年分原緩舊欠並民欠未完正耗錢糧米豆著展緩至二十四年秋後起仍按原限年分分年遞緩接續帶徵豐鎮廳被蝗成災十分之保全莊一村應徵本年下半年地折色正耗丁銀著蠲免十分之七蠲餘銀兩著緩至二十四年秋後起分作三年帶徵該村尚有二十二年蠲餘緩徵銀兩著緩至二十四年秋後起仍按原限年分分年帶徵清水河廳秋禾歉收之正前大井等三十一村應徵本年年分米折廩租正耗銀糧著展緩至二十四年秋後帶徵又黃花莊等八十三村並富民莊等二村帶徵光緒十九年原緩錢糧興旺等二十八村並廣濟莊等三村帶徵二十年原緩銀糧石灣子等四十四村並富民莊等三村帶徵二十一年原緩銀糧靜樂等四十二村並康盛莊等三村帶徵二十二年原緩銀糧著一併遞緩至

二十四年秋後起分年帶徵薩拉齊廳秋禾歉收之七星湖等四十八村並苗二等各戶應徵本年官地本折米石除已完外所有未完米石著展緩至二十四年秋後帶徵又武鄉縣營等四十八村應帶徵光緒十九二十二十一二十二等年原緩本折米石著遞緩至二十四年秋後起接續分年帶徵以下各廳州縣災民錢糧米豆旗廩地租土鹽稅等項如有溢完在官者著准其流抵次年正賦以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠及民毋任吏胥舞弊用副朝廷軫念民艱至意該部知道欽此

1236 軍機大臣 字寄

盛京將軍依

盛京兵部侍郎溥 光緒二十三年十二月二十

三日奉

上諭前據理藩院奏奉天陳新蘇魯克收丁等呈訴盛京養息收地面開荒有礙收丁生計並恐有誤三陵祭品等語當經諭令依克唐阿溥願詳察情形應

否停止之處妥籌其奏茲據御史楊深秀奏稱蘇魯克牧廠自順治初年特設以來牧丁生齒日蕃此項地畝既墜者養育牧丁未墜者備割冬令羊草並非閒荒之比去年該將軍等奏請招墾局員奉行不善一併絕丈給墜以致蒙衆驚惶請將此項牧地仍照舊制留與牧丁毋庸給佃等語養息牧地供奉

三陵祭品且為蒙古牧丁生計所繫著依克唐阿溥願認真查明如果實有窒礙即行停止招墾迅速覆奏原摺着欽給閱看將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

1237 光緒二十三年十二月二十三日內閣奉

上諭依克唐阿等奏甯遠州收成歉薄請將應徵節年民欠錢糧分年帶徵一摺奉天甯遠州本年收成歉薄若將節年積欠糧租責令一併完納民力實有未逮加恩著照所請所有甯遠州老和臺等八百六十九村屯積欠光緒十四十五十六十七等年錢糧著緩至光緒二十四年帶徵以紓民力該將軍等即刊刻謄黃徧行曉諭毋任吏胥舞弊

用副軫念民艱至意該部知道欽此

1238 光緒二十三年十二月二十三日內閣奉

上諭陶模奏甘肅狄道州等處地方民困未蘇請蠲免錢糧草束等項開單呈覽一摺甘肅各屬自遭兵燹後民困未蘇本年復被雨雹收成歉薄若將應徵錢糧草束等項照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有狄道州巴燕戎格廳河州循化廳碾伯大通二縣西甯縣沙泥州判平番縣洮州廳貴德廳平遠縣莊浪茶馬廳各屬正賦雜稅甘肅州提督課金西甯府雜稅平羅縣馬廠地租共應徵新舊正雜銀一萬九千二百二十六兩零糧三萬六千三百四十一石零草二十八萬四千二百五十八束零課金二十四兩均著一律蠲免以紓民力該督即照單開數目刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意餘著照所議辦理該部知道單併發欽此

1239 光緒二十三年十二月二十三日內閣奉

上諭魏光燾奏特參庸劣不職各員等語陝西試用同知黃殿燮工於牟利前辦芝川釐務收報不實試用州吏目湯執中性情狡詐前委接運桑秧私帶貨物均著一併革職石泉縣知縣陳熊年近衰老辦事竭蹶高南縣典史朱志彥精力衰頹難期振作均著勒令休致洵陽縣知縣王策範圍於聽斷惟係正途出身文理尚優著以教職歸部銓選餘著照所議辦理該部知道欽此

1240 交戶部本日順天府府尹胡燏棻奏遵議變通

鐵路運錢章程請

飭戶部電致廣東督撫添鑄銀圓合銀十萬兩准抵

京餉於明年開河特派員趕運解京一摺軍機

大臣面奉

諭旨戶部速議具奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計黏鈔摺一件

十二月二十三日

1241 交吏部本日

貴部具奏查明西甯肅清案内張心泰楊懋源保舉原案一摺軍機大臣面奉

諭旨留中欽此相應傳知

貴部可也此交

十二月二十三日

1242 光緒二十三年十二月二十三日奉

旨裕祥湯壽銘均著賞給頭品頂戴欽此

吏部奏勳界崇裕祥等應否賞給頭品頂戴摺 旨

1243 光緒二十三年十二月二十三日奉

旨毋庸叢議欽此

吏部奏繕書房保潔應否叢議聲明定章摺 旨

1244 本日總理各國事務衙門奏曹州教案辦結膠

澳劃界議租摺又奏山東教案拏獲要犯分別

擬定罪名摺均奉

旨依議並繕寄信明發

諭旨各一道一併恭呈

慈覽御史楊深秀奏養息牧地請仍照舊制毋庸開墾

摺奉寄信

諭旨令依克唐阿等查明如有窒礙情形即行停止

招墾又府尹胡燏棻奏遵議變通鐵路收錢章程

摺奉

旨令戶部速議具奏謹將原摺單恭呈

慈覽謹

奏

¹²⁴⁵ 光緒二十三年十二月二十五日內閣奉

上諭從來國運之興必由於人才之盛我朝

列祖

列宗以來無不下詔求賢而諸臣亦必灼見真知始登

薦剴所以名臣碩輔代有其人即至同治年間如

曾國藩駱秉章等進舉賢才或採自幕府或選從

僚屬其時人才蔚起卒能削平大難宏濟時艱可

知封疆大吏誠思以人事君之義悉心採訪實力

保薦則一時之才自足供一時之用現值時局孔

艱需才尤亟各省督撫朝廷寄以股肱耳目其各

澄心虛己一秉大公於所屬道府州縣中無論現

任候補詳加鑒別擇其居心正大才識闔達足以

力任艱鉅者列為上選他若盡心民事通達時務

均著出具切實考語並彙列其人之實蹟成效詳

悉具陳以備擢用儻膽徇情面或諛採虛聲保非

其人必坐原保官以薦舉不實之罪至經武整軍

必須寬善的餉各省綠營廢弛已久近來防勇亦

多沾染習氣難備緩急著各該督撫再行實力裁

汰騰出餉項以備添練新軍之用各省製造洋務

釐捐鹽務等局總辦以外復有會辦以及司事紳

董名目繁多每歲虛糜公費不知凡幾當此庫款

支絀該督撫等具有天良宜竟置國事於不顧尚

欲為位置閒員地步耶著即嚴加覈減將節省實

數迅速奏聞毋得膠持成見仍以裁無可裁藉詞

搪塞將此通諭知之欽此

¹²⁴⁶ 光緒二十三年十二月二十五日內閣奉

上諭國家設官分職體制相維各部院堂官同辦一

事無論重大之件必須互相商榷折衷至當即尋

常應辦事件亦必彼此商酌方昭妥協近聞各部院堂官每多性耽安逸存推諉並不常川入署即有一二勤慎趨公者亦無從面相參酌以致公事積壓弊竇叢生奉旨交議事件覆奏亦多濡滯似此玩愒因循尚復成何事體嗣後各部院堂官務當常川進署振刷精神將一切應辦之事和衷參酌督飭司員迅速辦理毋得稍有遲延至各衙門胥吏弄文舞弊習為故常承辦司員往往受其挾制尤宜實力整頓從嚴懲辦毋稍姑容將此通諭知之欽此

1247 光緒二十三年十二月二十五日內閣奉

上諭榮祿奏請設武備特科參酌中外兵製造就人才等語著軍機大臣會同兵部議奏欽此

1248 光緒二十三年十二月二十五日奉

旨著改於正月十八日欽此

禮部奏保和殿筵宴應否改期舉行片

1249 光緒二十三年十二月二十五日奉
旨依議欽此

理藩院奏侍衛處吉色呈請支給廉價指

1250

交戶部

本日協辦大學士兵部尚書榮祿

奏請廣練兵團以資防守一摺軍機大臣面奉

諭旨著軍機大臣會同督辦軍務王大臣戶部議奏

欽此相應傳知

貴王大臣欽遵辦理可也此交計黏鈔摺一件

十二月二十五日

1251 本日協辦大學士尚書榮祿奏請廣練兵團以

資防守摺奉交片

諭旨著軍機大臣會同督辦軍務王大臣戶部議奏

又奏請設武備特科造就人才片奉明發

諭旨著軍機大臣會同兵部議奏又奏請

飭山西等省興辦製造局廠並將上海局廠移赴湖

南片奉寄信

諭旨著劉坤一恭壽張之洞胡聘之劉樹堂陳寶箴

認真籌辦謹將原摺片恭呈

慈覽謹

奏

十二月二十五日

1252 光緒二十三年十二月二十六日內閣奉

上諭劉坤一奎俊奏查明蘇州等屬秋收減歉已未
墾熟田地請將應徵錢漕分別蠲減緩徵一摺本
年江蘇蘇州等屬入夏以來雨澤愆期六月中旬
連遭大雨山水下注江湖泛溢低窪之區積水淹
浸交秋後復被風被蟲收成實形減色若將應徵
錢漕照常徵收民力實有未逮如恩著照所請所
有長洲元和吳縣吳江震澤常熟昭文崑山新陽
婁縣金山青浦武進陽湖無錫金匱江陰宜興荆
溪丹徒丹陽金壇溧陽太倉鎮洋等二十五州縣
拋荒未種田長洲元和吳縣吳江震澤常熟昭文
崑山新陽婁縣青浦荆溪等十二縣節年復荒吳
江震澤常熟昭文崑山新陽青浦宜興荆溪靖江
丹徒丹陽金壇等十三縣本年別勝蟲傷被旱被
淹無收震澤縣別展二十年太倉州光緒五年丹

徒縣展緩二十六年新墾漕屯各田太湖華
亭二廳縣荒廢古墓屋基等田銀米長洲元和吳
縣吳江震澤常熟昭文崑山新陽等九縣薄收田
吳江縣二十三兩年新墾田條銀長洲縣被淹
田漕米陽湖無錫金匱溧陽等四縣本年被淹田
下忙條銀冬漕米石靖江縣本年被淹無收蘆田
課銀崑山新陽二縣拋荒蘆價田條銀丹陽縣拋
荒蘆田課銀著一律全行蠲免常熟縣原復熟田
坐落被歉較輕各區及薄收田漕米太倉州原熟
及屆徵二十年新墾鎮洋縣原熟田銀米著各減
免二釐常熟縣原復熟田條銀著減免三釐吳縣
原熟田銀米及薄收田漕米著減免四釐元和縣
原熟田坐落被歉較輕各區及薄收田丹徒縣原
復熟漕屯田漕米著各減免五釐長洲縣原熟田
坐落高區銀米元和縣原熟田坐落被歉較輕各
區條銀昭文縣原熟田坐落低平區銀米著各減
免六釐丹徒縣原復熟漕田銀米及蘆田課銀著
減免七釐常熟縣原復熟田坐落被歉較重各區
及薄收田漕米著減免八釐長洲縣原熟田坐落

低區銀米及被淹田條銀薄收田漕米著減免九釐元和縣原熟田坐落被歉次重各區及薄收田漕米著減免一成一釐元和縣原熟田坐落被歉次重各區條銀昭文縣原熟田坐落高平區銀米及薄收田漕米著各減免一成二釐元和縣原熟田坐落被歉較重各區及薄收田漕米著減免一成五釐元和縣原熟田坐落被歉較重各區條銀著減免一成六釐丹徒縣原復熟漕屯田條銀著各減免四成七釐常熟縣被歉無收蘆田課銀同鎮江府屬之丹徒溧陽二縣被旱被淹田應徵戊戌年上忙條銀均著緩至二十四年秋後一併徵辦其長洲等各州廳縣減成項下應徵本年地漕鹽課正雜正耗除常熟靖江二縣蘆課全徵外其餘各屬蘆課學租歸公官租等銀以及漕南行贈局恤米豆著按分蠲減徵收蘇州太倉鎮海金山等四衛幫屯漕錢糧著各照坐落地方民田分別蠲減又鎮江衛屯坐各州縣錢糧著查照民田蠲減泰州酌徵五成泰興酌徵三成二釐江都酌徵三成二釐甘泉酌徵二成七釐丹陽酌徵四成八

釐此外徵贖錢糧同上年准緩之常熟縣被歉無收蘆田課銀著再展緩一年至各屬舊欠項下光緒十四年起各年原緩民欠錢糧及坐落本年歉薄各區著仍照分徵成案緩至光緒二十四年秋後由遠及近以次帶徵其各屬請減條銀如上忙已經完納者即將應減分數於下忙錢糧內扣除或上下兩忙均已全完即將溢完銀兩准其流抵光緒二十四年上忙新賦以紓民力餘著照所議辦理該督撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1253 光緒二十三年十二月二十六日內閣奉

上諭劉坤一奎俊奏查明江淮等屬被災拋荒地懇請分別蠲緩新舊錢糧開單呈覽一摺江甯等屬本年自春徂夏雨澤愆期未能及時栽種六月間連遭雷雨濱江臨湖低窪之區又因湖水泛漲山水下注秋禾被淹收成均形歉薄若將應徵錢糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有上元江甯句容溧水江浦六合等六縣已墾成

熟被歉民屯地並山陽阜甯清河桃源安東鹽城高郵泰州東臺江都甘泉儀徵興化寶應銅山豐縣沛縣蕭縣碭山睢甯海州沐陽贛榆通州如皋海門等二十六州廳縣同淮安大河揚州徐州四衛勘不成災民屯地應徵光緒二十三年地丁等項錢糧著緩至二十四年秋成後分作二年帶徵又邳州宿遷二州縣被淹成災六分田地應徵光緒二十三年漕糧漕項地屯銀米著照例按分蠲免蠲贖銀米分年帶徵其餘勘不成災田地應徵銀米均著緩至二十四年秋成後分作二年帶徵又上元江甯句容溧水高淳江浦六合等七縣未墾荒田同江都縣揚州衛營壘廢民屯田地應徵光緒二十三年上下忙錢糧仍著蠲免其坐落各州廳縣並衛屯漕蘆課學租湖河灘租雜稅津貼增租並江甯府屬公費關租油麻地租南屯恤孤米豆新增地畝蘆葦牧馬草場復賦召變籌餉等款及鈔票入官地畝並鎮江衛坐落江都泰州甘泉泰興四處屯田俱照坐落地方一律查辦淮安揚州等屬減則蘆葦田地海州屬一水一

麥減則田地應徵本年錢糧著照歷屆成案一體緩徵至江甯淮安各屬勘不成災並江甯府屬未墾荒田同江都縣揚州衛營壘廢田地應徵戊戌年上忙新賦均著緩至該年秋成後察看情形再行啟徵其上元江甯句容溧水江浦六合山陽阜甯清河桃源安東鹽城高郵泰州東臺江都甘泉儀徵興化寶應銅山豐縣沛縣蕭縣碭山邳州宿遷睢甯海州沐陽贛榆通州如皋海門等三十州廳縣並淮安大河揚州徐州四衛未完光緒十四十五十六十七十八十九二十二十一二十二等年並高淳縣未完十五十六十七十八十九二十二等年各款銀米及不在豁免案內之各年未完津貼增租銀兩均著緩至二十四年秋成後再行分別帶徵阜甯清河桃源宿遷海州沐陽贛榆七州縣漕糧改徵折色本年該州縣被歉田地折徵銀兩並著隨同各屬漕糧漕項銀米一體分別緩徵鎮江衛坐落泰州江都甘泉泰興四州縣屯田著隨同民田一律辦理以紓民力餘著照所議辦理該督撫即按

照單開之各州縣區圍村莊頃畝分數應緩銀兩米豆各數刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念災區至意該部知道單併發欽此

1254 光緒二十三年十二月二十六日內閣奉

上諭劉坤一奎俊奏查明江淮等屬秋禾被淹及拋荒田地懇請蠲緩漕糧並折色銀兩一摺江蘇江甯淮安等屬本年夏間連朝霖雨濱臨江湖低窪之區被水淹浸收成歉薄若將應徵漕糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有邳州宿遷二州縣成災六分田地應徵本年漕糧著照例按分蠲免其蠲贖同勘不成災田地應徵漕米及上元江甯句容江浦六合等五縣已墾成熟復被歉收田地並山陽阜甯清河桃源鹽城高郵泰州東臺江都甘泉儀徵興化寶應銅山豐縣沛縣蕭縣碭山睢甯海州沐陽贛榆如臯等二十三州縣勘不成災田地應徵本年漕糧及改徵折色銀兩著緩至光緒二十四年秋成後分作二年帶徵其上

元江甯句容江浦六合五縣未墾荒田同江都縣揚州衛營壘廢坍荒民田除墾熟畝徵外其餘坍荒田地應徵漕糧米石仍著蠲免以紓民力餘著照所議辦理該督撫即按照單開區圍村莊頃畝詳細刊刻謄黃偏行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1255 光緒二十三年十二月二十六日內閣奉

上諭奎俊奏特參疏防城內被劫之知縣請先行交部議處一摺本年九月間江蘇宜興縣城內被劫兩月有餘賊無獲捕務實屬廢弛宜興縣知縣萬立鈞著先行交部議處餘著照所議辦理該部知道欽此

1256 光緒二十三年十二月二十六日內閣奉

上諭史念祖奏養利等州縣民力竭慶請將應徵地丁兵米分別蠲緩帶徵一摺本年廣西太平等府屬雨水過多收成歉薄若將應徵錢糧照常徵收

民力實有未逮加恩著照所請所有太平府屬之養利州應徵光緒二十三年錢糧銀兩著蠲免十分之五其餘五分歸入本年啟徵又太平府屬之崇善潯州府屬之武宣等二縣應徵光緒二十三年錢糧銀兩著各蠲免十分之四其餘六分歸入本年啟徵桂林府屬之臨桂靈川梧州府屬之蒼梧柳州府屬之雒容來賓慶遠府屬之宜山等六縣應徵光緒二十三年錢糧銀兩著各以八分歸入本年啟徵其餘二分分限三年帶徵臨桂靈川二縣原綏光緒二十二年錢糧著俟帶徵限滿後接續帶徵崇善武宣二縣應徵光緒二十三年兵米著各蠲免十分之四其餘六分歸入本年啟徵臨桂靈川來賓宜山等四縣應徵光緒二十三年兵米著各以八分歸入本年啟徵其餘二分分限三年帶徵臨桂靈川二縣原綏光緒二十二年兵米著俟帶徵限滿後接續帶徵以上各州縣光緒二十二年錢糧銀米應歸入光緒二十三年帶徵者並著緩至光緒二十四年啟徵遞行推緩一年以紓民力餘著照所議辦理該撫卽刊刻謄黃備

行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1257 光緒二十三年十二月二十六日奉旨依議欽此

戶部奏遵議請飭廣東添購銀兩片

1258 光緒二十三年十二月二十六日奉旨依議欽此

戶部奏擬令廣東改鑄銀圓摺

1259 光緒二十三年十二月二十七日內閣奉上諭胡聘之奏省會要缺道員開單請簡一招山西冀甯道員缺著丁士彬補授欽此

1260 光緒二十三年十二月二十七日內閣奉

上諭張汝梅奏山東河工緊要請調員差委等語開缺河南南陽鎮總兵崔廷柱著劉坤一轉飭該總兵前往山東交張汝梅差遣委用欽此

1261 光緒二十三年十二月二十八日內閣奉

上諭董福祥未到任以前甘肅提督著張俊調署張宗本著署理喀什噶爾提督所遺阿克蘇總兵著鏡應祺派員署理欽此

1262

臣奕訢等跪

奏為奏銷領用紙張等項事光緒二十三年正月
起至十二月止方略館領用繕寫檔案書籍及
辦稿行文釘輯檔案等項用過紙張並光緒二
十三年領用過烤炭暨舊存紙張數目一併詳
細開列清單繕摺

奏

聞伏祈

皇上聖鑒謹

奏

計開

舊存金線榜紙壹仟陸百玖拾張
光緒二十三年辦理方略用二百一十四張尚存一仟四百七十六張

方略館
舊存黃綾貳拾貳匹零半匹
光緒二十三年辦理方略用過二匹二十一年辦理方略用過九匹尚存十一匹零半匹

舊存五摺黃榜紙陸拾張
釘檔皮面用無存

舊存五摺白榜紙伍拾張
疎稿等項用無存

舊存臺連紙壹仟伍百張
行文疎稿用無存

本年領過

五摺黃榜紙貳百張
釘檔皮面用過五百肆拾張尚存陸拾張

五摺白榜紙肆百張
疎稿等項用過叁百伍拾張尚存伍拾張

叁號高麗紙貳百張
釘檔皮面用無存

臺連紙陸仟張
疎稿和會釘稿等項用過肆仟伍百張尚存壹仟伍百張

烤炭貳仟肆百觔
無存

光緒二十三年十二月二十九日

臣奕訢

臣世鐸

臣翁同龢

臣剛毅

臣錢應溥

臣奕訢等跪

1263
奏為奏銷紙張事光緒二十三年分單機處領用
過戶部紙張循例報銷理合開列清單繕摺

奏
聞伏祈
皇上聖鑒謹
奏

計開

軍機處光緒二十三年分領用紙張

本紙柒仟張 繕寫奏摺及鈔錄各處奏摺行文等項用無存

白榜紙貳仟張 鈔錄檔案包封事件用無存

黃榜紙貳百張 釘辦檔案包封事件用無存

高麗紙壹百伍拾張 包封月摺及檔案皮面用無存

臺連紙壹萬張 繕清譯漢並寫底稿用無存

光緒二十三年十二月

臣奕訢
臣世鐸
臣翁同龢
臣剛毅
臣錢應溥

1264 臣等查新正應行

加恩各省除安徽江西河南山西陝西湖北甘肅廣東廣西雲南貴州經該督撫具奏毋庸接濟外
所有直隸山東二省該督撫奏到臣等擬請

諭旨二道並擬日期

頒發謹

奏

十二月二十九日

1265 光緒二十四年正月初二日直隸

初四日山東